



マルチメディア 取扱説明書

よくお読みになってご使用ください。
取扱説明書は車の中に保管しましょう。

HIACE /
トヨタ救急車



基本操作	マルチメディアシステムの基本操作	1
各種設定および登録	さまざまな機能に関する設定や登録など	2
スマートフォンや通信機器の接続	Bluetooth®や Wi-Fi® を使用するには	3
ナビゲーション	目的地を設定してルート案内をする	4
オーディオシステム	ラジオを聞くには 音楽や映像を楽しむには	5
ハンズフリー電話	携帯電話をハンズフリーで使用するには	6
T-Connect	T-Connect を利用するには	7
駐車支援システム	車両周囲の状況を確認するには	8
付録	参考情報 認証・商標についての情報	9
さくいん	アルファベット順で検索 五十音順で検索	

はじめに	2	各種設定および登録																																																																																																																				
<table border="0"> <tr> <td style="width: 33%;">知っておいていただきたいこと</td> <td style="width: 33%;">7</td> <td style="width: 33%;">2-1. マルチメディアシステムの初期設定</td> <td style="width: 33%;">54</td> </tr> <tr> <td>本書の見方</td> <td>10</td> <td>2-2. 各種設定</td> <td>59</td> </tr> <tr> <td>イラスト目次</td> <td>12</td> <td>2-3. ドライバー設定</td> <td>61</td> </tr> <tr> <td colspan="2">1 基本操作</td> <td>2-4. 共通設定</td> <td>65</td> </tr> <tr> <td colspan="2">1-1. マルチメディアシステムの基本操作</td> <td>2-5. 画面設定</td> <td>67</td> </tr> <tr> <td>ディスプレイと操作スイッチ</td> <td>16</td> <td>2-6. 音声操作設定</td> <td>69</td> </tr> <tr> <td>マルチメディア画面の概要</td> <td>18</td> <td>2-7. 車両設定</td> <td>70</td> </tr> <tr> <td>メインメニュー</td> <td>19</td> <td>セキュリティ設定を変更する</td> <td>70</td> </tr> <tr> <td>ステータスアイコンの見方</td> <td>21</td> <td>ソフトウェア情報の確認や更新をする</td> <td>72</td> </tr> <tr> <td>タッチスクリーンの操作</td> <td>23</td> <td>2-8. ナビゲーション設定</td> <td>75</td> </tr> <tr> <td>画面の基本操作</td> <td>26</td> <td>ナビゲーションの設定</td> <td>75</td> </tr> <tr> <td>文字や数字の入力</td> <td>28</td> <td>地図表示設定をする</td> <td>76</td> </tr> <tr> <td colspan="2">1-2. ナビゲーションの基本操作</td> <td>ルート設定をする</td> <td>78</td> </tr> <tr> <td>地図画面表示</td> <td>30</td> <td>案内設定</td> <td>81</td> </tr> <tr> <td>車の現在地の表示</td> <td>32</td> <td>その他設定</td> <td>82</td> </tr> <tr> <td>地図のスケール（縮尺）の切りかえ</td> <td>33</td> <td>走行支援の設定</td> <td>87</td> </tr> <tr> <td>地図の向きの切りかえ</td> <td>34</td> <td>2-9. サウンド＆メディア設定</td> <td>91</td> </tr> <tr> <td>地図の動かし方</td> <td>35</td> <td>サウンドやメディアの設定を変更する</td> <td>91</td> </tr> <tr> <td colspan="2">1-3. オーディオの基本操作</td> <td>画面モードを切りかえる</td> <td>95</td> </tr> <tr> <td>オーディオシステムの ON/OFF と音量を調整する</td> <td>36</td> <td>画質を調整する</td> <td>96</td> </tr> <tr> <td>オーディオのソースを変更する</td> <td>38</td> <td>各ソースの音を調整する</td> <td>97</td> </tr> <tr> <td>ソース選択画面のリストの配置を変更する</td> <td>40</td> <td>2-10. Wi-Fi®設定</td> <td>98</td> </tr> <tr> <td>USB 機器を接続する</td> <td>41</td> <td>Wi-Fi Hotspot を設定する</td> <td>98</td> </tr> <tr> <td>HDMI 機器を接続する</td> <td>43</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">1-4. エージェント（音声対話サービス）</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>音声で操作する</td> <td>44</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>音声操作を開始する</td> <td>46</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>音声コマンドを発話する</td> <td>48</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>キーボードで情報を検索する</td> <td>52</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			知っておいていただきたいこと	7	2-1. マルチメディアシステムの初期設定	54	本書の見方	10	2-2. 各種設定	59	イラスト目次	12	2-3. ドライバー設定	61	1 基本操作		2-4. 共通設定	65	1-1. マルチメディアシステムの基本操作		2-5. 画面設定	67	ディスプレイと操作スイッチ	16	2-6. 音声操作設定	69	マルチメディア画面の概要	18	2-7. 車両設定	70	メインメニュー	19	セキュリティ設定を変更する	70	ステータスアイコンの見方	21	ソフトウェア情報の確認や更新をする	72	タッチスクリーンの操作	23	2-8. ナビゲーション設定	75	画面の基本操作	26	ナビゲーションの設定	75	文字や数字の入力	28	地図表示設定をする	76	1-2. ナビゲーションの基本操作		ルート設定をする	78	地図画面表示	30	案内設定	81	車の現在地の表示	32	その他設定	82	地図のスケール（縮尺）の切りかえ	33	走行支援の設定	87	地図の向きの切りかえ	34	2-9. サウンド＆メディア設定	91	地図の動かし方	35	サウンドやメディアの設定を変更する	91	1-3. オーディオの基本操作		画面モードを切りかえる	95	オーディオシステムの ON/OFF と音量を調整する	36	画質を調整する	96	オーディオのソースを変更する	38	各ソースの音を調整する	97	ソース選択画面のリストの配置を変更する	40	2-10. Wi-Fi®設定	98	USB 機器を接続する	41	Wi-Fi Hotspot を設定する	98	HDMI 機器を接続する	43			1-4. エージェント（音声対話サービス）				音声で操作する	44			音声操作を開始する	46			音声コマンドを発話する	48			キーボードで情報を検索する	52		
知っておいていただきたいこと	7	2-1. マルチメディアシステムの初期設定	54																																																																																																																			
本書の見方	10	2-2. 各種設定	59																																																																																																																			
イラスト目次	12	2-3. ドライバー設定	61																																																																																																																			
1 基本操作		2-4. 共通設定	65																																																																																																																			
1-1. マルチメディアシステムの基本操作		2-5. 画面設定	67																																																																																																																			
ディスプレイと操作スイッチ	16	2-6. 音声操作設定	69																																																																																																																			
マルチメディア画面の概要	18	2-7. 車両設定	70																																																																																																																			
メインメニュー	19	セキュリティ設定を変更する	70																																																																																																																			
ステータスアイコンの見方	21	ソフトウェア情報の確認や更新をする	72																																																																																																																			
タッチスクリーンの操作	23	2-8. ナビゲーション設定	75																																																																																																																			
画面の基本操作	26	ナビゲーションの設定	75																																																																																																																			
文字や数字の入力	28	地図表示設定をする	76																																																																																																																			
1-2. ナビゲーションの基本操作		ルート設定をする	78																																																																																																																			
地図画面表示	30	案内設定	81																																																																																																																			
車の現在地の表示	32	その他設定	82																																																																																																																			
地図のスケール（縮尺）の切りかえ	33	走行支援の設定	87																																																																																																																			
地図の向きの切りかえ	34	2-9. サウンド＆メディア設定	91																																																																																																																			
地図の動かし方	35	サウンドやメディアの設定を変更する	91																																																																																																																			
1-3. オーディオの基本操作		画面モードを切りかえる	95																																																																																																																			
オーディオシステムの ON/OFF と音量を調整する	36	画質を調整する	96																																																																																																																			
オーディオのソースを変更する	38	各ソースの音を調整する	97																																																																																																																			
ソース選択画面のリストの配置を変更する	40	2-10. Wi-Fi®設定	98																																																																																																																			
USB 機器を接続する	41	Wi-Fi Hotspot を設定する	98																																																																																																																			
HDMI 機器を接続する	43																																																																																																																					
1-4. エージェント（音声対話サービス）																																																																																																																						
音声で操作する	44																																																																																																																					
音声操作を開始する	46																																																																																																																					
音声コマンドを発話する	48																																																																																																																					
キーボードで情報を検索する	52																																																																																																																					

2-11. Bluetooth®設定

Bluetooth®機器を設定する 100

3 スマートフォンや通信機器の接続

3-1. Bluetooth®機能の使い方

Bluetooth®機器使用上の留意事項 104

Bluetooth®の仕様、対応プロファイル 107

Bluetooth®機器をマルチメディアシステムから登録する 108

Bluetooth®機器の登録を削除する 111

Bluetooth®機器との接続 112

Bluetooth®機器をメイン機器に設定する 115

Bluetooth®機器をサブ機器に設定する 116

3-2. Wi-Fi®ネットワークへの接続

Wi-Fi®機器使用上の留意事項 117

Wi-Fi Hotspot に接続する 119

3-3. Apple CarPlay/Android Auto の使い方

Apple CarPlay/Android Auto 使用上の留意事項 122

未登録のスマートフォンで Apple CarPlay を使用する 125

登録済みスマートフォンで Apple CarPlay を使用する 128

Android Auto を使用する 131

Apple CarPlay/Android Auto が故障したとお考えになる前に 132

4 ナビゲーション

4-1. ナビゲーションシステムについて

コネクティッドナビ 138

4-2. 地図の情報について

地点情報を表示する 140

地図オプション画面 141

施設記号を表示する 142

地図表示設定 144

地図記号・地図表示について 145

高速略図（ハイウェイモード）について 149

4-3. 目的地の検索

目的地検索について 152

目的地検索画面の見方 153

検索結果リスト画面の見方 158

経由地を追加する 160

電話帳から目的地を検索する 161

スマートフォンから目的地を設定する 162

4-4. 目的地の設定

全ルート図表示画面の見方 164

目的地案内のデモを見る 167

ルート情報を表示する 168

ルートオプションを変更する 169

他の経路に変更する 170

出入り口 IC（インターチェンジ）を指定する 171

目的地の詳細情報を表示する 172

通過する地点を設定する 173

経由地を編集する 174

4-5. ルート案内

ルート案内画面の見方 175

さまざまなレーン表示画面 177

ルートを再探索する 180

4-6. VICS・交通情報

VICS・交通情報を使う 181

VICS・交通情報について 182

タイムスタンプの情報表示 183

渋滞や規制情報の音声案内 184

VICS 記号の内容を表示する 185

VICS・交通情報を表示する道路 を設定する	186
VICS・交通情報を表示する種類 を設定する	187
VICS 図形情報や文字情報を表 示する	188
緊急情報の表示	189
気象、災害情報のエリア表示 ...	190
新旧ルートを比較して表示す る	191
VICS 放送局を選択する	192
VICS 記号や表示について	193
VICS について	196
交通ナビ関連情報を表示する ...	202
4-7. 地図データの更新	
地図を更新する	203
地図データ情報	206
5 オーディオシステム	
5-1. ラジオの操作	
ラジオを聴く	210
交通情報を聴く	213
ラジオ用アンテナの取り扱い ...	214
5-2. 地上デジタルテレビの視聴	
地上デジタルテレビの視聴に ついての留意事項	215
地上デジタルテレビを視聴す る	218
地上デジタルテレビ視聴時の 設定を変更する	225
地上デジタルテレビ用アンテ ナの取り扱い	226
5-3. USB メモリーの操作	
USB メモリーの再生につけて の留意事項	227
USB メモリーの音楽ファイル を再生する	229
USB メモリーの動画ファイル を再生する	231
5-4. iPod/iPhone の操作	
iPod/iPhone の再生につけて の留意事項	234
iPod/iPhone を再生する	235
5-5. Apple CarPlay の操作	
Apple CarPlay の再生につい ての留意事項	238
Apple CarPlay を再生する	239
5-6. Android Auto の操作	
Android Auto の再生につけて の留意事項	241
Android Auto を再生する	242
5-7. Bluetooth®オーディオの操作	
Bluetooth®オーディオの再生 についての留意事項	244
Bluetooth®オーディオを再生 する	245
5-8. HDMI の操作	
HDMI の再生についての留意 事項	248
HDMI を再生する	249
5-9. Miracast®の操作	
Miracast®の再生についての留 意事項	251
Miracast®対応機器を接続する ..	252
Miracast®を再生する	253
5-10. 後席ディスプレイの操作	
後席ディスプレイを操作する ...	255
6 ハンズフリー電話	
6-1. ハンズフリー電話使用上の留意 事項	
ハンズフリー電話についての 留意事項	258
ハンズフリー電話が故障した とお考えになる前に	262

6-2. ステアリングスイッチでのハンズフリー電話の操作	
ステアリングスイッチで操作する	265
6-3. 電話のかけ方	
履歴から電話をかける	267
ワンタッチダイヤルから電話をかける	268
連絡先から電話をかける	269
キーパッドから電話をかける ...	270
交通情報から電話をかける.....	271
110 番／119 番にかける	272
ウェイト／ポーズ信号を使って電話をかける	273
6-4. 電話の受け方	
電話に出る	274
着信を拒否する	276
6-5. 通話中の操作	
通話画面で操作する	277
割込着信の電話に出る	279
通話中に別の通話相手へ電話をかける	280
グループ通話をする	281
電話を切る	282
6-6. ハンズフリー電話の変更	
ハンズフリー電話を切りかえる	283
6-7. 連絡先データの編集	
連絡先データの転送	284
ワンタッチダイヤルを登録する	288
連絡先に新規データを追加する	290
7 T-Connect	
7-1. T-Connect のサービス概要	
T-Connect とは	294
データ通信に関する留意事項... ...	295
7-2. T-Connect の利用手続き	
T-Connect を契約する	298
T-Connect を利用する	299
T-Connect を解約する	302
7-3. ヘルプネット（エアバッグ連動タイプ）	
ヘルプネットについて	304
各部の名称とはたらき	306
安全のために	307
ヘルプネットをお使いになる前に	309
緊急通報をする	310
保守点検をする	314
表示灯について	317
緊急通報できない場合について	319
故障とお考えになる前に	321
7-4. リモートメンテナンスサービス	
リモートメンテナンスサービスについて	322
7-5. Web ブラウザ	
Web ブラウザ機能（インターネット）について	323
Web ブラウザ画面を表示する..	324
Web ブラウザ画面を操作する..	325
8 駐車支援システム	
8-1. パノラミックビューモニター	
パノラミックビューモニターの機能とはたらき	332
パノラミックビュー＆フロントビューについて	336
両サイドビューについて	338
パノラミックビュー＆バックビューについて	342
パノラミックビューモニターの注意点.....	349

9 付録

9-1. 付録

メディア／データについての 情報	364
認証・商標についての情報.....	374
さくいん	375

知っておいていただきたいこと

マルチメディア取扱説明書

- 本書は、マルチメディアシステムの取り扱いを説明しています。車両本体の「取扱説明書」と併せてお読みください。
- トヨタ販売店で取り付けられた装備（販売店装着オプション）の取り扱いについては、その商品に付属の取扱説明書をお読みください。
- 本書では、ナビゲーション機能が組み込まれているマルチメディアシステムを車載ナビ、センター通信型のナビゲーション機能をコネクティッドナビと説明しています。詳細は、「**コネクティッドナビ**」(→ P.138)をご覧ください。
- 本書の内容は、仕様変更やソフトウェアの更新などによりお車と一致しない場合があります。あらかじめご了承ください。
- 本書では、システムのソフトウェアバージョン Ver.2133までの情報を記載しています。最新情報については、下記 URL から確認することができます。ご使用前には必ずソフトウェアバージョンにあった最新情報を読みください。本機のソフトウェアバージョンの確認方法は、「**ソフトウェア情報の確認や更新をする**」(→ P.72)をご覧ください。
 - URL:
<https://toyota.jp/dop/navi/update/software/>
 - QR コード:



- 本書の画面と実際の画面は、装備、契約の有無、地図データの作成時期などによって異なります。
- 本書に記載されている会社名や商品などは、各社の商標および登録商標です。

データの補償に関する免責事項について

マルチメディアシステムは各種データを内蔵メモリーに保存します。マルチメディアシステムの故障、修理、誤作動、不具合などにより、メモリーに保存されたデータなどが変化、消失することがあります。

お客様がメモリーに保存されたデータについて、正常に保存できなかった場合や損失した場合のデータの補償、および直接または間接の損害に対して、当社は一切の責任を負いません。あらかじめご了承ください。

ダイアグレコーダーについて

お車の万一の故障発生に備えて、回転数や冷却水温度などの故障診断に有用な情報を T-Connect システム内に常時記録します。

12V バッテリーの取りはずしについて

マルチメディアシステムはエンジンスイッチを OFF にすることに、各種データをマルチメディアシステムに保存しています。各種データの保存が終わる前に 12V バッテリーターミナルを取りはずすと、データが正常に保存できないことがあります。

動作確認済み携帯電話について

動作確認済み携帯電話については、下記 URL をご確認ください。

- URL:

<https://g-book.com/pc/etc/faq/mobile/n/top.html>

- QR コード:



□ 知識

- 動作確認は、一定の条件下で確認したものであり、スマートフォン側の設定条件などにより、同じ機種であっても接続できないことがあるため、すべての端末について結果を保証するものではありません。予告なく情報が変更になる場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- 本動作確認は一部のスマートフォンに対して行ったものであり、掲載されていないスマートフォンなど（格安 SIM 含む）については動作確認を行っておりません。本確認結果は特にマルチメディアシステムとスマートフォンの接続に関するものであり、通話品質、データの通信能力、アプリの動作など、携帯電話すべての機能を評価保証するものではありません。

安全にお使いいただくため

安全のため、次の内容にしたがってお使いください。

ナビゲーションは、目的地に到着するまでのサポートをするものです。運転者には、安全運転をして乗員の安全を守る全責任があります。

安全運転をさまたげるような使い方はしないでください。運転中は常に交通規則にしたがって安全運転を心がけてください。

運転中は、音声案内に従い、安全な状況でのみ少しのあいだだけ画面を見るようにしてください。ただし、音声案内にすべてを頼るのではなく、あくまでも参考としてください。正常に自車位置を特定できない場合、音声案内が誤っていたり、遅れたり、音声案内されないことがあります。

システム内のデータは不完全な場合があります。運転規制（左折禁止や通行止め）などの道路状況はひんぱんに変更されます。そのため、指示に従う前に、指示の内容が安全かつ合法であるか確認してください。

▲ 警告

- 安全のため、運転中は運転者がシステムを操作しないでください。道路や交通への注意が不十分な場合、事故を引き起こす可能性があります。
- 運転中は、必ず交通規制を遵守し道路状況に注意してください。道路の交通標識が変更された場合、一方通行指示などの情報がルート案内に反映されない場合があります。

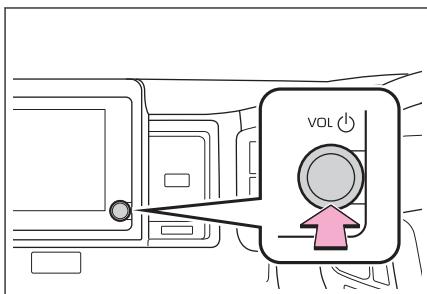
本書の見方

本書で使用している記号について説明します。

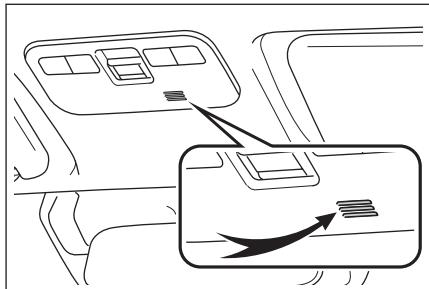
本文の記号について

記号	意味
	警告：お守りいただかないと、お客様自身と周囲の人々が死亡、または重大な傷害につながるおそれがあることを説明しています。
	注意：お守りいただかないと、車や装備品の故障や破損につながるおそれがあることを説明しています。
1 2 3 ...	操作や作業の手順を示しています。
	知識：機能や操作方法の説明以外で知っておいていただきたい、知っておくと便利なことを説明しています。

イラスト上の記号について



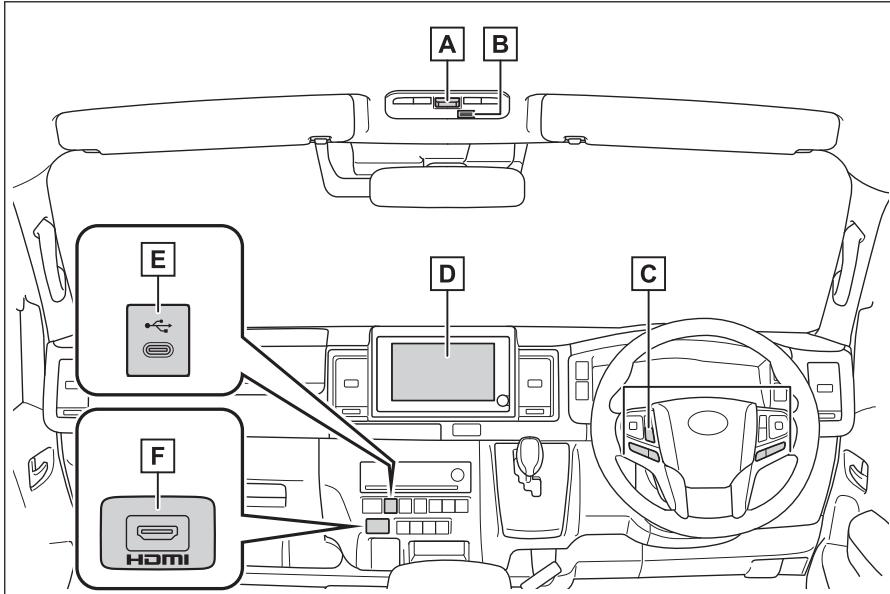
記号	意味
	押す、まわすなどの操作を示しています。



記号	意味
↗	説明の対象となるものや場所を示しています。

イラスト目次

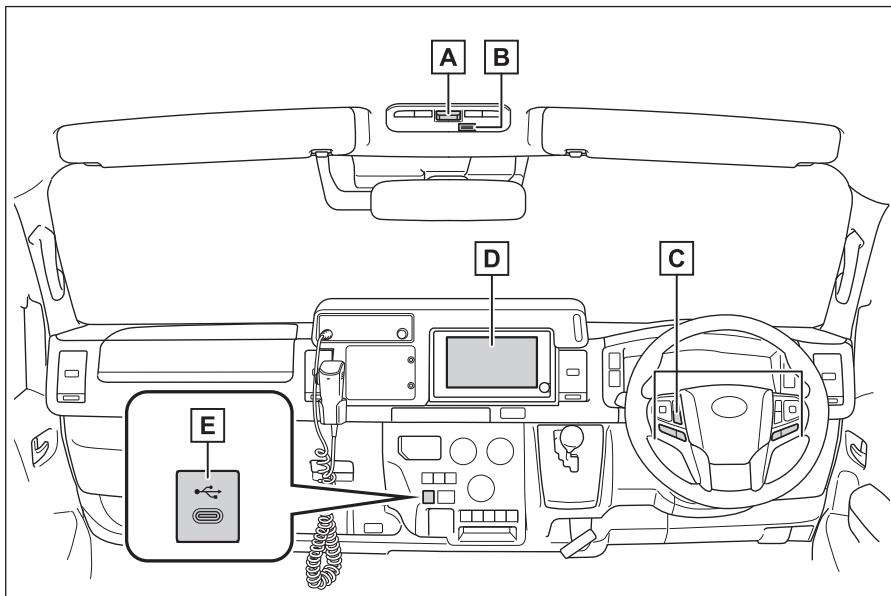
インストルメントパネル（HIACE）



A ヘルプネットスイッチ	P.306
B マイク	P.45,259,306
C ステアリングスイッチ オーディオを操作する	P.36,38
音声操作システムを使用する	P.46
電話をかける	P.265
D ディスプレイ	P.16
E USB Type-C 端子	P.41
F HDMI 端子★	P.43

★: グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

インストルメントパネル（トヨタ救急車／トヨタ救急車“ハイメディック”）



- A ヘルプネットスイッチ** P.306
- B マイク** P.45,259,306
- C ステアリングスイッチ**
 - オーディオを操作する P.36,38
 - 音声操作システムを使用する P.46
 - 電話をかける P.265
- D ディスプレイ** P.16
- E USB Type-C 端子** P.41

1-1. マルチメディアシステムの基本操作

ディスプレイと操作スイッチ	16
マルチメディア画面の概要	18
メインメニュー	19
ステータスアイコンの見方	21
タッチスクリーンの操作	23
画面の基本操作	26
文字や数字の入力	28

1-2. ナビゲーションの基本操作

地図画面表示	30
車の現在地の表示	32
地図のスケール（縮尺）の切りかえ	33
地図の向きの切りかえ	34
地図の動かし方	35

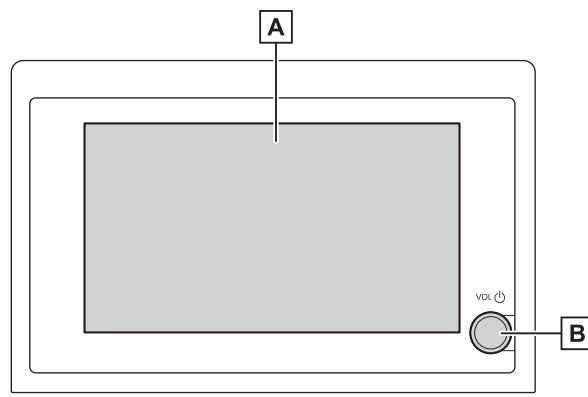
1-3. オーディオの基本操作

オーディオシステムの ON/OFF と音量を調整する	36
オーディオのソースを変更する	38
ソース選択画面のリストの配置を変更する	40
USB 機器を接続する	41
HDMI 機器を接続する	43

1-4. エージェント（音声対話サービス）

音声で操作する	44
音声操作を開始する	46
音声コマンドを発話する	48
キーボードで情報を検索する	52

ディスプレイと操作スイッチ



A ディスプレイ

タッチスクリーンを指で直接ふれて操作します。

B POWER/VOLUME ノブ

オーディオの ON/OFF や音量を調整できます。([→ P.36](#))

□ 知識

- 液晶画面は、周囲環境や見る方向により画面が白っぽく見えたり、黒っぽく見えたりします。
- 太陽の光などの外光が画面にあたると画面が見にくくなります。
- 偏光レンズを使用したサングラスなどを装着すると、画面が暗く見えたり、見にくくなったりします。

▲ 警告

安全のため、運転者は走行中に極力操作をせず、停車させてから操作をしてください。走行中の操作はハンドル操作を誤るなど思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。なお、走行中に画面を見ときは、必要最小限の時間にしてください。

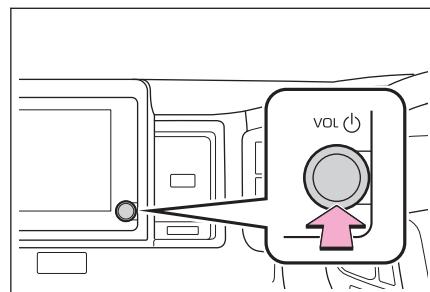
△ 注意

エンジンが停止した状態でマルチメディアシステムを長時間使用しないでください。12V バッテリーがあがるおそれがあります。

システムを再起動する

システムの応答が非常に遅い場合、システムを再起動できます。

- POWER/VOLUME ノブを 3 秒以上押し続けます。



マルチメディア画面の概要



A メインメニュー

アイコンを選択して画面に表示する機能を切りかえることができます。

B マイクボタン

音声認識画面が表示され、音声でナビゲーションやオーディオなどさまざまな機能を操作できます。

C ステータスアイコン

時計や各種通信状況などの情報アイコンが表示されます。

——関連リンク——

[メインメニュー \(P.19\)](#)

[音声操作を開始する \(P.46\)](#)

[ステータスアイコンの見方 \(P.21\)](#)

メインメニュー

アイコンを選択して画面に表示する機能を切りかえることができます。



: Apple CarPlay[®]

Apple CarPlay 画面を表示します。Apple CarPlay のアイコンは、対応機器を接続して機能を有効にすると表示されます。[\(→ P.125,128\)](#)



: Android Auto[™]

Android Auto 画面を表示します。Android Auto のアイコンは、対応機器を接続して機能を有効にすると表示されます。[\(→ P.131\)](#)



: ナビゲーション

地図画面を表示します。目的地検索などナビゲーションに関する操作を行うことができます。^{*1}[\(→ P.30,137\)](#)



: オーディオ

オーディオ操作画面を表示します。お好みのオーディオソースを選択して再生できます。[\(→ P.36,209\)](#)



: 電話

電話画面を表示します。Bluetooth[®]接続した携帯電話を使用してハンズフリー通話を行うことができます。[\(→ P.257\)](#)



: 車両連携

車両情報画面を表示します。燃費などの車両情報の表示や車両装備の設定を行うことができます。^{*2}



: コネクティッド

*1: 車載ナビ装着車またはコネクティッドナビ利用時

*2: 詳細は、別冊「取扱説明書」をご覧ください。

アプリケーション画面を表示します。



: 設定

設定画面を表示します。マルチメディアシステムや車両の各種設定を変更できます。[\(→ P.59\)](#)

知識

ナビゲーションアイコンは、AppleCarPlay 地図アプリのルート案内中も表示されます。

ステータスアイコンの見方

時計や各種通信状況などの情報アイコンが表示されます。



4:12

現在の時刻が表示されます。時計にタッチすると、日付や時刻の設定画面を表示できます。



Bluetooth[®]接続されている携帯電話の接続状態が表示されます。アイコンにタッチすると、Bluetooth[®]機器の設定画面を表示できます。



接続されている携帯電話の受信レベルが表示されます。



接続されている携帯電話の電池残量が表示されます。



通信モジュール（DCM）の受信状態が表示されます。



Wi-Fi Hotspot の接続状況が表示されます。



クリアランスソナーが作動している場合に表示されます。★

★: グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

□ 知識

- 携帯電話の電池残量表示は携帯電話の表示と一致しないことがあります。また、機種によっては、電池残量の表示ができないことがあります。
- 次のような場所や状態で携帯電話を使用すると、Bluetooth®接続ができないことがあります。
 - 携帯電話がシートのうしろや下にあるとき、コンソールボックスの中にあるとき
 - 携帯電話が金属製のものに接していたり、覆われていたりするとき
- 携帯電話を省電力モードに設定していると、自動的に Bluetooth®接続が切断されてしまうことがあります。この場合は、携帯電話の省電力モードを解除してください。

—— 関連リンク ——

[マルチメディアシステムの共通設定を変更する \(P.65\)](#)

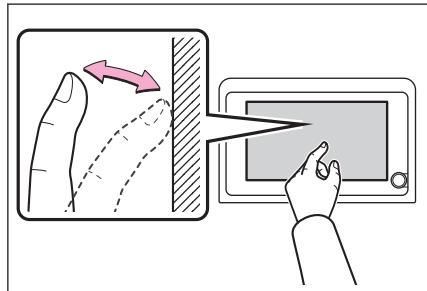
[Bluetooth®機器を設定する \(P.100\)](#)

タッチスクリーンの操作

画面を指で直接ふれて操作します。

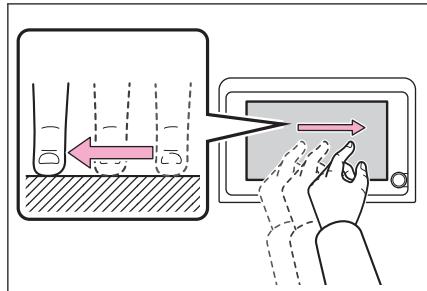
■ タッチ

画面を指で軽くタッチします。画面内の項目を選択できます。



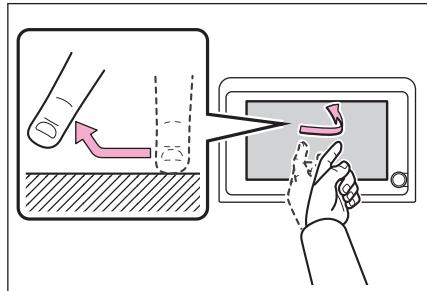
■ ドラッグ

画面にふれたまま指を動かします。リスト画面や地図画面を指を動かした分だけスクロールできます。



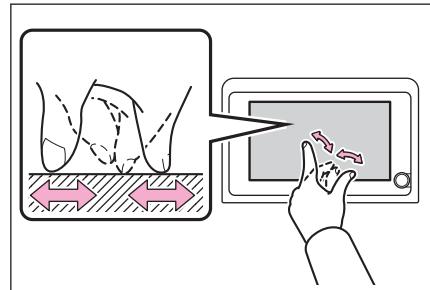
■ フリック

画面にふれた指先を素早く払います。リスト画面や地図画面を大きくスクロールできます。



■ ピンチイン／ピンチアウト

画面にふれた2本の指を広げたり近づけたりします。地図の拡大や縮小を行うことができます。



□ 知識

- 一部の機能において、長押し（画面にタッチし続ける）やダブルタップ（画面に素早く2回タッチする）が必要な操作があります。
- 画面をタッチするときの感度レベルを変更できます。
- 画面のボタンにタッチしたときの応答音出力の有無を変更できます。
- フリック操作は、標高の高い場所ではスムーズに操作できないことがあります。
- 走行中は操作が制限されます。

——関連リンク——

[マルチメディアシステムの共通設定を変更する \(P.65\)](#)

タッチスクリーン操作上の留意事項

□ 知識

- タッチスクリーン操作の反応がないときは、一度画面から手を離して再度操作をしてください。
- 次の場合、タッチスクリーン操作が反応しなかったり、誤作動することがあります。
 - 手袋などを装着しているとき
 - 爪で操作したとき
 - 他の指や手のひらが画面にふれているとき
 - 画面に汚れや水分が付着しているとき
 - 画面にフィルムなどを貼ったり、塗装などをしたとき
 - 近くにテレビ塔や発電所、ガソリンスタンド、放送局、大型ディスプレイ、空港など、強い電波やノイズを発生する場所があるとき
 - 無線機や携帯電話などの無線通信機器を携帯しているとき、または車内で充電しているとき

- 画面に次のような金属製のものが接していたり、覆われていたりしている場合、タッチスクリーン操作が反応しなかったり、誤作動することがあります。
 - アルミ箔などの金属の貼られたカード
 - アルミ箔を使用したタバコの箱
 - 財布やかばんの金属部品
 - 小銭
 - CD/DVD などのメディア、USB Type-C ケーブルなど
- 画面に手がふれた状態でシステムを起動すると、タッチスクリーン操作が反応しないことがあります。画面から手を離し再度操作をしてください。それでも反応しない場合は、エンジンスイッチを OFF にし、再度システムを起動してください。
- Apple CarPlay のマップアプリはピンチイン／ピンチアウト機能に対応していません。

△ 注意

- 画面保護のため、指を軽く画面にふれてタッチスクリーンを操作してください。
- 指以外のものでタッチスクリーンを操作しないでください。
- 画面の汚れは、メガネ用クリーニングクロスなどのやわらかく乾いた布で軽くふき取ってください。手で強く押したり、かたい布などでこすったりすると表面に傷がつくことがあります。
- ベンジンやアルカリ性溶液などを使用して画面を清掃しないでください。画面が損傷するおそれがあります。
- 条件によって画面表面が熱くなることがあります。長時間ふれ続けると低温やけどを起こす可能性があります。

画面の基本操作

設定画面や楽曲検索など、複数の候補がある場合にリスト画面が表示されます。リストをスクロールして希望の項目を選択します。



A メインメニュー

アイコンを選択して画面に表示する機能を切りかえることができます。

B サブメニュー

項目がリストで表示されます。ドラッグまたはフリック操作でリストをスクロールできます。

C メインエリア

サブメニューで選択した項目の詳細情報が表示されます。

D 戻るボタン／画面タイトル

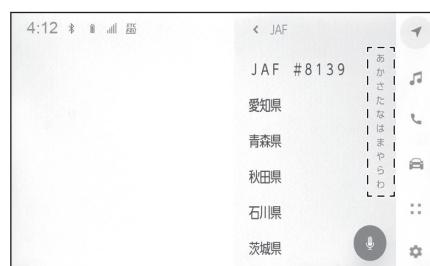
画面タイトルが階層表示されます。[<]にタッチすると前の画面に戻ることができます。

□ 知識

走行中は操作が制限されます。

■ リストの検索

インデックスの文字にタッチすると、リストの中から希望の項目を表示できます。



■ 設定の ON/OFF 切りかえ

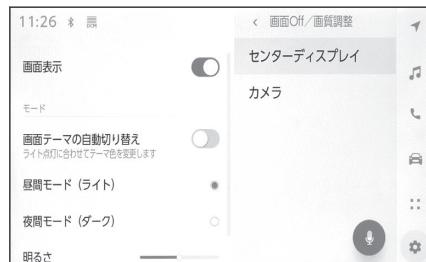
項目にタッチすると、設定の ON/OFF が切りかわります。



: ON

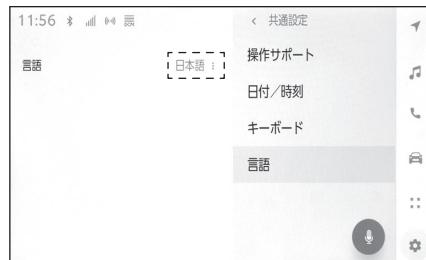


: OFF



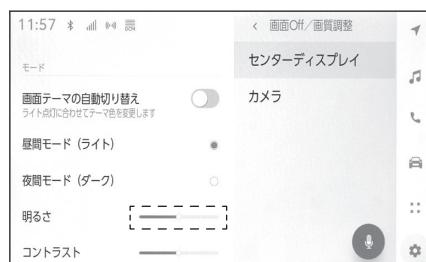
■ 複数オプションの設定項目

[⋮] が付いた項目にタッチすると、複数のオプションから項目を選択できます。



■ レベル調整

スライダーをドラッグして項目のレベルを調整できます。



—— 関連リンク ——

[メインメニュー \(P.19\)](#)

文字や数字の入力

キーボードを使用して、文字や数字を入力できます。文字を入力すると、あとに続く文字を予測して変換候補が表示されます。

▶ 画面例（日本語入力）



▶ 画面例（英字入力）



◀ / ✕ : キーボードを終了して前の画面にもどります。

◀ ▶ : カーソルを移動します。

••• : 表示されている以外の予測変換候補を表示します。

✖ : 1つ前の文字を消去します。



: キーボードの種類を切りかえます。



: 大文字と小文字を切りかえます。

[検索]: 入力した文字を確定して検索を実行します。



: キーボードを閉じます。



: 数字や記号の入力モードに切りかえます。



: 英字の入力モードに切りかえます。

□ 知識

- 機能により、表示されるキーボードの種類が異なります。
- []を長押しすると、キーボードの種類を直接選ぶことができます。
- []をダブルタップすると、入力する文字を大文字に固定することができます。

地図画面表示

地図画面上に表示される情報の説明および役割を説明します。地図画面を表示するには、メインメニューの[]にタッチします。



A 自車位置マーク

現在位置と車が向いている方角を表示します。

B レーン（車線）表示

通過および分岐する交差点の車線を表示します。（地図データに情報のある交差点のみ）

目的地案内中は走行を推奨する車線がハイライト表示されます。

C 名称表示

走行している道路の名称を表示します。（地図データに情報のある地点のみ）

D スケール表示

表示させている地図の縮尺を表示します。

E 方位マーク

地図の方角を表示します。タッチすると地図の向きが切りかわります。

F 拡大／縮小ボタン

地図の表示を拡大／縮小します。

G 表示設定ボタン

地図オプション画面を表示し、施設記号や交通情報など地図上に表示する情報を変更することができます。

H 目的地ボタン

目的地の検索画面を表示します。

I マイクボタン

音声操作画面を表示します。

 知識

本書で使用している地図画面は、一部の説明を除き、VICS 非表示の画面を使用しています。

—— 関連リンク ——

[車の現在地の表示 \(P.32\)](#)

[地図の向きの切り替え \(P.34\)](#)

[地図表示設定 \(P.144\)](#)

[目的地検索について \(P.152\)](#)

[音声で操作する \(P.44\)](#)

車の現在地の表示

現在地は自車位置マーク[Ⓐ]で表示されます。

地図画面をスクロールしたとき、[Ⓐ]またはメインメニューの[↑]にタッチすると、現在地に戻ります。



□ 知識

- 走行中は表示される道路が制限されます。(幅 5.5m 未満の道路などは表示されません。) ただし、幅 5.5m 未満の道路を走行したときなどは、必要に応じて表示されます。
- 新車時、およびバッテリーターミナルを脱着したあとは、実際の現在地と異なる場所に自車位置マーク[Ⓐ]が表示されている（自車位置マーク[Ⓐ]がずれている）ことがあります。ただし、地図の自車位置マーク[Ⓐ]がずれても、しばらく走行すると、マップマッチングや GPS 情報を利用して、現在地が自動的に修正されます。（場合によっては、数分程度かかることがあります。）GPS 情報が利用できず、現在地が自動的に修正されないときは、安全な場所にいったん停車して、現在地の修正を行ってください。
- 地図色によって自車位置マーク[Ⓐ]の形状は変わります。
- 地図データに情報がないときは、路線名／路線番号は表示されません。

——関連リンク——

[現在地を修正する \(P.84\)](#)

地図のスケール（縮尺）の切りかえ

地図画面上の[+]または[-]にタッチして、地図を拡大／縮小することができます。

- 以下の操作でも地図を拡大／縮小することができます。
 - ピンチイン／ピンチアウト操作
 - ダブルタップで拡大：画面に素早く2回タッチ
 - タッチで縮小：画面に2本指を揃えてタッチ
- [+]／[-]を長押しすると無段階に縮尺が切りかわります。



——関連リンク——

[タッチスクリーンの操作 \(P.23\)](#)

市街図の表示

地図を拡大したときに、市街図を表示させることができます。

スケール表示が50mのとき[+]にタッチします。

市街図表示を解除するときは、[-]にタッチ、または画面のピンチイン操作をします。

□ 知識

- 地図データに情報がないときは、市街図は表示されません。
- 市街図がない地域に地図または現在地を移動させると、市街図表示は自動的に解除されます。

地図の向きの切りかえ

車の進行方向に合わせて地図の向きを切りかえることができます。お好みに合わせて変更してください。

地図画面上の[]にタッチするごとに、ノースアップ表示、ヘディングアップ表示または3D表示に切りかわります。



: ノースアップ表示

車の進行方向に関係なく、つねに北が上になるように地図を表示します。



: ヘディングアップ表示

車の進行方向がつねに上向きになるように地図を表示します。



: 3D 表示

地図を立体的に表示させることができます。3D表示に切りかえているときは、車の進行方向がつねに上向きになるように地図を表示します。

□ 知識

- 3D表示の角度を調整することができます。
- ヘディングアップ表示と3D表示は、目的地の設定で呼び出した地図や全ルート図表示画面などの現在地画面以外の地図にするとノースアップ表示になりますが、現在地画面にするとヘディングアップ表示または3D表示に戻ります。

—— 関連リンク ——

[俯角設定 \(P.77\)](#)

地図の動かし方

タッチした地点が画面の中心になるように地図を動かすことができます。

地図上の地点にタッチします。

- タッチした地点が画面の中心になるように移動します。
- タッチした地点に施設情報がある場合は詳細が表示されます。
- 地図をスクロールして任意の地点で [+] にタッチすると、新規目的地／経由地として設定することができます。
- 地図をスクロールして任意の地点で [?] にタッチすると、お気に入りに登録することができます。
- [Ⓐ] またはメインメニューの [↶] にタッチすると、現在地に戻ります。



知識

画面のフリック操作やドラッグ操作で地図を移動させることもできます。

関連リンク

[タッチスクリーンの操作 \(P.23\)](#)

[地図の向きの切り替え \(P.34\)](#)

[地点情報を表示する \(P.140\)](#)

オーディオシステムの ON/OFF と音量を調整する

オーディオを使用しないときに OFF にしたり、適度な音量に調整できます。エンジンスイッチが ACC^{*1} または ON のときに使用できます。

□ 知識

■ ACC カスタマイズ★が「OFF」のとき

エンジンスイッチが OFF の状態でも、節電機能が働くまでの一定時間はマルチメディアシステムが使用できます。マルチメディアシステムの電源を OFF にしたいときは次のいずれかの操作を行ってください。

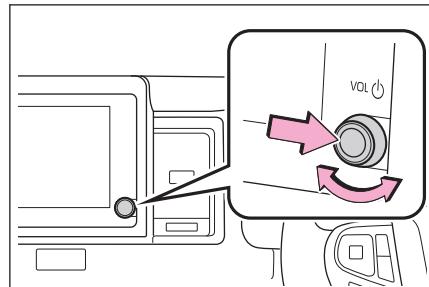
- POWER/VOLUME ノブを押す
- 運転席のドアを開ける

△ 注意

- エンジンがかかっていない状態でマルチメディアシステムを長時間使用しないでください。バッテリーがあがるおそれがあります。
- 安全運転に支障がないように適度な音量でお聞きください。

■ POWER/VOLUME ノブで操作する

押すたびに ON/OFF が切りかわります。まわすと音量が切りかわります。



^{*1}: カスタマイズメニューから ACC カスタマイズの ON/OFF を切りかえることができます。詳細は、別冊「取扱説明書」をご覧ください。

★: グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

■ ステアリングスイッチで操作する

[+]スイッチ

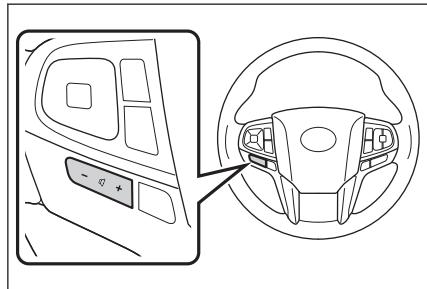
音量を大きくします。

押し続けると、連続して調整できます。

[-]スイッチ

音量を小さくします。

押し続けると、連続して調整できます。



オーディオのソースを変更する

ラジオや USB などのソースを変更できます。

- 1 メインメニューの[♪]にタッチします。
- 2 [オーディオ選択]にタッチします。
- 3 希望のソースにタッチします。



□ 知識

- 次のときは、ボタンが操作できません。
 - USB Type-C 端子に機器が接続されていないとき（USB モード）
 - HDMI 端子に機器が接続されていないとき（HDMI モード）
- オーディオを聞いているときに、車内または車の近くで携帯電話を使用すると、オーディオのスピーカーからノイズ（雑音）が聞こえることがあります。
- Apple CarPlay の接続方法によっては、次の機能は利用できません。
 - iPod
 - USB オーディオまたは USB ビデオ
 - Bluetooth® オーディオ
 - Miracast®
 - Android Auto
- Android Auto を接続しているときは、次の機能を利用できません。
 - iPod
 - USB オーディオまたは USB ビデオ
 - Apple CarPlay

ステアリングスイッチでソースを変更する

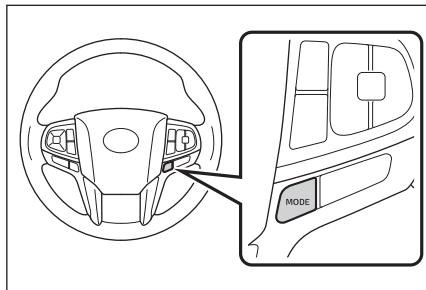
ステアリングスイッチでソースの変更ができます。

[MODE]スイッチ

ソースが順番に切りかわります。

押し続けると一時停止または消音します。再度押し続けると解除します。

ソース選択画面のボタンの配置を変更すると、切りかわる順番もかわります。



ソース選択画面のリストの配置を変更する

操作しやすいうようにリストの配置を変更できます。

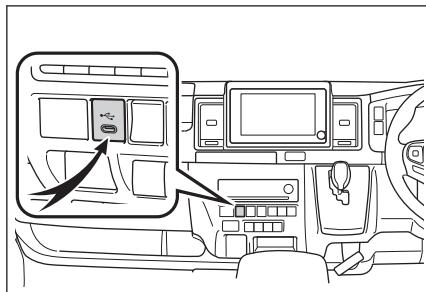
- 1 メインメニューの[]にタッチします。
- 2 [オーディオ選択]にタッチします。
- 3 配置を変更したいソース右側の
[]をドラッグ操作してリストを
変更します。



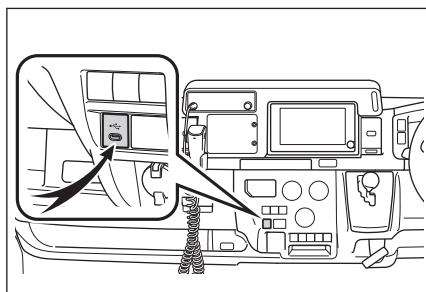
USB 機器を接続する

スマートフォンやポータブルプレーヤーなどの機器を接続できます。

- USB Type-C ケーブル ▶ HIACE を端子に接続します。



▶ トヨタ救急車／トヨタ救急車“ハイメディック”



USB メモリーを接続するときは USB Type-C 端子に直接接続してください。

□ 知識

- お使いの機器によっては、視聴できない場合があります。
- USB ハブを使用して複数の機器を接続した場合、最初に認識された機器以外は使用できません。
- USB Type-C ケーブルおよび接続する機器の取扱説明書をご覧ください。
- 接続する機器の電源は、機器に付属のバッテリーなどを使用してください。車に装着されているアクセサリーソケットを使用すると、雑音が出ることがあります。アクセサリーソケットについては、別冊「取扱説明書」をご覧ください。

⚠ 注意

- 接続する機器の形状によっては、周辺部品と干渉し、本体もしくは接続機器が破損するおそれがあります。
- 接続中に機器を押さえたり、不必要的圧力を加えたりしないでください。機器や端子が破損するおそれがあります。

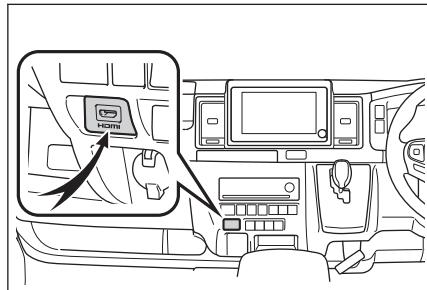
 注意

- 端子に異物を入れないでください。機器や端子が破損するおそれがあります。

HDMI 機器を接続する★

HDMI 入力端子には、HDMI 出力に対応した機器を接続できます。

- HDMI ケーブルを HDMI 端子に接続します。



□ 知識

- お使いの機器によっては、視聴できない場合があります。
- HDMI ケーブルおよび接続する機器の取扱説明書をご覧ください。
- 接続する機器の電源は、機器に付属のバッテリーなどを使用してください。車に装着されているアクセサリーソケットを使用すると、雑音が出ることがあります。アクセサリーソケットについては、別冊「取扱説明書」をご覧ください

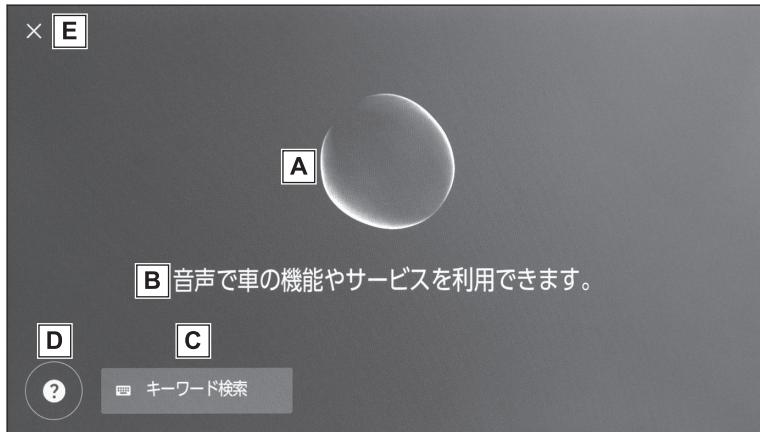
⚠ 注意

- 接続する機器の形状によっては、周辺部品と干渉し、本体もしくは接続機器が破損するおそれがあります。
- 接続中に外部機器を押さえたり、不必要な圧力を加えたりしないでください。外部機器や端子が破損するおそれがあります。
- 端子に異物を入れないでください。外部機器や端子が破損するおそれがあります。

★: グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

音声で操作する

エージェント（音声対話サービス）を使用して、ナビゲーションやオーディオ、ハンズフリー電話といったさまざまな機能を、音声で操作できます。T-Connectをご利用の場合は、クラウド上のコンテンツを活用した情報検索を行うこともできます。



A 音声認識ステータスが表示されます。



: 発話待ち



: 聞き取り中



: 音声認識処理中

B 音声操作システムの応答や認識結果がテキストで表示されます。

C キーボード画面を表示します。

キーボードを使用してさまざまな情報を検索できます。

D 音声操作の発話例がリストで表示されます。

音声操作でよく使用される発話の一例を、機能ごとに確認できます。

E 音声操作画面を閉じます。

□ 知識

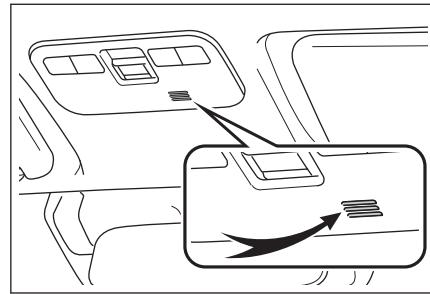
- T-Connect の接続状況によって、画面右上に以下のメッセージが表示されることがあります。
 - 「オンラインサービスはご利用できません」：T-Connect 契約をしていない。
 - 「インターネットに接続していません」：インターネットに接続できない。
- 運転中は、音声操作画面がバナーで表示されます。

—— 関連リンク ——

[キーボードで情報を検索する \(P.52\)](#)

マイク位置

マイクは音声コマンドを発話するときに使用します。



対応言語

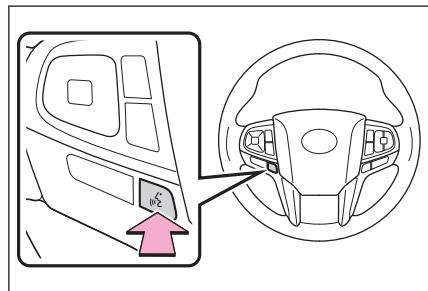
エージェント（音声対話サービス）の対応言語は日本語のみです。

音声操作を開始する

次のいずれかの操作で音声操作をはじめることができます。

■ トーカスイッチを押す

ステアリングスイッチの[]スイッチ（トーカスイッチ）を押します。



■ マイクボタンにタッチする

画面の[]にタッチします。



□ 知識

- 運転席から音声操作を行うことができます。
- エージェント（音声対話サービス）は、正しく発話しないと認識されないことがあります。次の点にご留意の上、ご使用ください。
 - ハッキリした声で発話してください。
 - 韻音（風切り音や外部の音）などにより正しく認識されることがあるため、窓を閉めてください。
 - エアコンの送風音が大きいときは、正しく認識されないことがあるため、風量を下げてください。
 - 音楽が大音量で再生されているときは、正しく認識されることがあるため、音量を下げてください。
 - 複数人で同時に話すと認識されないことがあります。
- 音声ガイドの途中でも音声コマンドを発話できます。
- 音声ガイドの ON/OFF は音声操作設定画面で変更できます。
- エージェント（音声対話サービス）の音声ガイドの音量は次の方法で調整できます。

- 音声ガイド中にオーディオシステムの音量を調整する。
- [音声＆オーディオ]設定画面の[システム音量]を調整する。

—— 関連リンク ———

[音声操作の設定を変更する \(P.69\)](#)

[サウンドやメディアの設定を変更する \(P.91\)](#)

音声操作を終了する

次のいずれかの操作で音声操作を終了します。

- 「キャンセル」と発話します。
- 音声操作画面の[X]にタッチします。
- ステアリングスイッチの[]スイッチを押し続けます。

音声コマンドを発話する

音声操作画面が表示されたら音声コマンドを発話してください。システムは自然な発話を認識できます。



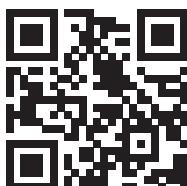
□ 知識

- 方言や言い方の違いなどにより正しく認識されないことがあります。
- 地名や施設を検索するときに、エージェント（音声対話サービス）が通称や略称を認識しない場合は、正式名称でお話しください。
- 何をどうしたいかがわかるように発話すると、エージェント（音声対話サービス）が発話を認識しやすくなります。たとえば目的地を名称で検索する場合、名称のみを発話するのではなく、「近くの喫茶店に行きたい」のように名称と動詞を含めて発話してください。

機能一覧

音声で操作ができる主な機能と発話例の一覧です。

使用できる機能は、車両や搭載されるシステムによって異なる場合があります。音声操作の発話例については、Web サイト (<https://toyota.jp/tconnectservice/service/agent.html>) もご覧ください。



■ 共通コマンド

動作	発話例
最初からやり直す	「最初からやり直す」
音声操作を終了する	「キャンセル」
音声操作のヒントを聞く	「ヘルプ」
前の画面に戻る	「戻る」
リストの番号を選択する	「1番目」
リストを次のページ／前のページに送る	「次のページ」「前のページ」

■ 目的地検索^{*1}

目的地を施設の名称やジャンル、住所から設定することができます。

動作	発話例
目的地を名称で検索する	「<施設のカテゴリ／施設名称>を探して」「近くの喫茶店に行きたい」
クラウド情報をを利用して施設を検索する ^{*2}	「駐車場があるコンビニを探して」
目的地を住所で検索する	「<住所>に行きたい」
自宅を目的地に設定する	「自宅へ戻る」

■ ナビゲーション操作^{*1}

地図の操作や目的地の削除などができます。

動作	発話例
地図のタイプを変更する	「地図を3Dに変更」
地図を拡大／縮小する	「地図を拡大して」「地図を縮小して」
地図を表示する	「地図を見せて」
目的地までの所要時間を聞く	「所要時間教えて」
目的地を削除する	「目的地を消して」
目的地の履歴を表示する	「目的地の履歴を見せて」
ETC料金を聞く	「ETCの料金教えて」

■ オーディオ操作

ラジオ、USBメモリー、Bluetooth[®]オーディオなどの操作ができます。

メディアに登録されているアーティスト名、アルバム名、曲名で指定できます。

*1: 車載ナビ装着車またはコネクティッドナビ利用時

*2: T-Connect契約が必要になります。

TV 局名やラジオ局名から指定することもできます。

動作	発話例
オーディオの音量を上げる／下げる	「音量を上げて」「音量を下げて」
オーディオをミュートする	「ミュートして」
次の曲／前の曲を再生する	「次の曲を再生」「前の曲を再生」
楽曲を指定して再生する ^{*1}	「<アーティスト名>の曲を再生」「<アルバム名>をかけて」「<楽曲名>を再生して」
ラジオを選局する	「FM<周波数>に合せて」「<放送局名>に変えて」
テレビのチャンネルを選局する★	「チャンネルを<TV 局名>に変えて」
オーディオソースを切りかえる	「<オーディオソース>に切りかえて」

■ ハンズフリー電話操作

車両に接続されている Bluetooth® 携帯電話で電話をかけることができます。

連絡先に登録されている名前、電話種別を指定できるほか、電話番号からかけることもできます。

動作	発話例
電話帳の連絡先に電話をかける	「<連絡先>に電話」
電話番号でかける	「<電話番号>にかけて」
発信／着信履歴を表示する	「電話履歴を表示」
Bluetooth® 接続画面を表示する	「Bluetooth 設定画面を表示して」

■ 情報検索サービス^{*2}

T-Connect のサービスを利用して情報を検索することができます。

動作	発話例
天気情報を聞く	「明日の東京の天気を教えて」
株価情報を聞く	「トヨタの株価を教えて」
ニュースを聞く	「スポーツのニュースを教えて」

■ 車両機器操作^{*2}

車両装備の操作ができます。

動作	発話例
カメラ映像を表示する	「サイドカメラ映像を表示して」「ワイドフロントビューを表示して」

*1: USB 接続した機器に登録されている楽曲が再生できます。

★: グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

*2: T-Connect 契約が必要になります。

動作	発話例
カメラ映像を切りかえる	「カメラ画像を切りかえて」

■ 車両情報

燃費や航続可能距離などの情報を確認することができます。

情報確認	発話例
燃費を聞く	「燃費を教えて」
航続可能距離を聞く	「走行可能距離を教えて」
平均車速を聞く	「平均車速を教えて」

キーボードで情報を検索する

キーボードを使ってさまざまな情報を検索できます。

- [キーワード検索]にタッチします。

検索履歴がある場合には履歴画面が表示され、履歴から選択できます。



- 検索したいジャンルを選択します。

[目的地]^{*1}: 住所／施設名／電話番号／エリア／通り名／交差点などを検索できます。

[オーディオ]: アルバム／アーティスト／曲名／プレイリスト／ジャンル／放送局名などを検索できます。

[電話]: 電話帳に登録されている名称／電話番号などを検索できます。

[車両]^{*2}: 車両情報を検索できます。

[設定]: オーディオ／電話／Bluetooth®機器などの設定項目を検索できます。

- 検索キーワードを入力し、[検索]にタッチします。



- 検索結果のリストが表示されたら、希望の項目にタッチします。

知識

- 走行中は操作が制限されます。
- Apple CarPlay/Android Auto を接続しているときは、検索を利用できません。

*1: 車載ナビ装着車またはコネクティッドナビ利用時

*2: グレードなどにより、表示されない場合があります。

2

各種設定および登録

2-1. マルチメディアシステムの初期設定	2-10. Wi-Fi®設定
ドライバーを登録する	Wi-Fi Hotspot を設定する
2-2. 各種設定	2-11. Bluetooth®設定
各種設定を変更する	Bluetooth®機器を設定する
2-3. ドライバー設定	
ドライバーの切りかえや登録をする	61
ドライバーの特定方法を設定する	63
2-4. 共通設定	
マルチメディアシステムの共通設定を変更する	65
2-5. 画面設定	
画面表示の設定を変更する	67
2-6. 音声操作設定	
音声操作の設定を変更する	69
2-7. 車両設定	
セキュリティ設定を変更する	70
ソフトウェア情報の確認や更新をする	72
2-8. ナビゲーション設定	
ナビゲーションの設定	75
地図表示設定をする	76
ルート設定をする	78
案内設定	81
その他設定	82
走行支援の設定	87
2-9. サウンド & メディア設定	
サウンドやメディアの設定を変更する	91
画面モードを切りかえる	95
画質を調整する	96
各ソースの音を調整する	97

ドライバーを登録する

マルチメディアシステムの初期設定として、オーナードライバーの登録を行い、ドライバー設定機能を有効にします。

ドライバー設定機能を利用することで、車両やマルチメディアのさまざまな設定をドライバーごとのマイセッティングとして保存できます。家族や友人など複数のドライバーで車両を利用する場合に、他のドライバーの設定を変更することなく車両を利用することができます。

ドライバー設定を利用しない場合は、ゲストドライバーモードで車両を使用できます。

ご利用には T-Connect 契約が必要です。

ドライバー設定について

車両やマルチメディアのさまざまな設定をドライバーごとのマイセッティングとして保存し、乗車時に呼び出すことができます。

- オーナードライバーを含む計 3 名までのマイセッティングを車両に登録できます。
- マイセッティングには次のような設定情報が保存されます。
 - 一部のマルチメディア設定：対象項目は各種設定画面に表示されている項目^{*1}(→ P.59)
 - 一部の車両設定：メーター表示や車両カスタマイズ設定など(センターに情報は保存されません。)
- 設定を変更すると、現在の設定情報が自動的に保存されます。
- マイセッティングを登録することにより、検索履歴や個人設定などのプライバシー情報を守ることができます。
- ドライバーを特定するための機器を登録することで、乗車の際、自動的にマイセッティングを呼び出すことができます。登録する機器は、スマートフォンやスマートキーなどから選択できます。

■ TOYOTA アカウントの連携

- ドライバー設定のご利用には有効な TOYOTA アカウントが必要です。
- スマートフォンアプリ「My TOYOTA+」を使用して TOYOTA アカウントでログインすることで、T-Connect スタンダード (22) を契約している車両であれば、センターから同じマイセッティングを呼び出すことができます。
- 登録したドライバーネームは、スマートフォンアプリ「My TOYOTA+」で確認や変更ができます。
- オーナーとして登録されているドライバーは、車両に登録されたすべてのマイセッティングを削除できます。オーナー以外のドライバーは、オーナーのマイセッティングを削除できません。
- 同じマイセッティングを別の車両で同時に使用できません。

*1: ただし、一部項目は対象外です。詳細はトヨタ販売店にお問い合わせください。

- 一部のマルチメディア設定を変更すると、センターに保存されているマイセッティングが自動更新され、更新を知らせる画面が表示されます。
- 一部のマルチメディア設定はセンターに保存され、ドライバーを削除してもセンターに保存されたマイセッティングは削除されません。TOYOTA アカウントを削除した場合は、センターに保存されたマイセッティングの情報は削除されます。

—— 関連リンク ——

[ドライバーの特定方法を設定する \(P.63\)](#)

オーナードライバーを登録してドライバー設定機能を有効にする

ドライバー設定のご利用には有効な TOYOTA アカウントが必要です。

- エンジンスイッチを ACC または ON にしたときに、言語選択画面が表示されたら希望の言語にタッチします。

ドライバー登録を行う際の表示言語を選択します。ドライバー登録完了後、システム言語はデフォルト言語に戻ります。



- スマートフォンアプリ「My TOYOTA+」を使ってドライバーを登録する場合は、[登録する] にタッチします。

- スマートフォンアプリ「My TOYOTA+」を持っていない場合は、[アプリのダウンロード] にタッチして、画面の QR コードからアプリをダウンロードしてください。



- [確認しました]にタッチします。
 - センターに保存されているドライバー設定を使用するか、車両の設定を使用するかを選択する画面が表示される場合があります。表示された場合は、どちらの設定を使用するかを選択します。
 - 登録が完了するとメッセージが表示されマイセッティングが保存されます。
- ドライバー登録後、ドライバーを認識するための機器登録を行います。設定を続ける場合は[続ける]にタッチします。

機器の登録はあとから行うこともできます。

- 6 ドライバー設定画面で機器を登録します。ドライバーを特定するための機器を登録することで、自動的にマイセッティングを呼び出すことができます。



- スマートフォンやスマートキーなど、希望の機器をマイセッティングに登録できます。
- 複数の機器をマイセッティングに登録できます。

□ 知識

- ドライバー登録完了後、システム言語はセンターに保存された言語になります。初回はデフォルト言語（日本語）、他の車両すでにドライバー登録をしている場合は、その設定言語になります。
- ドライバーを登録しなかった場合でも、ドライバーリスト画面で登録を再開できます。

— 関連リンク —

[ドライバーの特定方法を設定する \(P.63\)](#)

[ドライバーの切りかえや登録をする \(P.61\)](#)

マイセッティングを自動的に呼び出す

スマートフォンやスマートキーなど、ドライバーを認識する機器を携帯して乗車することで、マイセッティングを自動的に呼び出すことができます。

- エンジンスイッチを ACC または ON にしたときに、車両はマイセッティングに登録された機器の検出を開始します。登録された機器が検出されると、機器に割り当てられているマイセッティングが自動的に呼び出されます。
- マイセッティングが割り当てられた機器が検出されない場合は、ゲストドライバーモードで車両の利用を開始します。
- [設定]にタッチするとドライバーリスト画面が表示され、マイセッティングの切りかえなどを行なうことができます。
- ドライバーを特定する機器は、スマートフォンやスマートキーなどから選択できます。

□ 知識

- マイセッティングが割り当てられた複数の機器が検出された場合は、先に検出された機器情報に基づいてドライバーを認識します。その後、信頼度の高い機器が検出

された場合、検出結果を更新してマイセッティングの切りかえボタンを表示します。

- マイセッティングが割り当てられた機器のうち、Bluetooth®機器は最後に運転したドライバーの Bluetooth®機器のみ検出されます。また、Bluetooth®機器はご使用の条件によって、ドライバーの特定が遅くなる場合や、運転開始までにドライバーを特定できない場合があるため、Bluetooth®機器のほかにスマートキーなども合わせて登録することをおすすめします。

—— 関連リンク ——

[ドライバーの切りかえや登録をする \(P.61\)](#)

[ドライバーの特定方法を設定する \(P.63\)](#)

マイセッティングを切りかえる

車両に登録されているマイセッティングのリストから、利用するマイセッティングを選択することができます。

- メインメニューの[]にタッチします。
- サブメニューの[]（ドライバーナンまたは車種名）または[][ゲスト]にタッチします。
- 「ドライバーリスト」から切りかえる
マイセッティング名を選択します。



- パスワードを入力します。

- ドライバー設定画面で「パスワードによる設定ロック」をONにしている場合、パスワードの入力が必要になります。
- TOYOTA アカウント作成時にスマートフォンアプリ「My TOYOTA+」で設定したパスワードを入力してください。
- マイセッティングの切りかえが完了するとメッセージが表示されます。

□ 知識

マルチメディアシステムが他のドライバーに設定されている機器を検知した場合、ボップアップが表示されます。[はい]にタッチするとマイセッティングを切りかえることができます。

ドライバー設定を削除する

次のいずれかの操作で、車両に登録されているドライバー設定を削除することができます。

ドライバーリストからドライバーの登録を削除する

- 1 メインメニューの[]にタッチします。
- 2 サブメニューの[]（ドライバー名または車種名）または[][ゲスト]にタッチします。
- 3 [ドライバーリスト]の[編集]をタッチして、削除するドライバーを選択します。
- 4 [削除]にタッチします。

選択したドライバーの登録が車両から削除されます。

マイセッティングからドライバーの登録を削除する

- 1 メインメニューの[]にタッチします。
- 2 [マイセッティング]の[ドライバー設定]にタッチします。
- 3 [ドライバー削除]にタッチします。
- 4 [削除]にタッチします。

現在利用しているドライバーの登録が車両から削除されます。

□ 知識

- 車両のオーナーとして登録されているドライバーを削除すると、その他全てのドライバーの登録が削除されます。
- オーナーとして登録されているドライバーは、車両に登録されたすべてのドライバー設定を削除できます。オーナー以外のドライバーは、オーナーのドライバー設定を削除できません。

各種設定を変更する

マルチメディアシステムや車両の各種設定を変更できます。

- 1 メインメニューの[]にタッチします。
- 2 各項目を設定します。



設定項目	内容
「ドライバー」	
[] (ドライバーナンまたは車種名)	現在のドライバーナンが表示されます。タッチすると、マイセッティングの切りかえや登録を行うことができます。 (→ P.61)
[][ゲスト]	
「マイセッティング」	
[ドライバー設定]	ドライバーを認識するための機器を登録できます。 (→ P.63)
[Bluetooth/機器]	Bluetooth®機器の登録や編集を行うことができます。 (→ P.100)
[共通設定]	時刻設定や表示言語など、マルチメディアの基本設定を変更できます。 (→ P.65)
[Wi-Fi]	Wi-Fi®の接続や詳細設定を行うことができます。 (→ P.98)
[画面 Off/画質調整]	画面のコントラストや明るさなどを調整できます。 (→ P.67)
[音声&オーディオ]	システムサウンドやオーディオソースに関する設定を変更できます。 (→ P.91)

設定項目	内容
[ナビゲーション]	地図表示やルート案内などに関する設定を変更できます。(→ P.75)
[VICS/ETC2.0/TSPS]	VICS 図形情報や文字情報を表示できます。(→ P.188)
[音声操作]	エージェント（音声対話サービス）に関する設定を変更できます。(→ P.69)
「車両」	
[車両カスタマイズ]	車両機能のカスタマイズ ^{*1} や走行支援の設定を変更できます。(→ P.87)
[セキュリティ]	セキュリティやプライバシーに関する設定を変更できます。(→ P.70)
[ソフトウェア更新]	ソフトウェア情報の確認や更新を行うことができます。(→ P.72)

知識

走行中は安全のため、操作ができない項目があります。

*1: 詳細は、別冊「取扱説明書」をご覧ください。

ドライバーの切り替えや登録をする

ドライバーの切り替えや登録を行います。ドライバーを登録することで、車両の個人設定をドライバーごとのマイセッティングとして保存できます。

- 1 メインメニューの[⚙]にタッチします。
- 2 サブメニューの[👤]（ドライバー名称／車両名称）または[👤][ゲスト]にタッチします。
- 3 各項目を設定します。



設定項目	内容
「ドライバーリスト」	車両に登録されているドライバーがリストで表示されます。希望のドライバーナンにタッチして、利用するマイセッティングを切り替えることができます。ドライバー設定画面で[パスワードによる設定ロック]をONにしている場合は、パスワードの入力が必要です。 [編集]にタッチして、登録済みのドライバーを削除できます。（ゲストモードでは表示されません。）
[👤][新しいドライバーの登録]	新しいドライバーを登録します。登録するドライバーが、既に他の車両でドライバー登録をしている場合は、他の車両で設定した一部のマルチメディア設定を引き継ぐことができます。
[ゲストへの切り替え]	ゲスト用のドライバー設定に切り替えます。ドライバー設定画面で[パスワードによる設定ロック]をONにして使用することをおすすめします。（→ P.63） ゲストドライバー設定を使用することで、マイセッティングに保存されない個人設定を行うことができます。他人に車両を預ける場合は、[ゲストへの切り替え]にタッチすることで機器の個人特定が無効になり、検索履歴や個人設定などのプライバシー情報を守ることができます。検索履歴や個人設定以外のマイセッティングは、ゲストのマイセッティングに引き継がれます。

□ 知識

走行中は安全のため、操作を行うことができません。

新しいドライバーを登録する

- 1 メインメニューの[]にタッチします。
- 2 サブメニューの[]（ドライバー名称／車両名称）または[][ゲスト]にタッチします。
- 3 スマートフォンアプリ「My TOYOTA+」を使ってドライバーを登録する場合は、[新しいドライバーの登録]にタッチします。
- 4 [登録する]にタッチします。
 - スマートフォンアプリ「My TOYOTA+」を持っていない場合は、[アプリのダウンロード]にタッチして、画面のQRコードからアプリをダウンロードしてください。
 - ドライバーを登録しない場合は、[今は登録しない]にタッチします。
- 5 スマートフォンアプリ「My TOYOTA+」を起動し、説明にしたがって画面のQRコードをスキャン、または認証コードを入力してドライバーを登録します。
- 6 [確認しました]にタッチします。
 - センターに保持しているドライバー設定を使用するか、車両の設定を使用するかを選択する画面が表示される場合があります。表示された場合は、どちらの設定を使用するかを選択します。
 - 登録が完了するとメッセージが表示されマイセッティングが保存されます。
- 7 ドライバー登録後、ドライバーを特定するための機器登録を行います。設定を続ける場合は[続ける]にタッチします。
機器の登録はあとから行うこともできます。
- 8 ドライバー設定画面で機器を登録します。ドライバーを認識するための機器を登録することで、自動的にマイセッティングを呼び出すことができます。
 - スマートフォンやスマートキーなど、希望の機器をマイセッティングに登録できます。
 - 複数の機器をマイセッティングに登録できます。

ドライバーの特定方法を設定する

ドライバーを認識するための機器を設定します。エンジンスイッチを ACC または ON にしたときに、登録した機器が検出されると、機器に割り当てられているマイセッティングが自動的に呼び出されます。登録する機器は、スマートフォンやスマートキーなどから選択できます。

- 1 メインメニューの[]にタッチします。
- 2 サブメニューの[ドライバー設定]にタッチします。
- 3 各項目を設定します。



設定項目	内容
ドライバーナンバー ^{*1}	ドライバーナンバーが表示されます。 [編集]にタッチして、ドライバーナンバーを変更できます。
「ドライバー認識の方法」	
[キー登録] ^{*1*2}	登録したいキーを全て車内に置いた後、登録操作を行ってください。他のドライバーに割り当てられているキーは登録できません。スマートエントリーシステムが OFF の場合、ドア解錠時に使用したキーをドライバーに割り当てます。
「Bluetooth 機器」 ^{*1}	スマートフォンなどの Bluetooth [®] 機器でドライバーの認識を行い、マイセッティングを呼び出します。 [機器登録] にタッチして登録をします。 (→ P.115)
[パスワードによる設定ロック] ^{*1}	手動でマイセッティングを切りかえるときに、パスワードによるロックを設定します。
[設定の初期化]	現在選択されている一部のマルチメディア設定を初期化します。

*1: ゲストモードでは表示されません。

★: グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

*2: 詳細は、別冊「取扱説明書」をご覧ください。

2-3. ドライバー設定

設定項目	内容
[ドライバー削除] ^{*1}	現在選択されているマイセッティングを削除します。 オーナーとして登録されているマイセッティングを削除すると、車両に登録されたすべてのマイセッティングが削除されます。

^{*1}: ゲストモードでは表示されません。

マルチメディアシステムの共通設定を変更する

時刻設定や表示言語など、マルチメディアシステムの基本設定を変更できます。

- 1 メインメニューの[⚙️]にタッチします。
- 2 サブメニューの[共通設定]にタッチします。
- 3 各項目を設定します。



● [操作サポート]

設定項目	内容
[アニメーション軽減]	画面が切りかわるときのアニメーション表示を軽減できます。
[タッチ音]	画面をタッチしたときの操作音の ON/OFF を設定できます。
[タッチ感度]	スクリーンのタッチ感度を調整できます。

● [日付／時刻]

設定項目	内容
[オフセット]	時計を進めたり遅らせたりできます。
「時刻」	
[24 時間表示]	時刻の表示を 24 時間表示または 12 時間表示に切りかえることができます。
[GPS 時刻設定]	GPS 情報を利用して時刻を自動で設定します。OFF にすると、手動で時刻を設定できます。
[手動時刻設定]	[GPS 時刻設定]を OFF にしたときに、手動で時刻を設定できます。
「日付」	
[日付フォーマット]	日付の表示形式を切りかえることができます。(月／日／年、日／月／年、年／月／日など)

● [キーボード]

設定項目	内容
「検索履歴」	
[キーボード入力結果の学習]	キーボードの入力結果を学習できます。
[文字学習履歴の削除]	キーボードの文字学習履歴を削除できます。
[検索履歴の削除]	キーボードの検索履歴を削除できます。

- [言語／単位]

設定項目	内容
[言語]	言語を切りかえることができます。画面に表示する言語とシステム音声の言語が同時に切りかわります。
「単位」	
[単位の自動設定]	距離などの表示単位を地域に合わせて自動で設定できます。
[トリップインフォメーション単位]	[単位の自動設定]を OFF にしたとき、トリップインフォメーションの単位を手動で設定できます。

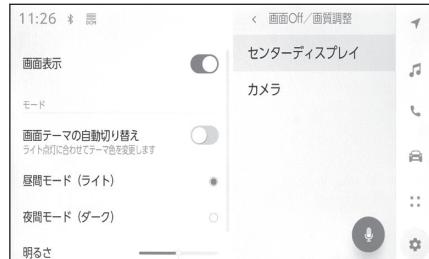
□ 知識

- 言語設定を変更した場合、すべての表示および音声案内が選択した言語に変更されるわけではありません。また、変更することによって、いくつかの案内が行われない場合があります。
- Apple CarPlay/Android Auto の言語は接続している機器側で設定してください。

画面表示の設定を変更する

画面のコントラストや明るさなどを調整できます。

- 1 メインメニューの[⚙]にタッチします。
- 2 サブメニューの[画面Off／画質調整]にタッチします。
- 3 各項目を選択します。



● [センターディスプレイ]

設定項目	内容
[画面表示]	画面表示のON/OFFを設定できます。OFFにすると、画面を消して音声だけを再生します。 画面を再度表示させるには、画面にタッチして、画面中央の解除ボタンをタッチします。
「モード」	
[画面テーマの自動切り替え]	ヘッドライトの点灯や消灯に合わせて、昼間モードと夜間モードを自動で切りかえることができます。
[昼間モード（ライト）]	[画面テーマの自動切り替え]をOFFにしたとき、手動で昼間モードに切りかえることができます。
[夜間モード（ダーク）]	[画面テーマの自動切り替え]をOFFにしたとき、手動で夜間モードに切りかえることができます。
[明るさ]	画面の明るさを調節できます。
[コントラスト]	画面のコントラストの強弱を調整できます。

● [カメラ]

設定項目	内容
「カメラ画面」	
[明るさ]	カメラ画面の明るさを調節できます。

設定項目	内容
[コントラスト]	カメラ画面のコントラストの強弱を調整できます。

□ 知識

- オーディオの画質調整方法は、「画質を調整する」(→ P.96)をご覧ください。
- 画面を消しても、GPS による現在地測位は継続されています。
- 画面表示について
 - 画面表示が OFF のときに画面をタッチすると、画面中央に解除ボタンが表示されます。画面を表示させる場合は、解除ボタンをタッチしてください。3秒間操作がない場合は、再び画面表示が OFF になります。
 - 画面表示が OFF の場合でも、ステアリングのトースクイックを押したり、シフトレバーを R にしたときなど、一時的に画面を表示することがあります。

音声操作の設定を変更する

エージェント（音声対話サービス）に関する設定を変更できます。

- 1 メインメニューの[]にタッチします。
- 2 サブメニューの[音声操作]にタッチします。
- 3 各項目を設定します。



設定項目	内容
「エージェント」	
[マイクボタン]	[]ボタンの表示を ON/OFF できます。
[音声ガイド中の発話受付]	音声ガイド中の発話割込み設定を ON/OFF できます。
「音声ガイド」	
[音声ガイド再生]	音声ガイダンスの ON/OFF を設定できます。

セキュリティ設定を変更する

セキュリティやプライバシーに関する設定を変更できます。

- 1 メインメニューの[⚙️]にタッチします。
- 2 サブメニューの[セキュリティ]にタッチします。
- 3 各項目を設定します。



設定項目	内容
[車両名称]	システム名称（車両名称）を表示します。
「プライバシー」	外部機器から Bluetooth®機器を検索したときに表示される機器名称です。タッチして名称を変更できます。
[セキュリティロック]	個人情報保護のための、パスワードによるセキュリティロックを有効にできます。設定を ON にすると、12V バッテリー交換による再起動時やマルチメディアシステムを車両から脱着した際に、マルチメディアシステム操作をするためのパスワード入力が必要です。
[セキュリティロックのパスワードを初期化]	設定したセキュリティロックのパスワードを初期化できます。
[全ての情報を初期化]	システムの全データを初期化して工場出荷状態にもどすことができます。

□ 知識

- すべての情報を初期化したあとは、しばらく通信できないことがあります。通信できない場合には、システムの再起動を実施してください。
- システムを初期化した場合、データを初期化前の状態に戻すことはできません。

—— 関連リンク ——

[システムを再起動する \(P.16\)](#)

セキュリティロックを設定する

- 1 メインメニューの[]にタッチします。
- 2 サブメニューの[セキュリティ]にタッチします。
- 3 [セキュリティロック]にタッチします。
- 4 [OK]にタッチします。
- 5 4~15 文字の英数字で任意のパスワードを設定します。
- 6 パスワードを再度入力します。

メッセージが表示されセキュリティロックが有効にかわります。

□ 知識

- パスワード設定後、12V バッテリー交換による再起動時やマルチメディアシステムを車両から脱着した際に、マルチメディアシステムを操作するためのパスワード入力が必要です。設定したパスワードを入力してください。
- パスワードを一定回数間違えて入力すると、パスワード入力ができなくなります。その場合はトヨタ販売店によるロック解除を行ってください。
- セキュリティ確保のため、パスワードを設定する際は、同じパスワードを使い回したり辞書に存在する言葉を使用したりしないでください。

ソフトウェア情報の確認や更新をする

ソフトウェア情報の確認や更新を行うことができます。より快適にご利用いただくため、マルチメディアシステムの機能や操作性向上を目的にソフトウェアの更新をします。

- 1 メインメニューの[⚙️]にタッチします。
- 2 サブメニューの[ソフトウェア更新]にタッチします。
- 3 各項目を選択します。



設定項目	内容
「ソフトウェア更新」	
[更新ソフトウェアがあります]	[詳細]にタッチすると、ソフトウェアの更新情報を確認できます。更新対象の有無や更新内容を確認後、更新データのダウンロードとソフトウェア更新を行うことができます。 更新データがない場合は[ソフトウェアは最新です]が表示されます。
[機種情報]	現在のソフトウェアのバージョンなどを確認できます。
[ソフトウェア更新]	ソフトウェアの更新を行うことができます。 更新データがない場合は表示されません。
[履歴]	ソフトウェアの更新履歴を確認できます。 更新履歴がない場合は表示されません。
[ライセンス情報]	ソフトウェアのライセンス情報を確認できます。
[更新通知]	ソフトウェア更新通知のON/OFFを設定できます。

ソフトウェアを更新する

ソフトウェア更新は、通信モジュール（DCM）を使って更新を行います。

□ 知識

- 地図データは本サービスの更新対象ではありません。
- ソフトウェア更新中は一部の操作ができないことがあります。
- ご不明点についてはトヨタ販売店にお問い合わせください。

△ 注意

- ソフトウェア更新はお客様の責任において実行してください。
- ソフトウェア更新を行うと、前のバージョンにもどすことはできません。
- ソフトウェア更新の内容によっては一部の設定が初期化されることがあります。その場合はソフトウェア更新後、再度設定を行ってください。
- ソフトウェア更新中もマルチメディアシステムの操作は可能ですが、動作の遅延が発生する可能性があります。できるだけ操作しないようにしてください。
- ソフトウェア更新後、自動的にトヨタ自動車の配信サーバーに更新が完了したことを探します。なお、トヨタ自動車は送信された情報をソフトウェア更新以外の目的には使用いたしません。また、お客様のご契約形態によっては通信料が発生する場合があります。

通信モジュール（DCM）を使って更新する

マルチメディアシステムは定期的に配信サーバーへアクセスし、更新ソフトウェアの有無を確認します。

1. ソフトウェア更新通知内のボタンにタッチします。
2. 画面にしたがって、更新内容や更新規約を確認／同意します。
 - 更新データのダウンロードが開始されます。ダウンロード完了後、インストールが開始されます。
 - ダウンロードとインストールにかかる時間は、通信環境により長くなる場合があります。インストール中にエンジンスイッチを OFF にしたときは、次回エンジンスイッチを ACC または ON にしたときにインストールを再開します。
 - 更新が完了するとメッセージが表示されます。
 - システム再起動が必要な場合、メッセージが表示されます。[はい]にタッチするとシステムが再起動します。
 - ソフトウェアの更新履歴を確認するときは、ソフトウェア更新画面で [履歴] にタッチします。

■ 手動でソフトウェアの更新をする場合

1. メインメニューの [⚙️] にタッチします。
2. サブメニューの [ソフトウェア更新] にタッチします。
3. 「更新ソフトウェアがあります」の [詳細] にタッチします。
4. 画面にしたがって、更新内容や更新規約を確認／同意します。
 - 更新データのダウンロードが開始されます。ダウンロード完了後、インストールが開始されます。
 - ダウンロードとインストールにかかる時間は、通信環境により長くなる場合があります。インストール中にエンジンスイッチを OFF にし

たときは、次回エンジンスイッチを ACC または ON にしたときにインストールを再開します。

- 更新が完了するとメッセージが表示されます。
- システム再起動が必要な場合、メッセージが表示されます。[はい]にタッチするとシステムが再起動します。
- ソフトウェアの更新履歴を確認するときは、ソフトウェア更新画面で [履歴]にタッチします。

□ 知識

- 配信サーバーに重要な更新データがある場合、メッセージが表示されます。[OK]にタッチして更新するデータをダウンロードすることができます。
- ソフトウェアアップデートに失敗した場合、前のバージョンでシステムを起動します。
- ソフトウェア更新の内容によっては、通信モジュール（DCM）を使った更新ができない場合があります。その場合は、トヨタ販売店にお問い合わせください。

ナビゲーションの設定

地図の色や文字サイズなど、ナビゲーションの各種設定を変更できます。

- 1 メインメニューの[]にタッチします。
- 2 サブメニューの[ナビゲーション]にタッチします。
- 3 各項目を設定します。
 - 地図表示設定
 - ルート設定
 - 案内設定
 - 地図更新設定
 - その他設定

—— 関連リンク ——

[地図表示設定をする \(P.76\)](#)

[ルート設定をする \(P.78\)](#)

[案内設定 \(P.81\)](#)

[その他設定 \(P.82\)](#)

地図表示設定をする

- 1 メインメニューの[]にタッチします。
- 2 サブメニューの[ナビゲーション]にタッチします。
- 3 各項目を設定します。



設定項目	内容
[県境案内]	県境イラスト表示の ON/OFF 設定をします。
[地図表示カスタマイズ]	地図の色や文字サイズを変更することができます。
「交通情報」	
[道路種別の表示]	交通情報の表示範囲の設定をします。 希望する表示範囲の道路にタッチしたあと、[OK]にタッチします。
「リアルタイム情報」	
[渋滞表示]	現況情報を利用した渋滞・混雑している道路の表示の ON/OFF 設定をします。
[空き道表示]	現況情報を利用した、すいている道路の表示の ON/OFF 設定をします。
[規制情報]	規制情報がある道路の表示の ON/OFF 設定をします。
[駐車場]	駐車場情報の表示の ON/OFF 設定をします。
[充電ステーション]	充電ステーション情報の表示を ON/OFF します。
[施設アイコン表示設定]	周辺施設アイコンの設定をします。
[3D ビュー俯角設定]	地図 3D 表示時の俯角設定をします。

県境案内を設定する

- 1 メインメニューの[]にタッチします。

2 [ナビゲーション]にタッチします。

3 [県境案内]にタッチします。

□ 知識

- 同じ都道府県においても、進入経路によって県境イラストが異なる可能性があります。
- 県境沿いを走行する場合は、実際の県境より遅く通知されることがあります。

地図表示のカスタマイズ設定

地図の色や文字サイズを変更することができます。

1 メインメニューの[]にタッチします。

2 [ナビゲーション]にタッチします。

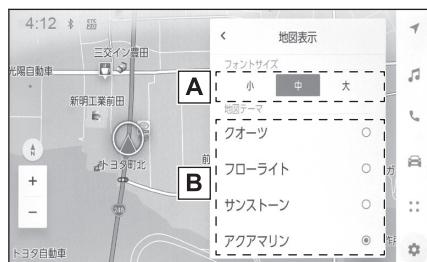
3 [地図表示カスタマイズ]にタッチします。

4 各項目を設定します。

A 地図上に表示される文字サイズを変更します。

B 地図色を変更します。

5 [OK]にタッチします。



俯角設定

地図を3D表示するときの角度設定ができます。

1 メインメニューの[]にタッチします。

2 [ナビゲーション]にタッチします。

3 [3Dビュー俯角設定]にタッチします。

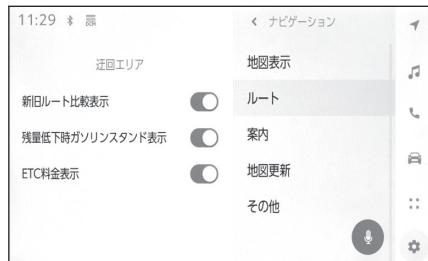
4 [] (角度を上げる) または [] (角度を下げる) にタッチします。

5 [OK]にタッチします。



ルート設定をする

- 1 メインメニューの[⚙️]にタッチします。
- 2 サブメニューの[ナビゲーション]にタッチします。
- 3 [ルート]にタッチします。
- 4 各項目を設定します。



設定項目	内容
[迂回エリア]	迂回エリアの登録と編集を行います。
[新旧ルート比較表示]	新旧ルート比較表示の ON/OFF 設定を行います。
[残量低下時ガソリンスタンド表示]	迂回エリアの登録と編集を行います。
[ETC 料金表示]	全ルート図表示画面の料金案内を ETC 料金表示に切り替えます。 OFF にすると ETC を使用しない料金表示になります。

—— 関連リンク ——

- [迂回エリアの設定 \(P.78\)](#)
[検索結果リスト画面の見方 \(P.158\)](#)
[全ルート図表示画面の見方 \(P.164\)](#)

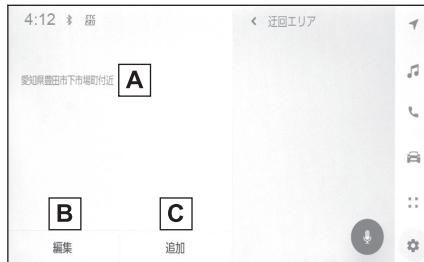
迂回エリアの設定

工事や通行止め、よく渋滞する場所などが分かっているとき、迂回エリアとして登録しておくと、そのエリアを迂回するルートを探します。

- 1 メインメニューの[⚙️]にタッチします。
- 2 [ナビゲーション]にタッチします。
- 3 [ルート]にタッチします。
- 4 [迂回エリア]にタッチします。

5 各項目を設定します。

- A** 登録した迂回エリアのリストが表示されます。タッチするとタッチした迂回エリアを編集できます。
- B** 登録した迂回エリアリストの削除を行います。
- C** 迂回エリアを登録します。



迂回エリアを登録する

- 1 メインメニューの[⚙️]にタッチします。
- 2 [ナビゲーション]にタッチします。
- 3 [ルート]にタッチします。
- 4 [迂回エリア]にタッチします。
- 5 [追加]にタッチします。
- 6 迂回エリアを地図画面からスクロールして検索します。
- 7 [完了]にタッチします。
迂回範囲が黄色の四角で表示されます。
- 8 迂回範囲を[◀▶] (広くする)、または[☒☒] (狭くする) にタッチして設定し[完了]にタッチします。
- 9 編集画面で各項目を設定後、[完了]にタッチします。



□ 知識

- 迂回メモリ地点を通らないと目的地に行けないようなときは、迂回メモリ地点を通るルートが探索されることがあります。
- 迂回範囲を最小にすると、[☒☒] (迂回メモリ地点) に切り替えることができます。高速道路（都市高速・有料道路を含む）およびフェリー航路は、迂回範囲内に設定しても迂回させることができません。迂回したいときは、迂回メモリ地点を道路上に設定してください。

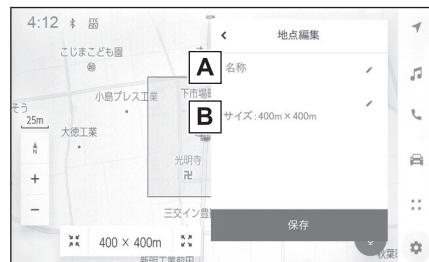
迂回エリアを編集する

- 1 メインメニューの[⚙️]にタッチします。
- 2 [ナビゲーション]にタッチします。
- 3 [ルート]にタッチします。

- 4 [迂回エリア]にタッチします。
- 5 修正したい迂回エリアにタッチします。
- 6 設定したい項目にタッチします。

- [A] 迂回エリアの名称を変更します。
- [B] 迂回エリアと迂回範囲を変更します。

- 7 [保存]にタッチします。



迂回エリアを削除する

- 1 メインメニューの[⚙️]にタッチします。
- 2 [ナビゲーション]にタッチします。
- 3 [ルート]にタッチします。
- 4 [迂回エリア]にタッチします。
- 5 [編集]にタッチします。
- 6 削除したい迂回エリアの[✖️]にタッチします。
 - [全削除]：すべての迂回エリアを削除します。
 - [キャンセル]：迂回エリアの削除を中止します。
- 7 [完了]にタッチします。

案内設定

- 1 メインメニューの[]にタッチします。
- 2 サブメニューの[ナビゲーション]にタッチします。
- 3 [案内]にタッチします。
- 4 各項目を設定します。



設定項目	内容
[交差点拡大図]	交差点拡大図の ON/OFF 設定をします。
[オートマップズーム]	オートマップズームの ON/OFF 設定をします。
[渋滞・規制音声案内]	渋滞・規制音声案内の ON/OFF 設定をします。
[駐車場提案]	駐車場提案の ON/OFF 設定をします。目的地に設定した駐車場が満車である場合に付近の駐車場を提案します。

— 関連リンク —

[さまざまなレーン表示画面 \(P.177\)](#)

[渋滞や規制情報の音声案内 \(P.184\)](#)

その他設定

- 1 メインメニューの[⚙️]にタッチします。
- 2 サブメニューの[ナビゲーション]にタッチします。
- 3 [その他]にタッチします。
- 4 各項目を設定します。



設定項目	内容
[目的地履歴の消去]	目的地検索の履歴を削除します。 削除したい目的地にタッチしたあと[完了]にタッチします。すべて削除する場合は[全削除]にタッチします。
[お気に入り]	お気に入りを編集します。
[ハートフル音声]*1	ハートフル音声を設定します。
[現在地補正]	自車位置を修正します。

お気に入り設定

- 1 メインメニューの[⚙️]にタッチします。
- 2 [ナビゲーション]にタッチします。
- 3 [その他]にタッチします。
- 4 [お気に入り]にタッチします。
- 5 各項目を設定します。

- A 登録したお気に入りのリストが表示されます。タッチしてお気に入りの情報を編集できます。
- B 登録したお気に入りの削除を行います。



*1: 車載ナビ装着車のみ

お気に入りリストの登録

地図スクロール時や地点情報画面で[]をタッチすると、表示地点をお気に入りに登録できます。



□ 知識

お気に入りの保存件数は最大400件です。

— 関連リンク —

[地点情報を表示する \(P.140\)](#)

[全ルート図表示画面の見方 \(P.164\)](#)

お気に入りリストの編集

- 1 メインメニューの[]にタッチします。
- 2 [ナビゲーション]にタッチします。
- 3 [その他]にタッチします。
- 4 [お気に入り]にタッチします。
- 5 編集したいお気に入りにタッチします。
- 6 各項目を設定します。

- [A] お気に入りの名称を編集します。
- [B] 電話番号を編集します。
- [C] この地点を自宅として登録します。
- [D] この地点をよく行く地点として登録します。
- [E] 地図上に表示するアイコンを変更します。



- 7 [保存]にタッチします。

□ 知識

よく行く地点に登録すると、目的地設定の際に登録地点がお気に入りリストの上部に表示されます。

お気に入りリストの削除

- 1 メインメニューの[]にタッチします。
- 2 [ナビゲーション]にタッチします。
- 3 [その他]にタッチします。
- 4 [お気に入り]にタッチします。
- 5 [編集]にタッチします。
- 6 削除したいお気に入りの[]にタッチします。
 - [全削除]：すべてのお気に入りを削除します。
 - [キャンセル]：お気に入りの削除を中止します。
- 7 [完了]にタッチします。

現在地を修正する

運転中、自車位置マークは GPS 信号によって自動的に修正されます。GPS の受信状態が悪く、自車位置マークが自動的に修正されない場合は、手動で調整できます。

- 1 メインメニューの[]にタッチします。
- 2 [ナビゲーション]にタッチします。
- 3 [その他]にタッチします。
- 4 [現在地補正]にタッチします。
- 5 地図を目的の場所まで移動して、[OK]にタッチします。
- 6 矢印にタッチし、自車位置マークの方向を調整して [OK]にタッチします。

ハートフル音声を設定する¹

自宅到着時の「お疲れ様でした」や日付・曜日の案内などの音声を出力することができます。

- 1 メインメニューの[]にタッチします。
- 2 [ナビゲーション]にタッチします。
- 3 [その他]にタッチします。
- 4 [ハートフル音声]にタッチします。

¹: 車載ナビ装着車のみ

5 各項目を設定します。



設定項目	内容
[自宅到着案内]	自宅到着案内の ON/OFF 設定をします。
[日付案内]	日付案内の ON/OFF 設定をします。
[記念日案内]	記念日案内の ON/OFF 設定をします。
[記念日リスト]	記念日の設定を行います。

□ 知識

- 言語設定が日本語以外のときは、ハートフル音声設定はできません。
- 他のナビ音声案内などと重なったときは、出力されないことがあります。

記念日を追加する

- 1 [記念日リスト]にタッチします。
- 2 [追加]にタッチします。
- 3 各項目を設定します。
- 4 [OK]にタッチします。

□ 知識

- 記念日は 1 日 1 回のみ、最初にマルチメディアシステムを立ち上げたときに発話されます。
- 記念日は当日に設定しても発話されないことがあります。

記念日を編集する

- 1 [記念日リスト]にタッチします。
- 2 編集したい記念日にタッチします。
- 3 各項目を設定します。
- 4 [OK]にタッチします。

記念日を削除する

- 1 [記念日リスト]にタッチします。

- 2 [編集]にタッチします。
- 3 削除したい記念日の[]タッチします。
- 4 [OK]にタッチします。

走行支援の設定

走行支援の設定では、運転中に注意する地点の案内について設定することができます。

▲ 警告

走行支援設定の案内は、あくまでも補助機能です。案内を過信せず、常に道路標識／標示や道路状況に注意し、安全運転に心がけてください。

一時停止案内を設定する

一時停止交差点に近づいたときに、案内マーク () と音声で案内します。

- 1 メインメニューの [] にタッチします。
- 2 [車両カスタマイズ]にタッチします。
- 3 [走行支援の設定]にタッチします。
- 4 [一時停止案内]を設定します。

□ 知識

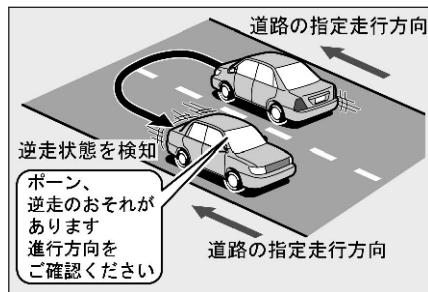
- 以下のようなときは、一時停止案内が行われない場合があります。
 - 地図データに情報のない地点
 - 自車位置が正確に特定できないとき
 - 進入した道路の一時停止交差点までの距離が短いとき
- 以下のようなときは、音声案内が行われない場合があります。
 - 一時停止交差点が連続するとき
 - 他のナビ音声案内などと重なるとき
- 以下のようなときは、誤って一時停止案内を行う場合があります。
 - 自車位置が正確に特定できないとき
 - 信号機付き交差点に変わったなど、地図データと実際の道路状態が変わったとき

逆走注意案内を設定する

サービス対象道路にて、逆走状態を検知し、画面表示と音声で「ポーン、逆走のおそれがあります。進行方向をご確認ください」と案内します。

サービス対象道路は、都市間高速道路／都市高速道路／一部の有料道路の本線および IC/JCT/SA/PA 施設です。





- 1 メインメニューの[]にタッチします。
- 2 [車両カスタマイズ]にタッチします。
- 3 [走行支援の設定]にタッチします。
- 4 [逆走注意案内]を設定します。

知識

- 以下のようなときは、逆走注意案内が行なわれない場合があります。
 - サービス対象道路以外を走行している場合
 - 一般道から高速道出口へ進入し逆走する場合など、「本線、または本線につながる区間での U ターン、SA/PA 進入路からの逆走」以外の方法で逆走する場合
 - ナビゲーション、またはナビゲーションの各種センサーが故障している場合
 - ナビゲーションが、サービス対象道路を走行中であることを特定できない場合
 - 地図データに情報のない道路を走行している場合
 - 急激な回転をした場合
 - 自車位置補正、方位補正が行われた直後
 - 料金所付近を走行している場合
 - 本線への合流区間が短い場合
 - スマート IC 付き SA/PA、その他特定の SA/PA である場合
- 以下のようなときは、誤って逆走注意案内が行なわれる場合があります。
 - 自車位置を逆走対象道路上と誤認識し、U ターン動作をした場合
 - 自車位置マーク[]の位置が正しくない場合
 - 料金所手前などの U ターンが禁止されている場所で、逆走とはならない U ターンを行った場合
 - SA/PA 内での一方通行違反など、交通規制に従わない走行を行った場合

- 重大事故発生時など警察および道路管理会社の誘導により U ターンを行った場合

道路形状案内を設定する

注意する地点の案内がある場所に近づくと、案内マークと音声でお知らせします。

知識

- 地図データに情報のない地点では、道路形状案内は行われません。
- 以下のようなときは、道路形状案内が行われない場合があります。
 - 目的地案内開始直後
 - 再探索直後
 - 目的地周辺
- 現在地から道路形状案内地点までの距離が短い、道路形状案内地点近くで分岐が連続するなど、周辺の道路状況によっても、案内が行われない場合があります。
- 道路形状案内は、遅れたり早くなることがあります。
- 次の道路形状案内マークが表示されている地点が短いときは、続けて道路形状案内が行われます。

踏切案内を設定する

踏切に近づくと、案内マーク () と音声で案内します。

- メインメニューの [] にタッチします。
- [車両カスタマイズ] にタッチします。
- [走行支援の設定] にタッチします。
- [踏切案内] を設定します。

合流案内を設定する

合流道路に近づくと、案内マーク (、) と音声で案内します。

- メインメニューの [] にタッチします。
- [車両カスタマイズ] にタッチします。
- [走行支援の設定] にタッチします。
- [合流案内] を設定します。

レーン案内を設定する

一般道を走行中に右折（左折）専用レーンのある交差点に近づくと、音声で案内します。また、高速道路を走行中にレーン数減少地点に近づくと、案内マーク（、）と音声で案内します。

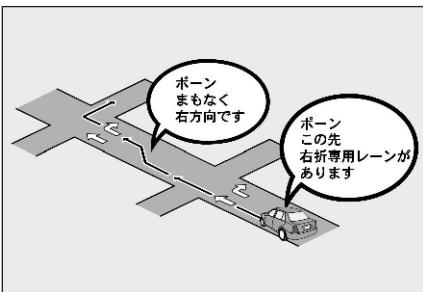
- 1 メインメニューの[]にタッチします。
- 2 サブメニューの[車両カスタマイズ]にタッチします。
- 3 [走行支援の設定]にタッチします。
- 4 [レーン案内]を設定します。

知識

● 右折（左折）専用レーンでは、案内マークは表示されません。

● 右折（左折）専用レーン案内の例：

一般道を走行中、直進する交差点に右折（左折）専用レーンがある場合、その交差点に近づくと「この先右折（左折）専用レーンがあります」と音声案内されます。目的地案内で、右折（左折）する交差点では右折（左折）専用レーン案内はされません。この場合は「ポーンまもなく右方向（左方向）です」と音声案内されます。



事故多発地点案内を設定する

交通事故が多発している地点を案内します。

- 1 メインメニューの[]にタッチします。
- 2 [車両カスタマイズ]にタッチします。
- 3 [走行支援の設定]にタッチします。
- 4 [事故多発地点案内]を設定します。

知識

高速道路上では、交通事故が多発している地点に近づくと、案内マーク（!：黄色）が表示され、音声で案内します。

サウンドやメディアの設定を変更する

- 1 メインメニューの[]にタッチします。
- 2 [音声 & オーディオ]にタッチします。
- 3 各項目を設定します。



● [音設定]

設定項目	内容
[レベル]	
[ASL]	走行時の車速に応じて、オーディオの音量を自動で補正するレベルを設定できます。 [低] の設定時よりも [高] の設定時の方が調整幅が大きくなり、速度が速いときに最適な音量に調整されます。
[音声設定]	
[システム音量]	システム音声の音量を調整できます。
[ナビ案内音量] ^{*1}	ナビゲーション音声案内の音量を調整できます。
[通話中のナビ音声案内] ^{*1}	通話中のナビゲーション音声案内の割り込みを ON/OFF できます。
[車速感応ボリューム] ^{*1}	高速道路を走行時に、音声ガイダンスの音量を自動的に上げることができます。
[運転支援時の音量]	運転支援システムの音量ボリュームを調整できます。
[メッセージの自動読み上げ]	自動読み上げの ON/OFF を設定できます。

● [ソース共通]

設定項目	内容
[共通設定]	

*1: 車載ナビ装着車またはコネクティッドナビ利用時

設定項目	内容
[カバーアート表示]	音楽アルバムなどのカバーアートを表示します。

● [AM/FM]

設定項目	内容
[AM/FM]	
[Auto.P 設定]	<p>オートプリセットの設定方法を切り替えます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● [エリアデータベース]に設定していると、放送局データベースの情報をを利用して、放送局をプリセットに登録します。 ● [受信放送局]に設定していると、現在地から受信可能な放送局をプリセットに登録します。
[AM ラジオからワイド FM を利用]	AM とワイド FM を同時に放送している地域で、AM 放送を FM 補完中継局で受信できます。

● [DTV]★

設定項目	内容
[設定]	
[Auto.P 設定]	<p>オートプリセットの設定方法を切り替えます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● [エリアデータベース]に設定すると、放送局データベースの情報をを利用して、放送局をプリセットに登録します。 ● [受信放送局]に設定すると、現在地から受信可能な放送局をプリセットに登録します。

★: グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

設定項目	内容
[地デジ・ワンセグ受信設定]	<p>地上デジタルテレビの受信設定を変更できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● [ワンセグ自動切り替え]に設定すると、地上デジタルテレビ放送が受信できなくなった場合、自動でワンセグ方法に切りかえます。地上デジタルテレビが受信可能になると、ワンセグ放送から自動で切りかわります。 ● [地デジ固定]に設定すると、地上デジタルテレビ放送に固定します。 ● [ワンセグ固定]に設定すると、ワンセグ放送に固定します。
[系列局検索]	受信エリアからはずれたときに、中継局または系列局を自動的に検索して受信します。
[イベントリレーの受信]	視聴中の番組から異なるイベント（番組）や臨時サービスに自動的に切りかわります。たとえば、野球の延長放送が視聴中の番組とは異なるサービス番号で放送するときに、自動的に切りかわります。
[居住地域設定]	
[都道府県住所]	<p>データ放送で地域情報を受信するために、居住地域を設定する必要があります。初めて起動したときや、引越したときは設定してください。</p> <p>以下 2 つを設定してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● [居住地域の都道府県設定]：居住地域の都道府県を設定できます。 初期設定は東京都です。 ● [居住地域の郵便番号設定]：郵便番号を入力して設定できます。
[居住地域をナビの自宅設定と連動] ^{*1}	居住地域の設定をナビの自宅と連動させます。
[TV 局データの自動更新]	

^{*1}: 車載ナビ装着車

設定項目	内容
[TV 局データの自動更新]	TV 局データの更新方法を設定できます。 ● [自動]にすると、TV 局データを自動更新します。 ● [手動]のときは、[データのバージョン]にタッチしてから[TV 局データ更新]にタッチすると更新します。
[データのバージョン]	放送局データの最新バージョン、最新更新日、マルチメディアシステムの放送局データのバージョンを表示します。
[機器 ID 表示]	
[オリジナル RMP メーカー ID]	オリジナル RMP メーカー ID が表示されます。
[管理局 RMP メーカー ID]	[<]/[>]にタッチすると管理局名が切りかわり、その放送局の管理局 RMP メーカー ID を表示します。

□ 知識

- システム音声案内中に POWER/VOLUME ノブをまわすと、音声案内の音量を調整できます。
- 地デジ、ワンセグの受信に関する留意事項
 - 放送が切りかわるとき、一時的に画像が静止したり音声が途切れる場合があります。
 - 自動で切りかわった番組の映像や音声が、視聴していた番組と異なることがあります。
 - ワンセグ放送を実施していない放送局を視聴している場合、[ワンセグ自動切り替え]にしていても、ワンセグ放送に切りかわりません。
 - 同じ中継局／系列局を探し出し、受信するまでの約 10 秒間は受信できません。
- イベントリレーの受信に関する留意事項
 - 地域によっては、同じ番組を放送している放送局に切りかわらない場合があります。
 - 受信電波の弱い地域では放送局が切りかわらない場合があります。
 - 山を境に放送区域がかわるところでは、トンネルを出ても放送局が切りかわらない場合があります。
 - 視聴している放送局と移動先の放送局の受信状態が同じようなときは、ひんぱんに切りかわることがあります。

画面モードを切りかえる

映像を表示できるソースの場合は、通常の映像とワイド映像を切りかえることができます。

- 1 メインメニューの[♪]にタッチします。
- 2 [オーディオ選択]にタッチします。
- 3 画面モードを切りかえたいソースにタッチします。
- 4 [...]にタッチします。
- 5 [画面設定]にタッチします。
- 6 [ワイド設定]にタッチします。
- 7 希望のモードを選択します。

[ノーマル]：入力映像を横4:たて3の割合で表示します。

[ワイド1]：入力映像を画面に合わせて拡大して表示します。

[ワイド2]：入力映像を上下左右方向に均等に拡大して表示します。



□ 知識

- 映像モードによって設定できるモードは異なります。
- お客様が個人的に視聴するかぎりにおいては問題ありませんが、営利目的または公衆に視聴させることを目的として画面の圧縮や引き伸ばしなどを行うと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害するおそれがありますので、ご注意ください。
- 動画の見え方に違和感が生じないよう黒帯をつけて動画表示領域を制限する場合があります。

画質を調整する

映像のコントラストと明るさを調整できます。

- 1 メインメニューの[]にタッチします。
- 2 [オーディオ選択]にタッチします。
- 3 画質を調整したいソースにタッチします。
- 4 []にタッチします。
- 5 [画面設定]にタッチします。
- 6 [画質調整]にタッチします。
- 7 各項目を設定します。

「明るさ」：明るさを調整できます。

「コントラスト」：コントラストを調整できます。



各ソースの音を調整する

各ソースの音質や音量バランスを調整できます。

- 1 メインメニューの[♪]にタッチします。
- 2 [オーディオ選択]にタッチします。
- 3 音を調整したいソースにタッチします。
- 4 [...]にタッチします。

ソースによっては手順 6 に進みます。

- 5 [音設定]にタッチします。
- 6 各項目を設定します。

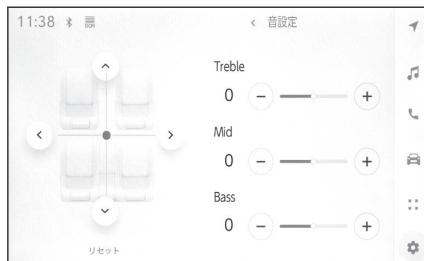
「Treble」：高音の強さを調整できます。

「Mid」：中音の強さを調整できます。

「Bass」：低音の強さを調整できます。

フェーダーとバランス：[...]を移動するとフェーダーやバランスを調整できます。

[リセット]にタッチすると中心にもどします。



□ 知識

- Treble/Mid/Bass の設定は、各ソースごとに独立して調整できます。
- 2スピーカー装着車の場合、フェーダーとバランスを後席側に最大レベル調整すると消音します。

Wi-Fi Hotspot を設定する

Wi-Fi Hotspot 機能によりアクセスポイントの設定を変更できます。

この機能を使用するには、T-Connect の契約と車内 Wi-Fi オプションの契約が必要です。

□ 知識

- 他の機能で Wi-Fi®接続している場合、Wi-Fi Hotspot は同時に使用できません。
- Apple CarPlay をワイヤレス接続しているときは、Wi-Fi Hotspot は同時に使用できません。Apple CarPlay をご利用の場合は、USB Type-C ケーブル接続にてご利用ください。
- 直近 3 日間（当日は含みません）で 6GB 以上の通信をした場合、終日速度制限がかかることがあります。
- 同時に接続可能な Wi-Fi®機器は最大で 5 台です。

- 1 メインメニューの [⚙️] にタッチします。
- 2 サブメニューの [Wi-Fi] にタッチします。
- 3 各項目を設定します。



● 「Hotspot の設定」

設定項目	内容
[Hotspot]	Wi-Fi Hotspot 機能の ON/OFF を設定できます。
[パスワード] ^{*1}	アクセスポイントのパスワードを変更できます。
[セキュリティ] ^{*1}	アクセスポイントのセキュリティ方法を変更できます。
[かんたん接続 (WPS プッシュ方式)] ^{*1}	<p>簡単設定によるアクセスポイントへの接続を受付します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 接続台数が上限の場合、選択できません。 受付時間を過ぎると接続できません。 WPS でサポートされている機器のみ接続できます。

- マルチメディアシステムの設定によってはメッセージが表示されます。画面の案内にしたがって操作してください。

*1: [Hotspot]が ON のときに表示されます。

□ 知識

設定変更時には、Wi-Fi Hotspot 機能を再起動する必要があるため、Wi-Fi®接続されている機器はすべて切断されます。

—— 関連リンク ——

[Wi-Fi®機器使用上の留意事項 \(P.117\)](#)

[Wi-Fi Hotspot に接続する \(P.119\)](#)

[T-Connect とは \(P.294\)](#)

Bluetooth®機器を設定する

登録した Bluetooth®機器をマルチメディアでどのように使用するか設定できます。

□ 知識

- 設定内容は個別の Bluetooth®機器ごとの設定になります。
- Bluetooth®オーディオ再生中にハンズフリー電話を選択した場合、音声が途切れることがあります。
- Bluetooth®機器の機種によっては、Bluetooth®機器の操作が必要になります。
- 緊急通報中は、Bluetooth®機器を選択できません。
- 運転中は設定を選択できません。
- Bluetooth®機器の状態によっては設定を選択できません。

- 1 メインメニューの[]にタッチします。
- 2 [Bluetooth／機器]にタッチします。
- 3 サブメニューから、設定する Bluetooth®機器にタッチします。

Bluetooth®機器が 1 台以上登録されていないと表示されません。

- 4 各項目を設定します。



設定項目	内容
[電話]	ハンズフリー電話機能の ON/OFF を設定できます。*1*2
[オーディオ]	オーディオ機能の ON/OFF を設定できます。*1*2
[Apple CarPlay]	Apple CarPlay 機能の ON/OFF を設定できます。*1*2

*1: Bluetooth®機器がこの機能を実行できる場合にのみ表示されます。該当の機能を ON/OFF すると、関連した機能が表示／非表示または ON/OFF されます。Apple CarPlay または Android Auto が ON の場合、電話またはオーディオに使用することはできません。その逆も同様です。

*2: OFF にすると、本機能との接続が切断されます。自動接続などで機器を接続した場合、OFF にした機能は自動的に ON になりません。ON にすると、本機能との接続が開始されます。

設定項目	内容
[Android Auto]	Android Auto 機能の ON/OFF を設定できます。 ^{*1*2} Android Auto を使用中に設定を OFF にすると、[電話]設定が ON になります。
[サブ機器として設定]	サブ機器に設定できます。 本設定は、ドライバーが設定されている状態で、HFP に対応した Bluetooth®機器がメイン機器に設定されていない場合に使用できます。サブ機器に設定するには、[サブ機器として設定]にタッチします。Bluetooth®機器を接続する際の優先順位は、メイン機器、サブ機器、接続履歴の新しい機器です。
[サブ機器設定の解除]	サブ機器から解除できます。
[切断]	マルチメディアと Bluetooth®機器との接続を切断できます。 接続していた機能は OFF になります。再度機器を接続しても、同じ機能へ自動接続できるとは限りません。
[削除]	Bluetooth®機器の登録を削除できます。

● 「音量」

設定項目	内容
[着信音量]	着信音量を調整できます。 ^{*3}
[受話音量]	受話音量を調整できます。 ^{*3}

● 「共通設定」

設定項目	内容
[着信音]	ハンズフリー電話の着信音を次のように設定できます。 <ul style="list-style-type: none"> ・携帯電話で設定されている着信音をマルチメディアの着信音として設定します。 ・既存の着信音を設定します。 ・着信相手の名前を読み上げる設定にします。
[連絡先の並び替え]	連絡先に登録してある名称の表示を次のように変更できます。 <ul style="list-style-type: none"> ・名／姓の順に変更できます。

*1: Bluetooth®機器がこの機能を実行できる場合にのみ表示されます。該当の機能を ON/OFF すると、関連した機能が表示／非表示または ON/OFF されます。Apple CarPlay または Android Auto が ON の場合、電話またはオーディオに使用することはできません。その逆も同様です。

*2: OFF にすると、本機能との接続が切断されます。自動接続などで機器を接続した場合、OFF にした機能は自動的に ON になりません。ON にすると、本機能との接続が開始されます。

*3: 携帯電話とマルチメディアシステムの受話音量／着信音量が連動することがあります。携帯電話の機種によっては、マルチメディアシステムとの受話音量／着信音量を連動できません。

設定項目	内容
[連絡先の並び替え]	• 姓／名の順に変更できます。
[通話履歴の削除]	ハンズフリー電話の履歴データを削除できます。 [自動転送]設定が OFF の携帯電話を接続している場合に表示されます。

● 「連絡先」

設定項目	内容
[自動転送]	連絡先、履歴をマルチメディアシステムへ自動転送する機能を ON/OFF に設定できます。 設定を OFF から ON に切りかえた場合、電話帳の自動転送が始まります。
[連絡先の画像表示]	連絡先画像の表示設定を ON/OFF できます。 [自動転送]設定が ON でなければ、連絡先の画像をマルチメディアにダウンロードできません。

— 関連リンク —

[Bluetooth®機器使用上の留意事項 \(P.104\)](#)

[ハンズフリー電話についての留意事項 \(P.258\)](#)

[Bluetooth®オーディオの再生についての留意事項 \(P.244\)](#)

[Apple CarPlay/Android Auto 使用上の留意事項 \(P.122\)](#)

[Bluetooth®機器をメイン機器に設定する \(P.115\)](#)

[Bluetooth®機器をサブ機器に設定する \(P.116\)](#)

[ドライバーを登録する \(P.54\)](#)

[ドライバーの切りかえや登録をする \(P.61\)](#)

3

スマートフォンや通信機器の接続

3-1. Bluetooth®機能の使い方

Bluetooth®機器使用上の留意事項	104
Bluetooth®の仕様、対応プロファイル	107
Bluetooth®機器をマルチメディアシステムから登録する	108
Bluetooth®機器の登録を削除する	111
Bluetooth®機器との接続	112
Bluetooth®機器をメイン機器に設定する	115
Bluetooth®機器をサブ機器に設定する	116

3-2. Wi-Fi®ネットワークへの接続

Wi-Fi®機器使用上の留意事項	117
Wi-Fi Hotspot に接続する	119

3-3. Apple CarPlay/Android Auto の使い方

Apple CarPlay/Android Auto 使用上の留意事項	122
未登録のスマートフォンで Apple CarPlay を使用する	125
登録済みスマートフォンで Apple CarPlay を使用する	128
Android Auto を使用する	131
Apple CarPlay/Android Auto が故障したとお考えになる前に	132

Bluetooth®機器使用上の留意事項

Bluetooth®機器をマルチメディアシステムで使用するときに、特に気を付けていただきたいことがあります。

□ 知識

- この車両は、2.4GHz 周波数帯の Bluetooth®通信を使用しています。Bluetooth®を利用する環境によって、通信速度が遅くなったり Bluetooth®接続が切断される場合があります。(ベストエフォート型機能)
- Bluetooth®と同じ 2.4GHz 帯無線通信を使用する Wi-Fi®と同時使用する場合には、相互に影響を与える可能性があります。
- Bluetooth®と Wi-Fi®が相互に干渉することで、互いに画像の乱れや音飛び、通信速度の低下などの現象が発生することがあります。Bluetooth®機器を接続した状態であれば干渉による影響が軽減されるため、Bluetooth®機器を登録している場合は、登録機器と接続すると問題が改善する可能性があります。(Bluetooth®機器が接続されているかどうかは、マルチメディアシステム画面のステータスアイコンで確認できます)
- Bluetooth®携帯電話と他の無線機器を同時に使用すると、それぞれの通信に悪影響をおよぼすことがあります。
- Apple CarPlay をワイヤレス接続しているときは、マルチメディアシステムで Bluetooth®機能が使用できません。また、Wi-Fi Hotspot も併用できません。
- 同じ 2.4GHz 帯の無線通信を行う Wi-Fi®機能 (Wi-Fi Hotspot、Miracast®) と Bluetooth®機器を同時に使用すると、それぞれの通信に悪影響をおよぼすことがあります。この場合は、Wi-Fi®機能を OFF に設定にすると快適に利用できる場合があります。
- Bluetooth®機器は、Bluetooth®接続により電池が早く消耗します。
- この機器の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業／科学／医療用機器のほか、工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。（上記 3 種の無線局を以下「他の無線局」と略します）この機器を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。万一、この機器から「他の無線局」に対して有害な電波干渉事例が発生した場合には、速やかに使用場所を変更して電波干渉を回避してください。
- この機器の使用周波数帯は 2.4GHz 帯です。変調方式として FH-SS 変調方式を採用しています。想定干渉距離は 10m 以下です。この機器は全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能です。
- 本製品は、電波法および電気通信事業法の基準に適合しています。製品に貼り付けてあるシールはその証明です。シールをはがさないでください。
- 本製品を分解・改造すると、法律により罰せられることがあります。
- 接続する携帯電話により、動作や音量が異なることがあります。

- Bluetooth®接続している携帯電話で Miracast®を使用している場合は、Bluetooth®オーディオの音が出ないことがあります。Miracast®を切断すると Bluetooth®オーディオの音が出るようになります。
- 緊急通報中は、Bluetooth®接続が切断されます。緊急通報終了後に切断された Bluetooth®機器が再接続されます。

▲ 警告

- 携帯電話をハンズフリー電話で使用する場合、安全のため、運転者は運転中に携帯電話本体を操作しないでください。
- 安全な場所に停車して電話をかけてください。運転中に電話がかかってきたときは、安全運転に留意し、通話は手短にしてください。

△ 注意

- Bluetooth®機器をマルチメディアシステムに近づけて使用しないでください。近づけすぎると、音質が劣化したり、接続状態が悪化することがあります。
- 携帯電話は車室内に放置しないでください。車室内が高温のときに携帯電話が故障するおそれがあります。

■ ペースメーカーやその他の医療用電気機器をお使いの方は

Bluetooth®通信時の電波について、次の点にご注意ください。

▲ 警告

Bluetooth®通信用の車両側アンテナはマルチメディアシステムに内蔵されています。植込み型心臓ペースメーカー、植込み型両心室ペーシングパルスジェネレータおよび植込み型除細動器以外の医療用電気機器を使用される場合は、電波による影響について医師や医療用電気機器製造業者などに事前に確認してください。電波により医療用電気機器の動作に影響を与えるおそれがあります。

■ Bluetooth®オーディオと同時に使用するとき

- Bluetooth®オーディオとハンズフリー電話とで異なる Bluetooth®対応機器（携帯電話）を同時に使用するときは、次のような場合があります。
 - 携帯電話の Bluetooth®接続が切断されることがあります。
 - ハンズフリー電話の音声にノイズが発生することがあります。
 - ハンズフリー電話の動作が遅くなることがあります。
- Bluetooth®オーディオを再生中にハンズフリー電話で使用する通信機器の選択を変更した場合、再生される音声が途切れことがあります。
- 連絡先データ転送中は、ポータブル機の接続が切断されることがあります。この場合、転送が終了すると再接続されます。（機種によっては、再接続できないことがあります）

- ハンズフリー接続とオーディオ接続の両方にに対応している携帯電話でも、ハンズフリー接続とオーディオ接続を同時に接続できない場合があります。
- 携帯電話を利用する際には、必ず動作確認済携帯電話をトヨタ販売店またはWeb サイト（<https://g-book.com/pc/etc/faq/mobile/n/top.html>）でご確認ください。

—— 関連リンク ——

動作確認済み携帯電話について (P.8)

Wi-Fi®機器使用上の留意事項 (P.117)

Bluetooth®オーディオの再生についての留意事項 (P.244)

ハンズフリー電話使用上の留意事項 (P.258)

Miracast®の再生についての留意事項 (P.251)

ステータスアイコンの見方 (P.21)

Bluetooth®の仕様、対応プロファイル

マルチメディアシステムは次の仕様、対応プロファイルをサポートしています。すべての Bluetooth®端末において動作を保証しているわけではありません。

■ 対応 Bluetooth®仕様

Bluetooth® Core Specification Ver. 5.0

■ 対応プロファイル

- HFP (Hands Free Profile)

サポートしているバージョン：Ver. 1.8

ハンズフリーを行うためのプロファイル

- PBAP (Phone Book Access Profile)

サポートしているバージョン：Ver. 1.2.3

連絡先データおよび通話履歴などの同期を行うためのプロファイル

- OPP (Object Push Profile)

サポートしているバージョン：Ver. 1.2.1

連絡先データの転送を行うためのプロファイル

- SPP (Serial Port Profile)

サポートしているバージョン：Ver. 1.2

- Bluetooth®搭載機器を仮想シリアルポート化するためのプロファイル

- スマートフォン連携を行うためのプロファイル

- A2DP (Advanced Audio Distribution Profile)

サポートしているバージョン：Ver. 1.3.2

オーディオを転送するためのプロファイル

- AVRCP (Audio/Video Remote Control Profile)

サポートしているバージョン：Ver. 1.6.2

オーディオをリモートコントロールするためのプロファイル

Bluetooth®機器をマルチメディアシステムから登録する

ハンズフリー電話や Bluetooth®オーディオを使用するためには、携帯電話／ポータブル機をマルチメディアシステムに登録する必要があります。登録完了後は、マルチメディアシステムを起動するたびに自動で Bluetooth®接続されます。Apple CarPlay/Android Auto を USB 接続したときは、自動的に機器登録されます。

Bluetooth®機器が 1 台も接続されていない場合、ステアリングの[]スイッチを押し続けることでも登録画面を表示できます。

知識

- 携帯電話を、ハンズフリー電話と Bluetooth®オーディオとして登録できます。
- Bluetooth®機器は、5 台まで登録できますが、ハンズフリー電話として使用できるのは最大 2 台までです。(ハンズフリー電話を 2 台接続するには、ドライバーの設定が必要です。)
- Bluetooth®機器側の操作は、Bluetooth®機器に添付の取扱説明書をご覧ください。
- 複数の Bluetooth®機器を使用する場合は、Bluetooth®機器の数だけ登録を繰り返してください。
- PIN コードとは、Bluetooth®機器をマルチメディアシステムに登録するために使用される確認コードです。
- 携帯電話の設定によっては、接続後にダイヤルロックがかかることがあります。携帯電話のオートロック機能を解除して使用してください。
- 携帯電話やポータブル機を接続しているときに、他の機器を登録する場合、オーディオ再生しているポータブル機、または携帯電話の接続が切断されます。
- Miracast®を利用中に Bluetooth®機器を登録をすると、Miracast®の音が途切れることがあります。
- 走行中は安全のため、機器を登録できません。
- Bluetooth®機器の登録がうまくいかない場合、Bluetooth®機器を再起動してください。

- 1 メインメニューの [] にタッチします。
- 2 [Bluetooth／機器] にタッチします。
- 3 [機器登録／切り替え] にタッチします。

4 [見つからなかった場合]にタッチします。

他の機器がすでに登録されている場合、[機器の新規登録] > [OK] > [見つからなかった場合]の順でタッチします。



5 メインエリアから登録する機器にタッチします。

- 機器名ではなく、Bluetooth®アドレスで表示される場合があります。
- メインエリアに登録したい機器が表示されない場合は、Bluetooth®機器からの登録を試してください。
- Bluetooth®機器の機種により、特定の画面を Bluetooth®機器で表示させないと、追加機器のリストに表示されない場合があります。詳しくは Bluetooth®機器に添付の取扱説明書をご覧ください。

6 表示されている PIN コードが、Bluetooth®機器に表示される PIN コードと同じことを確認し、[OK]にタッチします。

- 登録する機種によっては Bluetooth®機器での操作が必要な場合があります。
- メイン機器の設定がされていないドライバーの場合、HFP に対応した Bluetooth®機器を登録すると、自動的にそのデバイスがメイン機器に設定されます。
- Apple CarPlay 設定が表示されることがあります。使用する設定にした場合、Apple CarPlay 画面が表示されます。
- 接続完了のメッセージが表示され、サブメニューに登録した Bluetooth®機器の名称が表示されます。
- 失敗画面が表示されたときは、画面の案内に従って、操作してください。

—— 関連リンク ——

[ドライバーを登録する \(P.54\)](#)

[ドライバーの切り替えや登録をする \(P.61\)](#)

[Apple CarPlay/Android Auto 使用上の留意事項 \(P.122\)](#)

Bluetooth®機器から登録する

マルチメディアシステムで Bluetooth®機器を検索しても見つからない場合に、Bluetooth®機器からマルチメディアシステムを検索して登録します。

- 1 メインメニューの[]にタッチします。
- 2 [Bluetooth／機器]にタッチします。
- 3 [機器登録／切り替え]にタッチします。

他の機器がすでに登録されている場合、[機器の新規登録]にタッチします。

4 使用する Bluetooth®機器からマルチメディアシステムを登録します。

- Bluetooth®機器の操作手順にしたがってください。
- Bluetooth®機器からの登録操作は、必ずこの Bluetooth®接続画面を表示させて行ってください。



5 表示されている PIN コードが、Bluetooth®機器に表示される PIN コードと同じことを確認し、[OK]にタッチします。

- 登録する機種によっては Bluetooth®機器での操作が必要な場合があります。
- メイン機器の設定がされていないドライバーの場合、HFP に対応した Bluetooth®機器を登録すると、自動的にそのデバイスがメイン機器に設定されます。
- Apple CarPlay 設定が表示されることがあります。使用する設定にした場合、Apple CarPlay 画面が表示されます。
- 接続完了のメッセージが表示され、サブメニューに登録した Bluetooth®機器の名称が表示されます。
- 失敗画面が表示されたときは、画面の案内に従って操作してください。

— 関連リンク —

[ドライバーを登録する \(P.54\)](#)

[ドライバーの切り替えや登録をする \(P.61\)](#)

[Apple CarPlay/Android Auto 使用上の留意事項 \(P.122\)](#)

Bluetooth®機器の登録を削除する

登録した Bluetooth®機器を削除できます。

- 1 メインメニューの[⚙️]にタッチします。
- 2 [Bluetooth／機器]にタッチします。
- 3 サブメニューから削除する Bluetooth®機器にタッチします。
- 4 [削除]にタッチします。
他のユーザーがメイン機器に設定している機器の場合、削除できません。
- 5 [削除]にタッチします。



□ 知識

- 緊急通報中は、携帯電話の登録を削除できません。
- Bluetooth®機器の状態によっては削除できない場合があります。

— 関連リンク —

[Bluetooth®機器をメイン機器に設定する \(P.115\)](#)

[ドライバーを登録する \(P.54\)](#)

[ドライバーの切りかえや登録をする \(P.61\)](#)

Bluetooth®機器との接続

Bluetooth®機器との接続は、マルチメディアシステムのさまざまな機能を利用する上で必要になります。接続方法は、自動と手動の2通りの方法があります。

□ 知識

- Bluetooth®機器側の操作については、Bluetooth®機器に添付の取扱説明書をご覧ください。
- 携帯電話接続時の動作が不安定な場合は、一度通話を切り、再度接続してください。
- Bluetooth®機器のBluetooth®接続機能がONになっていないと接続できません。
- Bluetooth®機器の接続が完了すると、接続完了のメッセージが画面上部に表示されます。
- Bluetooth®機器接続中は、Bluetooth®接続中のステータスアイコンが表示されます。
- 携帯電話の機種によってはエンジンスイッチがONのときに表示部の照明がついたままになることがあります。この場合、携帯電話本体で照明をOFFに設定してください。(設定については、携帯電話の取扱説明書をご覧ください)
- Apple CarPlayで接続中の機器は、Bluetooth®機能が使用できません。
- Android Autoで接続中の機器は、ハンズフリー電話以外のBluetooth®機能が使用できません。
- Miracast®利用中にBluetooth®機器を接続すると、Miracast®の音が途切れことがあります。

■ Bluetooth®接続の再接続について

エンジンスイッチがONのときに、一度接続が成立したBluetooth®接続が切断された場合は、接続処理を自動的に行います。

■ Bluetooth®機器の接続数について

- ドライバーが設定されているとき

最大で2台のハンズフリー電話と1台のオーディオ機器を自動で接続します。(ハンズフリー電話とオーディオ機器は同一機器を設定することもできます)

- ドライバーが設定されていないとき

最大で1台のハンズフリー電話と1台のオーディオ機器を自動で接続します。(ハンズフリー電話とオーディオ機器は同一機器を設定することもできます)

□ 知識

- 再接続できなかった場合は、手動で接続操作を行ってください。

- Apple CarPlay が接続されている場合は、Bluetooth®接続の再接続ができない場合があります。

— 関連リンク —

[ステータスアイコンの見方 \(P.21\)](#)

[ドライバーを登録する \(P.54\)](#)

[ドライバーの切りかえや登録をする \(P.61\)](#)

[Bluetooth®機器を手動で接続する \(P.113\)](#)

Bluetooth®機器を自動で接続する

エンジンスイッチを OFF から ON にするたびに、マルチメディアシステムは決められた優先順位で Bluetooth®機器に自動で接続します。

● ドライバーが設定されているとき

メイン機器、サブ機器、接続履歴の新しい順に自動で接続します。

最大で 2 台のハンズフリー電話と 1 台のオーディオ機器を自動で接続します。(ハンズフリー電話とオーディオ機器は同一機器を設定することもできます)

● ドライバーが設定されていないとき

接続履歴の新しい順に自動で接続します。

最大で 1 台のハンズフリー電話と 1 台のオーディオ機器を自動で接続します。(ハンズフリー電話とオーディオ機器は同一機器を設定することもできます)

接続できなかった場合は、手動で接続操作を行ってください。

□ 知識

- Bluetooth®機器の機種により Bluetooth®機器の操作が必要な場合があります。
- [切断]ボタンなどで手動で切断した機器は自動接続されません。

— 関連リンク —

[Bluetooth®機器をメイン機器に設定する \(P.115\)](#)

[Bluetooth®機器をサブ機器に設定する \(P.116\)](#)

[ドライバーを登録する \(P.54\)](#)

[ドライバーの切りかえや登録をする \(P.61\)](#)

Bluetooth®機器を手動で接続する

自動接続できなかったときや別の Bluetooth®機器に接続したいときに、登録済みの Bluetooth®機器と接続できます。

- 1 メインメニューの[⚙️]にタッチします。
- 2 サブメニューの[Bluetooth／機器]にタッチします。

登録済みの Bluetooth®機器がない場合、メインエリアに機器検索画面が表示されます。Bluetooth®機器を登録してください。

- 3 サブメニューから接続する Bluetooth®機器にタッチします。

サブメニューに接続する Bluetooth®機器が見当たらない場合は、Bluetooth®機器を登録してください。

- 4 メインエリアの接続したい機能（電話、オーディオなど）を ON にします。

他の機器が接続中の場合、確認画面が表示されることがあります。



□ 知識

Bluetooth®機器の状態によっては、一度で接続できない場合があります。その場合、しばらくしてから再度接続操作を行ってください。

— 関連リンク —

[Bluetooth®機器をマルチメディアシステムから登録する \(P.108\)](#)

Bluetooth®機器を切断する

すでに接続している Bluetooth®機器をマルチメディアシステムから切断できます。

- 1 メインメニューの[⚙️]にタッチします。
- 2 サブメニューの[Bluetooth／機器]にタッチします。
- 3 サブメニューから切断する Bluetooth®機器にタッチします。
- 4 メインエリアの[切断]にタッチします。



Bluetooth®機器をメイン機器に設定する

Bluetooth®機器をメイン機器に設定することで、自動接続のときに最優先で接続できます。

- HFPに対応したBluetooth®機器を、マルチメディアシステムに接続しておく必要があります。
- メイン機器を設定するには、ドライバーの登録が必要です。

□ 知識

他のドライバーにメイン機器として設定されているBluetooth®機器をメイン機器にすることはできません。

1 メインメニューの[]にタッチします。

2 [ドライバー設定]にタッチします。

3 メインエリアの[機器登録]または[機器変更]にタッチします。

メイン機器に設定可能なBluetooth®機器が接続されていない場合は、機器検索画面が表示されます。Bluetooth®機器を検索し、マルチメディアシステムに新規登録してください。新規登録したときに、メイン機器に設定できます。

4 メイン機器にするBluetooth®機器を選択します。

現在接続しているBluetooth®機器を切断し、メイン機器とサブ機器に接続します。



—— 関連リンク ——

[Bluetooth®機器を設定する \(P.100\)](#)

[ドライバーを登録する \(P.54\)](#)

[ドライバーの切り替えや登録をする \(P.61\)](#)

[Bluetooth®機器をマルチメディアシステムから登録する \(P.108\)](#)

[Bluetooth®機器を自動で接続する \(P.113\)](#)

Bluetooth®機器をサブ機器に設定する

Bluetooth®機器をサブ機器に設定することで、接続したときにサブ機器として認識されます。

- ドライバーのメイン機器とサブ機器を、同じ Bluetooth®機器にすることはできません。
- HFP に対応した Bluetooth®機器をマルチメディアシステムに接続しておく必要があります。
- サブ機器を設定するには、ドライバーの登録が必要です。

1 メインメニューの[⚙]にタッチします。

2 サブメニューの[Bluetooth／機器]にタッチします。

登録済みの Bluetooth®機器がない場合、機器検索画面が表示されます。Bluetooth®機器の登録を行ってください。

3 サブ機器に設定する Bluetooth®機器にタッチします。

設定する Bluetooth®機器が見当たらない場合は、Bluetooth®機器の登録を行ってください。

4 メインエリアから[サブ機器として設定]にタッチします。

サブ機器としてすでに設定されている場合、[サブ機器設定の解除]にかわります。



— 関連リンク —

[Bluetooth®機器を設定する \(P.100\)](#)

[ドライバーを登録する \(P.54\)](#)

[ドライバーの切り替えや登録をする \(P.61\)](#)

[Bluetooth®機器を自動で接続する \(P.113\)](#)

Wi-Fi®機器使用上の留意事項

マルチメディアシステムの Wi-Fi®を利用するとき、特に気を付けていただきたいことがあります。

- この機器の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。（上記 3 種の無線局を以下「他の無線局」と略します）この機器を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。万一、この機器から「他の無線局」に対して有害な電波干渉事例が発生した場合には、速やかに使用場所を変更して電波干渉を回避してください。
- この機器の使用周波数帯は 2.4GHz 帯です。変調方式として DS-SS 変調方式、OFDM 変調方式を採用しています。想定与干渉距離は 40m 以下です。この機器は全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能です。

■ ペースメーカーやその他の医療用電気機器をお使いの方は

Wi-Fi®通信時の電波について、次の点にご注意ください。

▲ 警告

- Wi-Fi®通信用の車両側アンテナはマルチメディアシステムに内蔵されています。
- 植込み型心臓ペースメーカー、植込み型両心室ペーシングパルスジェネレータおよび植込み型除細動器以外の医療用電気機器を使用される場合は、電波による影響について医師や医療用電気機器製造業者などに事前に確認してください。電波により医療用電気機器の動作に影響を与えるおそれがあります。

■ Wi-Fi®と Bluetooth®を同時に使用するとき

この車両は、Bluetooth®と同じ周波数の 2.4GHz Wi-Fi®を使用しています。Wi-Fi®と Bluetooth®の両方を同時に使用すると、相互に干渉が発生し、通信速度の低下や接続の問題が発生する可能性があります。（ベストエフォート型機能）

■ Wi-Fi®について知っておいていただきたいこと

□ 知識

- 本機能はベストエフォート型の機能です。
- 本機能は持ち込み機器との接続にてご利用ください。持ち込み機器以外の接続を行っている場合、環境によって切断される可能性があります。
- DCM が通信圏外となった場合は、Wi-Fi Hotspot 機能による通信は切断されます。
- 接続されている機器が Wi-Fi®圏外になった場合、接続は切斷されます。
- Wi-Fi Hotspot に接続している Bluetooth®機器を使用すると、通信速度が低下する場合があります。

- Wi-Fi Hotspot を利用する環境によって、通信速度が遅くなったり通信不可になる場合があります。
- 車両がラジオアンテナ、ラジオ局、またはその他の強い電波や電気ノイズの発生源の近くにある場合、通信速度が遅くなったり通信不可になる場合があります。
- お客様のご利用環境（無線アンテナの設置場所、近隣での各種無線機器利用など）により、通信速度が低下したり本サービスをご利用いただけないことがあります。
- マルチメディアシステムは、電波法に基づく特定無線設備の工事設計の認証を取得しています。
- 本製品は、電波法および電気通信事業法の基準に適合しています。製品に貼り付けてあるシールはその証明です。シールをはがさないでください。
- 本製品を分解または改造すると、法律により罰せられることがあります。

対応 Wi-Fi®通信方式

IEEE 802.11b/g/n (2.4GHz)

対応セキュリティ方式

- WPA2™
- WPA3™

— 関連リンク —

[Miracast®の再生についての留意事項 \(P.251\)](#)

[Bluetooth®機器使用上の留意事項 \(P.104\)](#)

[ステータスアイコンの見方 \(P.21\)](#)

[Wi-Fi Hotspot を設定する \(P.98\)](#)

[T-Connect とは \(P.294\)](#)

[Web ブラウザ機能（インターネット）について \(P.323\)](#)

Wi-Fi Hotspot に接続する

Wi-Fi Hotspot 機能を使って Wi-Fi®のアクセスポイントを設定し、Wi-Fi®機器で接続できます。

この機能を使用するには、T-Connect の契約と車内 Wi-Fi オプションの契約が必要です。詳細についてはトヨタ販売店にお問い合わせください。

□ 知識

- 他の機能で Wi-Fi®接続している場合、Wi-Fi Hotspot は同時に使用できません。
- Apple CarPlay をワイヤレス接続しているときは、Wi-Fi Hotspot は同時に使用できません。Apple CarPlay をご利用の場合は、USB Type-C ケーブル接続にてご利用ください。
- 直近 3 日間（当日は含みません）で 6GB 以上の通信をした場合、終日速度制限がかかることがあります。
- 同時に接続可能な Wi-Fi®機器は最大で 5 台です。

1 Wi-Fi®機器の Wi-Fi®機能を ON にします。

2 メインメニューの[⚙]にタッチします。

3 サブメニューの[Wi-Fi]にタッチします。

4 メインエリアの[Hotspot]を ON にします。

マルチメディアシステムの設定によってはメッセージが表示されます。画面の案内に従って操作してください。



5 Wi-Fi®機器からマルチメディアシステムの Wi-Fi Hotspot に接続します。

- Wi-Fi®機器からの接続は、Wi-Fi®機器に添付の取扱説明書をご覧ください。
- ネットワーク名はメインエリアの Hotspot 下部に表示されます。
- ネットワークのパスワードはメインエリアに表示されます。パスワードが長い場合、省略されて表示される場合があります。画面にタッチしてパスワード編集画面で確認してください。

□ 知識

- 第 3 者による不正利用を防ぐため、次のようなパスワードを設定することを推奨します。
 - 13 文字以上とする

- アルファベット、数字を混在させる
- 定期的に変更する
- パスワードを書いた紙を人目の付くところに保管しない
- 他のパスワードの使いまわし、似たパスワードを使わない
- 車両名やナンバー、辞書などに存在する言葉を使用しない
- 辞書にある言葉を他の文字に置きかえた場合に、推測できるものは使用しない（例：cat→c@t）

—— 関連リンク ——[Wi-Fi Hotspot を設定する \(P.98\)](#)[T-Connect とは \(P.294\)](#)[Web ブラウザ機能（インターネット）について \(P.323\)](#)**Wi-Fi Hotspot に簡単設定で接続する**

Wi-Fi®機器が Wi-Fi Protected Setup™と互換性がある場合、より簡単に接続できます。

- 1 メインメニューの[]にタッチします。
- 2 サブメニューの[Wi-Fi]にタッチします。
- 3 メインエリアの[Hotspot]を ON にします。

マルチメディアシステムの設定によってはメッセージが表示されます。画面の案内にしたがって操作してください。

- 4 メインエリアの[かんたん接続 (WPS プッシュ方式)]にタッチします。

マルチメディアシステムが簡単設定による受付を開始します。

- 運転中は選択できません。
- 接続台数が上限の場合、選択できません。

- 5 Wi-Fi®機器を操作して接続します。

- Wi-Fi®機器の簡単設定による接続は、Wi-Fi®機器に添付の取扱説明書をご覧ください。
- 受付時間をおすぎると、接続失敗のメッセージが表示されます。

**Wi-Fi Hotspot を切断する**

Wi-Fi Hotspot 機能を OFF にすることで、Wi-Fi Hotspot を切断できます。

- 1 メインメニューの[]にタッチします。

- 2 サブメニューの[Wi-Fi]にタッチします。
- 3 メインエリアの[Hotspot]を OFF にします。



3

Apple CarPlay/Android Auto 使用上の留意事項

Apple CarPlay/Android Auto では、地図、電話、音楽などの一部のアプリケーションをマルチメディアシステムで使用できます。Apple CarPlay/Android Auto 接続中は、対応アプリケーションが表示されます。Apple CarPlay/Android Auto を使用するとき、特に気を付けていただきたいことがあります。

車内で Android Auto を使用するには、Google Play ストア™から Android Auto をインストールしてください。

■ 対応機器

- Apple CarPlay をサポートする Apple iPhone (iOS Ver.13.3 以降)

対応機器については、<https://www.apple.com/jp/ios/carplay/>でご確認ください。^{*1}

- Android Auto をサポートする Android™機器

対応機器については、<https://www.android.com/auto/> でご確認ください。

^{*1}

□ 知識

- USB 接続の場合は、電話メーカーが提供するデータ通信用の USB Type-C ケーブルを使用してください。
- Apple CarPlay/Android Auto 接続中は、システムの一部のボタン機能がかわります。
- Apple CarPlay/Android Auto を接続すると、Bluetooth®オーディオや電話などの一部機能が Apple CarPlay/Android Auto によって管理されます。
- Apple CarPlay をワイヤレス接続しているときは、マルチメディアシステムで Bluetooth®機能が使用できません。また、Wi-Fi Hotspot も併用できません。
- Miracast®使用中に Apple CarPlay/Android Auto を開始すると Miracast®が終了することがあります。
- [音声&オーディオ]設定画面で案内音量を変更できます。オーディオシステムの音量調整でも変更できます。
- Apple CarPlay/Android Auto を接続中に、もう一台の Apple CarPlay/Android Auto を使用することはできません。
- iPhone の商標は、アイホン株式会社のライセンスにもとづき使用されています。
- Apple CarPlay/Android Auto は、Apple 社/Google 社によって開発されたアプリケーションです。接続されている機器のオペレーティングシステム、ハードウェアおよびソフトウェア、または Apple CarPlay/Android Auto の仕様の変更により、その機能およびサービスは予告なしに終了または変更されることがあります。
- Apple CarPlay または Android Auto でサポートされているアプリケーションについては、それぞれの Web サイトをご覧ください。

*1: 動作を保証しているわけではありません。

- Apple CarPlay/Android Auto を使用しているあいだ、場所や車速などの車両およびユーザー情報は、それぞれのアプリケーション発行元および携帯電話サービスプロバイダと共有されます。
- アプリケーションをダウンロードして使用することにより、それらの利用規約に同意したことになります。
- データはインターネットを介して送信され、料金が発生する可能性があります。データ通信料金については、携帯電話サービスプロバイダにお問い合わせください。
- アプリケーションによっては、音楽の再生など一部の機能が制限される場合があります。
- 各機能は他社が提供するアプリケーションであり、予告なく変更または中止することがあります。詳しくは、各機能の Web サイトをご覧ください。
- 車両のナビゲーションシステムでルート案内中に、Apple CarPlay/Android Auto 地図アプリを使用して新たにルート案内を開始した場合、車両のナビゲーションシステムのルート案内は終了します。Apple CarPlay/Android Auto 地図アプリでルート案内中に、車両のナビゲーションシステムを使用して新たにルート案内を開始した場合、Apple CarPlay/Android Auto 地図アプリのルート案内は終了します。
- Apple CarPlay で接続中の機器は、Bluetooth®機能が使用できません。
- Android Auto で接続中の機器は、ハンズフリー電話以外の Bluetooth®機能が使用できません。
- USB 接続の場合は、USB Type-C ケーブルを抜くと、Apple CarPlay/Android Auto の動作が終了します。このとき音声出力は停止し、マルチメディアシステムの画面にかわります。
- Android Auto を切断しても、電話接続は継続するため、ハンズフリー電話を使用することができます。

▲ 警告

安全のため、運転者は運転中にスマートフォン本体を操作しないでください。

△ 注意

- スマートフォンを車室内に放置しないでください。車室内が高温のときにスマートフォンが故障するおそれがあります。
- スマートフォンが接続されているときには、スマートフォンを押さえたり、不必要的圧力を加えたりしないでください。スマートフォンまたは端子が損傷する可能性があります。
- USB Type-C 端子に異物を入れないでください。スマートフォンや端子が破損するおそれがあります。

— 関連リンク —

[サウンドやメディアの設定を変更する \(P.91\)](#)

[オーディオシステムの ON/OFF と音量を調整する \(P.36\)](#)

[iPod/iPhone の再生についての留意事項 \(P.234\)](#)

Apple CarPlay の再生についての留意事項 (P.238)

Android Auto の再生についての留意事項 (P.241)

Miracast[®]の再生についての留意事項 (P.251)

Bluetooth[®]機器使用上の留意事項 (P.104)

Bluetooth[®]オーディオの再生についての留意事項 (P.244)

未登録のスマートフォンで Apple CarPlay を使用する

未登録のスマートフォンをマルチメディアシステムと接続して、Apple CarPlay を使用できます。登録済みスマートフォンの場合は、手順が異なります。

関連リンク

[登録済みスマートフォンで Apple CarPlay を使用する \(P.128\)](#)

Apple CarPlay を USB 接続で使用する

マルチメディアシステムとスマートフォンをデータ通信用の USB Type-C ケーブルで接続することで、Apple CarPlay を使用できます。

1 スマートフォンの設定メニューから Siri を有効にします。

2 スマートフォンを USB Type-C 端子に接続します。

- Apple CarPlay のホーム画面が表示されます。
- 接続するスマートフォンによっては、もとの画面に戻るまでに約 3~6 秒かかることがあります。
- スマートフォンの画面に案内が表示された場合は、スマートフォンの案内に従って操作してください。

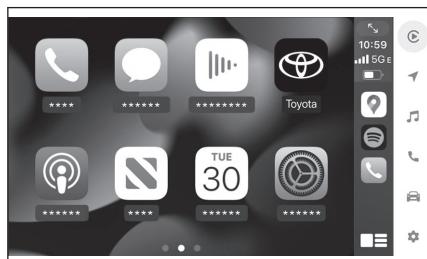
3 Apple CarPlay を操作します。

Apple CarPlay のホーム画面を表示する

場合は、メインメニューの [C] にタッチします。

Apple CarPlay と他の機能を切り替えるには、メインメニューのアイコンをタッチします。

メインメニューを表示するには、[] をタッチします。



メインメニューを非表示にするには、[] をタッチします。

マルチメディアシステムの画面を表示する場合は、Apple CarPlay アプリ画面で [] をタッチします。



画面表示を切り替えます。

タッチし続けると Siri が起動します。

知識

- Apple CarPlay が接続されているときは、ステアリングの [] スイッチを押し続けると Siri を開始します。中止するには、ステアリングの [] スイッチを短く押します。

- USB 接続で登録した時に、スマートフォン側でワイヤレス接続を使用する設定にした場合、次回からワイヤレス接続できるようになります。

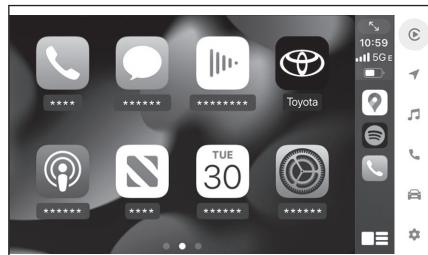
—— 関連リンク ——

[USB 機器を接続する \(P.41\)](#)

Apple CarPlay をワイヤレス接続で使用する

Apple CarPlay は、車両のワイヤレス接続機能を使用して、マルチメディアシステムにワイヤレスで接続できます。

- 1 スマートフォンの設定メニューから Siri を有効にします。
 - 2 メインメニューの[]にタッチします。
 - 3 [Bluetooth／機器]にタッチします。
 - マルチメディアシステムに登録済みのスマートフォンがない場合、機器検索画面が表示されます。手順 5 へ進んでください。
 - 4 [機器の新規登録]にタッチします。
 - 5 [見つからなかった場合]にタッチします。
 - 6 登録するスマートフォンを選択します。
 - 7 表示されている PIN コードが、スマートフォンに表示される PIN コードと同じことを確認し、[OK]にタッチします。
 - 画面の案内に従って操作してください。
 - 8 Apple CarPlay 設定が表示されたら、[はい]にタッチしてください。
 - Apple CarPlay のホーム画面が表示されます。
 - 接続するスマートフォンによっては、もとの画面に戻るまでに約 3~6 秒かかることがあります。
 - 失敗画面が表示されたときは、画面の案内に従って操作してください。
 - スマートフォンの画面に案内が表示された場合は、スマートフォンの案内に従って操作してください。
 - 9 Apple CarPlay を操作します。
- Apple CarPlay のホーム画面を表示する場合は、メインメニューの[]にタッチします。
- Apple CarPlay と他の機能を切り替えるには、メインメニューのアイコンをタッチします。
- メインメニューを表示するには、[]をタッチします。
- メインメニューを非表示にするには、[]をタッチします。



マルチメディアシステムの画面を表示する場合は、Apple CarPlay アプリ画面で [⌚] をタッチします。



画面表示を切りかえます。

タッチし続けると Siri が起動します。

□ 知識

- Apple CarPlay が接続されているときは、ステアリングの[Siri]スイッチを押し続けると Siri を開始します。中止するには、ステアリングの[Siri]スイッチを短く押します。
- Apple CarPlay をワイヤレス接続しているときは、マルチメディアシステムで Bluetooth®機能が使用できません。また、Wi-Fi Hotspot も併用できません。Apple CarPlay をご利用の場合は、USB ケーブル接続にてご利用ください。

登録済みスマートフォンで Apple CarPlay を使用する

登録済みスマートフォンをマルチメディアシステムと接続して、Apple CarPlay を使用できます。登録していないスマートフォンの場合は、手順が異なります。

—— 関連リンク ——

[未登録のスマートフォンで Apple CarPlay を使用する \(P.125\)](#)

Apple CarPlay を USB 接続で使用する

マルチメディアシステムとスマートフォンをデータ通信用の USB Type-C ケーブルで接続することで、Apple CarPlay を使用できます。

- スマートフォンがマルチメディアシステムに登録されているかご確認ください。
- 1 スマートフォンの設定メニューから Siri を有効にします。
 - 2 スマートフォンを USB Type-C 端子に接続します。
 - Apple CarPlay のホーム画面が表示されます。
 - 接続するスマートフォンによっては、元の画面に戻るまでに約 3~6 秒かかることがあります。
 - 失敗画面が表示されたときは、画面の案内に従って操作してください。
 - スマートフォンの画面に案内が表示された場合は、スマートフォンの案内に従って操作してください。
 - Apple CarPlay のホーム画面が表示されなかった場合は、以下をご確認ください。
 - メインメニューの [C] をタッチしてください。
 - メインメニューに [C] が表示されていない場合は、Apple CarPlay を使用するスマートフォンを選択し、[Apple CarPlay] を ON にします。画面の案内に従って操作してください。

3 Apple CarPlay を操作します。

Apple CarPlay のホーム画面を表示する

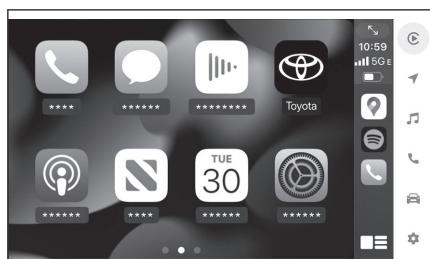
場合は、メインメニューの [C] にタップします。

Apple CarPlay と他の機能を切り替えるには、メインメニューのアイコンをタップします。

メインメニューを表示するには、[↖] をタップします。

メインメニューを非表示にするには、[↖] をタップします。

マルチメディアシステムの画面を表示する場合は、Apple CarPlay アプリ画面で [Toyota] をタップします。





画面表示を切り替えます。

タッチし続けると Siri が起動します。

□ 知識

Apple CarPlay が接続されているときは、ステアリングの[]スイッチを押し続けると Siri を開始します。中止するには、ステアリングの[]スイッチを短く押します。

— 関連リンク —

[USB 機器を接続する \(P.41\)](#)

[Bluetooth®機器を設定する \(P.100\)](#)

Apple CarPlay をワイヤレス接続で使用する

Apple CarPlay は、車両のワイヤレス接続機能を使用して、マルチメディアシステムにワイヤレスで接続できます。

- スマートフォンがマルチメディアシステムに登録されているかご確認ください。
- 1 スマートフォンの設定メニューから Siri を有効にします。
 - 2 メインメニューの[]にタッチします。
 - 3 [Bluetooth／機器]にタッチします。
 - 4 Apple CarPlay を使用するスマートフォンを選択し、[Apple CarPlay]を ON にします。

Apple CarPlay のホーム画面が表示されます。

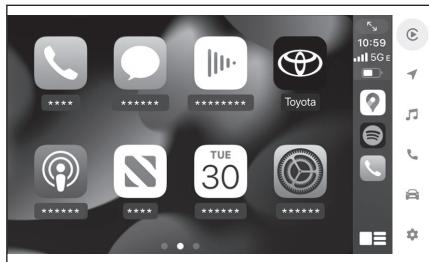
- 接続するスマートフォンによっては、もとの画面に戻るまでに約 3~6 秒かかることがあります。
- 失敗画面が表示されたときは、画面の案内に従って操作してください。
- スマートフォンの画面に案内が表示された場合は、スマートフォンの案内に従って操作してください。
- Apple CarPlay のホーム画面が表示されなかった場合は、メインメニューの[]をタッチしてください。

5 Apple CarPlay を操作します。

Apple CarPlay のホーム画面を表示する場合は、メインメニューの[]にタッチします。

Apple CarPlay と他の機能を切り替えるには、メインメニューのアイコンをタッチします。

メインメニューを表示するには、[]をタッチします。



メインメニューを非表示にするには、[]をタッチします。

マルチメディアシステムの画面を表示する場合は、Apple CarPlay アプリ画面で []をタッチします。

[]/[]

画面表示を切り替えます。

タッチし続けると Siri が起動します。

知識

- Apple CarPlay が接続されているときは、ステアリングの[]スイッチを押し続けると Siri を開始します。中止するには、ステアリングの[]スイッチを短く押します。
- Apple CarPlay をワイヤレス接続しているときは、マルチメディアシステムで Bluetooth®機能が使用できません。また、Wi-Fi Hotspot も併用できません。Apple CarPlay をご利用の場合は、USB ケーブル接続にてご利用ください。

—— 関連リンク ——

[Bluetooth®機器を設定する \(P.100\)](#)

Android Auto を使用する

マルチメディアシステムとスマートフォンをデータ通信用の USB Type-C ケーブルで接続することで、Android Auto を使用できます。

- 接続するスマートフォンに Android Auto アプリケーションがインストールされていることを確認します。
- スマートフォンを USB Type-C 端子に接続します。

Android Auto のホーム画面が表示されます。

- 接続するスマートフォンによっては、もとの画面に戻るまでに約 3~6 秒かかることがあります。
- 失敗画面が表示されたときは、画面の案内に従って操作してください。
- スマートフォンの画面に案内が表示された場合は、スマートフォンの案内に従って操作してください。
- Android Auto のホーム画面が表示されなかった場合は、以下をご確認ください。
 - メインメニューの[▲]をタッチしてください。
 - メインメニューに[▲]が表示されていない場合は、Android Auto を使用するスマートフォンを選択し、[Android Auto]を ON にします。

3 Android Auto を操作します。

アプリケーションにタッチすることで、Android Auto でサポートされているアプリケーションを使用できます。



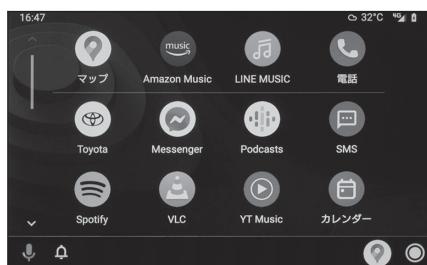
マルチメディアシステムの画面を表示します。

再度、Android Auto のホーム画面を表示

する場合は、メインメニューの[▲]にタッチします。



Google Assistant™ を起動します。



□ 知識

Android Auto が接続されているときは、ステアリングの[▲]スイッチを押し続けると Google Assistant™ を開始します。中止するには、ステアリングの[▲]スイッチを短く押します。

— 関連リンク —

[USB 機器を接続する \(P.41\)](#)

[Bluetooth®機器を設定する \(P.100\)](#)

Apple CarPlay/Android Auto が故障したとお考えになる前に

Apple CarPlay/Android Auto でお困りの際は、まず次の表を確認してください。

症状	処置
Apple CarPlay/Android Auto が起動しない。	<p>接続するスマートフォンが Apple CarPlay/Android Auto をサポートしているか確認してください。 スマートフォン側で Apple CarPlay/Android Auto が有効になっているか確認してください。 接続するスマートフォンに Android Auto アプリケーションがインストールされているか確認してください。 詳細については、次の URL をご覧ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● Apple CarPlay : https://www.apple.com/jp/ios/carplay/ ● Android Auto : https://www.android.com/auto/
	<p>登録済みスマートフォンの Apple CarPlay/Android Auto 機能がマルチメディアシステムで ON になっているか確認してください。</p> <p>USB 接続の場合、使用している USB Type-C ケーブルがスマートフォンと USB Type-C 端子にしっかりと接続されているか確認してください。USB ハブは使用せずに、直接 USB Type-C 端子にスマートフォンを接続してください。</p> <p>Apple CarPlay と Android Auto の接続に正しい USB Type-C 端子が使用されていることを確認してください。充電専用の USB Type-C 端子はスマートフォンアプリではご利用いただけません。</p> <p>Apple CarPlay がワイヤレス接続の場合、次のことをご確認ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● スマートフォンでマルチメディアシステムに Bluetooth®接続できているかご確認ください。 ● スマートフォンが Wi-Fi®を使用できる設定になっているかご確認ください。 <p>Apple CarPlay の場合：使用している Lightning ケーブルが Apple 認証されているものか確認してください。</p> <p>Siri が有効になっているか確認してください。</p> <p>充電専用の USB Type-C ケーブルではスマートフォン連携機能はご利用になれません。</p> <p>データ転送が可能なケーブルをご利用ください。一部ケーブルには対応できないものがあります。</p> <p>USB Type-C ケーブルに関する推奨要件は下記となります。</p>

症状	処置
Apple CarPlay/Android Auto が起動しない。	<ul style="list-style-type: none"> ● iPhone : Apple 純正の USB Type-C ケーブルもしくは、Apple の MFi 認証取得済み USB Type-C ケーブルを使用してください。 ● Android : 1.8m 以下の長さのケーブルを使用し、延長ケーブルは使用しないでください。 ● USB マーク のあるケーブルを使用してください。 <p>これまで動作していたスマートフォン連携機能が動作しなくなった場合は、USB Type-C ケーブルを交換すると問題が解決する場合があります。</p> <p>上記をすべて確認したあとに、Apple CarPlay/Android Auto を接続してください。</p>
スマートフォンで YouTube を再生したときに、動画が表示されない。	Apple CarPlay/Android Auto は、YouTube 動画を表示することはできません。
音声が出力されない。	<p>マルチメディアシステムがミュートになっているか、音量が小さい可能性があります。マルチメディアシステム側の音量を上げてください。</p> <p>Apple がサポートするアプリが Apple CarPlay に使用されている、または Google™がサポートするアプリが Android Auto に使用されていることを確認してください。Web ブラウザから音楽を再生すると、音声が出力されないか、適切な音声が出力されない場合があります。</p>
画面がちらつく、音声にノイズが入る。	<p>マルチメディアシステムとの接続に使用している USB Type-C ケーブルが損傷していないか確認してください。USB Type-C ケーブルが内部で損傷しているかは、スマートフォンを PC などの別のシステムに接続し、充電が開始され、接続したシステムで認識されることを確認してください。</p> <p>USB Type-C ケーブルを別のケーブルに交換してください。</p>
Apple CarPlay 地図アプリで地図表示を拡大／縮小できない。	Apple CarPlay 地図アプリはピンチアウト／ピンチイン操作することはできません。
Apple CarPlay の画面がディスプレイの中央に表示され、画面全体に表示されない。	iOS Ver.10 以降で画面全体表示がサポートされています。最新の iOS にアップデートしてください。

症状	処置
Apple CarPlay の Apple Music や Spotify などの Music アプリで音楽再生中に、iPhone 側で Apple CarPlay 非対応アプリ ⁽¹⁾ を起動し音声出力した際、マルチメディアシステムでボリュームを変更すると、非対応アプリの音声が終了し、元の Music アプリの音楽再生に戻る。	本動作はマルチメディアシステムの仕様のため、誤動作ではありません。
FM などマルチメディアシステムのオーディオ再生中に、Apple CarPlay 非対応アプリ ⁽¹⁾ の割り込み音声出力が発生した場合、元のオーディオに戻らない。	本動作はマルチメディアシステムの仕様のため、誤動作ではありません。お客様自身でオーディオソースを変更してください。もしくは、Apple CarPlay 非対応アプリ ⁽¹⁾ の使用をお控えください。一部のナビアプリは iOS12 から対応となっています。最新の iOS、アプリに更新してください。
Apple CarPlay を使用中に、マルチインフォメーションディスプレイに、ルート案内矢印とターンバイターンナビゲーションが表示されない。	本機能はマルチインフォメーションディスプレイの仕様、または使用している地図アプリによっては表示されない場合があります。
Android Auto を使用中に、マルチインフォメーションディスプレイおよびマルチメディアシステム画面に、ターンバイターンナビゲーションが表示されない。	通話を終了してください。 スマートフォンを USB Type-C ケーブルからはずし、ハンズフリー電話を使用した場合に、音声が聞こえるかどうかを確認してください。
Android Auto を使用中、ハンズフリー通話の音声が車両のスピーカーから聞こえない。	マルチメディアシステムの音量を上げて、ハンズフリー電話の音声が聞こえるかどうかを確認してください。 他のスマートフォンにかえた場合に、音声が聞こえるかどうかを確認してください。
Android Auto を終了した後、電話が接続されていた。	本動作はマルチメディアシステムの仕様のため、誤動作ではありません。

(1) Apple CarPlay 非対応アプリとは、Apple CarPlay 画面のアプリ一覧に表示されないが iPhone 上にインストールされたアプリのこと。

——関連リンク——

[Bluetooth®機器を設定する \(P.100\)](#)

[USB 機器を接続する \(P.41\)](#)

オーディオシステムの ON/OFF と音量を調整する (P.36)

Bluetooth®機器との接続 (P.112)

サウンドやメディアの設定を変更する (P.91)

タッチスクリーン操作上の留意事項 (P.24)

4-1. ナビゲーションシステムについて	
コネクティッドナビ	138
4-2. 地図の情報について	
地点情報を表示する	140
地図オプション画面	141
施設記号を表示する	142
地図表示設定	144
地図記号・地図表示について ...	145
高速略図（ハイウェイモード）について	149
4-3. 目的地の検索	
目的地検索について	152
目的地検索画面の見方	153
検索結果リスト画面の見方	158
経由地を追加する	160
電話帳から目的地を検索する ...	161
スマートフォンから目的地を設定する	162
4-4. 目的地の設定	
全ルート図表示画面の見方	164
目的地案内のデモを見る	167
ルート情報を表示する	168
ルートオプションを変更する ...	169
他の経路に変更する	170
出入り口 IC（インターチェンジ）を指定する	171
目的地の詳細情報を表示する ...	172
通過する地点を設定する	173
経由地を編集する	174
4-5. ルート案内	
ルート案内画面の見方	175
さまざまなレーン表示画面	177
ルートを再探索する	180

4-6. VICS・交通情報	
VICS・交通情報を使う	181
VICS・交通情報について	182
タイムスタンプの情報表示	183
渋滞や規制情報の音声案内	184
VICS 記号の内容を表示する	185
VICS・交通情報を表示する道路を設定する	186
VICS・交通情報を表示する種類を設定する	187
VICS 図形情報や文字情報を表示する	188
緊急情報の表示	189
気象、災害情報のエリア表示 ...	190
新旧ルートを比較して表示する	191
VICS 放送局を選択する	192
VICS 記号や表示について	193
VICSについて	196
交通ナビ関連情報を表示する ...	202
4-7. 地図データの更新	
地図を更新する	203
地図データ情報	206

コネクティッドナビ

トヨタスマートセンターから最新の地図データと目的地情報を取得して画面に表示し、ナビゲーションを行うセンター通信型のナビゲーションサービスです。ご利用には T-Connect 契約とコネクティッドナビのオプション契約が必要です。初度登録日より 5 年間無料（6 年目以降有料）です。

- 現在地周辺の最新地図をトヨタスマートセンターから取得して表示します。ルート案内時にはルート沿いの最新地図も取得します。
- トヨタスマートセンターからプローブコミュニケーション交通情報に基づく「現在地周辺の交通情報」および「高速道路・一般道路の渋滞予測情報」を考慮した最適なルートを配信します。
- ルート案内中もトヨタスマートセンターで定期的なタイミングで最適ルート探索を行い、より短時間で目的地に到着できるルートがあれば、新しいルートを提案します。

— 関連リンク —

[T-Connect を契約する \(P.298\)](#)

コネクティッドナビ（車載ナビ装着車）

車載機にナビ地図を持っているため、トヨタスマートセンターと通信できないエリアでは車載ナビの地図表示、ルート探索を行います。通信環境の良いエリアに入ると、自動的にトヨタスマートセンターと通信を開始してコネクティッドナビによる地図表示、ルート探索を行います。

□ 知識

- 目的地をセットすると、自動的にトヨタスマートセンターでルート探索を行います。T-Connect センターから配信されるルートには [↓] が表示されます。
- T-Connect 契約とコネクティッドナビのオプション契約がない場合も、車載ナビによる地図表示、ルート案内を利用できます。
- 車載ナビの地図は初度登録から 5 年間は自動で更新されます。

コネクティッドナビ（車載ナビ装着車を除く）

車載機にナビ地図を持っていないため、トヨタスマートセンターと通信できないエリアでは一時的に保持している地図を表示します。また、通信できないエリアではルート探索などのナビ機能をご利用できない場合があります。

□ 知識

- T-Connect 未契約の場合はナビ機能を利用できなくなり、コンパス画面が表示されます。
- 一時的な地図の保持は、自車を中心とした約 80km 四方、およびルート沿い（目的地設定時）となります。保持しているエリア外において、通信できない状態が一定

期間続く場合、地図表示ができないなど、ナビゲーション機能に制限がかかります。

地点情報を表示する

地図画面上の地点や施設の情報を確認することができます。

1 施設にタッチ、または希望の地点を長押しします。

希望の地点を短押ししたときは、タッチした地点の住所が表示されます。[]にタッチすると、その地点をお気に入りに登録できます。

2 希望の項目にタッチします。



- [A] お気に入りに登録するためにタッチします。
- [B] インターネットから取得した評価などの情報が表示されます。
- [C] タッチした地点の住所や営業時間などの詳細な情報が表示されます。
- [D] 施設に登録された電話番号に電話をかけるためにタッチします。
- [E] 地点を目的地としてルート案内を開始します。
- [F] 地点を目的地として全ルート図表示画面が表示されます。すでに目的地を設定している場合、経由地として追加することもできます。
- [G] 同じ地点に複数の施設が重なっている場合に施設の一覧が表示されます。

タッチすると、その施設の情報表示に切りかわります。情報表示の[◀][▶]で切りかえることもできます。

地図オプション画面

施設記号や交通情報など地図画面上の表示を設定することができます。

- 1 地図画面上の[***]にタッチします。



- 2 [周辺施設表示]または[地図表示]にタッチします。

[周辺施設表示]：地図上に表示する施設記号を設定することができます。

[地図表示]：地図上に表示する情報を設定することができます。



— 関連リンク —

[施設記号を表示する \(P.142\)](#)

[地図表示設定 \(P.144\)](#)

施設記号を表示する

レストランなどの施設記号を地図上に表示することができます。

- 1 地図画面上の[...]にタッチします。
- 2 [周辺施設表示]にタッチします。
- 3 地図上に表示させたい施設にタッチします。

表示されている以外のジャンルを設定するときは[他の施設に変更]にタッチします。



□ 知識

- 地図データに情報のない施設は、表示されません。
- 800m スケールより広域の地図には表示されません。
- 表示することができる施設は、自車位置マーク[...]または[...]から半径約10km以内にある施設のみです。(最大200件まで)
- 800mスケールより詳細の地図には、表示施設が密集していると設定したジャンル単位で集約されます。(道路を見やすくするため)
 - アイコンの右上に集約された件数[...]が表示され、タッチすることで集約された表示施設の確認を行うことができます。
- ナビゲーション設定からも表示施設の設定を行うことができます。
- 駐車場の施設記号の上部には料金が表示されます。^{*1}
 - 駐車時間を設定することで現在の時刻からの駐車時間を考慮した料金が表示されます。
 - 駐車時間の設定は1時間～24時間まで1時間単位で設定できます。
 - 駐車料金情報がない場合は表示されません。
 - 駐車料金は予告なく変更となる場合があります。現地看板などをご確認のうえご利用ください。
 - 駐車料金が1万円以上の場合、「1万円～」と表示されます。

△ 注意

一部の駐車場では、利用する際に事前に専用サイトにて予約が必要になります。

^{*1}: T-Connect契約が必要です。

—— 関連リンク ——

[地図表示設定をする \(P.76\)](#)

施設記号表示の設定について

- 1 地図画面上の[***]にタッチします。
- 2 [周辺施設表示]にタッチします。
- 3 [他の施設に変更]にタッチします。
- 4 入れかえたい登録済みの施設にタッチします。
- 5 新しく登録する施設にタッチします。

話題スポット

周辺施設表示で**[話題スポット]**の表示をONにすると、地図上に新しくオープンした施設などを表示することができます。

地図画面上のアイコンにタッチすると詳細が表示されます。営業時間などを確認できます。^{*1}



^{*1}: T-Connect 契約が必要です。

地図表示設定

交通情報などの地図上に表示する情報を設定することができます。

- 1 地図画面上の[***]にタッチします。

- 2 [地図表示]にタッチします。

[**交通情報**]：交通情報の表示／非表示を切りかえることができます。

[**高速略図**]：高速略図の表示／非表示を切りかえることができます。

[**走行軌跡**]：走行した経路（軌跡）の表示／非表示を切りかえることができます。

非表示に切りかえるときは、蓄積情報を消去するか確認のポップアップが表示されます。



——関連リンク——

[高速略図（ハイウェイモード）について \(P.149\)](#)

走行した経路を表示する（走行軌跡）

走行した道路を約1000km分保存し、軌跡を表示することができます。

- 1 地図画面上の[***]にタッチします。

- 2 [地図表示]にタッチします。

- 3 [走行軌跡]にタッチします。

□ 知識

- 保存できる距離を超えて走行したときは、古い軌跡を消去して、新しい軌跡を保存します。
- 1/2500図～1/512万図で表示することができます。

地図記号・地図表示について

- 選択した地図色によって、道路の表示色および記号のデザインが異なります。
- VICS・交通情報を表示する設定になっているときは、道路の表示色が異なります。

表示	内容
	高速道路 (都市高速道路・有料道路を含む)
	国道
	主要道・都道府県道・一般幹線道
	トンネルまたは整備計画区間 (各道路で表示色は異なります。)
	私鉄
	JR
	水域
	都道府県界
	緑地
	駅舎・敷地

地図色				内容
サンストーン／アクアマリン	クオーツ(昼)	クオーツ(夜)／フローライト	トパーズ	
				駅
				学校
				銀行等金融機関
				デパート
				ホテル
				競技場
				スキー場

地図色				内容
サンストーン／アクアマリン	クオーツ(昼)	クオーツ(夜)／フローライト	トパーズ	
				ゴルフ場
				キャンプ場
				温泉
				海水浴場
				スケート場
				ヨットハーバー
				駐車場
				国の機関
				郵便局
				公園、緑地
				消防署
				市役所
				町村役場
				都道府県庁
				警察署
				病院
				港湾
				空港
				フェリー発着場
				道の駅
				城

地図色				内容
サンストーン／アクアマリン	クオーツ(昼)	クオーツ(夜)／フローライト	トパーズ	
				神社
				仏閣
				教会
				名所・観光地
				幼稚園
				工場
				変電所
				ビル
				NTT
				灯台
				山岳
				靈園・墓地
●	●	●	●	その他の施設
				SA (サービスエリア)
				PA (パーキングエリア)
				IC (インターチェンジ)
				交差点
				スマート IC
				踏切
				事故多発地点
				開かずの踏切 ⁽¹⁾

地図色				内容
サンストーン／アクアマリン	クオーツ(昼)	クオーツ(夜)／フローライト	トパーズ	
				県庁所在地
				市町村 東京 23 区
				東京 23 区以外 の区
				トヨタ販売店

(1) 列車がひんぱんに通過するため、通過するのに時間がかかる踏切。

知識

- 地図データに収録されている開かずの踏切データは、国土交通省の資料を参考に作成しています。
- 表示される記号・表示の位置は実際と異なることがあります。また、複数の施設が代表して1つのマークで表示されることがあります。

— 関連リンク —

[地図表示設定をする \(P.76\)](#)

高速略図（ハイウェイモード）について

高速道路に入ると、自動的にハイウェイモード表示に切りかわります。目的地案内中は、都市高速または一部の有料道路に入っても、自動的にハイウェイモード表示に切りかわります。



- A 施設の名称を表示
- B 現在地からの距離を表示
- C VICS／交通情報を受信したとき、赤色（渋滞）、黄色（混雑）、黒色（通行止め）を表示

「VICS／交通情報の表示設定」で、[一般道のみ]に設定しているときでも、VICS／交通情報を表示できます。

- D 施設にある設備を表示

● 設備の数が多い場合は表示されない設備もあります。

- E 表示区間を切りかえているときにタッチすると、自車が走行している区間に戻る

[P 空]：駐車場の混雑状況が表示されます。空き状態は[空]、混雑状態は[混]、満車状態は[満]と表示されます。

[][!]：工事や路上障害物などによる交通規制がある場合に表示されます。

[立ち寄る ETC 20]：道の駅を経由地に追加します。

—— 関連リンク ——

[地図表示設定 \(P.144\)](#)

設備のマークについて

記号	内容
	ベビーコーナー
	ドッグラン
	コンビニ
	オストメイトトイレ
	インフォメーション
	トイレ
	スナックコーナー
	ショッピングコーナー
	郵便ポスト
	ハイウェイ温泉・銭湯
	FAX サービス
	キャッシュコーナー
	仮眠休憩施設
	休憩所
	ハイウェイオアシス
	レストラン
	コインシャワー
	充電ステーション

□ 知識

- 反対車線の情報は表示されません。
- ガソリンスタンドなど固有のロゴマークが出ることがあります。
- SA・PAに入るなど、高速道路の本線からはずれたときは、ハイウェイモード表示が解除されることがあります。

- 目的地案内中のとき、出口 IC・SA・PA または分岐する JCT の手前では、高速分岐案内画面が自動的に表示され、ハイウェイモードが解除されます。JCT のときはその後、高速分岐案内画面が終了すると、自動的にハイウェイモードに復帰します。

目的地検索について

目的地検索画面から目的地を検索し、設定できます。

- 1 地図画面上の[Q]にタッチします。
- 2 目的地検索画面が表示されます。目的地の検索方法にタッチします。



- 3 検索結果リスト画面が表示されます。リストから目的地に設定したい項目にタッチします。

- すでに目的地が設定されているときは、[新規目的地]（新しく目的地を設定）、または[経由地追加]にタッチします。
- T-Connect 契約時は、トヨタスマートセンター上のコンテンツを活用した目的地検索を行うこともできます。

—— 関連リンク ——

[経由地を編集する \(P.174\)](#)

[キーボードで情報を検索する \(P.52\)](#)

目的地検索画面の見方



A 施設名、住所、電話番号などを入力して検索します。

B カーソルを移動します。

- 続けてタッチすると、連続してカーソルが移動します。
- 未確定の場合は、未確定の範囲内でカーソルが移動します。
- 確定、未確定に関係なく、カーソルを移動した位置から文字を挿入できます。
- 変換範囲のみ変換するときは、希望の候補にタッチできます。変換範囲（文節）が間違っているときは、[◀]・[▶]にタッチして変換範囲を修正できます。

C お気に入り登録されている地点のリストを表示します。

お気に入り地点を登録しているときのみ使用できます。

D 目的地履歴（過去に設定した目的地）の地点のリストを表示します。

目的地履歴が存在するときのみ使用できます。

E 住所で検索します。^{*1}

F 電話番号で検索します。^{*1}

G マップコードで検索します。

H スマートフォンからあらかじめ送信されたおでかけプランの地点のリストを表示します。^{*2}

I 自宅を目的地としてルート探索を開始します。

自宅を登録していない場合は、[]にタッチし、登録します。

*1: コネクティッドナビ（車載ナビ装着車）のみ使用できます。

*2: T-Connect 契約とコネクティッドナビのオプション契約が必要です。（初度登録から5年間無料でご利用いただけます。）

- J 名称部分をタッチすると、全ルート図表示画面が表示されます。[開始]にタッチすると、すぐにルート案内が始まります。

文字入力で目的地を検索する

施設の名称や住所、電話番号を入力して目的地を検索できます。

ラーメン、花見などのフリーワードでも検索ができます。

- 1 地図画面上の[]にタッチして、目的地検索画面を表示します。
- 2 [施設名、住所、電話番号で検索]にタッチします。
- 3 施設名、住所、電話番号などを入力し、[検索]にタッチします。
 - 文字を入力するごとに、検索される目的地候補が表示されます。
 - 入力された文字列に対して、過去の検索入力文字列や目的地履歴、お気に入り、文字列の一致条件から、ユーザーがこれから入力しようとする文字列を予測して入力文字列の候補として表示します。
 - ユーザーが入力ミスによる検索ワードで検索した結果、該当する検索結果が存在しないとき、正しいと思われる検索ワードを表示します。
 - ユーザーが入力した検索ワードに対する検索結果一覧に対して、付加価値の情報をもつ施設がわかるように情報が表示される場合があります。たとえば、「レス トラン」と入力すると、お店の評価などがリスト上に表示されたりします。^{*1}
 - 入力した文字数が上限を超えた場合、超えた分の文字は切り捨てられます。

自宅を登録する

- 1 地図画面上の[]にタッチして、目的地検索画面を表示します。
- 2 []にタッチします。
- 3 地図を登録したい場所に移動し、[この地点を登録]にタッチします。

知識

[住所から検索]をタッチすると、住所検索から自宅を登録することが可能です。

自宅を目的地に設定する

- 1 地図画面上の[]にタッチして、目的地検索画面を表示します。
- 2 []にタッチします。

[開始]にタッチすると、すぐにルート案内が始まります。

お気に入り地点を目的地に設定する

- 1 地図画面上の[]にタッチして、目的地検索画面を表示します。
- 2 希望のお気に入り地点にタッチします。

名称部分をタッチすると、全ルート図表示画面が表示されます。

*1: T-Connect 契約が必要です。

[開始]にタッチすると、すぐにルート案内が始まります。

知識

お気に入り登録した地点の名称を文字入力して検索することも可能です。

履歴で目的地を検索する

- 1 地図画面上の[]にタッチして、目的地検索画面を表示します。
- 2 [履歴]にタッチします。
- 3 目的地履歴から希望の目的地にタッチします。

名称部分をタッチすると、全ルート図表示画面が表示されます。

[開始]にタッチすると、すぐにルート案内が始まります。

住所で目的地を検索する^{*1}

- 1 地図画面上の[]にタッチして、目的地検索画面を表示します。
- 2 [住所]にタッチします。
- 3 都道府県名・市区町村名・町名・丁目（字）の順にタッチします。
[○○主要部]にタッチすると、広域図が表示されます。
- 4 [番地指定]にタッチします。
- 5 [検索]にタッチします。

電話番号で目的地を検索する^{*1}

- 1 地図画面上の[]にタッチして、目的地検索画面を表示します。
- 2 [電話番号]にタッチします。
- 3 電話番号を入力し、[検索]にタッチします。
 - 市外局番から入力します。
 - 同じ電話番号で複数の地点があるときは、施設名称にタッチします。
 - 検索できなかったとき、その旨を知らせるメッセージが表示されます。

知識

- 該当する施設がないときや個人住宅などのときは、市外・市内局番が使用されている地域の地図が表示されます。
- 同じ名前の施設が、複数表示されることがあります。

マップコードで目的地を検索する

- 1 地図画面上の[]にタッチして、目的地検索画面を表示します。

*1: 車載ナビ装着車のみ

- 2 [マップコード]にタッチします。
- 3 マップコードを入力し、[検索]にタッチします。

おでかけプランで目的地を検索する^{*1}

スマートフォンアプリ「My TOYOTA+」のナビ連携機能、または「moviLink」のナビ連携機能、スケジューラ連携機能にておでかけプラン（目的地、出発時間等）を設定しておくことで、乗車後に車載ナビでおでかけプランがある旨の通知を受けます。登録されたおでかけプランを選択することで目的地設定が可能となります。

この機能を使用するには、ドライバー登録する必要があります。

- 1 地図画面上の[]にタッチして、目的地検索画面を表示します。
- 2 [おでかけプラン]にタッチします。
- 3 希望のおでかけプランにタッチします。

名称部分をタッチすると、全ルート図表示画面が表示されます。

[開始]にタッチすると、すぐにルート案内が始まります。



知識

車載ナビで設定した目的地情報をスマートフォンアプリ「My TOYOTA+」のナビ連携機能に引き継ぐことも可能です。

関連リンク

[ドライバーを登録する \(P.54\)](#)

moviLinkについて

moviLink の入手方法や詳しい情報は下記サイトをご覧ください。

- URL：
<https://www.toyotaconnected.co.jp/movilink/>
- QR コード：

*1: T-Connect 契約とコネクティッドナビのオプション契約が必要です。（初度登録から 5 年間無料でご利用いただけます。）



4

ナビゲーション

検索結果リスト画面の見方

目的地を検索したとき、検索結果が複数あった場合、検索結果リストが表示されます。



- A** 前の画面に戻ります。
- B** 検索で入力した文字を表示します。
- C** 検索オプションを表示します。
- D** 検索結果リストが表示されます。リストをタッチすると、そのリストを目的地とした全ルート図表示画面が表示されます。
 - 施設内にある目的地候補も併せて表示されます。
- E** 現在表示されているリスト内の項目の位置が地図で表示されます。
 - 地図をスクロールしたあと、[このエリアを検索]にタッチすると、スクロールしたエリア内で目的地を検索することができます。

□ 知識

リストを長押しすると、そのリストを目的地とした位置微修正画面が表示されます。任意の場所に地図を移動して目的地の位置を修正できます。[ルート]をタッチすると、修正後の地点を目的地とした全ルート図表示画面が表示されます。

——関連リンク——

[地図の動かし方 \(P.35\)](#)

[全ルート図表示画面の見方 \(P.164\)](#)

検索オプションについて

検索結果リストの表示範囲や並び順を変更することができます。

- 1 検索結果リスト画面で[≡]にタッチします。
- 2 検索オプションを設定します。

-
- 3 設定が完了したら[完了]にタッチします。

4

ナビゲーション

経由地を追加する

目的地をすでに設定しているとき、新たな目的地を経由地として追加することができます。

● 目的地を設定している状態で目的地を検索します。

目的地を設定しようとするとメッセージが表示されます。

- [新規目的地]：現在設定している目的地を削除し、新たに目的地までのルート探索を開始します。
- [経由地追加]：指定した地点を経由地として含んだ目的地までのルート探索を開始します。

知識

- 地図画面上で任意の地点にタッチして、経由地を追加することもできます。
- 経由地と合わせて目的地は10か所まで追加できます。
- 追加した経由地は一番手前の目的地として追加されます。順番を変更する場合は、経由地編集で変更してください。

—— 関連リンク ——

[目的地検索について \(P.152\)](#)

[経由地を編集する \(P.174\)](#)

電話帳から目的地を検索する

接続しているスマートフォンの電話帳に住所が登録されている場合、電話帳から目的地を設定することができます。

- この機能を使用するには、スマートフォンをマルチメディアシステムに登録する必要があります。
- 登録されている住所が地図データがない場合は設定できません。

- 1 メインメニューの[]にタッチします。
- 2 [連絡先]にタッチします。
- 3 連絡先を選択します。
- 4 住所を選択します。

スマートフォンから目的地を設定する

NaviConについて

NaviCon^{*1}は多彩な連携アプリで探した行先を、ワンタッチでカーナビに転送し目的地に設定できるお出かけサポートアプリです。



NaviCon（iOS版／Android版）は無料でご利用いただけます。

入手方法や詳しい情報は下記サイトをご覧ください。

NaviConサポートサイト：<https://navicon.com/>



▶ マルチメディアシステムとの接続方法

接続方法	iOS デバイス	Android デバイス
Bluetooth®（無線）	○	○
USB（有線）	△ ^{*2}	×

*1: NaviConは、株式会社ミックウェアの登録商標です。

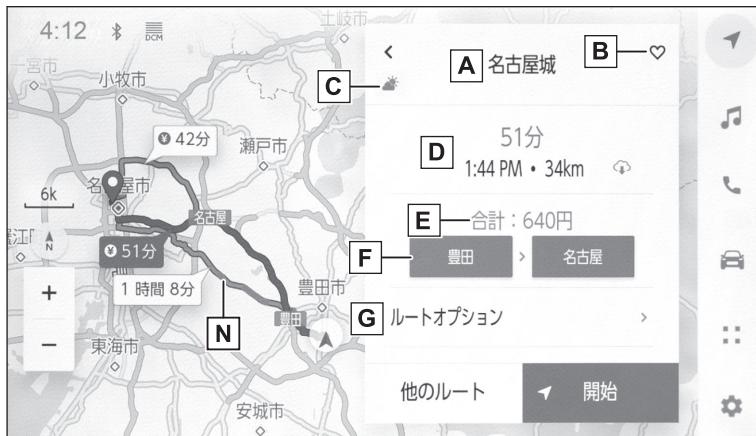
*2: ハンズフリー接続が必要です。

▶ マルチメディアシステムの対応機能

目的地設定	複数地点設定	地図操作	友達マップ連携
○	○	×	×

全ルート図表示画面の見方

目的地を設定すると、全ルート図表示画面になります。全ルート図表示画面で、希望ルートの選択やルート情報を確認することができます。



- [A] 目的地の名称または住所が表示されます。
 - [B] 目的地をお気に入り地点として登録します。
 - [C] 目的地の現在の天気が表示されます。^{*1}
 - [D] 出発地点から目的地までの距離と所要時間、到着予想時刻を表示します。
複数目的地を設定している場合、タッチすると各目的地の到着予想時刻リストが表示されます。
 - [E] 目的地までに通るすべての有料道路の料金を表示します。
- 初期設定では ETC 料金が表示されます。ETC 料金表示設定を OFF にすると、ETC を使用しない料金表示に切りかわります。

^{*1}: T-Connect 契約が必要です。

F 最初に一般道路から有料道路に入る IC の名称を左に、最後に有料道路から一般道路に出る IC の名称を右に表示します。入口および出口名を選択することで IC を変更することができます。

ETC 料金は通過予想時間を考慮して割引を計算した料金が表示されますが、実際には運転状況や交通状況により割引が適応されない場合があります。

G ルートオプションを表示します。

H 音声案内のミュート設定をします。

I 目的地の詳細情報を表示します。

J 目的地設定した地点周辺の駐車場リストを表示します。

● 駐車場の料金が表示されます。^{*1}

- 駐車時間を設定すると、現在の時刻からの駐車時間を考慮した駐車料金が表示されます。
- 駐車時間の設定は 1 時間～24 時間までの 1 時間単位で設定できます。
- 駐車料金情報がない場合は表示されません。
- 料金は予告なく変更となる場合があります。実際の駐車場看板をご確認ください。
- 駐車時料金が 1 万円以上かかる場合、「1 万円～」と表示されます。

K ルート情報を表示します。

L 条件の異なるルートに変更できます。

M 目的地案内を開始します。長押しすると目的地案内のデモを開始します。

● 施設を目的地に設定した場合は、営業時間などが表示される場合があります。

- 目的地への到着予想時刻が定休日や営業時間外のとき、案内を開始するか確認されます。
- 目的地の営業時間・定休日は実際と異なる場合があります。

● 目的地が高速道路や有料道路上に近い、橋やトンネル、線路などに近いとき、高速道路上やその周辺に変更するかを確認する通知が表示されます。

N 選択中のルートとは別のルートをタッチすることで希望のルートに変更できます。

● 推奨ルート、時間優先ルート、一般道路優先ルートの 3 つのルートから選択できます。デフォルトは推奨ルートが選択されています。

- センターへの接続状況などにより、提案されるルートが異なる場合があります。

● ¥が表示されているルートは有料道路を含むルートです。

——関連リンク——

[ルート設定をする \(P.78\)](#)

*1: T-Connect 契約が必要です。

- 目的地案内のデモを見る (P.167)
- ルート情報を表示する (P.168)
- ルートオプションを変更する (P.169)
- 他の経路に変更する (P.170)
- 出入り口 IC (インターチェンジ) を指定する (P.171)
- 目的地の詳細情報を表示する (P.172)
- 経由地を編集する (P.174)

目的地案内のデモを見る

目的地案内を開始する前に、目的地案内のデモを見ることができます。

- 全ルート図表示画面で[開始]を長押しします。

デモを終了するときは、[◀]または[終了]にタッチ、または走行します。

ルート情報を表示する

ルート探索終了後、ルート情報（道路名称・距離・通過予想時刻）を表示させることができます。

1 全ルート図表示画面で[道順]にタッチします。

2 目的地までのルート情報が表示されます。

現在地がルート上にあるときは、ルート情報画面に自車位置マーク[]が表示されます。



ルートオプションを変更する

スマート IC を利用しないなど、ルート探索する際の条件を変更できます。

1 全ルート図表示画面で[ルートオプション]にタッチします。

2 設定したい条件の項目を変更します。

- A** 特定の道路を避ける・避けないを切り替えます。
- B** 設定されている経由地の順番を変更します。
- C** ルート上の通過点の追加や削除、編集をします。



— 関連リンク —

[通過する地点を設定する \(P.173\)](#)

[経由地を編集する \(P.174\)](#)

他の経路に変更する

条件の異なるいくつかのルートから、希望のルートを選択できます。

1 全ルート図表示画面で[他のルート]にタッチします。

2 希望のルートにタッチしたあと[決定]にタッチします。



知識

- ルート探索パターンは、状況に応じて追加されたり無くなることがあります。
*1
- 全ルート図表示画面の地図画面で選択中のルートとは別のルートをタッチすることで希望のルートに変更可能です。

*1: T-Connect 契約が必要です。

出入り口 IC（インターチェンジ）を指定する

目的地を設定したあと、全ルート図表示画面に表示されている出口 IC・入口 IC を 1 力所ずつ指定することができます。

- 1 全ルート図表示画面を表示します。
- 2 [IC 名称表示]にタッチします。

選択した IC 周辺の IC 名称が表示されます。



- 3 指定したい IC 名称にタッチします。



□ 知識

[名称検索]で名称を検索すると、検索結果の周辺が表示されるため、そこから指定したい IC 名称にタッチします。

目的地の詳細情報を表示する

目的地の詳細情報を確認することができます。

- 全ルート図表示画面で[目的地情報を見る]にタッチします。

[概要]：地点の住所や電話番号、施設の場合は営業時間や定休日などの情報を表示します。

[評価]：口コミの詳細を表示します。

[その他]：施設やキャンペーン情報などを表示します。



□ 知識

T-Connect 未契約の場合、[概要][評価][その他]は表示されません。T-Connect 契約時でも施設によっては表示されません。

名称、住所、電話番号のみ表示されます。

通過する地点を設定する

目的地を設定したあと、ルート上の通過する地点を設定することができます。

- 通過点設定画面で[]にタッチします。



- 通過点として追加したい地点を地図上で指定して、[完了]にタッチします。

[]: タッチした経由地を削除することができます。

—— 関連リンク ——

[ルートオプションを変更する \(P.169\)](#)

経由地を編集する

ルート上に設定している経由地の順番の変更、および削除ができます。

- 1 経由地にタッチすると[上に移動]
[下に移動]が表示され、経由地の順番を入れかえることができます。

[]: タッチした経由地を削除することができます。



- 2 [OK]にタッチします。

—— 関連リンク ——

[ルートオプションを変更する \(P.169\)](#)

ルート案内画面の見方

ルート案内中は、ポイントとなる地点(交差点や分岐点など)で音声や画面で案内します。



A 自車位置から目的地までの距離と到着予想時刻が表示されます。

ルートからはずれた場合は、到着予想時刻は表示されず、目的地までの直線距離が表示されます。

タッチすると、全ルート図表示画面が表示されます。

B 次に分岐する交差点までの距離と分岐方向が表示されます。

タッチすると、目的地までのターンリストが表示されます。

C 目的地を設定したとき、目的地までのルートが表示されます。

ルート上に混雑や渋滞があった場合はルート色が変化します。(赤色：渋滞、黄色：混雑、黒色：通行止め)^{*1}

ルートの表示色の設定については「地図表示設定をする」をご覧ください。

D 目的地案内中、直近の通過および分岐する交差点に表示されます。

E 案内を終了します。複数目的地を設定している場合は、[案内終了]にタッチすることですべての目的地設定を削除し案内を終了、[次の目的地を削除]にタッチすることで次の目的地設定のみを削除し案内は継続されます。

- 緊急情報を受信したとき、案内画面上に通知が表示されます。
- ナビが逆走状態を検知したとき、逆走注意の案内が表示されます。
- ルート探索ができなかったときは、画面上に通知が表示されます。
- 居住者規制エリアに目的地設定した場合、ルート上に×印が表示されます。

——関連リンク——

[地図表示設定をする \(P.76\)](#)

*1: 地図色によって表示色は異なります。

さまざまなレーン表示画面 (P.177)

逆走注意案内を設定する (P.87)

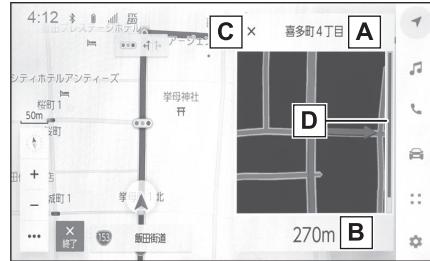
さまざまなレーン表示画面

目的地案内で、現在地がルート上にあるとき、分岐する交差点に近づくと、交差点拡大図に切りかわります。

交差点拡大図

分岐する交差点に近づくと、交差点案内が行われます。また、分岐する交差点手前では、交差点拡大図が表示されます。

- A** 通過・分岐する道路の名称を表示します。
- B** 現在位置からの距離を表示します。
- C** 交差点拡大図を閉じます。
- D** 交差点に近づくとともにゲージが短くなります。



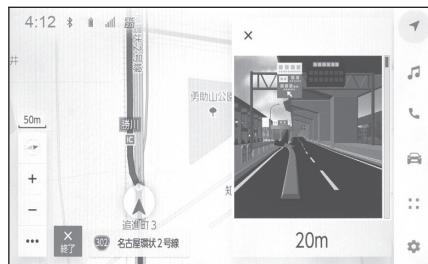
知識

- 地図データに情報のない交差点では、レーン表示・交差点名称表示は表示されません。
- 交差点拡大図は実際の交差点と異なることがあります。
- 目的地案内開始直後は、交差点案内が行われない場合があります。
- 交差点拡大図表示は、遅れたり早くなることがあります。
- 次の分岐する交差点が近いときは、続けて交差点拡大図が表示されます。
- 交差点拡大図は分岐する交差点のものが表示され、分岐する交差点より手前の交差点案内は行われません。
- 交差点拡大図上の残距離とマルチインフォメーションディスプレイ表示上の残距離は異なることがあります。
- ナビ画面上とマルチインフォメーションディスプレイ上の交差点拡大図の表示は異なります。

立体的な拡大図

目的地案内の分岐をわかりやすくするために、交差点手前の景観にあわせた立体的な拡大図が表示されることがあります。

拡大図を解除するときは[X]にタッチします。



- 拡大図には下記の種類があります。

- 都市高速 IC 入口
- 高速分岐
- 高速分岐渋滞案内

高速道路の分岐付近で渋滞が発生しているとき、渋滞情報と画像でお知らせします。

- 立体交差点
 - リアル交差点
- 都市部の交差点で分岐が分かりづらい交差点で表示されます。
- 側道案内

□ 知識

地図データに情報のある地点で表示されます。

都市高速レーン案内サービス

都市高速において、特殊なレーン移動が必要な旨を音声により案内します。

■ 都市高速での音声案内例

- 連続車線変更事前注意

「この先、300m すぐに右に車線変更が必要です。」

- 車線変更禁止区間

「およそ 1 km 先○○出口です。車線変更禁止区間にご注意ください。」

- 複数レーン

「まもなく、○○方面です。右側 2 車線を走行してください。」

交差点目印・信号機案内サービス

目的地案内中、交差点で曲がる方向をわかりやすくするために、曲がる方向と目印となる施設を音声で案内します。

■ 交差点での音声案内例

「まもなく、右方向です。○○が目印です。」

- ○○には目印となる施設の名称が案内されます。案内される施設の名称は、コンビニエンスストア、ガソリンスタンド、ファーストフード店などです。
- 案内される施設の名称は、情報のある地点のみ案内されます。

ルートを再探索する

目的地案内中（ルートからはずれたときも含む）に、ルートの再探索することができます。

- 1 地図画面で[▼]にタッチします。



- 2 [ルートオプション]または[他の経路]にタッチします。
- 3 再探索する条件にタッチします。
- 4 [OK]または[決定]にタッチします。

—— 関連リンク ——

[ルートオプションを変更する \(P.169\)](#)

[他の経路に変更する \(P.170\)](#)

VICS・交通情報を使う

地図上にVICS記号や交通情報を表示することができます。

- 赤色：渋滞、橙色：混雑、緑色：空き道

交通情報の表示／非表示の切り替えは
地図表示設定画面で行います。



— 関連リンク —

[地図表示設定 \(P.144\)](#)

VICS・交通情報について

- VICS・交通情報は表示されない地点があります。また、地図更新などにより今まで表示されていた地点でも、表示されなくなることがあります。
- 提供されるVICS・交通情報は、実際の交通状況と異なる場合がありますので、あくまでも参考としてください。
- 表示する地図の種類によっては、VICS・交通情報を表示させることができない場合があります。
- 交通情報量が多い場合は、表示までに時間がかかります。
- 1/16万図より広域な地図では、交通情報は表示されません。

■ 現況VICS情報について

VICSセンターから提供される現況の情報です。

□ 知識

現況情報は、1/16万図以上の詳細な地図で表示することができます。VICS記号によつては、1/16万図では表示できない記号もあります。

■ 現況プローブ交通情報について

トヨタスマートセンターから提供されるプローブコミュニケーション交通情報です。

T-Connect契約期間内、かつトヨタスマートセンターに接続されているときは現況交通情報も表示されます。

タイムスタンプの情報表示

地図表示設定から、現況情報の提供時刻を表示することができます。



■ 時刻表示

- 現況情報が提供された時刻を示しています。（現況情報が受信された時刻ではありません。）
- 現況情報が継続して受信されないと、約 30 分後に自動的に消去され、[--::--]の表示になります。現況情報が受信されていて、地図に表示する情報がないときも、表示が[--::--]になります。
- エンジンスイッチを ACC または ON にした直後など、現況情報が受信されるまでは、[--::--]の表示になります。

■ 文字表示

現況 VICS 情報を受信すると[VICS 交通情報提供]が黒色に点灯し、現況交通情報のみを受信すると[VICS 交通情報提供]は薄墨色になります。

□ 知識

- 現況 VICS 情報と現況交通情報の両方が受信されていないときは、タイムスタンプ全体が薄墨色になります。
- エンジンスイッチを ACC または ON にした直後など、現況情報が受信されるまでは [VICS 交通情報提供]が薄墨色になります。

——関連リンク——

[地図オプション画面 \(P.141\)](#)

渋滞や規制情報の音声案内

目的地案内中で、現在地がルート上にあるとき、ルート上（約1km以内）の現況情報を音声案内させることができます。

音声案内の例：

- VICS表示がある地点：「およそ1km先渋滞があります」
- VICS記号のある地点：「およそ1km先電気工事のため車線規制中です」

□ 知識

- 渋滞と規制音声自動発声の出力ON/OFFを設定できます。
- 音声案内はあくまでも参考としてください。
- 音声案内の例は一般的なものであり、状況などにより実際とは異なる案内をされることがあります。
- 自車位置が正確に特定できないときなどに、案内されなかつたり、まれに遅れたり、誤った案内をされることがあります。

——関連リンク——

[案内設定\(P.81\)](#)

VICS 記号の内容を表示する

地図画面上に表示される記号にタッチし、道路の種類／状況や施設情報、規制情報を表示することができます。

- 地図上の規制情報、または施設情報の記号にタッチします。

知識

VICS 記号によっては、内容が表示されないこともあります。

VICS・交通情報を表示する道路を設定する★

地図画面上の交通情報を表示する道路を設定することができます。

- 1 メインメニューの[]にタッチします。
- 2 [ナビゲーション]にタッチします。
- 3 [地図表示]にタッチします。
- 4 交通情報の[道路種別の表示]にタッチします。
タッチするごとに表示する／しないが切りかわります。
- 5 [OK]にタッチします。

知識

ハイウェイモードでは、[一般道]に設定しているときでも、VICS・交通情報が表示されます。

——関連リンク——

[高速略図（ハイウェイモード）について \(P.149\)](#)

★: グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

VICS・交通情報を表示する種類を設定する★

地図画面上に表示する交通情報などの種類を設定することができます。

- 1 メインメニューの[]にタッチします。
- 2 [ナビゲーション]にタッチします。
- 3 [地図表示]にタッチします。
- 4 表示するリアルタイム情報にタッチします。
 - [渋滞表示]
 - [空き道表示]
 - [規制情報]
 - [駐車場]

タッチするごとに表示する／しないが切りかわります。

★: グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

VICS 図形情報や文字情報を表示する

図形情報や文字情報を表示することができます。

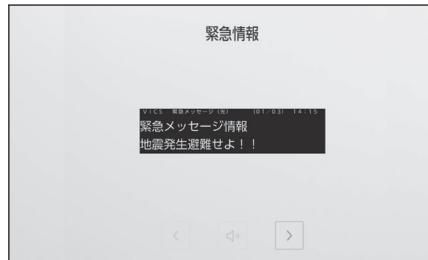
- 1 メインメニューの[]にタッチします。
- 2 [VICS/ETC2.0/TPSPS]にタッチします。
- 3 [FM VICS]にタッチします。
- 4 [FM 図形]、または[FM 文字]にタッチします。
- 5 情報の番号([1]/[2]/[3]...)にタッチします。
- 6 [<]/[>]または[自動送り]にタッチします。

- 前回情報を表示させたときに[自動送り]にタッチしていると、情報を表示すると同時に自動送りが開始されます。
- 情報のページを送るときは、[<]/[>]にタッチします。
- [自動送り]にタッチすると、情報が自動で送られます。すべての情報が表示されたあとは、最初のページに戻ります。走行中は自動送りできません。
- 情報の自動送りを中止するときは、[停止]にタッチします。
- 自動送り中に[<]/[>]にタッチして、情報を送ったときは、自動送りは中止されます。
- [目次]にタッチすると、手順5の画面に戻ります。

緊急情報の表示

緊急情報^{*1}を受信すると自動的に表示します。

緊急情報を切りかえるときは、[<] / [>] にタッチします。



緊急情報を地図画面から再表示する

一度表示した緊急情報を地図画面から再表示することができます。

- 地図上部の[確認]にタッチします。

緊急情報を情報画面から再表示する

一度表示した緊急情報を情報画面から再表示することができます。

- 1 メインメニューの[?]にタッチします。
- 2 [VICS/ETC2.0/TSPS]にタッチします。
- 3 [FM VICS]にタッチします。
- 4 [FM 緊急]にタッチします。

^{*1}: 気象、津波、火山噴火（地震を除く）の特別警報

気象、災害情報のエリア表示★

気象、災害情報を受信すると地図上に自動的に該当エリアがハイライト表示されます。

★: グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

新旧ルートを比較して表示する

トヨタスマートセンターから提供されるプローブコミュニケーション交通情報です。ビーコンまたはトヨタスマートセンターなどから提供される現況情報が受信され、渋滞および規制情報が考慮されたルートが新たに見つかったとき、新ルートと元ルートの比較と分岐点までの距離を表示します。

[新しいルートを表示]にタッチします。

比較画面を表示中に操作しなかったとき、または新ルートと元ルートの分岐点を通過したときは、元ルートで案内します。

新旧ルート比較表示を ON に設定したとき、新旧ルート比較表示ができます。



VICS 放送局を選択する★

現況 VICS 情報を提供している FM 放送局を選ぶことができます。通常は、自動で受信するように設定してください。自動で受信されないとみ手動で放送局、または放送エリアを選択してください。

- 1 メインメニューの[⚙]にタッチします。
- 2 [VICS/ETC2.0/TSPS]にタッチします。
- 3 VICS の[自動]もしくは、受信状況の[周波数]/[都道府県]にタッチします。



- [自動]を ON にすると、現在地がある都道府県の、VICS 提供 FM 放送局が受信され、移動すると自動的に放送局が切りかわります。
- [自動]を OFF にし、[都道府県]にタッチし、受信させる放送局のある都道府県名にタッチすると、選んだ都道府県の VICS 提供 FM 放送局が受信されます。
受信状態がかわると、選んだ都道府県内で自動的に放送局が切りかわります。
- [自動]を OFF にし、[周波数]にタッチし、放送局の周波数を選択すると、選んだ周波数の放送局が受信されます。
放送局の電波が受信されると、「受信中」が表示されます。
受信状態が変わっても自動的に放送局は切りかわりません。

□ 知識

新規エリアについては周波数を手動で選択しないと受信できない場合があります。

★: グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

VICS 記号や表示について

記号 ^{*1}	道路の種類／状況
	通行止めの区間
	渋滞している道路
	混雑している道路
	空き道

記号	施設情報
	駐車場／臨時駐車場（空車）
	駐車場／臨時駐車場（混雑）
	駐車場／臨時駐車場（満車）
	駐車場／臨時駐車場（不明）
	駐車場／臨時駐車場（閉鎖）
	SA・PA（空車）
	SA・PA（混雑）
	SA・PA（満車）
	SA・PA（不明）
	SA・PA（閉鎖）
	充電ステーション（空車）
	充電ステーション（混雑）
	充電ステーション（満車）
	充電ステーション（不明）
	充電ステーション（閉鎖）

*1: 選択した地図色によって、表示色が異なります。

*2: 夜画のときは白色で表示されます。

記号	規制情報
	事故
	故障車
	路上障害
	注意
	地震警戒宣言
	工事
	火災
	雨
	凍結
	雪
	作業
	通行止め
	右折禁止
	左折禁止
	直進禁止
	片側交互通行
	チーン規制
	進入禁止
	対面通行
	車線規制
	徐行
	入口閉鎖
	大型車両通行止め

記号	規制情報
	入口規制
	出口規制
	速度規制
	イベント
	気象速報
	災害速報

知識

表示される記号・表示の位置は実際と異なることがあります。また、複数のVICS・交通情報が代表して1つの記号で表示されることがあります。

—— 関連リンク ——

[地図表示のカスタマイズ設定 \(P.77\)](#)

VICSについて^{*1}

知っておいていただきたいこと

VICS（Vehicle Information and Communication System：道路交通情報通信システム）は、渋滞や事故・工事・所要時間・駐車場混雑状況などの道路交通情報をリアルタイムに送信し、ナビゲーションなどの車載のモニターに表示するシステムです。また、道路交通情報の提供を通して、安全性の向上・交通の円滑化による環境の保全などを促進することを目的としています。

VICSリンクデータベースの著作権は、一般財団法人日本デジタル道路地図協会・公益財団法人日本交通管理技術協会（TMT）が有しています。

VICS、およびこの機器に付与された[]のロゴマークは一般財団法人 道路交通情報通信システムセンターの登録商標です。

- 提供されるVICS情報はあくまでも参考としてください。(提供されるVICS情報は、最新ではありません。)
- 電波や光の信号がうまく受信されないときは、一部の表示が乱れることがあります。新しい信号が正しく受信されれば正しい表示に更新されます。
- VICSの表示内容は、VICSセンターが提供していますので、本書の画面と実際の画面は異なることがあります。
- VICS情報は、発信されている地域により、情報の内容が異なります。
- VICSによる交通情報（渋滞や混雑の矢印など）の地図への表示は、毎年、追加・更新・削除され、その削除された部分は経年により、一部の情報が表示されなくなることがあります。

■ FM多重放送特有の事項について

- FM多重放送は、一定周期で情報が更新されますので、情報が揃うまでに時間がかかることがあります。
- 以下のようなときは、VICS情報が受信されないことがあります。
 - トンネルの中にいるとき
 - 高層ビルの谷間にいるとき
 - 高架道路の下にいるとき
 - 盆地にいるとき
 - 大型車とすれちがったとき

「VICSWIDE」について

マルチメディアシステムは「VICSWIDE」に対応しています。従来のVICSに加えて、次のようなサービスを利用することができます。

- プローブ情報に対応した渋滞情報の提供拡大
- 緊急情報（特別警報（地震を除く））の提供

^{*1}: 車載ナビ装着車のみ

- 気象・災害情報エリアの表示

VICS のメディアについて

VICS は、FM 多重放送のメディアを受信することができます。

■ FM 多重放送

FM 多重放送は、VICS 提供 FM 放送局（NHK-FM）から電波の届く範囲の車両に VICS 情報の提供が行われます。

VICS の運用時間について

24 時間運用されています。

ただし、FM 多重放送は、メンテナンスのため休止する場合があります。

- 休止時間については、VICS FM 多重放送のホームページで案内します。
- VICS の運用時間は予告なく変更・廃止されることがあります。

VICS FM 多重放送を受信できないとき

FM 放送局から遠い場所などでは受信状態が悪くなり、受信できない場合があります。

VICS の用語について

より有効に VICS を利用していただくために、以下の用語の説明をご一読ください。

■ 緊急情報について

津波情報などの緊急の伝達が必要とされる情報を受信すると、このシステムでは、ほかの情報より優先して提供・表示されます。

■ 交通情報関連の用語について

- 渋滞：交通の流れが非常に悪い状態を示します。
- 混雑：交通の流れがやや悪い状態を示します。

■ 駐車場・SA・PA 関連の用語について

- 空車：駐車場（SA・PA）の利用が可能な状態を示します。
- 混雑：駐車場（SA・PA）において、利用率が高い状態を示します。
- 満車：駐車場（SA・PA）において、ほぼ満車の状態を示します。
- 不明：駐車場（SA・PA）の情報がない状態を示します。
- 閉鎖：駐車場が閉鎖されている状態を示します。

VICS センター著作権について

1 お客様は、共通ネットワーク仕様書の著作権その他知的所有権を一般財団法人道路交通情報通信システムセンター、一般社団法人 UTMS 協会および一般財団法人道路新産業開発機構が所有しまたは管理すること、並びに共通ネットワ

ーク仕様書以外の VICS 技術情報などの著作権その他知的所有権および使用許諾権を一般財団法人道路交通情報通信システムセンターが所有しましたは管理することに同意する。

2 お客様は、一般財団法人道路交通情報通信システムセンター、一般社団法人 UTMS 協会および一般財団法人道路新産業開発機構の共通ネットワーク仕様書の著作権その他知的所有権の保護に努める、並びに一般財団法人道路交通情報通信システムセンターの共通ネットワーク仕様書以外の VICS 技術情報などの著作権その他知的所有権および使用許諾権の保護に努める。

VICS の問い合わせ先について

■ トヨタ販売店への問い合わせについて

以下の内容は、トヨタ販売店にご相談ください。

ナビゲーションシステムに関するもの

■ VICS センターへの問い合わせについて

以下の内容は、VICS センターにご相談ください。

VICS およびご利用可能な場所に関するもの

■ VICS センター

電話番号（受け付け時間…9：30～17：45、土曜・日曜・祝日・年末年始休暇を除く）

0570-00-8831（全国共通・PHS、IP 電話などを除く）

FAX 番号（受け付け時間…24 時間）

03-3562-1719

ホームページ

次のアドレスでも連絡先をご覧いただけます。<https://www.vics.or.jp/>

連絡先およびアドレスは、予告なしに変更・休止することがあります。ご了承ください。

VICS 過去データについて

この製品を使用する際には、以下の条項に同意しなければなりません。

甲=一般財団法人道路交通情報通信システムセンター

1 契約者は、共通ネットワーク仕様書の著作権その他知的所有権を甲、一般社団法人 UTMS 協会および一般財団法人道路新産業開発機構が所有しましたは管理すること、並びに共通ネットワーク仕様書以外の VICS 技術情報などの著作権その他知的所有権および使用許諾権を甲が所有しましたは管理することに同意する。

2 契約者は、甲、一般社団法人 UTMS 協会および一般財団法人道路新産業開発機構の共通ネットワーク仕様書の著作権その他知的所有権の保護に努める、並びに甲の共通ネットワーク仕様書以外の VICS 技術情報などの著作権その他知的所有権および使用許諾権の保護に努める。

VICS 情報有料放送サービス契約約款

第1章 総則

(約款の適用)

第1条 一般財団法人道路交通情報通信システムセンター（以下「当センター」といいます。）は、放送法（昭和25年法律第132号）第147条の規定に基づき、このVICS情報有料放送サービス契約約款（以下「この約款」といいます。）を定め、これによりVICS情報有料放送サービスを提供します。

(約款の変更)

第2条 当センターは、この約款を変更することがあります。この場合には、サービスの提供条件は、変更後のVICS情報有料放送サービス契約約款によります。

(用語の定義)

第3条 この約款においては、次の用語はそれぞれ次の意味で使用します。

- (1) VICSサービス当センターが自動車を利用中の加入者のために、FM多重放送局から送信する、道路交通情報の有料放送サービス
- (2) VICSサービス契約当センターからVICSサービスの提供を受けるための契約
- (3) 加入者当センターとVICSサービス契約を締結した者
- (4) VICSデスクランプラーFM多重放送局からのスクランブル化（攪乱）された電波を解読し、放送番組の視聴を可能とするための機器

第2章 サービスの種類など

(VICSサービスの種類)

第4条 VICSサービスには、次の種類があります。

- (1) 文字表示型サービス文字により道路交通情報を表示する形態のサービス
- (2) 簡易図形表示型サービス簡易図形により道路交通情報を表示する形態のサービス
- (3) 地図重畠型サービス車載機のもつデジタル道路地図上に情報を重畠表示する形態のサービス

(VICSサービスの提供時間)

第5条 当センターは、原則として一週間に概ね120時間以上のVICSサービスを提供します。

第3章 契約

(契約の単位)

第6条 当センターは、VICSデスクランプラー1台ごとに1のVICSサービス契約を締結します。

(サービスの提供区域)

第7条 VICSサービスの提供区域は、当センターの電波の受信可能な地域（全都道府県の区域で概ね NHK-FM 放送を受信することができる範囲内）とします。ただし、そのサービス提供区域であっても、電波の状況により VICS サービスを利用することができない場合があります。

(契約の成立など)

第8条 VICSサービスは、VICS対応FM受信機（VICSデスクランプラーが組み込まれたFM受信機）を購入したことにより、契約の申込みおよび承諾がなされたものとみなし、以後加入者は、継続的にサービスの提供を受けることができるものとします。

(VICSサービスの種類の変更)

第9条 加入者は、VICSサービスの種類に対応したVICS対応FM受信機を購入することにより、第4条に示すVICSサービスの種類の変更を行うことができます。

(契約上の地位の譲渡または承継)

第10条 加入者は、第三者に対し加入者としての権利の譲渡または地位の承継を行うことができます。

(加入者が行う契約の解除)

第11条 当センターは、次の場合には加入者がVICSサービス契約を解除したものとみなします。

- (1) 加入者がVICSデスクランプラーの使用を将来にわたって停止したとき
- (2) 加入者の所有するVICSデスクランプラーの使用が不可能となったとき

(当センターが行う契約の解除)

第12条 当センターは、加入者が第16条の規定に反する行為を行った場合には、VICSサービス契約を解除することができます。また、第17条の規定に従って、本放送の伝送方式の変更などが行われた場合には、VICSサービス契約は、解除されたものと見なされます。

2 第11条または第12条の規定により、VICSサービス契約が解除された場合であっても、当センターは、VICSサービスの視聴料金の払い戻しをいたしません。

第4章 料金

(料金の支払い義務)

第13条 加入者は、当センターが提供するVICSサービスの料金として、契約単位ごとに加入時に別表に定める定額料金の支払いを要します。なお、料金は、加入者が受信機を購入する際に負担していただいております。

第5章 保守

(当センターの保守管理責任)

第14条 当センターは、当センターが提供するVICSサービスの視聴品質を良好に保持するため、適切な保守管理に努めます。ただし、加入者の設備に起因する視聴品質の劣化に関してはこのかぎりではありません。

(利用の中止)

第 15 条 当センターは、放送設備の保守上または工事上やむを得ないときは、VICS サービスの利用を中止することができます。

2 当センターは、前項の規定により VICS サービスの利用を中止するときは、あらかじめそのことを加入者にお知らせします。

ただし、緊急やむを得ない場合は、このかぎりではありません。

第 6 章 雜則

(利用に係る加入者の義務)

第 16 条 加入者は、当センターが提供する VICS サービスの放送を再送信または再配分することはできません。

(免責)

第 17 条 当センターは、天災、事変、気象などの視聴障害による放送休止、その他当センターの責めに帰すことのできない事由により VICS サービスの視聴が不可能ないし困難となった場合には一切の責任を負いません。また、利用者は、道路形状が変更した場合など、合理的な事情がある場合には、VICS サービスが一部表示されない場合があることを了承するものとします。ただし、当センターは、当該変更においても、変更後 3 年間、当該変更に対応していない旧デジタル道路地図上でも、VICS サービスが可能な限度で適切に表示されるよう、合理的な努力を傾注するものとします。

2 VICS サービスは、FM 放送の電波に多重して提供されていますので、本放送の伝送方式の変更などが行われた場合には、加入者が当初に購入された受信機による VICS サービスの利用ができなくなります。当センターは、やむを得ない事情があると認める場合には、3 年以上の期間を持って、VICS サービスの「お知らせ」画面などにより、加入者に周知のうえ、本放送の伝送方式の変更を行うことがあります。

[別表]

視聴料金 330 円（税込み）ただし、車載機購入価格に含まれております。

交通ナビ関連情報を表示する

JAF や道路交通情報センターなどの電話番号を表示することができます。また、登録されているお気に入りや設定されている目的地に電話番号が入力されいれば、その地点の電話番号を表示することができます。

- 1 メインメニューの[📞]にタッチします。
- 2 [交通情報]にタッチします。
- 3 希望の項目にタッチします。

A JAF もしくは都道府県名、施設名称にタッチします。

JAF の情報を表示します。

B 都道府県名、施設名称にタッチします。

道路交通センターの情報を表示します

C 任意のお気に入り情報にタッチします。

お気に入りの情報を表示します。

電話番号が登録されている場合は、名称／電話番号が表示されます。

D 任意の目的地にタッチします。

目的地の情報を表示します。

電話番号が登録されている場合は、名称／電話番号が表示されます。



□ 知識

事前に Bluetooth®接続が必要になります。

地図を更新する

地図更新画面の使い方

地図更新に関する情報の確認や操作は、地図更新画面から行います。

- 1 メインメニューの[]にタッチします。
- 2 [ナビゲーション]にタッチします。
- 3 [地図更新]にタッチします。
- 4 各項目を設定します。



A 更新サービス終了日を表示します。

B 地図のタイプを表示します。

C ナビバージョンを表示します。

D USB メモリーで更新します。

E 更新情報画面を表示します。

最新の更新日などの情報を確認できます。

F 使用データ画面を表示します。

マルチメディアシステムに収録されているデータベースなどの情報を確認できます。

G 更新する都道府県を選択する。

知識

- 地図更新は、初度登録日をサービス利用開始日とし、サービス利用開始日より 5 年間ご利用いただけます。
- 通信による更新のご利用には、T-Connect 契約が必要です。

通信による更新

DCM（通信モジュール）による自動更新

- トヨタスマートセンターに接続し、差分データがあると、データがダウンロードされます。
- 次回エンジンスイッチを ACC または ON 時に地図が更新されます。

地図更新中画面が表示されているあいだは、ナビゲーションの操作はできません。

都道府県選択による任意更新

- 地図更新画面で[都道府県の選択]にタッチします。
- 更新する都道府県を選択し、[更新する]にタッチします。
選択できる都道府県は最大 3 つです。
- 次回エンジンスイッチを ACC または ON 時に地図が更新されます。

地図更新中画面が表示されているあいだは、ナビゲーションの操作はできません。

USB メモリー（パソコン）で更新

地図データを用意する

- マップオンデマンドのダウンロードサイト (<https://mapondemand.jp>) からデータをダウンロードします。
- データを USB メモリーにコピーします。

△ 注意

- ダウンロードした地図データのファイル名および拡張子を変更しないでください。
- 地図データの入っているフォルダー (diff) には、地図データ以外の情報を入れないでください。

地図を更新する

- マルチメディアシステムに USB メモリーを接続します。
- [更新する]にタッチします。
- データがコピーされます。
- 地図更新の準備をします。
- 次回エンジンスイッチを ACC または ON 時に地図が更新されます。

□ 知識

- 地図更新情報画面が表示されているあいだは、ナビゲーションの操作はできません。

- 詳しい操作方法は、マップオンデマンドのダウンロードサイト（<https://mapondemand.jp>）にてご確認ください。
- USB メモリー内のファイルが極端に多い場合、地図データの認識に時間がかかることがあります。
- コピーが完了したら、USB メモリーを取りはずすことができます。

地図データ情報

地図データベースの情報を見る

地図データは、以下の方法で確認することができます。

- 1 メインメニューの[⚙️]にタッチします。
- 2 [ナビゲーション]にタッチします。
- 3 [地図更新]にタッチします。
- 4 [地図データ情報]にタッチします。

地図データについて

道路・地名・施設情報・料金は地図データ作成後、変更されることがありますので、現場の状況と異なることがあります。

なお、このナビゲーションシステムの「地図」は国土交通省国土地理院発行の地形図、および地勢図をもとに、一般財団法人日本デジタル道路地図協会作成の「全国デジタル道路地図データベース」と株式会社ゼンリンの地図情報を附加して、株式会社トヨタマップマスターが製作したものです。

□ 知識

- 地図の作成にあたり、できるかぎり正確なものを提供できるよう道路の改良、新規開通などの情報収集や現地調査などを行っております。しかしながら、道路・地名・施設情報・料金などは日々刻々と変化しており、その性質上、道路の抜け、道路形状・道路名称・施設名称・料金の間違いなどを完全にゼロにすることはできません。この点に留意してご利用ください。
- 幅が3m未満の区間を含む道路は、原則として地図データに収録されていません。道路工事や最新の測量により、幅が3m未満の区間を含むと判定された道路は、地図データベースの更新時に削除があります。
- 国土地理院の著作権情報については、以下のURLをご覧ください。

<https://www.aisin.com/copyright/21map>

地図データベースについて

■ 交通規制データの出典

この地図に使用している交通規制データは、公益財団法人日本道路交通情報センター（JARTIC）の交通規制情報を使用しています。この地図に使用している交通規制データは、道路交通法および警察庁の指導に基づき全国交通安全活動推進センターが公開している交通規制情報、公益財団法人日本道路交通情報センター（JARTIC）の交通規制情報を、株式会社トヨタマップマスターが加工して作成したものを使用しています。

■ 道路交通規制の優先

このデータが現場の交通規制と違うときは、現場の交通規制標識・標示などにしたがってください。

■ 交通事故多発地点

地図データに収録されている事故多発地点データは、警察庁および国土交通省のデータを基に作成しております。

■ 渋滞考慮探索および周辺迂回路探索

JARTIC/VICS の情報を基にトヨタコネクティッド株式会社が作成したデータを使用しています。

■ 統計交通情報

統計交通情報データは、JARTIC/VICS および独自で収集した交通情報を基にトヨタコネクティッド株式会社が統計処理したデータを使用しています。

■ 案内標識

Licensed under the Apache License, Version 2.0 (the "License"); you may not use this file except in compliance with the License.

You may obtain a copy of the License at <http://www.apache.org/licenses/LICENSE-2.0>

Unless required by applicable law or agreed to in writing, software distributed under the License is distributed on an "AS IS" BASIS, WITHOUT WARRANTIES OR CONDITIONS OF ANY KIND, either express or implied.

See the License for the specific language governing permissions and limitations under the License.

■ 充電施設

対象データ：EVステーションデータ

対象企業：EVsmart by ENECHANGE（株）

5 オーディオシステム

5

オーディオシステム

5-1. ラジオの操作	
ラジオを聞く	210
交通情報を聞く	213
ラジオ用アンテナの取り扱い ...	214
5-2. 地上デジタルテレビの視聴	
地上デジタルテレビの視聴についての留意事項	215
地上デジタルテレビを視聴する	218
地上デジタルテレビ視聴時の設定を変更する.....	225
地上デジタルテレビ用アンテナの取り扱い	226
5-3. USB メモリーの操作	
USB メモリーの再生についての留意事項	227
USB メモリーの音楽ファイルを再生する	229
USB メモリーの動画ファイルを再生する	231
5-4. iPod/iPhone の操作	
iPod/iPhone の再生についての留意事項	234
iPod/iPhone を再生する	235
5-5. Apple CarPlay の操作	
Apple CarPlay の再生についての留意事項	238
Apple CarPlay を再生する	239
5-6. Android Auto の操作	
Android Auto の再生についての留意事項	241
Android Auto を再生する	242
5-7. Bluetooth® オーディオの操作	
Bluetooth® オーディオの再生についての留意事項	244
Bluetooth® オーディオを再生する	245
5-8. HDMI の操作	
HDMI の再生についての留意事項	248
HDMI を再生する	249
5-9. Miracast® の操作	
Miracast® の再生についての留意事項	251
Miracast® 対応機器を接続する	252
Miracast® を再生する	253
5-10. 後席ディスプレイの操作	
後席ディスプレイを操作する	255

ラジオを聞く

お好みの周波数に切りかえてラジオを受信できます。

知識

- 走行中、受信状態は刻々とかわるため電波の強さがかわったり、障害物や電車、信号機などの影響により最良な受信状態を維持することが困難なことがあります。
- 放送を受信できても、放送局名が表示されないことがあります。
- 地域や車の向きなどの条件により、周波数の受信感度が悪い場合、自動で選局できないことがあります。
- AM放送の場合、昼画表示（ライト消灯時）と夜画表示（ライト点灯時）で、表示される周波数や放送局名が異なることがあります。
- ワイドFMとは、AM放送の難聴解消や災害時の放送継続のために、FMの周波数を使用してAMの番組を放送することです。

周波数帯は従来アナログTVで使用されていたV-Low帯域の一部（90.1MHz～94.9MHz）を使用しています。

従来のFM放送局とは、受信状態が異なる場合があります。

- [Auto.P]ボタンについての留意事項

- AM放送の場合は6局まで、FM放送の場合は12局まで登録できます。受信可能な放送局数がAM放送は6局、FM放送は12局未満の場合、残りのプリセットボタンには何も登録されません。
- [Auto.P]ボタンによる周波数の登録操作を同じ場所でくり返しても、受信感度の状態によっては、操作ごとに登録される周波数が異なることがあります。
- 受信状況によっては、同一放送局が複数プリセットされる場合があります。その場合、受信状態の良い放送局を選択してください。

- 1 メインメニューの[♪]にタッチします。
- 2 [オーディオ選択]にタッチします。
- 3 [AM]または[FM]にタッチします。
- 4 必要に応じて、受信中のラジオを操作します。
 - 画面で操作する



[Auto.P] : 現在位置から受信可能な放送局をマニュアルプリセットに自動で登録します。

[<<]/[>>] : 受信感度が良く、現在受信している周波数にいちばん近い周波数を選択します。押し続けると、押し続けている間、周波数が切りかわり、手を離すと、受信感度が良く、現在受信している周波数にいちばん近い周波数を自動で選択します。

[Tune] : [<]/[>]にタッチすると、周波数が切りかわります。

[ワイド FM] : ワイド FM に切りかわります。

AM 放送受信時で、その放送局がワイド FM 対応局の場合に切りかえができます。



[Heart] : 受信している放送局をプリセットに登録します。登録しているときにタッチすると、解除します。

エリアプリセット時は表示されません。



[...] : 設定可能な項目を表示します。

- [エリア] : マルチメディアシステムがエリアごとに登録している放送局を表示します。(GPS の自車位置情報により、今いる地域で放送されている放送局の局名と周波数がプリセットボタンに表示されます)

- [マニュアル] : マニュアルで登録している放送局を表示します。

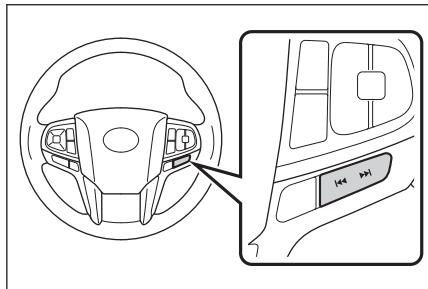
サブメニューのプリセットボタン : 登録している放送局を受信します。

- ステアリングスイッチで操作する

[◀◀]/[▶▶]スイッチ

プリセットボタンに登録している順に周波数／放送局が切りかわります。

押し続けると周波数が切りかわり、手を離すと、受信感度が良く、現在受信している周波数にいちばん近い放送局を自動で選択します。



— 関連リンク —

[オーディオのソースを変更する \(P.38\)](#)

[サウンドやメディアの設定を変更する \(P.91\)](#)

[各ソースの音を調整する \(P.97\)](#)

交通情報を聞く

AM ラジオ局の道路交通情報を受信できます。

□ 知識

新車時には 1620kHz と 1629kHz がプリセットに記憶されています。

- 1 メインメニューの[]にタッチします。
- 2 [オーディオ選択]にタッチします。
- 3 [交通情報]にタッチします。



ラジオ用アンテナの取り扱い

ラジオを受信するためのアンテナは、リヤクォーターガラスに内蔵または、ピラーに装着されています。

△ 注意

- アンテナ入りガラス（室内側）の清掃は湿った布で線にそって軽くふいてください。ガラスクリーナーなどは、アンテナをいためるため使用しないでください。
- リヤクォーターガラスのアンテナ線部に次のものを貼りつけないでください。受信感度が低下したり、ノイズ（雑音）が発生するおそれがあります。
 - 金属を含有するウインドウフィルム
 - その他の金属物（トヨタ純正品以外のアンテナなど）

地上デジタルテレビの視聴についての留意事項★

地上デジタルテレビを視聴するとき、特に気を付けていただきたいことがあります。

□ 知識

- データ放送で地域情報を受信するために、居住地域を設定する必要があります。居住地域の設定はオーディオの設定から行うことができます。
- 地上デジタルテレビ放送の受信は受信する場所によって、電波の強さがかわったり、障害物などの影響により最良な受信状態の継続が困難な場合があります。この関係の主な例は次のとおりです。
 - 電車の架線、高圧線、信号機、ネオンサインなどの近くで受信すると、画像が静止したり音声が途切れる場合があります。
 - ラジオ放送やアマチュア無線の送信用アンテナの近くで受信すると、画像が静止したり音声が途切れる場合があります。
 - 電波の特性上、建物や山などが障害物となり受信状態が悪化する場合があります。
 - トンネル内にはいったり、放送局から遠ざかると電波が微弱になり受信状態が悪化します。
 - 一部の地域において、テレビやラジオなどの送信アンテナ塔付近では、受信している周波数以外の電波の影響により、画像が静止したり音声が途切れる場合があります。
- 地上デジタルテレビの画面表示などは、製品の仕様変更などにより、予告なく変更される場合があります。あらかじめご了承ください。
- B-CAS カードを使用せずに地上デジタル放送を視聴できる新 RMP 方式^{*1*2}を採用しており、B-CAS カードを付属していません。
- 安全上の配慮から車を完全に停止し、パーキングブレーキをかける、またはシフトレバーを P にしたときに映像を視聴できます。（走行中は音声のみを再生します）

—— 関連リンク ——

[サウンドやメディアの設定を変更する \(P.91\)](#)

緊急警報放送（EWS）の役割

緊急警報放送（EWS:Emergency Warning System）は、緊急警報信号を送信し、地震や津波などの情報をお知らせする放送です。緊急警報放送は、警戒宣言、津波警報、知事からの要請があったときに放送されます。

緊急警報放送を受信した場合、自動で放送内容が表示されます。放送が終了すると、自動的にもとの番組にもどります。

★: グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

*1: 新 RMP 方式とは、地上デジタル放送のコンテンツ権利保護専用方式です。詳しくは、下記サイトをご覧ください。一般社団法人地上放送 RMP 管理センター <http://www.trmp.or.jp/>

*2: 放送局が新 RMP に関する情報を更新した際は、更新情報を取得するまでのあいだ（最大 30 秒）地上デジタル放送が視聴できない場合があります。

地上デジタルテレビに関するこんなメッセージが表示されたとき

メッセージ	原因	処置
「受信制御データが設定されていません」「しばらくお待ちください」	新RMPに関する情報が取得できていないため。	受信環境の良い場所で受信できるまでお待ちください。
「このチャンネルは視聴できません」「ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへお問い合わせください」	新RMPに関する情報が取得できていないため。	メッセージに表示された放送局にお問い合わせください。
「この受信機では視聴できません」「ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへお問い合わせください」	放送波がRMPではない形式になっているため。	メッセージに表示された放送局にお問い合わせください。
「放送を受信できません」	地上デジタル放送の受信エリア外にいるため。	地上デジタル放送を受信できるエリアに移動してください。
「データを受信できません」	データ放送を正常に受信できなかっため。	もう一度、操作しなおしてください。
「表示できないデータを受信しました」	マルチメディアシステムで対応していないデータを受信したため。	故障ではありません。

地上デジタルテレビが故障したとお考えになる前に

ちょっとした操作の違いで故障と間違えることがありますので、次の表にもとづき、まず確認してください。

処置をしても直らないときは、トヨタ販売店で点検を受けてください。

症状	考えられること	処置
地上デジタル放送が受信できない。	地上デジタル放送の受信エリア外で使用しているのか。	地上デジタル放送を受信できるエリアに移動してください。
映像は出るが、音が出ない。	音量が小さくなっているのか。	音量を大きくしてください。
映像が止まって、音が出ない。		
画面上部のチャンネル番号の表示が13~52のままで、プリセットボタンにチャンネル番号が表示されない。	地上デジタル放送の受信状態が良くない。	受信エリア内でも環境により受信できない場合があります。受信できる場所に移動してください。

症状	考えられること	処置
黒い画面が表示され、音が出ない。 地上デジタル放送が受信できない。	チャンネル（放送局）が増えたり、他のエリアに移動して受信環境が変わったため。	チャンネル設定を行ってください。

地上デジタルテレビを視聴する★

地上デジタルテレビを視聴して楽しむことができます。

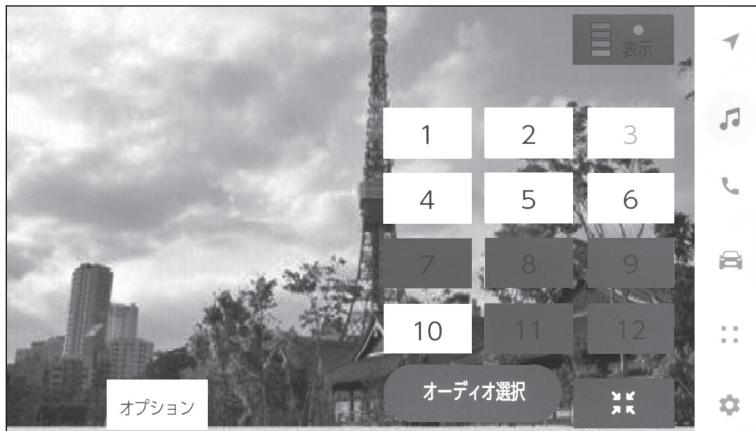
□ 知識

- ワンセグ放送のサービス番号は、611～728に割り当てられています。
- 視聴しているチャンネルがワンセグ放送を行っていない場合、ワンセグ放送に切りかえることができません。
- 受信設定を[ワンセグ自動切り替え]に設定した場合、通常の地上デジタルテレビ放送が受信可能なときは、ワンセグ放送に切りかえても自動で通常の地上デジタルテレビ放送にもどります。
- 地上デジタルテレビ放送では1つのチャンネルで複数の番組を同時に放送できます。(サブチャンネル放送)
違うサブチャンネルの番組に切りかえたい場合は、チャンネルを選択したあとに番組を切りかえてください。
- 1つのチャンネルで、サービス番号が異なっていても、同じ番組が複数放送されている場合があります。

- 1 メインメニューの[♪]にタッチします。
- 2 [オーディオ選択]にタッチします。
- 3 [TV]にタッチします。
- 4 必要に応じて、放送中の地上デジタルテレビを操作します。

- 全画面表示中に操作する

画面にタッチすると、操作ボタンを表示します。



プリセットボタン：登録しているチャンネルを受信します。

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

[Auto.P] : タッチし続けると、現在位置から受信可能なチャンネルをマニュアルプリセットに自動で登録します。

エリアプリセットモードのときは表示されません。

[オプション] : 音声や画面表示の切りかえボタンを表示します。



[] : 操作画面表示にします。



[] 表示 : データ放送の操作画面を表示します。

● 操作画面で操作する

操作画面を表示するときは、全画面で [] にタッチします。



[] : 受信している番組をマニュアルプリセットボタンに登録します。

登録しているときにタッチすると解除します。

エリアプリセットモードのときは表示されません。



[] : 設定可能な項目を表示します。



[] : 全画面表示にします。

[Ch] : [<] / [>] にタッチすると、プリセットボタンに登録している順にチャンネルが切りかわります。

[Auto.P] : タッチし続けると、現在位置から受信可能なチャンネルをマニュアルプリセットに自動で登録します。エリアプリセットモードのときは表示されません。

サブメニューのプリセットチャンネル : プリセットチャンネルにタッチすると、受信するチャンネルを変更できます。

プリセットチャンネルの表示形式は変更できます。

□ 知識

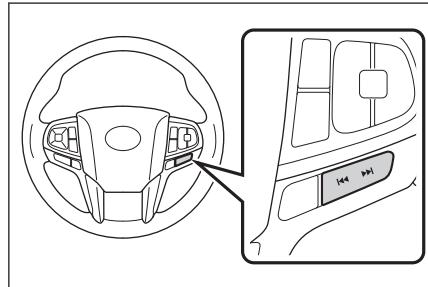
ワンセグ放送を受信しているときは、映像の右下に[]が表示されます。

● ステアリングスイッチで操作する

[◀◀]/[▶▶]スイッチ

プリセットボタンに登録している順にチャンネルが切りかわります。

押し続けるとチャンネルが切りかわり、手を離すと、受信感度が良く、現在受信しているチャンネルにいちばん近いチャンネルを自動で選択します。



— 関連リンク —

[オーディオのソースを変更する \(P.38\)](#)

[サウンドやメディアの設定を変更する \(P.91\)](#)

[画質を調整する \(P.96\)](#)

[各ソースの音を調整する \(P.97\)](#)

地上デジタルテレビの音声や画面表示を切りかえる

放送中の地上デジタルテレビに副音声や字幕がある場合、切りかえることができます。

1 メインメニューの[]にタッチします。

2 [オーディオ選択] > [TV] > [オプション]の順にタッチします。

3 必要に応じて、各項目を操作します。

[音声]：地上デジタルテレビ放送では、複数の音声を提供している場合があります。

タッチするたびに、音声が切りかわります。

[字幕]：地上デジタルテレビ放送では、複数の字幕を提供している場合があります。

タッチするたびに、日本語、英語、字幕なしの順に字幕が切りかわります。

[主／副]：地上デジタルテレビ放送では、音声多重放送をしている場合があります。

タッチするたびに、主音声、副音声、主／副音声の順に切りかわります。



[映像]：地上デジタルテレビ放送では、マルチビュー放送で複数の映像を提供する場合があります。

タッチするたびに、映像が切りかわります。

[文字スーパー]：地上デジタルテレビ放送では、放送と独立して文字スーパー（天気予報やニュースなどを字幕で放送するサービス）を行っています。

タッチするたびに、日本語、英語、表示なしの順に文字スーパーが切りかわります。

知識

- [映像]にタッチすると、映像を切りかえると同時に、音声と字幕も切りかわることがあります。
- 副音声または主音声／副音声にして視聴している場合、受信状態によって主音声と副音声がひんぱんに切りかわることがあります。
- 操作画面のときは、[...]にタッチしてから[オプション]にタッチすると切り替えボタンを表示します。

データ放送の情報を見る

データ放送とは地上デジタルテレビ映像の他に、図形や文字の情報を附加した放送です。受信するデータ放送により、ニュースや天気、交通情報などの独立した情報や番組に連動した情報を見るすることができます。

画面に表示される説明の順に操作すると、さまざまな情報を見ることができます。受信したデータ放送はカラー ボタン、カーソル、10 キー（テンキー）などで操作します。操作方法は受信したデータ放送により異なります。

知識

- ワンセグ放送のデータ放送には対応していません。
- データ放送を受信可能な場合、画面にまたは[d]が表示されます。
- データ放送の操作は、画面に表示される指示の順に行ってください。

1 メインメニューの[]にタッチします。

2 [オーディオ選択] > [TV] > [ 表示] > [d]の順にタッチします。

3 必要に応じて、データ放送を操作します。

- カーソルで操作する



[表示]: 全画面表示にします。

[10キー]: 10キー（テンキー）表示にします。

カラーボタン: カラーボタンでデータ放送を操作します。

[戻る]: 1つ前の画面にもどします。

[決定]: カーソルで選択した項目を実行します。

カーソル: カーソルでデータ放送を操作します。

[]: データ放送を解除します。

● 10キーで操作する



[表示]: 全画面表示にします。

[10キー]: カーソル表示にします。

カラーボタン：カラーボタンでデータ放送を操作します。

[戻る]：1つ前の画面にもどします。

[決定]：10キーで入力した数字を実行します。

10キー：数字を入力します。

電子番組表（EPG）を見る

EPGとは放送局が提供する、画面上で見ることができるテレビ番組表です。

- 1 メインメニューの[♪]にタッチします。
- 2 [オーディオ選択] > [TV] > [番組表] > […] > [番組表]の順にタッチします。
- 3 必要に応じて、番組表を操作します。



[前日]/[翌日]：別の日の番組情報に切り替えます。

[表示切り替え]：番組情報の表示方法を切り替えます。タッチするたびに、複数サービス、1サービス、プライマリーサービスの順に表示が切りかわります。

- 複数サービスは、1チャンネルの全番組を表示します。
- 1サービスは、1チャンネルの1番組を表示します。
- プライマリーサービスは、3チャンネルを1番組ずつ表示します。

[全画面]：現在受信中の放送画面を全画面で表示します。

[Ch]：[<]/[>]にタッチすると、チャンネルが切りかわります。

□ 知識

- 放送局にタッチすると選局できます。
- 番組にタッチすると、詳細情報を表示します。表示しきれていない番組がある場合はリストが表示されます。
- 電子番組表は現在から最大7日分表示できます。

- 番組表の画面でフリック操作すると、時間帯をかえることができます。

地上デジタルテレビ視聴時の設定を変更する★

プリセットのモードや、サブメニューの表示を変更できます。

- 1 メインメニューの[♪]にタッチします。
- 2 [オーディオ選択]にタッチします。
- 3 [TV]にタッチします。
- 4 [×]にタッチして操作画面にします。
- 5 […]にタッチします。
- 6 必要に応じて、各項目を設定します。

[サービスリスト]: サブチャンネル放送をしているときにタッチすると、その番組をサブメニューに表示します。

[メール]: マルチメディアシステムからのお知らせを確認できます。

- タイトル別または受信した日時でリストを表示できます。
- メールにタッチすると、詳細を表示します。

- 未読のメールがあるときは、[✉]が表示されます。

[表示形式]: サブメニューに表示されるプリセットチャンネルの表示形式を変更できます。

- [チャンネル]: 1~12 のチャンネル番号で表示します。
- [放送局リスト]: 放送局名を表示します。

[プリセットリスト]: プリセットのモードを変更できます。

- [エリア]: マルチメディアシステムがエリアごとに記憶しているチャンネルを表示します。(GPS の自車位置情報により、今いる地域で放送されている放送局の局名とチャンネルがプリセットボタンに表示されます)
- [マニュアル]: マニュアルプリセットモードに切りかわります。プリセットチャンネルを好みに合わせて登録できます。

□ 知識

- プリセットチャンネルは、1~12ch まで登録できます。
- 受信したメールのタイトルは、受信メールの先頭から全角 18 文字（メール詳細画面では 14 文字）をタイトルとして表示されます。
- メールの保存件数は最大 7 件です。7 件を超えたときは、いちばん古いメールが自動で削除されます。（未読メール含む）

★: グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。



地上デジタルテレビ用アンテナの取り扱い★

地上デジタルテレビを受信するためのアンテナは、フロントウインドウガラスおよびリヤクォーターガラスに搭載されています。(HIACE)

地上デジタルテレビを受信するためのアンテナは、フロントウインドウガラスに搭載されています。(トヨタ救急車／トヨタ救急車“ハイメディック”)

△ 注意

- アンテナ入りガラス（室内側）の清掃は湿った布で線にそって軽くふいてください。ガラスクリーナーなどは、アンテナをいためますので使用しないでください。
- フロントウインドウガラスおよびリヤクォーターガラスのアンテナ線部に以下のものを貼りつけないでください。受信感度が低下したり、ノイズ（雑音）が発生するおそれがあります。
 - 金属を含有するウインドウフィルム
 - その他の金属物（トヨタ純正品以外のアンテナなど）

★: グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

USB メモリーの再生についての留意事項

USB メモリーを再生するとき、特に気を付けていただきたいことがあります。

□ 知識

- 再生中に USB メモリーを抜いたり、接続する機器を抜き挿したりすると、雑音が出ることがあります。
- USB メモリーを接続している状態で、他のソースから USB メモリーに切りかえたときは、最初のファイルが再生されます。もし、同じ USB メモリー（内容が変更されていないもの）が再び挿し込まれたときは、前回、最後に再生していた曲から再生されます。
- 対応していないフォーマットのファイルを読み込んだ場合、動作に影響が出ることがあります。
- USB ハブを使用して複数の機器を接続した場合、最初に認識された機器以外は使用できません。
- 安全上の配慮から車を完全に停止し、パーキングブレーキをかける、またはシフトレバーを P にしたときに映像を視聴できます。（走行中は音声のみを再生します）

▲ 警告

- 安全のため、運転者は運転中に USB メモリーを操作しないでください。

△ 注意

- USB メモリーを車室内に放置しないでください。車室内が高温のときに USB メモリーが故障するおそれがあります。
- 接続中に USB メモリーを押さえたり、不必要な圧力を加えたりしないでください。USB メモリーや端子が破損するおそれがあります。
- 端子に異物を入れないでください。USB メモリーや端子が破損するおそれがあります。

■ MP3/WMA/AAC/WAV/FLAC/ALAC/Ogg Vorbis の再生について

MP3/WMA/AAC/WAV/FLAC/ALAC/Ogg Vorbis ファイルが収録されている USB メモリーを接続すると、最初に USB メモリー内のすべてのファイルをチェックします。

USB メモリー内のチェックを早く終わらせるために、MP3/WMA/AAC/WAV/FLAC/ALAC/Ogg Vorbis ファイル以外のファイルや必要のないフォルダなどを書き込まないことをおすすめします。

□ 知識

MP3/WMA/AAC/WAV/FLAC/ALAC/Ogg Vorbis は市場にフリーウェアなど、多くのエンコーダソフトが存在し、エンコーダの状態やファイルフォーマットによって、音質の劣化や再生開始時のノイズの発生、また再生できない場合もあります。

△ 注意

ファイルに間違った拡張子をつけてください。ファイルの中身と一致しない拡張子をファイルにつけると、誤認識して再生してしまい、大きな雑音が出てスピーカーを破損する場合があります。

間違いの例：

- MP3 ではないファイルに、「.mp3」の拡張子を付ける
- WMA ではないファイルに、「.wma」の拡張子を付ける

— 関連リンク —

[サウンドやメディアの設定を変更する \(P.91\)](#)

[使用できるメディアについての情報 \(P.364\)](#)

[フォーマットについての情報 \(P.364\)](#)

[USB メモリーから再生できる動画データについての情報 \(P.367\)](#)

[USB メモリーについての情報 \(P.370\)](#)

USB メモリーの音楽ファイルを再生する

USB Type-C 端子に接続した USB メモリー内の音楽ファイルを再生して、音楽を楽しむことができます。USB メモリーを接続すると、ソース選択画面には、その機器名称のボタンが表示されます。機器によっては、表示されないことがあります。

USB メモリーを接続してください。

- 1 メインメニューの[]にタッチします。
- 2 [オーディオ選択]にタッチします。
- 3 機器名称または[USB]にタッチします。
- USB メモリーに動画ファイルがない場合は手順 5 に進みます。
- 4 [ミュージック]にタッチします。
- 5 必要に応じて、再生中の USB メモリーを操作します。

● 画面で操作する



[]: ランダム再生をします。

タッチするたびに、全ファイル／トラック、解除、再生中のフォルダ／アルバムの順に切りかわります。

[]: 再生中のファイル／トラックの先頭から再生します。ファイル／トラックの先頭のときは、前のファイル／トラックの先頭から再生します。

タッチし続けると、早もどしします。手を離すと、その位置から再生します。

[]: 再生を一時停止します。

[]: 再生します。



[]: ファイル／トラックが切りかわります。

タッチし続けると、早送りします。手を離すと、その位置から再生します。



[]: リピート再生をします。

タッチするたびに、再生中のファイル／トラック、再生中のフォルダ／アルバム、全ファイル／トラックの順に切りかわります。



[]: 設定可能な項目を表示します。

サブメニューのリスト：次の条件から選曲できます。

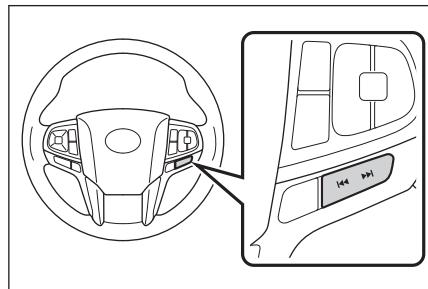
- [アーティスト]：アーティスト名から選曲できます。
- [アルバム]：アルバム名から選曲できます。
- [フォルダ]：フォルダ名から選曲できます。
- [曲]：曲名から選曲できます。
- [ジャンル]：ジャンルから選曲できます。
- [作曲者]：作曲者名から選曲できます。

● ステアリングスイッチで操作する

[◀◀]/[▶▶]スイッチ

ファイル／トラックが切りかわります。

押し続けると、フォルダ／アルバムが切りかわります。



—— 関連リンク ——

[オーディオのソースを変更する \(P.38\)](#)

[USB 機器を接続する \(P.41\)](#)

[サウンドやメディアの設定を変更する \(P.91\)](#)

[各ソースの音を調整する \(P.97\)](#)

USB メモリーの動画ファイルを再生する

USB Type-C 端子に接続した USB メモリー内の動画ファイルを再生して、音楽や映像を楽しむことができます。USB メモリーを接続すると、ソース選択画面には、その機器名称のボタンが表示されます。機器によっては、表示されないことがあります。

USB メモリーを接続してください。

- 1 メインメニューの[]にタッチします。
- 2 [オーディオ選択]にタッチします。
- 3 機器名称または[USB]にタッチします。
- 4 [ビデオ]にタッチします。
- 5 必要に応じて、再生中の USB メモリーを操作します。

● 全画面表示中に操作する

画面にタッチすると、操作ボタンを表示します。



[]: 再生中のファイルの先頭から再生します。ファイルの先頭のときは、前のファイルの先頭から再生します。

タッチし続けると、映像を早めに進みます。手を離すと、その位置から再生します。

[]: 映像の再生を一時停止します。

[]: 映像を再生します。



[]: ファイルが切りかわります。

タッチし続けると、映像を早送りします。手を離すと、その位置から再生します。

一時停止中にタッチし続けると、スロー再生します。

[移動]: 操作ボタンが移動します。

操作ボタンが映像に重なって見づらいときに、操作ボタンを移動できます。



[]: 操作画面表示にします。

● 操作画面で操作する

操作画面を表示するときは、全画面で [] にタッチします。



[]: 再生中のファイルの先頭から再生します。ファイルの先頭のときは、前のファイルの先頭から再生します。

タッチし続けると、映像を早もどします。手を離すと、その位置から再生します。



[]: 映像の再生を一時停止します。



[]: 映像を再生します。



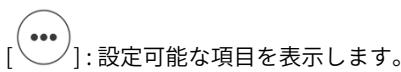
[]: ファイルが切りかわります。

タッチし続けると、映像を早送りします。手を離すと、その位置から再生します。

一時停止中にタッチし続けると、スロー再生します。



[]: 全画面表示にします。



サブメニューのフォルダ名／ファイル名：フォルダ名にタッチすると、フォルダ移動し、ファイル名にタッチすると、再生するファイルを変更できます。

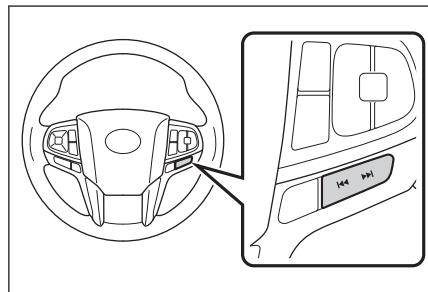
● ステアリングスイッチで操作する



ファイルが切りかわります。

押し続けると、映像を早もどし／早送りします。手を離すと、その位置から再生します。

全画面の一時停止中に[>]スイッチを押し続けると、スロー再生します。



— 関連リンク —

[オーディオのソースを変更する \(P.38\)](#)

[USB 機器を接続する \(P.41\)](#)

[サウンドやメディアの設定を変更する \(P.91\)](#)

[画面モードを切りかえる \(P.95\)](#)

[画質を調整する \(P.96\)](#)

[各ソースの音を調整する \(P.97\)](#)

[USB メモリーから再生できる動画データについての情報 \(P.367\)](#)

iPod/iPhone の再生についての留意事項

iPod/iPhone を再生するとき、特に気を付けていただきたいことがあります。

□ 知識

- iPod/iPhone モード中に端子を抜いたり、接続する機器を抜き挿したりすると、雑音が出ることがあります。
- USB ハブを使用して複数の機器を接続した場合、最初に認識された機器以外は使用できません。
- iPod/iPhone を接続している状態で、他ソースから iPod/iPhone に切りかえたとき、前回、最後に再生していたトラックから再生されます。^{*1}

▲ 警告

安全のため、運転者は運転中に iPod/iPhone を操作しないでください。

△ 注意

- iPod/iPhone を車室内に放置しないでください。車室内が高温のときに iPod/iPhone が故障するおそれがあります。
- 接続中に iPod/iPhone を押さえたり、不必要な圧力を加えたりしないでください。iPod/iPhone や端子が破損するおそれがあります。
- 端子に異物を入れないでください。iPod/iPhone や端子が破損するおそれがあります。

——関連リンク——

[iPhone/iPod についての情報 \(P.367\)](#)

*1: お使いの機器によっては、動作が異なる場合があります。

iPod/iPhone を再生する

USB Type-C 端子に接続した iPod/iPhone の音楽ファイルを再生できます。iPod/iPhone を接続すると、ソース選択画面には、その機器名称のボタンが表示されます。機器によっては、表示されないことがあります。

□ 知識

- 接続する iPod/iPhone の世代や機種によっては、カバーアートの画像が粗くなったり、リストスクロールの表示が遅くなる場合があります。
- 接続する iPod/iPhone の世代や機種によっては、操作できなかったり、異なる動作をすることがあります。

iPod/iPhone を接続してください。

- 1 メインメニューの[]にタッチします。
- 2 [オーディオ選択]にタッチします。
- 3 機器名称または[USB]にタッチします。
- 4 必要に応じて、再生中の iPod/iPhone を操作します。

- 画面で操作する



[]: シャッフル再生をします。

タッチするたびに、シャッフルの設定が切りかわります。^{*1}

[]: 再生中のトラックの先頭から再生します。 トラックの先頭のときは、前のトラックの先頭から再生します。

タッチし続けると、早もどしします。 手を離すと、その位置から再生します。

^{*1}: シャッフル／リピートの設定がどの順番で切りかわるかは接続する機器によって異なります。



[]: 再生を一時停止します。



[]: 再生します。



[]: トラックが切りかわります。

タッチし続けると、早送りします。手を離すと、その位置から再生します。



[]: リピート再生をします。

タッチするたびに、リピートの設定が切りかわります。^{*1}



[]: 設定可能な項目を表示します。

サブメニューのリスト：次の条件から選曲できます。

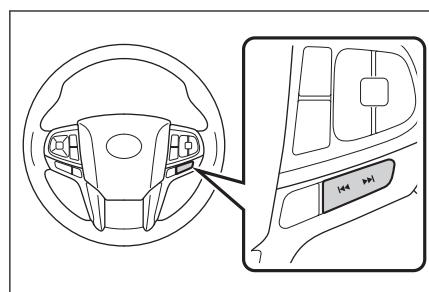
- [プレイリスト]：プレイリストから選曲できます。
- [アーティスト]：アーティスト名から選曲できます。
- [アルバム]：アルバム名から選曲できます。
- [曲]：曲名から選曲できます。
- [ジャンル]：ジャンルから選曲できます。
- [作曲者]：作曲者名から選曲できます。
- [ラジオ]：ラジオ局から選曲できます。
- [オーディオブック]：オーディオブック名から選曲できます。
- [Podcasts]：Podcast 名から選曲できます。

● ステアリングスイッチで操作する



トラックが切りかわります。

押し続けると、早もどし／早送りします。手を離すと、その位置から再生します。



——関連リンク——

[オーディオのソースを変更する \(P.38\)](#)

^{*1}: シャッフル／リピートの設定がどの順番で切りかわるかは接続する機器によって異なります。

USB 機器を接続する (P.41)

サウンドやメディアの設定を変更する (P.91)

各ソースの音を調整する (P.97)

Apple CarPlay の再生についての留意事項

Apple CarPlay を再生するとき、特に気を付けていただきたいことがあります。

□ 知識

- Android Auto を接続しているときは、この機能を使用できません。
- Apple CarPlay を USB で接続しているときに、接続する機器を抜き挿ししたりすると、雑音が出ることがあります。
- iPhone が接続されている状態で、他ソースから Apple CarPlay に切りかえたとき、前回、最後に再生していたトラックから再生されます。

⚠ 警告

安全のため、運転者は運転中に iPhone を操作しないでください。

△ 注意

- iPhone を車室内に放置しないでください。車室内が高温のときに iPhone が故障するおそれがあります。
- 接続中に iPhone を押さえたり、不必要的圧力を加えたりしないでください。iPhone や端子が破損するおそれがあります。
- 端子に異物を入れないでください。iPhone や端子が破損するおそれがあります。

—— 関連リンク ——

[Apple CarPlay/Android Auto 使用上の留意事項 \(P.122\)](#)

Apple CarPlay を再生する

USB Type-C 端子に接続した iPhone またはワイヤレス接続した iPhone の音楽ファイルを再生して楽しむことができます。Apple CarPlay に接続すると、ソース選択画面には、その機器名称のボタンが表示されます。機器によっては、表示されないことがあります。

□ 知識

- 接続する iPhone の世代や機種によって、操作できなかったり、異なる動作をすることがあります。
- 曲が正常に再生されない場合や音が途切れるなどの症状がある場合、iOS を最新のバージョンに更新してください。更新すると、問題が解消されることがあります。

Apple CarPlay を接続してください。

- 1 メインメニューの[]にタッチします。
- 2 [オーディオ選択]にタッチします。
- 3 [Apple CarPlay]（機器名称）にタッチします。
- 4 必要に応じて、再生中の Apple CarPlay を操作します。

● 画面で操作する



[]: シャッフル再生をします。

タッチするたびに、シャッフルの設定が切りかわります。^{*1}

^{*1}: シャッフル／リピートの設定がどの順番で切りかわるかは接続する機器によって異なります。



[]: 再生中のトラックの先頭から再生します。

トラックの先頭のときは、前のトラックの先頭から再生します。

タッチし続けると、早もどしします。手を離すと、その位置から再生します。



[]: 再生を一時停止します。



[]: 再生します。



[]: トラックが切りかわります。

タッチし続けると、早送りします。手を離すと、その位置から再生します。



[]: リピート再生します。

タッチするたびに、リピートの設定が切りかわります。^{*1}



[]: 設定可能な項目を表示します。

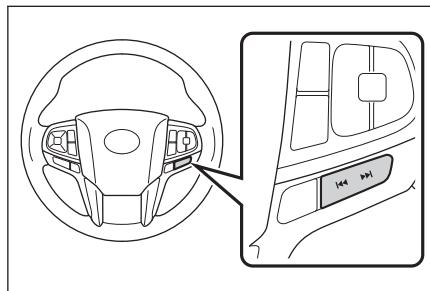
[Apple CarPlay]: Apple CarPlay の画面を表示します。

● ステアリングスイッチで操作する

[◀◀]/[▶▶]スイッチ

トラックが切りかわります。

押し続けると、早もどし／早送りします。手を離すと、その位置から再生します。



— 関連リンク —

[オーディオのソースを変更する \(P.38\)](#)

[サウンドやメディアの設定を変更する \(P.91\)](#)

[各ソースの音を調整する \(P.97\)](#)

[Bluetooth®機器を設定する \(P.100\)](#)

[未登録のスマートフォンで Apple CarPlay を使用する \(P.125\)](#)

[登録済みスマートフォンで Apple CarPlay を使用する \(P.128\)](#)

[Bluetooth®機器との接続 \(P.112\)](#)

*1: シャッフル／リピートの設定がどの順番で切りかわるかは接続する機器によって異なります。

Android Auto の再生についての留意事項

Android Auto を再生するとき、特に気を付けていただきたいことがあります。

□ 知識

- Apple CarPlay を接続しているときは、この機能を使用できません。
- Android Auto を接続しているときに、接続する機器を抜き挿ししたりすると、雑音が出ることがあります。
- Android 機器を接続している状態で、他のソースから Android Auto に切りかえたとき、前回、最後に再生していたトラックから再生されます。

⚠ 警告

安全のため、運転者は運転中に Android 機器を操作しないでください。

△ 注意

- Android 機器を車室内に放置しないでください。車室内が高温のときに Android 機器が故障するおそれがあります。
- 接続中に Android 機器を押さえたり、不必要な圧力を加えたりしないでください。Android 機器や端子が破損するおそれがあります。
- 端子に異物を入れないでください。Android 機器や端子が破損するおそれがあります。

—— 関連リンク ——

[Apple CarPlay/Android Auto 使用上の留意事項 \(P.122\)](#)

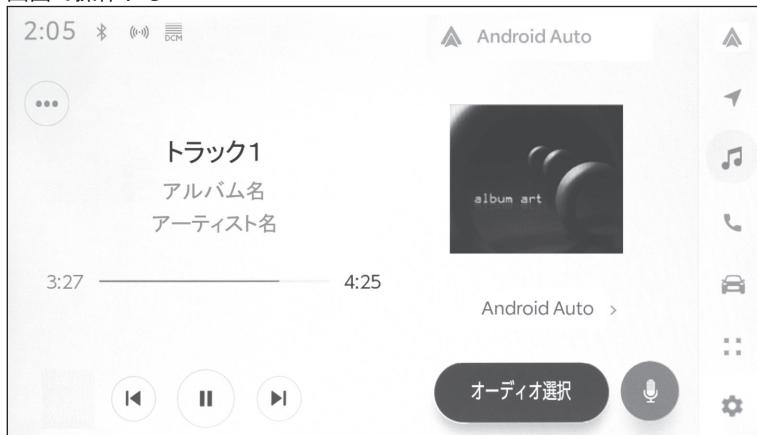
Android Auto を再生する

USB Type-C 端子に接続した Android 機器の音楽ファイルを再生して楽しむことができます。Android 機器を接続すると、ソース選択画面には、その機器名称のボタンが表示されます。機器によっては、表示されないことがあります。

Android Auto を接続してください。

- 1 メインメニューの[]にタッチします。
- 2 [オーディオ選択]にタッチします。
- 3 [Android Auto] (機器名称) にタッチします。
- 4 必要に応じて、再生中の Android Auto を操作します。

- 画面で操作する



[]: 再生中のトラックの先頭から再生します。トラックの先頭のときは、前のトラックの先頭から再生します。

[]: 再生を一時停止します。

[]: 再生します。

[]: トラックが切りかわります。

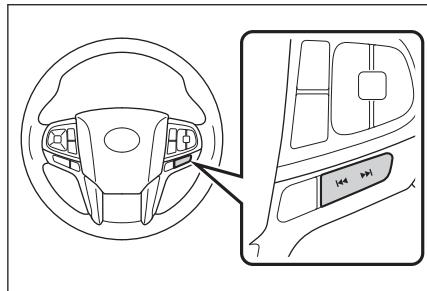
[]: 設定可能な項目を表示します。

[Android Auto]: Android Auto の画面を表示します。

- ステアリングスイッチで操作する

[◀◀]/[▶▶]スイッチ

トラックが切りかわります。



— 関連リンク —

[オーディオのソースを変更する \(P.38\)](#)

[サウンドやメディアの設定を変更する \(P.91\)](#)

[各ソースの音を調整する \(P.97\)](#)

[Android Auto を使用する \(P.131\)](#)

[Bluetooth®機器を設定する \(P.100\)](#)

[Bluetooth®機器との接続 \(P.112\)](#)

Bluetooth®オーディオの再生についての留意事項

Bluetooth®オーディオを再生するとき、特に気を付けていただきたいことがあります。

□ 知識

- 携帯電話を含む Bluetooth®ポータブルオーディオプレーヤー（以下ポータブル機）を使用するためには、まずマルチメディアシステムにポータブル機を登録する必要があります。
- Bluetooth®オーディオ対応のアダプターについては、動作確認を実施していません。マルチメディアシステムで動作確認済みの機種については、トヨタ販売店またはWebサイト <https://g-book.com/pc/etc/faq/mobile/n/top.html> でご確認ください。
- ポータブル機の機種により、一部機能が制限される場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- Apple CarPlay をワイヤレス接続しているときは、この機能を使用できません。
- 他の無線機器と同時に使用すると、それぞれの通信に悪影響をおよぼすことがあります。
- マルチメディアシステムの設定で Wi-Fi®機能を ON にしているときは、Bluetooth®オーディオの音が途切れる場合があります。

▲ 警告

- 安全のため、運転者は運転中にポータブル機本体の操作をしないでください。
- Bluetooth®通信用の車両側アンテナはマルチメディアシステムに内蔵されています。
植込み型心臓ペースメーカー、植込み型両心室ペーシングパルスジェネレータおよび植込み型除細動器以外の医療用電気機器を使用される場合は、電波による影響について医師や医療用電気機器製造業者などに事前に確認してください。

△ 注意

- ポータブル機を車室内に放置しないでください。車室内が高温のときにポータブル機が故障するおそれがあります。
- ポータブル機をマルチメディアシステムに近づけて使用しないでください。近づけすぎると、音質が劣化したり、接続状態が悪化する場合があります。

— 関連リンク —

[Wi-Fi Hotspot を設定する \(P.98\)](#)

[Bluetooth®についての情報 \(P.371\)](#)

[Bluetooth®機器使用上の留意事項 \(P.104\)](#)

[Bluetooth®機器をマルチメディアシステムから登録する \(P.108\)](#)

Bluetooth®オーディオを再生する

Bluetooth®に接続することで、ポータブル機を直接操作することなく使用できます。

□ 知識

- 接続したポータブル機によっては、次の情報／ボタンが表示されないことがあります。
 - フォルダタイトル
 - 曲名
 - アルバム名
 - アーティスト名
 - 再生時間
 - 合計時間
 - ランダム
 - リピート
 - 再生／一時停止
 - トラックアップ／ダウソ
- 接続した機器によっては、次のような場合があります。
 - マルチメディアシステムで操作できない。
 - 動作や音量が異なる。
 - マルチメディアシステムとポータブル機で曲情報や時間表示などの表示が異なる。
 - 再生を停止すると、接続が切断される。
- 長時間再生した場合、音飛びすることがあります。
- 接続時の音量は、ポータブル機によって異なります。

ポータブル機をマルチメディアシステムに接続してください。

- 1 メインメニューの[♪]にタッチします。
- 2 [オーディオ選択]にタッチします。
- 3 機器名称または[Bluetooth]にタッチします。
- 4 必要に応じて、再生中の Bluetooth®オーディオを操作します。
 - 画面で操作する



[]: ランダム再生をします。

タッチするたびに、ランダムの設定が切りかわります。*1

[]: 再生中のトラックの先頭から再生します。 トラックの先頭のときは、前のトラックの先頭から再生します。

タッチし続けると、早もどしします。手を離すと、その位置から再生します。

[]: 再生を一時停止します。

[]: 再生します。

[]: トラックが切りかわります。

タッチし続けると、早送りします。手を離すと、その位置から再生します。

[]: リピート再生をします。

タッチするたびに、リピートの設定が切りかわります。*1

[]: 設定可能な項目を表示します。

サブメニューのフォルダ名／曲名：フォルダ名にタッチすると、フォルダ移動し、曲名にタッチすると、再生するファイルを変更できます。

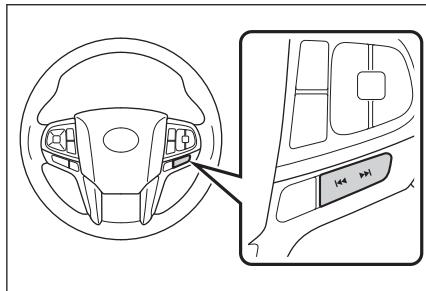
- ステアリングスイッチで操作する

*1: ランダム／リピートの設定がどの順番で切りかわるかは機種によって異なります。

[◀◀]/[▶▶]スイッチ

トラックが切りかわります。

押し続けると、早めどし／早送りします。手を離すと、その位置から再生します。



— 関連リンク —

[オーディオのソースを変更する \(P.38\)](#)

[サウンドやメディアの設定を変更する \(P.91\)](#)

[各ソースの音を調整する \(P.97\)](#)

[Bluetooth[®]機器を設定する \(P.100\)](#)

[Bluetooth[®]機器との接続 \(P.112\)](#)

HDMI の再生についての留意事項★

HDMI を再生するとき、特に気を付けていただきたいことがあります。

□ 知識

- HDMI モード中に HDMI ケーブルを抜くと、オーディオが OFF になります。
- 安全上の配慮から車を完全に停止し、パーキングブレーキをかける、またはシフトレバーを P にしたときに映像を視聴できます。(走行中は音声のみを再生します)

▲ 警告

安全のため、運転者は運転中に接続した機器を操作しないでください。

△ 注意

- 外部機器を車室内に放置しないでください。車室内が高温のときに外部機器が故障するおそれがあります。
- 接続中に外部機器を押さえたり、不必要的圧力を加えたりしないでください。外部機器や端子が破損するおそれがあります。
- 端子に異物を入れないでください。外部機器や端子が破損するおそれがあります。

★: グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

HDMI を再生する★

HDMI 入力端子を装着した場合、HDMI 端子に接続した外部機器を再生して、音楽や映像を楽しむことができます。

外部機器を接続してください。

- 1 メインメニューの[♪]にタッチします。
- 2 [オーディオ選択]にタッチします。
- 3 [HDMI]にタッチします。
- 4 必要に応じて、HDMI を操作します。

● 全画面表示中に操作する

画面にタッチすると、操作ボタンを表示します。



[] : 操作画面表示にします。

● 操作画面で操作する



操作画面を表示するときは、全画面で[]にタッチします。

★: グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。



[]: 設定可能な項目を表示します。

[]: 全画面表示にします。

— 関連リンク —

[オーディオのソースを変更する \(P.38\)](#)

[HDMI 機器を接続する \(P.43\)](#)

[サウンドやメディアの設定を変更する \(P.91\)](#)

[画面モードを切りかえる \(P.95\)](#)

[画質を調整する \(P.96\)](#)

[各ソースの音を調整する \(P.97\)](#)

[HDMI についての情報 \(P.372\)](#)

Miracast®の再生についての留意事項

Miracast®を再生するとき、特に気を付けていただきたいことがあります。

□ 知識

- 機器と Wi-Fi®接続（P2P モード）で通信します。
- Apple CarPlay をワイヤレス接続しているときは、この機能を使用できません。
- Wi-Fi Hotspot を使用しているときは、この機能を使用できません。
- Miracast®は Wi-Fi Alliance®の登録商標です。
- 本機能はベストエフォート型の機能です。
- Miracast®は機器によって、表示される名称が異なる場合があります。
- マルチメディアシステムとの対応状況については、<https://g-book.com/pc/etc/faq/mobile/n/top.html>をご確認ください。
- 動作確認は、一定の条件下で確認したものであり、スマートフォン側の設定条件などにより、同じ機種であっても接続できないことがあるため、すべての端末について結果を保証するものではありません。予告なく情報が変更になる場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- 本動作確認は一部のスマートフォンに対して行ったものであり、掲載されていないスマートフォンなど（格安 SIM 含む）については動作確認を行っておりません。本確認結果は特にマルチメディアシステムとスマートフォンの接続に関するものであり、通話品質、データの通信能力、アプリの動作など、携帯電話すべての機能を評価保証するものではありません。
- iPhone などの iOS 端末には対応していません。
- Miracast®は、接続する機器によって画面に表示される機能名称が異なる場合があります。お使いの機器の仕様に関しては、各機器メーカーへお問い合わせください。
- 安全上の配慮から車を完全に停止し、パーキングブレーキをかける、またはシフトレバーを P にしたときに映像を視聴できます。（走行中は音声のみを再生します）

▲ 警告

運転中はスマートフォンやタブレットを接続したり、操作をしないでください。

△ 注意

スマートフォンまたはタブレットを車室内に放置しないでください。車室内が高温のときにスマートフォンまたはタブレットが故障するおそれがあります。

—— 関連リンク ——

[Wi-Fi®機器使用上の留意事項 \(P.117\)](#)

[Wi-Fi Hotspot を設定する \(P.98\)](#)

[サウンドやメディアの設定を変更する \(P.91\)](#)

Miracast®対応機器を接続する

Miracast®機能をサポートする Android スマートフォンやタブレットを接続できます。

ご利用の機器の Miracast®対応状況については、機器に添付の取扱説明書などをご覧ください。

- 1 メインメニューの[♪]にタッチします。
- 2 [オーディオ選択]にタッチします。
- 3 [Miracast®]にタッチします。
- 4 Miracast®対応機器を接続可能な状態にします。
 - 機器の操作については、機器に添付の取扱説明書をご覧ください。
 - 接続失敗画面が表示されたときは、接続操作を最初からやりなおしてください。
- 5 機器名称を確認して、[はい]にタッチします。



—— 関連リンク ——

[Wi-Fi Hotspot を設定する \(P.98\)](#)

Miracast®を再生する

スマートフォンまたはタブレットの音声や映像を、マルチメディアシステムで再生して楽しむことができます。

□ 知識

- Miracast®の音量は、接続する機器によって異なります。
- Wi-Fi®接続が切断されるとオーディオが OFF になります。

Miracast®対応機器を接続してください。

- 1 メインメニューの[]にタッチします。
- 2 [オーディオ選択]にタッチします。
- 3 [Miracast®]にタッチします。
- 4 必要に応じて、再生中の Miracast®を操作します。

- 全画面表示中に操作する

画面にタッチすると、操作ボタンを表示します。



[]: 操作画面表示にします。

- 操作画面で操作する

操作画面を表示するときは、全画面で [] にタッチします。



[...] : 設定可能な項目を表示します。



[...] : 全画面表示にします。

[切断] : Miracast®を切斷します。

オーディオが OFF になります。



— 関連リンク —

[オーディオのソースを変更する \(P.38\)](#)

[サウンドやメディアの設定を変更する \(P.91\)](#)

[画面モードを切りかえる \(P.95\)](#)

[画質を調整する \(P.96\)](#)

[各ソースの音を調整する \(P.97\)](#)

後席ディスプレイを操作する

販売店オプションの後席ディスプレイを装着した場合、後席ディスプレイの一部操作を前席のマルチメディアシステムからおこなうことができます。

- 1 前席マルチメディアシステムで、メインメニューの[]にタッチします。
- 2 [オーディオ選択]にタッチします。
- 3 [後席]にタッチします。
- 後席ディスプレイ操作画面が表示されます。
- 4 必要に応じて、後席ディスプレイを操作します。



[**後席用電源**]：後席ディスプレイの電源を ON/OFF します。

[**前席連動**]：前席マルチメディアシステムと後席ディスプレイが連動して、同じオーディオソースを再生します。OFF にすると、前席マルチメディアシステムと後席ディスプレイで異なるオーディオソースを再生できます。

[**後席音量**]：前席連動が OFF のとき、後席側の音量を調整します。

[**後席オーディオモード**]：後席ディスプレイで再生するオーディオソースを選択します。

□ 知識

- 後席ディスプレイが閉じている場合、前席マルチメディアシステムから後席ディスプレイの電源を ON にすることはできません。
- 前席連動を OFF にしても、前席マルチメディアシステムと後席ディスプレイで異なるオーディオソースを同時に再生できない場合があります。
- 前席連動が ON のとき、一時停止や早送りなどの操作が前後の席で連動します。
- 後席ディスプレイの操作方法の詳細（付属のリモコンによる操作方法など）は後席ディスプレイに付属の取扱説明書をご覧ください。
- 异音抑制のため、前席連動を ON/OFF すると、切り替えが完了するまで無音状態が発生します。

—— 関連リンク ——

オーディオのソースを変更する (P.38)

6-1. ハンズフリー電話使用上の留意事項	
ハンズフリー電話についての留意事項	258
ハンズフリー電話が故障したとお考えになる前に	262
6-2. ステアリングスイッチでのハンズフリー電話の操作	
ステアリングスイッチで操作する	265
6-3. 電話のかけ方	
履歴から電話をかける	267
ワンタッチダイヤルから電話をかける	268
連絡先から電話をかける	269
キーパッドから電話をかける	270
交通情報から電話をかける	271
110番／119番にかける	272
ウェイト／ポーズ信号を使って電話をかける	273
6-4. 電話の受け方	
電話に出る	274
着信を拒否する	276
6-5. 通話中の操作	
通話画面で操作する	277
割込着信の電話に出る	279
通話中に別の通話相手へ電話をかける	280
グループ通話をする	281
電話を切る	282
6-6. ハンズフリー電話の変更	
ハンズフリー電話を切りかえる	283
6-7. 連絡先データの編集	
連絡先データの転送	284
ワンタッチダイヤルを登録する	288
連絡先に新規データを追加する	290

ハンズフリー電話についての留意事項

動作確認済みの Bluetooth®携帯電話^{*1}（以下「携帯電話」）を接続することで、携帯電話を直接操作することなく、「電話をかける」「電話を受ける」という電話機能を使用できます。これをハンズフリー電話と呼びます。

接続する携帯電話は、マルチメディアシステムの仕様に対応している必要があります。ただし、携帯電話の機種により、一部機能が制限される場合があります。

Apple CarPlay/Android Auto 接続中でも、状況によっては Apple CarPlay/Android Auto のハンズフリー電話画面にならない場合があります。

□ 知識

- 携帯電話をハンズフリーで使用する場合は、次の点に注意してください。
 - 携帯電話は、マルチメディアシステムに登録して Bluetooth®接続しないとハンズフリー電話として使用できません。ハンズフリー電話を使用するときは、まず携帯電話の登録を行ってください。
 - 携帯電話は Bluetooth®機能を使用できる状態で使用してください。
 - Bluetooth®オーディオ再生中に発信／着信すると、画面の表示および発信音／着信音の鳴る動作が遅れる場合があります。
- マルチメディアシステムに対して、すべての Bluetooth®端末において動作を保証しているわけではありません。

携帯電話の機種によっては、次のことがあります。

 - ハンズフリー電話中にエンジンスイッチの操作をすると、通話が切断される場合があります。
 - 発信画面が表示されず、相手が電話に出る前に通話画面が表示される場合があります。
 - 発信画面でキーパッドを使用して入力をしても、携帯電話会社のサービスによりトーン信号を送れない場合があります。
 - 発信操作後に携帯電話の操作が必要になる場合があります。
- 次の場合は、ハンズフリー電話を使用できないことがあります。
 - 通話エリア外のとき
 - 回線が混雑しているなど、発信規制中のとき
 - ヘルプネット動作中のとき
 - 携帯電話から連絡先データを転送中のとき
 - 携帯電話がダイヤルロックされているとき
 - データ通信中など、携帯電話が使用中のとき

*1: マルチメディアシステムで携帯電話を利用する際には、必ず動作確認済携帯電話をトヨタ販売店または <https://g-book.com/pc/etc/faq/mobile/n/top.html> でご確認ください。なお、動作確認は、一定の条件下で確認したものです。そのため、携帯電話の仕様変更などにより、動作確認済機種でも、確認内容が変更になることがあります、あらかじめご了承ください。

- ・ 携帯電話が故障しているとき
 - ・ 携帯電話が接続されていないとき
 - ・ 携帯電話のバッテリー残量が不足しているとき
 - ・ 携帯電話の電源が OFF のとき
 - ・ 携帯電話がハンズフリーを使用できない設定のとき
 - ・ マルチメディアシステムでデータ通信や連絡先転送からハンズフリー電話に切りかえているとき。(切りかえ中はマルチメディアシステムの Bluetooth[®]接続状態が表示されません)
 - ・ その他、携帯電話自体が使えないとき
- 応答保留操作は、マルチメディアシステムで操作できません。携帯電話で操作してください。
- ヘルプネットを使用する場合は、次の制限があります。
- ・ ヘルプネット動作中はハンズフリー電話を使用できません。また、ヘルプネット動作中は電話を切る操作によるヘルプネット回線切断ができません。
 - ・ 着信中、保留中または通話画面表示中にヘルプネットが起動すると、ハンズフリー電話は強制終了されて、ハンズフリー電話画面が解除されます。
- ハンズフリー電話と Wi-Fi[®]機能 (Wi-Fi Hotspot、Miracast[®]) を同時に使用する場合、携帯電話の Bluetooth[®]接続が切断される場合があります。

▲ 警告

- 安全のため、運転者は運転中に携帯電話本体を操作しないでください。
- 植込み型心臓ペースメーカー、植込み型両心室ペーシングパルスジェネレータおよび植込み型除細動器以外の医療用電気機器を使用される場合は、電波による影響について医師や医療用電気機器製造業者などに事前に確認してください。電波により医療用電気機器の動作に影響を与えるおそれがあります。

△ 注意

携帯電話は車室内に放置しないでください。車室内が高温のときに携帯電話が故障するおそれがあります。

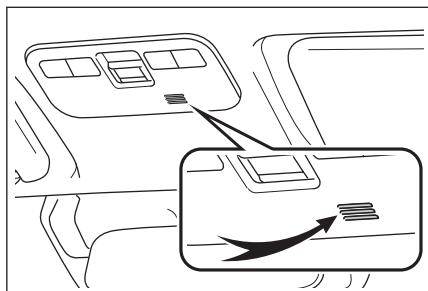
—— 関連リンク ——

- [Bluetooth[®]機器使用上の留意事項 \(P.104\)](#)
- [Bluetooth[®]の仕様、対応プロファイル \(P.107\)](#)
- [Bluetooth[®]機器をマルチメディアシステムから登録する \(P.108\)](#)
- [ヘルプネットについて \(P.304\)](#)

通話音声の留意事項

ハンズフリー電話では、車両側に装備されているマイクを通して通話ができます。

- 着信時や通話時などの音声は、前席両側のスピーカーから出力されます。
- ハンズフリー電話で音声や呼び出し音などが出力されると、オーディオ音声などはミュート（消音）されます。



□ 知識

- 通話時は通話相手と交互に話をしてください。通話相手と同時に話した場合、相手の音声がこちらに聞こえにくくなる場合があります。
- 受話音量が大きい場合、相手の音声が車外にもれたり、エコーが聞こえるおそれがあります。
- 音声は大きくはっきりと話してください。
- 次の場合は、通話相手側にこちらの音声が聞こえにくくなる場合があります。
 - ・ 悪路走行時
 - ・ 高速走行時
 - ・ 窓を開けているとき
 - ・ エアコンの吹き出し口をマイクの方に向けたとき
 - ・ エアコン送風の音が大きいとき
 - ・ 携帯電話をマイクに近付けたとき
- 使用する携帯電話やネットワークの影響により、音質が悪化（ノイズ、エコーなど）することがあります。
- 他の Bluetooth®機器が同時に接続されている場合、ハンズフリー電話の音声にノイズが発生することがあります。
- マルチメディアシステムで Wi-Fi®機能（Wi-Fi Hotspot、Miracast®）を利用する設定にしていると、ハンズフリー電話の音声にノイズが発生することがあります。
- 携帯電話とマルチメディアシステムの受話音量／着信音量が連動することができます。携帯電話の機種によっては、マルチメディアシステムとの受話音量／着信音量を連動できません。

⚠ 注意

マイクにふれたり、先の尖ったものを入れないでください。故障の原因となります。

お車を手放すときの注意

ハンズフリーを使用すると、多数の個人情報が登録されます。お車を手放すときには、すべての情報を初期化してください。

すべての情報の初期化を行うと、マルチメディアシステムの全データを初期化して工場出荷状態にもどります。初期化前の状態にもどすことはできません。

—— 関連リンク ——

[セキュリティ設定を変更する \(P.70\)](#)

ハンズフリー電話が故障したとお考えになる前に

次の症状で気になったりお困りになったときは、考えられることと処置を参考に、もう一度確認してください。

■ ハンズフリー電話を使う

症状	考えられること	処置
ハンズフリー電話を使うことができない	携帯電話が Bluetooth® 対応していない。	マルチメディアシステムで動作確認済みの機種については、トヨタ販売店または https://g-book.com/pc/etc/faq/mobile/n/top.html でご確認ください。
	携帯電話のバージョンが Bluetooth® に適合していない。	Bluetooth® Core Specification Ver. 5.0 以上の携帯電話を使用してください。

■ 携帯電話の登録と接続

症状	考えられること	処置
携帯電話が登録できない	携帯電話の登録操作が完了していない。	携帯電話に承認ボタンが表示されているときは承認ボタンを選択して、登録操作を継続してください。
	マルチメディアシステム、携帯電話どちらか一方の登録情報が残っている。	マルチメディアシステム、携帯電話双方の登録情報を削除してから、再度登録操作を行ってください。
Bluetooth® 接続ができない	お使いになる携帯電話以外がすでに Bluetooth® 接続状態にある。	お使いになる携帯電話をマルチメディアシステムから手動で Bluetooth® 接続してください。
	携帯電話の Bluetooth® 機能が有効状態でない。	エンジンスイッチが ACC または ON のときに、携帯電話の Bluetooth® 機能を有効にしてください。
	携帯電話の登録情報を削除されている。	マルチメディアシステム、携帯電話双方の登録情報を削除してから、登録操作を行ってください。

■ 着信と発信

症状	考えられること	処置
電話をかける、受けるができない	圏外にいる	通話可能エリア内に移動してください。

症状	考えられること	処置
電話をかける、受ける ができない	携帯電話の発信制限 (ダイヤルロック) が ON になっている。	携帯電話の発信制限 (ダイヤルロック) を OFF にしてください。

■ 連絡先

症状	考えられること	処置
連絡先データの転送／ 自動転送ができない	携帯電話の Profile が 連絡先データ転送に対 応していない。	マルチメディアシステムで動作確認 済みの機種については、トヨタ販売 店または https://g-book.com/pc/etc/faq/mobile/n/ top.html でご確認ください。
	マルチメディアシステムの Bluetooth® 設定 で、[自動転送] が OFF に なっている。	マルチメディアシステムの Bluetooth® 設定で、[自動転送] を ON にしてください。
	携帯電話が常に承認す る設定になっていない。	携帯電話を常に承認する設定にして ください。
携帯電話に承認の確認 画面が表示される	承認時に常に許可が選 択されていない。	携帯電話で常に許可を選択し承認し てください。
連絡先データがその他 に登録される	携帯電話の連絡先に登 録してある名称にふり がながない。	携帯電話の連絡先にふりがなを登録 してください。
	携帯電話に連絡先が登 録されていない。	携帯電話に連絡先を登録してくだ さい
連絡先データの編集が できない	マルチメディアシステムの Bluetooth® 設定 で、[自動転送] が ON に なっている。	マルチメディアシステムの Bluetooth® 設定で、[自動転送] を OFF にしてください。

■ その他の状況

症状	考えられること	処置
考えられる処置をして も、症状が改善されな いとき	携帯電話とマルチメデ イアシステムの距離が 離れすぎている。	携帯電話とマルチメディアシステム の距離を近付けてください。
	電波干渉が発生してい る。	Wi-Fi® 機器など電波を発生する機器 の電源を OFF にしてください。 マルチメディアシステムの Wi-Fi® 設 定を OFF してください。

症状	考えられること	処置
考えられる処置をしても、症状が改善されないとき	携帯電話に要因がある。	<p>携帯電話の電源を OFF にして、電池パックを取り出してください。</p> <p>携帯電話の Bluetooth®接続を OFF から ON にしてください。</p> <p>携帯電話の Wi-Fi®接続を OFF にしてください。</p> <p>携帯電話のセキュリティソフト、または常駐アプリケーションを停止してください。</p> <p>携帯電話にインストールしたアプリケーションは、提供元および動作状況について十分ご確認の上ご利用ください。</p>

□ 知識

詳細は、携帯電話に添付の取扱説明書で確認してください。

— 関連リンク —

[Bluetooth®機器をマルチメディアシステムから登録する \(P.108\)](#)

[Bluetooth®機器の登録を削除する \(P.111\)](#)

[Bluetooth®機器を設定する \(P.100\)](#)

[Wi-Fi Hotspot を切断する \(P.120\)](#)

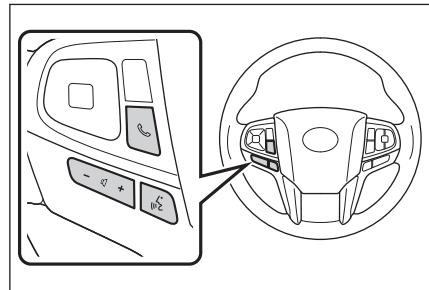
ステアリングスイッチで操作する

電話を受ける／かけるなど、一部のハンズフリー電話機能をステアリングスイッチから操作できます。

- 必要に応じて、各スイッチを操作します。

[📞]スイッチ

- マルチメディアシステムが電話画面以外のとき、履歴画面を表示します。
- マルチメディアシステムの電話画面に[📞]が表示されているとき、電話をかけます。
- マルチメディアシステムの電話画面に[📞]が表示されていないとき、履歴画面を表示します。
- 発信中／通話中は、電話を切ります。
- 着信中／割り込み着信中は、電話に出ます。



[+]スイッチ

音量を大きくします。

押し続けると、連続して調整できます。

[−]スイッチ

音量を小さくします。

押し続けると、連続して調整できます。

[🔊]スイッチ

音声操作で電話をかけることができます。

音声操作中に押し続けると、音声操作を終了します。

知識

- Apple CarPlay/Android Auto を接続中に[📞]を押すと、Apple CarPlay/Android Auto の電話画面がマルチメディアシステムに表示されます。
- Apple CarPlay とハンズフリー電話を接続中に[📞]を押すと、Apple CarPlay またはマルチメディアシステムの電話画面が表示されます。最後に使用した機能が優先されます。どちらも使用していない場合は、メイン機器が優先されます。
- Android Auto とハンズフリー電話を接続中に[📞]を押すと、マルチメディアシステムの電話画面が表示されます。
- 着信中に[📞]で電話に出ると、着信した携帯電話の電話画面（ハンズフリー電話／Apple CarPlay/Android Auto）が表示されます。

—— 関連リンク ——

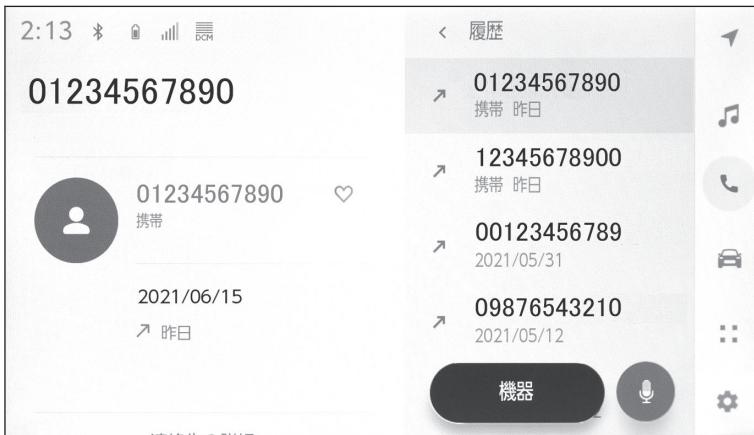
[Apple CarPlay/Android Auto 使用上の留意事項 \(P.122\)](#)

[音声操作を開始する \(P.46\)](#)

履歴から電話をかける

発信または着信履歴として登録されている電話番号から電話をかけることができます。

- 1 メインメニューの[📞]にタッチします。
- 2 [履歴]にタッチします。
- 3 通話相手を選択します。



連絡先に登録されていない電話番号は、電話番号のまま表示されます。

- 4 希望の電話番号にタッチします。

□ 知識

- 最新の履歴 100 件を表示します。履歴が 100 件をこえると、古い履歴から自動で削除されます。
- 発信履歴は、状況によって次のように登録されます。
 - 連絡先またはマルチメディアシステムに登録されている電話番号に発信した場合、そのデータに名称情報および画像情報があると、名称および画像も登録されます。
 - 同一電話番号に発信した場合は、発信先名称のあとに発信回数が表示されます。
- 着信履歴は、状況によって次のように登録されます。
 - 連絡先に登録してある電話番号から着信した場合、そのデータに名称情報および画像情報があると、名称および画像も登録されます。
 - 同一電話番号から着信した場合は、すべて登録されます。
 - 不在着信および着信拒否も登録されます。
 - 相手先電話番号の通知がない場合は、「非通知」と登録されます。
- 携帯電話の機種によっては、国際電話がかけられない場合があります。

ワンタッチダイヤルから電話をかける

よくかける電話番号をワンタッチダイヤルに登録することで、簡単な操作で電話をかけることができます。ワンタッチダイヤルは走行中でも使用できます。

- 1 メインメニューの[]にタッチします。
- 2 [ワンタッチダイヤル]にタッチします。
- 3 通話相手を選択します。
- 4 希望の電話番号にタッチします。



——関連リンク——

[ワンタッチダイヤルを登録する \(P.288\)](#)

連絡先から電話をかける

マルチメディアシステムに登録している連絡先から電話をかけることができます。

- 1 メインメニューの[📞]にタッチします。
- 2 [連絡先]にタッチします。
- 3 通話相手を選択します。
- 4 希望の電話番号にタッチします。



□ 知識

- [連絡先の転送]が画面に表示されている場合、タッチすることで携帯電話の連絡先データをマルチメディアシステムへ転送します。
- 連絡先データが登録されていない場合、マルチメディアシステムに連絡先データを転送／追加する必要があります。
- マルチメディアシステムの連絡先データは、接続しているハンズフリー電話の連絡先データが表示されます。
2台接続などでハンズフリー電話を切りかえた場合、連絡先データも切りかわります。

—— 関連リンク ——

[連絡先に新規データを追加する \(P.290\)](#)

[連絡先データの転送 \(P.284\)](#)

キーパッドから電話をかける

電話番号をキーパッドで入力し、電話をかけます。

- 1 メインメニューの[📞]にタッチします。
- 2 [キーパッド]にタッチします。
- 3 電話番号を入力します。



- 4 [📞]にタッチ、またはステアリングスイッチの[📞]スイッチを押します。サブメニューに表示された連絡先にタッチして発信することもできます。

□ 知識

- 走行中はキーパッドが操作できなくなります。この場合、電話番号が入力済みであれば、発信できます。
- 携帯電話の機種によっては、携帯電話での操作が必要です。

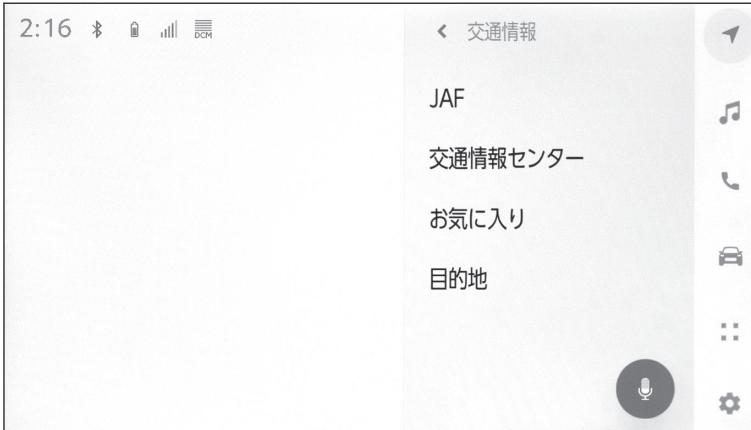
—— 関連リンク ——

[ステアリングスイッチで操作する \(P.265\)](#)

交通情報から電話をかける^{*1}

交通情報やナビゲーションシステムの登録先に電話をかけます。

- 1 メインメニューの[📞]にタッチします。
- 2 [交通情報]にタッチします。



- 3 希望の項目を選択します。
- 4 電話番号を選択します。

—— 関連リンク ———

[交通ナビ関連情報を表示する \(P.202\)](#)

*1: 車載ナビ装着車

110 番／119 番にかける

緊急時に 110 番／119 番へ通報できます。

□ 知識

- 走行中も発信できます。
- ヘルプネットによる緊急通報中は、本画面からは通報できません。

- 1 メインメニューの[]にタッチします。
- 2 [110/119]にタッチします。
- 3 [110]または[119]にタッチすると発信します。



——関連リンク——

[ヘルプネットについて \(P.304\)](#)

ウェイト／ポーズ信号を使って電話をかける

ウェイト（w）／ポーズ（p）信号が含まれる番号に電話をかけることができます。ウェイト（w）／ポーズ（p）信号のあとに続く番号の送信を一時停止または2秒ほど停止できます。

- ウェイト（w）信号は番号の送信を一時停止させます。ユーザー操作後、次のウェイト（w）信号まで送信されます。途中にポーズ（p）信号が含まれる場合は2秒停止し、続く番号を送信します。
- ポーズ（p）信号は番号の送信を2秒停止させます。

- 1 メインメニューの[📞]にタッチします。
- 2 [連絡先]にタッチします。
- 3 連絡先を選択します。
- 4 ウェイト（w）／ポーズ（p）信号が含まれる電話番号を選択します。
- 5 電話番号にウェイト（w）信号が含まれている場合、[🌐]にタッチします。

[📞]にタッチすると、ウェイト（w）信号で一時停止された番号が次のウェイト（w）信号まで送信されます。途中にポーズ（p）信号が含まれる場合は2秒停止し、続く番号を送信します。



□ 知識

- 携帯電話の機種によっては、携帯電話の画面にウェイト信号はセミコロン（;）で、ポーズ信号はカンマ（,）で表示されます。
- 本機能は、国際電話などを利用するときに使用します。
- 本機能は、留守番電話や銀行の電話サービスなど、電話主体のサービスで自動操作が必要な場合に使用できます。ウェイト（w）／ポーズ（p）信号を含んだ電話番号は連絡先リストに登録できます。

電話に出る

着信があると着信音が鳴り、着信画面もしくは着信通知が表示されます。

- 次のいずれかの操作をして、電話に出ます。

- []にタッチします。
- ステアリングスイッチの[]スイッチを押します。



□ 知識

- 駐車支援システム画面表示中は、着信画面が表示されません。着信音のみで着信が通知されます。
- 着信中は、ハンズフリー電話以外で出力される音声をミュート（消音）します。ただし、ハンズフリー電話より優先される音声案内は、ミュートされません。
- マルチメディアシステムで携帯電話の着信音を設定していても、携帯電話の設定によっては、マルチメディアシステムでは違う着信音が出力される場合があります。
- ドライブモードなど、携帯電話の設定によっては、着信できない場合があります。
- 携帯電話の機種によっては、次のことがあります。
 - ・ 着信音は、車両スピーカーと携帯電話の両方から聞こえる場合があります。
 - ・ 着信時に相手の電話番号が表示されない場合があります。
 - ・ 携帯電話を直接操作して電話を受けたとき、または携帯電話を自動着信応答に設定したときは、携帯電話での通話になる場合があります。
 - ・ 携帯電話でデータ通信を行っている最中に着信があったときは、着信画面がマルチメディアシステムに表示されず、着信音も鳴らない場合があります。
- 連絡先自動転送（PBAP）に対応している携帯電話で、連絡先の画像データが転送された場合、着信時に[連絡先の画像表示]がONに設定されていると、電話番号と共に画像が表示されます。
- マルチメディアシステムで着信音の設定を携帯電話の着信音以外に設定している場合、携帯電話をマナー（バイブレータ）モードや着信音消去に設定しても、マルチメディアシステムで登録されている着信音が出力されます。
- 応答保留中の携帯電話をハンズフリー電話に切りかえると、携帯電話は応答保留中のまま、マルチメディアシステムの通話画面が表示されます。この場合、マルチメディアシステムで保留を解除すると、ハンズフリー電話で通話できます。
- 携帯電話の設定で着信拒否に設定している電話番号から着信した場合、着信を拒否します。

—— 関連リンク ——

ステアリングスイッチで操作する (P.265)

Bluetooth®機器を設定する (P.100)

着信を拒否する

マルチメディアシステムではいくつかの方法で着信を拒否できます。

● 着信中に、次のいずれかの操作をして、着信を拒否します。

- []にタッチします。
- 電話機を直接操作します。
- エージェント（音声対話サービス）で電話に出るための音声コマンドを発話します。

知識

携帯電話の設定で着信拒否に設定している電話番号から着信した場合、着信を拒否します。

——関連リンク——

[ステアリングスイッチで操作する \(P.265\)](#)

[音声で操作する \(P.44\)](#)

通話画面で操作する

通話中は通話画面でいろいろな操作ができます。



[]: 通話相手に発話した声が聞こえないように、送話音をミュート（消音）します。ミュート（消音）中はボタンが青くなります。

解除するときは、再度ボタンにタッチします。

通話相手の声は聞くことができます。

[]: キーパッド画面を表示します。キーパッド画面表示中は、通話画面が縮小されます。

走行中にキーパッドは操作できません。

[]: 通話中の電話を切れます。

[]: 別の通話相手に電話をかけるために、サブメニューに連絡先リストを表示します。通話中に電話番号をタッチして電話をかけることで、別の相手に電話をかけます。

● 表示された連絡先リスト以外からも電話できます。

[]: 携帯電話とマルチメディアシステムのあいだで、通話を切りかえることができます。携帯電話で通話中のときは、ボタンが青くなります。

[]: 保留中の通話を解除します。保留中のみ表示されます。

[]: 通話画面を縮小します。

[]: メインエリアに通話画面を表示します。

[]: オプション画面を表示します。

オプション画面では次のことができます。

- [送話音量]: 送話音量を調整できます。

送話音量を変更すると、音質が悪くなることがあります。

- [ナビ案内音声]^{*1}: 通話中のナビゲーション音声案内の割り込みを ON/OFF できます。

- [保留]: 通話を一時的に保留できます。

解除するときは、[保留]を OFF にします。

携帯電話の機種によっては、保留できないことがあります。

- []: 通話画面にもどります。通話を保留したまま通話画面にもどった場合、再度オプション画面を表示して保留を解除できます。

知識

- マルチメディアシステムの状態によっては、通話画面が縮小されたり、表示されない場合があります。
- 携帯電話の機種によっては、通話を切りかえることができません。
- 走行中は、ハンズフリー電話での通話から携帯電話での通話に切りかえることはできません。
- 通話中の携帯電話がハンズフリー電話としてマルチメディアシステムに接続された場合、通話画面が表示されます。携帯電話の機種によって、携帯電話かマルチメディアシステムのどちらかの通話になります。
- ハンズフリー電話で通話中にエンジンスイッチを操作した場合、携帯電話の機種によって、通話が切断される場合と、携帯電話で継続される場合があります。携帯電話で継続される場合は、携帯電話の操作が必要になることがあります。

—— 関連リンク ——

[ステアリングスイッチで操作する \(P.265\)](#)

*1: 車載ナビ装着車またはコネクティッドナビ利用時

割込着信の電話に出る

通話中に第三者から着信が入った場合、割込通話で両者と通話できます。割込着信が入ると、画面上部に着信通知が表示されます。

□ 知識

- 携帯電話会社と割込通話の契約をしている必要があります。
- 携帯電話が HFP Ver. 1.5 以上のプロファイルに対応していない場合は、割込通話できません。
- 携帯電話の機種や契約内容によっては、本機能が利用できない場合があります。

- 割込着信中に、[]にタッチ、またはステアリングスイッチの[]スイッチを押します。

割込着信に出ると、通話していた相手は保留中になります。

[通話切り替え]にタッチするごとに通話相手が切りかわります。



—— 関連リンク ——

[ステアリングスイッチで操作する \(P.265\)](#)

割込着信を拒否する

通話中に第三者から着信が入った場合、割込着信を拒否できます。

割込着信中に、[]にタッチします。

□ 知識

携帯電話の機種によっては、両者とも通話が切れる場合があります。携帯電話に添付の取扱説明書をご覧ください。

—— 関連リンク ——

[ステアリングスイッチで操作する \(P.265\)](#)

通話中に別の通話相手へ電話をかける

通話中に新たに第三者へ電話をかけることができます。

1 通話画面で、[]にタッチします。

2 連絡先を選択します。

3 電話番号を選択します。

本機能を利用すると、通話中の相手を保留します。



□ 知識

- 携帯電話会社と割込通話の契約をしている必要があります。
- 携帯電話が HFP Ver. 1.5 以上のプロファイルに対応していない場合は、割込通話できません。
- 携帯電話の機種や契約内容によっては、本機能が利用できない場合があります。

グループ通話をする

通話相手と保留相手がいる場合に保留相手を通話に追加できます。

● 第三者と通話中に、[グループ通話]にタッチします。

保留中の電話が保留解除され、グループ通話へ切りかわります。

□ 知識

- 携帯電話会社とグループ通話の契約をしている必要があります。
- 携帯電話の機種や契約内容によっては、本機能が利用できない場合があります。
- グループ通話を切ると、グループ全員との通話が終了します。

電話を切る

ハンズフリー電話を切るには、いくつかの方法があります。

● 通話中に、次のいずれかの操作をします。

- ステアリングスイッチの[]スイッチを押します。
- 発信中または通話画面で、[]にタッチします。
- 携帯電話の操作で電話を切れます。

——関連リンク——

[ステアリングスイッチで操作する \(P.265\)](#)

ハンズフリー電話を切りかえる

2台の携帯電話をハンズフリー電話として接続している場合、それぞれの携帯電話を利用できます。ハンズフリー電話には、利用する携帯電話を切りかえる機能があります。ハンズフリー電話画面では、選択している携帯電話の連絡先や履歴などのデータが表示されます。着信などの機能は、選択されていない携帯電話も機能します。

ハンズフリー電話として2台接続するには、ドライバー設定を登録し、登録されたドライバーを設定している必要があります。

1 メインメニューの[]にタッチします。

2 [機器]にタッチします。

3 使用したい携帯電話を選択します。

通話中、着信中、発信中は他の携帯電話を選択できません。



□ 知識

- ハンズフリー電話画面以外から電話をかける場合、メイン機器として発信されます。
- いずれかのハンズフリー電話で通話している場合、もう一方のハンズフリー電話からは発信できません。
- いずれかのハンズフリー電話で通話しているときに、もう一方のハンズフリー電話の着信に出た場合、最初の通話が切れます。
- 電話の着信機能は、選択されていない携帯電話の分も機能します。
- 携帯電話を切りかえても、メイン機器が変更されるわけではありません。

—— 関連リンク ——

[ドライバーを登録する \(P.54\)](#)

[ドライバーの切りかえや登録をする \(P.61\)](#)

[Bluetooth®機器をメイン機器に設定する \(P.115\)](#)

連絡先データの転送

連絡先は接続された携帯電話 1 台につき、5000 名分のデータを登録できます。接続されている携帯電話に対応した連絡先のみ表示できます。この連絡先は、1 名につき最大 4 件の電話番号が登録できます。接続された電話機ごとに連絡先は管理されます。

この機能は、手動転送（OPP）か自動転送（PBAP）のどちらかに対応している携帯電話で使用できます。ご使用の携帯電話がどちらに対応しているかは携帯電話に添付の取扱説明書または接続中の携帯電話の対応プロファイルを確認してください。

連絡先を自動転送（PBAP）するには、Bluetooth®設定で[自動転送]を ON にする必要があります。

□ 知識

- 連絡先データを転送する際、各データについては、次のような制限があります。
 - 1つの連絡先に 5 件以上の電話番号が登録されている場合、マルチメディアシステム側の連絡先には同じ名称を複数登録してすべての電話番号を登録します。
 - 電話番号と同時に名称も転送されます。機種によっては記号などが転送されないことや、すべての文字が転送されないことがあります。また、転送されても正しく表示されないことがあります。
 - 通常はシークレットメモリの読み出しは行いません。(携帯電話の仕様により可能な場合もあります)
 - 携帯電話に登録されているグループ名は転送されません。
 - マルチメディアシステム側の連絡先で表示される電話番号の種別は、転送元の情報を元にして自動で割り当てられます。ただし、携帯電話の機種や使用環境によっては、表示されるアイコンがすべて同じになります。
 - 連絡先データを転送する際、機種によっては、携帯電話の暗証番号および認証パスワードの入力を求められることがあります。この場合、認証パスワードは [1234] を入力してください。
 - 手動転送（OPP）に対応していない電話機は、連絡先を Bluetooth®で追加登録ができません。
- 一括転送可能な機種は、連絡先データを転送する際、次のような特徴があります。
 - 転送には 10 分程度かかる場合があります。
 - 連絡先データ転送画面が表示されているときでも他画面に切りかえることができます。この場合、連絡先データ転送は継続されます。
- 連絡先データ転送中は、次のように対応します。
 - 手動転送（OPP）中に着信を受けた場合は、携帯電話本体での通話になります。手動転送中はマルチメディアシステムから発信できません。
 - 携帯電話が自動転送（PBAP）にも手動転送（OPP）にも対応していない場合、Bluetooth®を使用して連絡先データを転送できません。ただし、連絡先データは USB メモリーから転送できます。

- 連絡先データ転送中にエンジンスイッチを OFF にした場合、転送は中止されます。この場合は、エンジンを始動して、再度転送操作をやりなおしてください。
- 次の場合、転送中の連絡先データは保存されません。(転送された一部のデータも保存されません。)
 - マルチメディアシステム側のメモリ容量により途中で自動転送 (PBAP) が終了したとき。
 - 何らかの原因で自動転送 (PBAP) が中断されたとき。
- マルチメディアシステム側の連絡先データを携帯電話に転送することはできません。
- 連絡先データ転送中は、Bluetooth®オーディオの接続が切断されることがあります。この場合、転送が終了すると再接続されます。(機種によっては、再接続できないことがあります)
- 転送するときは、マルチメディアシステムを起動した状態で行ってください。
- 自動転送 (PBAP) 機能により連絡先、履歴をマルチメディアシステムに転送できます。
- 自動転送 (PBAP) で連絡先データを転送したときに、機種によっては携帯電話の操作が必要な場合があります。
- 自動転送 (PBAP) で連絡先を転送する場合、携帯電話の連絡先の共有設定を有効にする必要があります。
- 自動転送 (PBAP) が開始されない場合、他の機能をすべて終了させると自動転送が開始されることがあります。
- 連絡先の画像を表示するには、Bluetooth®設定で[連絡先の画像表示]を ON にしてください。連絡先の画像データを転送するには、Bluetooth®設定で[自動転送]と[連絡先の画像表示]を ON にする必要があります。

— 関連リンク —

[Bluetooth®の仕様、対応プロファイル \(P.107\)](#)

[Bluetooth®機器を設定する \(P.100\)](#)

手動転送 (OPP) を利用して携帯電話の連絡先データを転送する

携帯電話に登録してある電話番号（連絡先データ）を、手動転送 (OPP) を利用してマルチメディアシステムへ転送できます。

[自動転送]が ON に設定されている場合、電話帳転送完了時に[自動転送]が OFF になります。

- AppleCarPlay／AndroidAuto を使用している携帯電話では、手動転送 (OPP) による連絡先データ転送はできません。

- 1 メインメニューの[📞]にタッチします。
- 2 [連絡先の更新]にタッチします。

3 次の転送方法を選択します。

[Bluetoothで上書き登録]：現在の連絡先データに上書きします。

[Bluetoothで追加登録]：現在の連絡先データに追加します。

4 携帯電話を操作して連絡先データを転送します。

転送失敗画面が表示されたときは、最初からやりなおしてください。



— 関連リンク —

[Bluetooth®機器を設定する \(P.100\)](#)

[Bluetooth®の仕様、対応プロファイル \(P.107\)](#)

USBメモリーの連絡先データを転送する

USBメモリーに登録してある電話番号（連絡先データ）をマルチメディアシステムへ転送できます。

- [自動転送]がONに設定されている場合、電話帳転送完了時に[自動転送]がOFFになります。
- Apple CarPlay/Android Autoを接続しているときは、この機能を使用できません。
- USBメモリーの連絡先データは、vCard形式(.vcf)のデータのみ転送可能です。
- USBメモリー単体では転送できません。携帯電話をマルチメディアシステムで使用できる状態にしてから操作してください。

1 USB Type-C端子にUSBメモリーを接続します。

2 メインメニューの[📞]にタッチします。

3 [連絡先の更新]にタッチします。

4 次の転送方法を選択します。

[USBで上書き登録]：USBメモリーの連絡先データを現在の連絡先データに上書きします。

[USBで追加登録]：USBメモリーの連絡先データを現在の連絡先データに追加します。

5 ファイルリストから、転送したいファイルを選択します。

6 [OK]にタッチします。

転送失敗画面が表示されたときは、最初からやりなおしてください。



 知識

携帯電話の機種によっては、USB 接続している携帯電話で vCard 形式のデータを連絡先として転送できます。携帯電話に接続している SD カードなどのデータからも転送できる場合があります。

—— 関連リンク ——

[Bluetooth®機器を設定する \(P.100\)](#)

[USB 機器を接続する \(P.41\)](#)

ワンタッチダイヤルを登録する

よく利用する電話番号を登録しておくことで、ワンタッチで呼び出すことができます。ワンタッチダイヤルは携帯電話ごとに登録が必要です。

連絡先からワンタッチダイヤルを登録する

- 1 メインメニューの[]にタッチします。
- 2 [連絡先]にタッチします。
- 3 登録したいデータを選択します。
- 4 登録したい電話番号の[]にタッチします。
- 5 ワンタッチダイヤルリストのボタンを選択します。
- 6 [OK]にタッチします。

ワンタッチダイヤルは選択したボタンの位置に登録されます。



履歴からワンタッチダイヤルを登録する

- 1 メインメニューの[]にタッチします。
- 2 [履歴]にタッチします。
- 3 登録したいデータを選択します。
- 4 登録したい電話番号の[]にタッチします。

ワンタッチダイヤルは空いている登録先に登録されます。



ワンタッチダイヤルを削除する

ワンタッチダイヤルの登録を削除できます。

- 1 メインメニューの[]にタッチします。
- 2 [連絡先]または[履歴]にタッチします。
- 3 削除したいデータを選択します。

- 4 削除したい電話番号の[]にタッチします。



連絡先に新規データを追加する

マルチメディアシステムの連絡先に直接データを入力して連絡先を作ることができます。連絡先には、1名のデータにつき、名称、名称、電話番号（最大4件）、種別（自宅や携帯など、各電話番号にそれぞれ1つ）が登録できます。

- 履歴画面の[連絡先を更新する]からも、連絡先編集画面を呼び出して新規データを追加できます。
- [自動転送]がONに設定されている場合、マルチメディアシステムの連絡先に新規で追加できません。[自動転送]をOFFにしてから行ってください。
- Apple CarPlay/Android Autoを接続しているときは、この機能を使用できません。

1 メインメニューの[📞]にタッチします。

2 [連絡先の更新]にタッチします。

3 [新規作成]にタッチします。

4 各項目を選択して入力します。

- [電話番号を追加]にタッチすると、追加の電話番号を設定できます。

電話番号が入力されていない場合、電話番号を追加することはできません。

- 電話番号の種別（自宅や携帯など）を選択できます。



5 [保存]にタッチします。

名前、読み仮名、電話番号のすべてが入力されてないと登録できません。

——関連リンク——

[Bluetooth®機器を設定する \(P.100\)](#)

[履歴から電話をかける \(P.267\)](#)

連絡先のデータを修正する

登録済みの連絡先データを修正できます。

[自動転送]がONに設定されている場合、マルチメディアシステムの連絡先を修正できません。[自動転送]をOFFにしてから行ってください。

- Apple CarPlay/Android Autoを接続しているときは、この機能を使用できません。

1 メインメニューの[📞]にタッチします。

2 [連絡先の更新]にタッチします。

3 [編集]にタッチします。

4 修正したい連絡先を選択します。

5 各項目を選択して入力します。

- [電話番号を追加]にタッチすると、追加の電話番号を設定できます。
- 電話番号下部の種別（自宅や携帯など）にタッチすると、電話番号の種別（自宅や携帯など）を選択できます。



6 [保存]にタッチします。

名前、読み仮名、電話番号のすべてが入力されていないと登録できません。

——関連リンク——

[Bluetooth®機器を設定する \(P.100\)](#)

連絡先のデータを削除する

すでに登録済みの連絡先のデータを削除できます。

[自動転送]がONに設定されている場合、マルチメディアシステムの連絡先を削除できません。[自動転送]をOFFにしてから行ってください。

- Apple CarPlay/Android Auto を接続しているときは、この機能を使用できません。

1 メインメニューの[📞]にタッチします。

2 [連絡先の更新]にタッチします。

3 [削除]にタッチします。

4 削除したいデータを選択します。

5 サブメニュー下部の[削除]にタッチします。



——関連リンク——

[Bluetooth®機器を設定する \(P.100\)](#)

7-1. T-Connect のサービス概要

T-Connect とは 294

データ通信に関する留意事項... 295

7-2. T-Connect の利用手続き

T-Connect を契約する 298

T-Connect を利用する 299

T-Connect を解約する 302

**7-3. ヘルプネット（エアバッグ運動
タイプ）**

ヘルプネットについて 304

各部の名称とはたらき 306

安全のために 307

ヘルプネットをお使いになる
前に 309

緊急通報をする 310

保守点検をする 314

表示灯について 317

緊急通報できない場合につい
て 319

故障とお考えになる前に 321

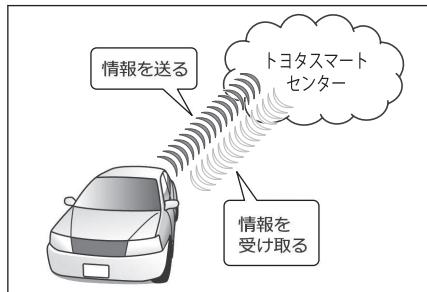
7-4. リモートメンテナンスサービスリモートメンテナンスサービ
スについて 322**7-5. Web ブラウザ**Web ブラウザ機能（インター
ネット）について 323

Web ブラウザ画面を表示する.. 324

Web ブラウザ画面を操作する.. 325

T-Connect とは

T-Connect は通信モジュール (DCM) を介してお車がお客様と常につながることにより、安心、安全、快適なカーライフをサポートするコネクティッドサービスです。



■ T-Connect サービス

ご利用可能な T-Connect サービスは、T-Connect の WEB サイト (<https://toyota.jp/tconnectservice/>) をご覧ください。

— 関連リンク —

[コネクティッドナビ \(P.138\)](#)

データ通信に関する留意事項

T-Connect を利用するには、別途利用手続きをしていただく必要があります。

安全にご利用するため注意すること

T-Connect をご利用になるときは、次の注意事項を必ずお守りの上、正しくお使いください。

■ 走行中の操作、表示規制について

走行中に T-Connect をご利用になると、安全のため、操作の一部を制限したり、コンテンツによってはコンテンツ表示部分を覆って、メッセージを表示します。このようなコンテンツをご覧になるときは、安全な場所に車を停車させてご覧ください。

■ 消耗品について

エアバッグ作動による自動通報を補助するため、ヘルプネット専用補助バッテリーを搭載しています。寿命による交換時期は、ヘルプネットスイッチの表示灯（赤点滅）でお知らせします。また、エアバッグ作動による自動通報を実施した際は、安全のため交換をお願いします。ヘルプネット専用補助バッテリーの交換についてはトヨタ販売店にご相談ください。

▲ 警告

安全のため、運転者は走行中に極力操作（音声操作も含む）をしないでください。走行中の操作はハンドル操作を誤るなど、思わぬ事故につながるおそれがあります。車を停車させてから操作をしてください。なお、走行中に画面を見るときは、必要最小限の時間にしてください。

通信機器について

T-Connect は、通信モジュール（DCM）を利用して、データ通信を行います。

■ 通信モジュール（DCM）について

車両に装着した通信モジュール（DCM）で通信を行います。ご利用には T-Connect 利用申込みが必要です。通信費は T-Connect 利用料金に含まれます。利用料金は、トヨタ自動車(株)またはトヨタ販売店または T-Connect の WEB サイト (<https://toyota.jp/tconnectservice/>) でご確認ください。

リコール情報などのお車に関する大切なお知らせを、トヨタ自動車(株)またはトヨタ販売店からリモートメンテナンスマailによりお送りするため、T-Connect の契約の有無にかかわらず、通信を行う場合があります。

通信モジュール（DCM）について

通信モジュール（DCM）は通信アンテナを使用します。

通信アンテナは、インストルメントパネルに設置されています。

■ ペースメーカーやその他の医療用電気機器をお使いの方は
データ通信時の電波について、次の点にご注意ください。

▲ 警告

植込み型心臓ペースメーカー、植込み型両心室ペーシングパルスジェネレータおよび植込み型除細動器以外の医療用電気機器をお使いの方は、T-Connect をお使いになる前に、医師や医療用電気機器の製造事業者などに個別にご相談ください。電波により医療用電気機器の動作に影響を与えるおそれがあります。

データ通信時の留意事項

T-Connect は、データ取得時に通信を行います。

次の点をご理解の上、正しくお使いください。

- 通信方式は、KDDI 株式会社の LTE 方式です。LTE サービスエリアでは、最大 150 Mbps のデータ通信サービスがご利用いただけます。サービスエリアは同社サービスエリア図をご覧ください。なお、通信状況はさまざまな要因で変動します。必ずしもサービスエリア内にいれば、常に通信が可能というわけではありません。
- 次のような通信環境では、データ通信できません。
 - トンネルの中にいるとき
 - 地下駐車場にいるとき
 - 山奥などの通信圏外にいるとき
 - 回線が混雑しているなど、発信規制中のとき
- 通信モジュール(DCM)は、お客様に T-Connect をご利用いただくため、トヨタ自動車(株)またはトヨタ販売店よりお客様に対しリコールなどの大切なお知らせをお送りするためなどの目的で、T-Connect を契約されない場合または解約された場合であっても、初度登録日から一定期間、通信事業者とのあいだで通信回線を維持します。
- 通信モジュール(DCM)の回線維持期間経過後に T-Connect を新たにご契約いただく場合、通信モジュール(DCM)の回線を接続するための費用が必要になりますので、あらかじめご了承ください。
- この先、通信事業者にて通信に使用する電波が変更もしくは打ち切りになった場合、T-Connect が使用できなくなります。(その場合には事前にご連絡します。)

□ 知識

- T-Connect はデータ取得に通信を利用するため、通信環境の整わない状況では通信を利用するサービスはすべて利用できません。
- データ取得までの時間は、マルチメディアシステムの状態やデータの内容、電波状態によって異なります。

- GPS 信号を長い間（数カ月間）受信していないとき、または 12V バッテリーとの接続が断たれたときは、データ通信ができなくなることがあります。この場合は、GPS 信号が受信できる場所に車を移動してください。
- すべての情報を初期化したあとはしばらく通信できないことがあります。通信できない場合には、システムの再起動を実施してください。

—— 関連リンク ——[システムを再起動する \(P.16\)](#)[セキュリティ設定を変更する \(P.70\)](#)**受信レベルについて**

画面左上に受信レベルが表示されます。データ通信時の目安にしてください。

レベル	表示
未接続時	
圏外	
弱	
強	

□ 知識

受信レベル表示が「圏外」の場合でも、マルチメディアシステムはデータ取得動作を行いますが、一定時間経過してもデータ取得できない場合は、自動的に中止します。中止までの時間はマルチメディアシステムの通信状態によって異なります。

T-Connect を契約する

T-Connectをご利用いただくにはT-Connect契約が必要となります。初度登録から5年間無料でご利用いただけます。

■ 契約（申込み）する

以下のいずれかの方法でお申込みいただけます。

- T-Connect WEB 申し込みサイト (https://tconnect.jp/webregist_tsc/)：手数料は無料です。
- トヨタ販売店：手数料は販売店により異なります。詳しくはトヨタ販売店にご確認ください。

■ 継続契約を行う

契約の更新月が近づくとトヨタコネクティッド株式会社よりお知らせが届きます。そちらに記載の手続き方法にしたがって契約の更新を行うことができます。

T-Connect を利用する

ご利用の際には各サービスの使用方法、留意事項を確認のうえご利用ください。

ご利用の前に

ヘルプネットの手動保守点検を行ってください。手動保守点検は必ず契約者本人が行うようにしてください。

— 関連リンク —

[保守点検をする \(P.314\)](#)

各サービスを使う

- ヘルプネット（エアバッグ連動タイプ）
- コネクティッドナビ^{*1}
- エージェント（音声対話サービス）^{*1}
- マイセッティング
- リモートメンテナンスサービス
- 車内 Wi-Fi^{*2}
 - Wi-Fi Hotspot 機能
 - インターネット^{*3}

上記以外のサービスの使用方法は T-Connect の WEB サイト（<https://toyota.jp/tconnectservice/>）をご確認ください。

— 関連リンク —

[ヘルプネット（エアバッグ連動タイプ） \(P.304\)](#)

[コネクティッドナビ \(P.138\)](#)

[音声で操作する \(P.44\)](#)

[ドライバーの切りかえや登録をする \(P.61\)](#)

[リモートメンテナンスサービス \(P.322\)](#)

[e ケア \(P.322\)](#)

[Wi-Fi Hotspot を設定する \(P.98\)](#)

[Web ブラウザ機能（インターネット）について \(P.323\)](#)

*1: コネクティッドナビのオプション契約が必要です。初度登録から 5 年間無料でご利用いただけます。

*2: 車内 Wi-Fi のオプション契約が必要です。

*3: 車載ナビ装着車

WEB サイト

■ トヨタ公式サイト

T-Connect サービスの概要などを確認することができます。

- URL : <https://toyota.jp/tconnectservice/>
- QR コード :



■ My TOYOTA (WEB)

T-Connect の契約情報の確認、オプションの契約などを行うことができます。

- URL : <https://toyota.jp/member/mytoyota/>
- QR コード :



スマートフォンアプリ

■ My TOYOTA+ アプリ

お車の燃料残量や走行距離の確認、マイカーサーチの各サービスなどを利用することができます。

- URL : <https://toyota.jp/spapp/mytoyota/qrlink/>
- QR コード :



7

T-Connect

T-Connect を解約する

お車を手放す場合など、T-Connect を解約する際はマルチメディアシステムから行なうことができます。

お車を手放す前に

マルチメディアシステムに保存したお客様の情報を消去するため、セキュリティ設定から[全ての情報を初期化]を必ず行ってください。

— 関連リンク —

[セキュリティ設定を変更する \(P.70\)](#)

マルチメディアシステムから解約する

T-Connect の契約を解除するときは、次の手順で実施してください。

- 1 メインメニューの[::]にタッチします。
- 2 [T-Connect 設定]にタッチします。
- 3 [契約プランの確認/追加/解約]にタッチします。
- 4 基本サービスの[詳細]にタッチします。
- 5 画面の指示にしたがって操作します。

□ 知識

- T-Connect を解約した場合であっても、トヨタ自動車(株)またはトヨタ販売店からリコール情報などのお車に関する大切なお知らせを、通信モジュール(DCM)を利用し、お車にリモートメンテナンスマールでご連絡する場合があります。

- お車を手放す場合などは、T-Connect サポートセンターでも解約できます。

T-Connect サポートセンター

全国共通・フリーコール



0800-500-6200

受付時間 9:00~18:00

年中無休

自動車検査証（車検証）をご準備のうえ、必ずご契約者ご本人からご連絡ください。

△ 注意

- マルチメディアシステムに保存した情報は、マルチメディアシステムで解約したときのみ消去できます。

 注意

- お客様の大切な情報を保護するため、お車を手放すときは、マルチメディアシステムで解約手続きおよび全ての情報の初期化(→ P.70)を必ず行ってください。

ヘルプネットについて

ヘルプネット（エアバッグ連動タイプ）は、交通事故発生時や急病などの緊急事態発生時に、自動またはボタン操作でヘルプネットセンターに電話接続し、車内からの通報救援要請を補助支援するシステムです。

さらに、あおり運転などのトラブルのときでも、警察へ状況に応じて通報します。

また、交通事故発生時車両データの活用により、運転席、助手席およびシートベルトを着用しているセカンドシートの乗員の重症度を推定し、ドクターヘリなどの早期出動判断を行う D-Call Net 機能に対応しています。^{*1}

ヘルプネットは、警察や消防への緊急通報サービスです。ロードサービスへの取次ぎは行いません。

- ヘルプネットは株式会社日本緊急通報サービスの登録商標です。

□ 知識

- いたずらなどで緊急車両などが出動したとき、該当費用に関しての請求をされたり、関連法規により処罰されることがあります。いたずらをしないでください。
- 事故発生時以外でも、エアバッグが作動したときには自動通報します。このようなときには、ヘルプネットセンターのオペレーターに理由を告げて通報を終了してください。
- 表示灯は、緊急通報可能または不可能状態を正しく表示しないことがあります。たとえば、解約時の処理をしていない中古車などに搭載された通信モジュールを使用するときは、サービスの契約をしていない状態でも緊急通報可能状態として表示することがあります。

△ 注意

- ヘルプネットスイッチパネルなどに液体をかけたり、強い衝撃を与えるしないでください。ヘルプネットスイッチパネルなどが故障すると、緊急通報ができなくなったり、システム状態を正確にお知らせすることができなくなります。ヘルプネットスイッチパネルなどが故障したときは、必ずトヨタ販売店にご相談ください。
- 緊急通報および手動保守点検時は、スピーカーまたはマイクに故障不具合などがあると、ヘルプネットセンターのオペレーターと通話できません。これらの機器が故障したときは、必ずトヨタ販売店にご相談ください。

サービス開始と解約について

ヘルプネットは、T-Connect 申込み後にヘルプネット手動保守点検を実施すると利用できます。エンジン始動後、しばらくすると緑の表示灯が点灯します。その後、ヘルプネット手動保守点検を必ず契約者本人で行うようにしてください。

ヘルプネットを解約したいときは、T-Connect 契約を解約すると、同時に解約されます。

^{*1}: 乗車定員 9 人以下の車両が対象。

— 関連リンク —

ヘルプネットをお使いになる前に (P.309)

緊急通報について

■ エアバッグ作動による自動通報

エアバッグ作動時など、お車に一定以上の衝撃が加わると、自動的にヘルプネットセンターに通報します。

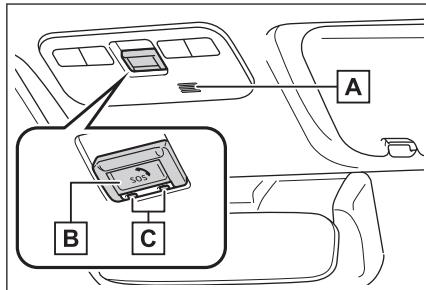
■ ボタン操作による手動通報

乗員がヘルプネットボタンを押すと、ヘルプネットセンターに通報します。

各部の名称とはたらき

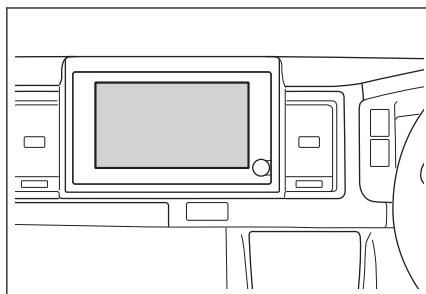
■ ヘルプネットスイッチパネル

- [A] マイク：緊急通報中や手動保守点検中のハンズフリー通話時に使用します。
- [B] ヘルプネットボタン：ボタン操作による手動通報をします。また、手動保守点検をするときに押します。
- [C] 表示灯：赤と緑の表示灯の点灯の組み合わせにより機器の故障、緊急通報中などシステムの動作を知らせます。



■ マルチメディアシステム

緊急通報時や保守点検時にメッセージを表示します。



安全のために

▲ 警告

- 安全運転を心がけてください。ヘルプネットは、交通事故や急病時などの救援通報を補助するものであり、乗員保護の機能を持つものではありません。乗員保護のために、乗員はシートベルトを着用し、安全運転を心がけてください。
- 緊急事態が発生したときは、人命救助とけが人の対処を最優先にしてください。
- 緊急事態発生により燃料の匂いや異臭を感じるときは、車内にとどまらずにただちに安全な場所に避難してください。
- 手動保守点検は契約者本人が行い、ヘルプネットスイッチパネルの緑の表示灯が点灯していることを必ず確認してください。
- マルチメディアシステムは衝撃などによって、作動しなくなることがあります。このようなときには、最寄りの公衆電話などから通報してください。
- 12Vバッテリーの電圧低下または接続が断たれたとき、ヘルプネットセンターと通信できることがあります。
- 携帯電話サービスエリア内であっても電波状態または回線混雑のために、緊急通報や通話が困難になることがあります。この場合は、ヘルプネットセンターと回線接続しても、ヘルプネットセンターと通信できず、救援要請の通報および通話ができません。緊急通報できないときには、最寄りの公衆電話などから通報してください。
- 事故発生時、エアバッグが作動せず、車両へ強い衝撃が加わっていないときは自動通報されません。また、エアバッグが作動しても通報されないことがあります。このようなときにはボタン操作による手動通報をしてください。
- 以下のときは緊急通報できません。緊急通報できないときには、最寄りの公衆電話などから通報してください。
 - 携帯電話サービスエリア外で使用している
 - 関連機器（ヘルプネットスイッチパネル、ディスプレイ、マイク、スピーカー、通信モジュール、アンテナ、およびこれらを接続する電気配線など）に異常または損傷があり、故障している
 - T-Connect 契約が未契約、または契約期限が切れている
 - 手動保守点検を実施していないため、緊急通報可能状態になっていない
- 緊急通報時は、ヘルプネットセンターへの回線接続をくり返し行います。ただし、電波状態などの理由で回線接続ができないときは、ヘルプネットスイッチパネルの赤の表示灯が点滅し、通報しないまま緊急通報を終了します。通報が必要なときは、最寄りの公衆電話などから通報してください。
- 緊急通報後に救援を待つ間は、後続車の追突などの二次災害を防ぐ手段をとり、乗員は安全な場所へ避難してください。基本的には車内にとどまらず、窓を開け、ヘルプネットセンターのオペレーターの声が聞こえる車外で、安全な場所を確保してください。
- 安全のため、走行中は緊急通報をしないでください。走行中の通報はハンドル操作を誤るなど、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。緊急通報は、停車して安全を確認してから行ってください。

▲ 警告

- T-Connect 契約を解約してもヘルプネットスイッチパネルの縁の表示灯が点灯しているときは、トヨタ販売店にご相談ください。
- ヒューズ交換は、必ず表示された規格のヒューズをご使用ください。規定以外のヒューズを使用すると、発煙、発火の原因となり、火災につながるおそれがあり危険です。
- 煙が出る、異臭がするなど異常な状態で使用すると、発火の原因になります。ただちに使用を中止してトヨタ販売店にご相談ください。

△ 注意

- マルチメディアシステム内部は精密な構造になっています。無理に分解しようとすると、故障の原因になります。万一、異常などがあるときには、すぐにトヨタ販売店にご相談ください。
- 関連機器などの取りはずしをすると、接触不良や機器の故障などを引き起こし、緊急通報ができなくなることがあります。取りはずしが必要なときには、トヨタ販売店にご相談ください。
- 緊急通報および手動保守点検時は、スピーカーまたはマイクに故障などがあると、ヘルプネットセンターのオペレーターと通話ができません。これらの機器が故障したときは、必ずトヨタ販売店にご相談ください。
- 以下の温度範囲以外では、緊急通報が正常に動作しないことがあります。そのときは、最寄りの公衆電話などを使用してください。動作温度範囲：-20°C～+60°C
- 実際の通報地点とヘルプネットセンターに通報される位置には、誤差が発生することがあります。通報地点や目標物は、ヘルプネットセンターのオペレーターと通話で相互確認してください。
- 呼び返し待機状態で火災発生などの危険がある場合、および車外に避難するときは、パーキングブレーキをしっかりとかけて、エンジンスイッチを OFF にしてください。

ヘルプネットをお使いになる前に

ヘルプネットは、手動保守点検を実施してからご利用ください。

1 手動保守点検を行い、以下の点を確かめる。

- 通信が正常に始まる。
- 通話ができる。
- 通報位置が正しい。(ヘルプネットセンターとの通話で確認)

2 手動保守点検後、ヘルプネットスイッチパネルの緑の表示灯が点灯していることを確かめる。

ヘルプネットスイッチパネルの緑の表示灯が点灯しないときは、再度、手動保守点検をしてください。

▲ 警告

- 以下のように、関連機器が正常に動作しないとき、緊急時にヘルプネットセンターへ正しい情報が伝わらず、救援困難となる可能性があります。
 - 通信が始まらない。
 - 通報位置とヘルプネットセンターの位置表示が違う。
 - 通話できない。
- 手動保守点検後、ヘルプネットスイッチパネルの緑の表示灯が点灯しないとき、緊急通報は動作しません。表示灯が正常に点灯しないときは、トヨタ販売店にご相談ください。

—— 関連リンク ——

[手動保守点検を実施する \(P.314\)](#)

緊急通報をする

エアバッグ作動による自動通報

エアバッグ作動時など、お車に一定以上の衝撃が加わると、自動的にヘルプネットセンターに通報されます。

1 エアバッグ作動時など、車に一定以上の衝撃が加わると、緊急通報が開始されます。

- スイッチパネルの緑の表示灯が点滅し、システムが作動していることを知らせます。
- メッセージが表示され、その都度、メッセージと同内容の音声案内が流れます。
- エアバッグが作動しなくとも、事故の形態によっては通知を開始する場合があります。

2 ヘルプネットセンターに車両の位置などが送信されます。

3 データ通信完了後、通話モードになります。

4 通話画面が表示されます。ヘルプネットセンターのオペレーターに、状況やけがの状態、警察や消防への通報の要・不要を伝えます。

オペレーターからの呼びかけに応答がなくても、緊急車両などを手配することができます。

5 警察や消防への通報が必要なときは、ヘルプネットセンターが警察や消防に接続します。

6 通話終了後、約 60 分間は、ヘルプネットセンターおよび救援機関からの電話による問い合わせのため、呼び返し待機状態になります。このあいだにかかる電話は、自動的にハンズフリー通話でつながります。

▲ 警告

- 呼び返し待機状態のあいだは、後続車の追突などの二次災害を防ぐ手段をとり、乗員は安全な場所へ避難してください。基本的には車内にとどまらず、窓を開け、ヘルプネットセンターのオペレーターの声が聞こえる車外で、安全な場所を確保してください。
- 呼び返し待機中は、緊急通報に関係のない着信も自動的にハンズフリー通話でつながります。通話中は救援活動に関わる着信であっても、着信できません。

緊急通報終了後約 60 分間の呼び返し待機状態で電話がかかってくると、さらに約 60 分間、呼び返し待機状態が延長されます。このあいだにかかる電話は自動的にハンズフリー通話でつながります。呼び返し待機中にエンジンスイッチを OFF にしても、60 分間は呼び返し待機状態が継続し、ヘルプネットスイッチパネルの緑の表示灯が点滅表示します。

7 呼び返し待機状態が終了すると、ヘルプネットスイッチパネルの緑の表示灯が点滅表示を終了します。

8 車内および車外の状況に応じて二次災害を防ぎながら、最も安全な処置をして救援を待ちます。

□ 知識

- 緊急通報中に音声案内が流れているあいだは、通話することができません。音声案内が終わったら、ヘルプネットセンターのオペレーターと通話して、状況をお知らせください。
- 緊急通報開始から通話終了までのあいだは、オーディオなどの音声が自動的にミュート（消音）されます。
- 誤操作などでヘルプネットセンターに接続されたときは、車両から通信または通話を終了することができません。終了する場合には、ヘルプネットセンターのオペレーターに理由を告げて通報を終了してください。ただし、オペレーターとの通話中に電波状態の悪化によって回線が切断されることがあります。

▲ 警告

緊急通報できなかったときは、最寄りの公衆電話などから通報してください。

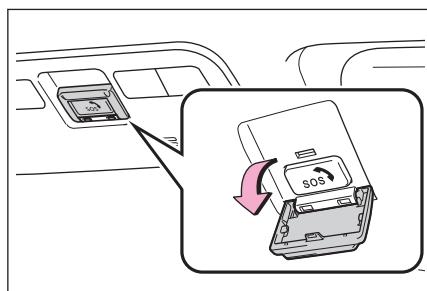
- 携帯電話サービスエリア外では緊急通報できません。緊急通報できなかったときには、最寄りの公衆電話などから通報してください。
- 携帯電話サービスエリア内であっても、電波状態または回線混雑のために、緊急通報や通話することが困難になることがあります。このときは、ヘルプネットセンターと回線接続しても通信できず、救援要請の通報および通話ができません。
- 緊急通報時は、ヘルプネットセンターへの回線接続をくり返し行います。ただし、電波状態などにより回線接続ができないときには、ヘルプネットスイッチパネルの赤の表示灯が点滅し、通報しないまま緊急通報を終了します。通報が必要なときには、最寄りの公衆電話などから通報してください。

ボタン操作による手動通報

急病などの緊急事態発生時、車内からヘルプネットセンターへ通報するときにボタン操作をすることで緊急通報ができます。

エンジンスイッチが ACC または ON のとき、ヘルプネットボタンを押すと緊急通報が始まります。あとは音声案内やヘルプネットセンターのオペレーターの指示にしたがってください。

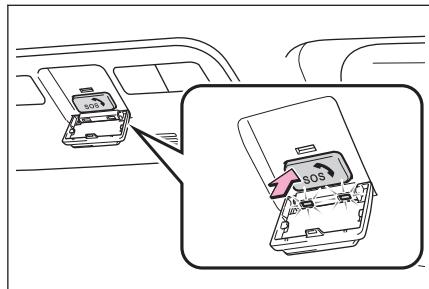
- 1 ヘルプネットスイッチパネルの緑の表示灯が点灯していることを確かめます。
- 2 ヘルプネットスイッチパネルのカバーを開きます。



3 ヘルプネットボタンを押します。

4 ヘルプネットセンターへ接続を開始し、緊急通報が開始されます。

- スイッチパネルの緑の表示灯が点滅し、システムが作動していることを知らせます。
- メッセージが表示され、その都度、メッセージと同内容の音声案内が流れます。



5 ヘルプネットセンターにデータ通信を行い、車両の位置などが送信されます。

6 データ通信完了後、通話モードになります。

7 通話画面が表示されます。ヘルプネットセンターのオペレーターに、状況やけがの状態、警察や消防への通報の要・不要を伝えます。

手動通報時には、ヘルプネットセンターのオペレーターは、通報者の要請に基づき警察、消防などに接続します。通話にて状況を直接オペレーターにお知らせください。

8 警察や消防への通報が必要なときは、ヘルプネットセンターが警察や消防に接続します。

9 通話終了後、約 60 分間は、ヘルプネットセンターおよび救援機関からの電話による問い合わせのため、呼び返し待機状態になります。このあいだにかかる電話は、自動的にハンズフリー通話でつながります。

緊急通報終了後約 60 分間の呼び返し待機状態で電話がかかってくると、さらに約 60 分間、呼び返し待機状態が延長されます。このあいだにかかる電話は自動的にハンズフリー通話でつながります。呼び返し待機中にエンジンスイッチを OFF にしても、60 分間は呼び返し待機状態が継続し、ヘルプネットスイッチパネルの緑の表示灯が点滅表示します。

▲ 警告

- 呼び返し待機状態のあいだは、後続車の追突などの二次災害を防ぐ手段をとり、乗員は安全な場所へ避難してください。基本的には車内にとどまらず、窓を開け、ヘルプネットセンターのオペレーターの声が聞こえる車外で、安全な場所を確保してください。
- 呼び返し待機中は、緊急通報に関係のない着信も自動的にハンズフリー通話でつながります。通話中は救援活動に関わる着信であっても、着信できません。

10 呼び返し待機状態が終了すると、ヘルプネットスイッチパネルの緑の表示灯が点滅表示を終了します。

□ 知識

- 緊急通報中に音声案内が流れているあいだは、通話することができません。音声案内が終わったら、ヘルプネットセンターのオペレーターと通話して、状況をお知らせください。
- 緊急通報開始から通話終了までのあいだは、オーディオなどの音声が自動的にミュート（消音）されます。
- 誤操作などでヘルプネットセンターに接続されたときは、車両から通信または通話を終了することができません。終了するときには、ヘルプネットセンターのオペレーターに理由を告げて通報を終了してください。ただし、オペレーターとの通話中に電波状態の悪化によって回線が切断されることがあります。

▲ 警告

- 緊急通報できなかったときは、最寄りの公衆電話などから通報してください。
 - 携帯電話サービスエリア外では緊急通報できません。緊急通報できなかつたときには、最寄りの公衆電話などから通報してください。
 - 携帯電話サービスエリア内であっても、電波状態または回線混雑のために、緊急通報や通話することが困難になることがあります。このときは、ヘルプネットセンターと回線接続しても通信できず、救援要請の通報および通話ができません。
 - 緊急通報時は、ヘルプネットセンターへの回線接続をくり返し行います。ただし、電波状態などにより回線接続ができないときには、ヘルプネットスイッチパネルの赤の表示灯が点滅し、通報しないまま緊急通報を終了します。通報が必要なときには、最寄りの公衆電話などから通報してください。

保守点検をする

自動保守点検について

自動保守点検は、定期的に自動で実施される保守点検です。お客様が会員登録されているかを、ヘルプネットセンターが確かめます。

自動保守点検を行うための特別な操作は、必要ありません。

- 点検時期：株式会社日本緊急通報サービスが定める期間ごとに行われます。
- 点検時間：開始後 1～2 分で終了します。

△ 注意

自動保守点検開始後、何らかの理由で通信が中断されてしまったときは、次にエンジンスイッチを OFF から ACC または ON にしたときに、再び自動保守点検を開始します。何度も正常に終了しないときは、トヨタ販売店にご相談ください。

手動保守点検を実施する

手動保守点検は、お客様ご自身が手動で実施する保守点検です。

手動保守点検は、以下の保守点検を実施します。

- 関連機器の保守点検（関連機器修理点検や車両修理後の保守点検）
- ヘルプネットセンターに会員登録されているかの確認（加入時、契約内容変更時）

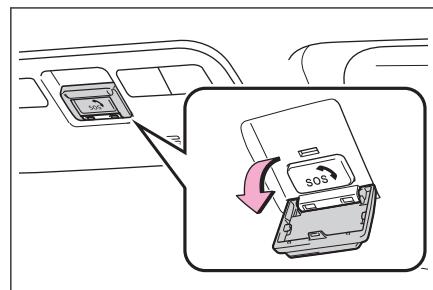
△ 警告

手動保守点検の途中で、エンジンスイッチを OFF にしないでください。手動保守点検が正しく終了しません。スイッチを OFF にしてしまったときは、再度手動保守点検をやりなおしてください。

1 できるだけ見晴らしの良い場所に車を移動します。

ビルの谷間や工場などの屋内は避けてください。

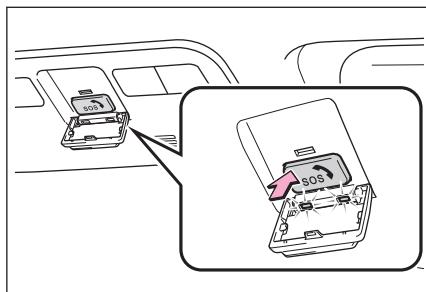
2 ヘルプネットスイッチパネルのカバーを開きます。



3 エンジンスイッチを OFF にします。

4 エンジンスイッチを ACC または ON にします。

- 5 ヘルプネットスイッチパネルの赤と緑の表示灯がともに点灯したら、すぐにヘルプネットボタンを約10秒間押し続けます。



- 6 ヘルプネットセンターに接続を開始します。

手動保守点検が開始されると、ヘルプネットスイッチパネルの緑の表示灯が点滅しはじめます。ボタンから指を離してください。

- 7 ヘルプネットセンターに接続すると、最初にデータ通信を行い、以下の確認をします。

- 車両の現在地
- 手動保守点検をしていること
- ヘルプネットセンターに会員登録されていること

- 8 データ通信完了後、通話モードになります。

- 9 マイクを通して、ヘルプネットセンターと通話します。

ヘルプネットセンターの応対は、自動音声で行われます。自動音声で車両の現在地の確認後に、名前を聞かれます。「ピー」と鳴ったら、お客様の名前を話してください。自動音声で名前をくり返したのち、緊急通報可能であることをお知らせし、通話が終了します。

- 10 通話の終了後に点検を終了します。

緑の表示灯は点滅を終了し、最新のシステム状態を表示します。

□ 知識

- 手動保守点検開始から通話終了までのあいだは、オーディオなどの音声が自動的にミュート（消音）されます。
- 手動保守点検中はヘルプネットが優先されるため、ハンズフリー／ヘルプネットを除くT-Connectサービスなどは利用できません。手動保守点検が終了してからご利用ください。

▲ 警告

手動保守点検を実施するときは、途中で中断せず、最後まで完了してください。手動保守点検が正常に終了しても緑の表示灯が点灯しない場合、緊急通報できない可能性があるため、トヨタ販売店にご相談ください。

△ 注意

手動保守点検は見晴らしのよい場所で行ってください。

- 手動保守点検は、正確に位置情報を送ることができることを確認しています。手動保守点検はビルの谷間や工場などの屋内は避け、GPS を受信できる見晴らしのよい場所で行ってください。
- 手動保守点検開始後、何らかの理由でヘルプネットセンターとの接続ができなかつたときは、ヘルプネットスイッチパネルの赤の表示灯が点滅します。このときはエンジンスイッチを一度 OFF にして、赤の表示灯の点滅が終了してから手動保守点検をやりなおしてください。携帯電話サービスエリア内でやりなおしても接続されないときには、トヨタ販売店にご相談ください。

表示灯について

ヘルプネットシステムはシステムの作動状態をヘルプネットスイッチパネルの赤と緑の表示灯でお知らせします。

表示灯		動作状態	対処法
緑	赤		
点灯	消灯	動作中のとき(携帯電話サービスエリア内)	緊急通報がご利用になります。
消灯	点灯	動作中のとき(携帯電話サービスエリア外)	緊急通報ができません。携帯電話サービスエリア内に移動して使用してください。
		関連機器に異常があるとき(携帯電話サービスエリア内)	携帯電話サービスエリア内でいつまでもこの表示が続くときは機器の故障が考えられます。トヨタ販売店にご相談ください。
点滅	消灯	緊急通報中のとき(呼び返し待機状態を含む)	緊急通報が終了しても表示が変化しないときは、トヨタ販売店にご相談ください。
		手動保守点検中のとき	手動保守点検が終了しても表示が変化しないときは、トヨタ販売店にご相談ください。
消灯	点滅	緊急通報に失敗したとき	約 10 秒後に表示が変化します。再度緊急通報するか、最寄りの公衆電話などから通報してください。
		自動保守点検を何回も連続して失敗したとき(携帯電話サービスエリア外)	携帯電話サービスエリア内に移動して、手動保守点検をしてください。それでも表示が続く場合は、トヨタ販売店にご相談ください。
	点滅	手動保守点検に失敗したとき	約 10 秒後に表示が変化します。携帯電話サービスエリア内に移動してから、再度試みてください。
		関連機器に異常があるとき	いつまでも正常な表示に戻らないときは、機器に異常があることが考えられます。ただちにトヨタ販売店にご相談ください。
		ヘルプネット専用補助バッテリーの寿命が切れたとき	トヨタ販売店で交換してください。
点灯	点灯	エンジンスイッチを ON にしたとき(約 5 秒間)	20 秒以上続くときは、機器に異常があることが考えられます。トヨタ販売店にご相談ください。
		関連機器に異常があるとき	
消灯	消灯	ヘルプネットサービスの契約が切れているとき	T-Connect サービスを契約してください。

表示灯		動作状態	対処法
緑	赤		
消灯	消灯	関連機器が動作していないとき	エンジンスイッチを ACC または ON にしてもこの状態が続くときは、トヨタ販売店にご相談ください。
		手動保守点検をしていないとき	手動保守点検を行います。

▲ 警告

- 表示灯が以下のときには、ヘルプネットシステムに異常があることをお知らせしています。これらの異常表示がされたとき、システムが正常作動せず緊急通報できなことがあります。ただちにトヨタ販売店にご相談ください。
 - エンジン始動後にヘルプネットスイッチパネルの赤と緑の表示灯が約 5 秒間点灯したあと、赤の表示灯が点滅し続ける。
 - エンジン始動後、赤と緑の表示灯の点灯がいつまでも続く。
 - 携帯電話サービス圏内にもかかわらず赤の表示灯がいつまでも続く。
 - エンジン始動後に赤と緑の表示灯が点灯しない。
- 表示灯は、緊急通報可能または不可能状態を正しく表示しないことがあります。たとえば、解約時の処理をしていない中古車などに搭載された関連機器を使用するときは、サービスの契約を結んでいない状態においても緊急通報可能状態として表示することができます。

—— 関連リンク ——

[手動保守点検を実施する \(P.314\)](#)

緊急通報できない場合について

以下のようなときには、ヘルプネットサービスが提供できない、またはヘルプネットサービスに支障が出ることがあります。

■ T-Connect 契約の不成立または消滅

- 未契約のとき
- 契約が締結できないとき
- 契約の解除が実施されたとき
- 契約が終了したとき

■ ヘルプネット利用登録の不成立

- 未登録の場合
- 手動保守点検^{*1}を完了していない場合
- 登録情報が更新されていない場合

■ 関連機器の異常による通信不能

- 関連機器（ヘルプネットスイッチパネル、ディスプレイ、マイク、スピーカー、通信モジュール、アンテナおよびこれらを接続する電気配線など）の故障
- 12V バッテリーの電圧低下など、関連機器の故障・消耗など
- 車両の衝突・横転時の衝撃や車両火災などによる、関連機器の損傷

■ 緊急通報センターシステムの位置評定エラー

GPS のシステムの異常、トンネルや建物の密集地、フェリー降船後などで GPS での位置演算の誤差が大きいとき、地図データベースが古くマップマッチングに誤差が大きいときなど、位置評定が正常に行われないまたは誤差が大きいとき

□ 知識

ヘルプネットは、GPS から位置情報を取得しています。

■ ヘルプネットセンター／トヨタスマートセンターシステムの異常による通信不能

- センターシステムの故障など
- センターの火災などによる、センターシステムの損傷

■ ヘルプネットで利用する通信網に起因する通信不能

- 本サービスに使用する携帯電話サービスエリア外に、“登録車両”が位置するとき

^{*1}: 手動保守点検は必ず契約者本人が行うようにしてください。

- 本サービスに使用する携帯電話サービスエリア内であっても、電波の受信状態が悪く、結果として通信ができないとき
 - 本サービスに使用する携帯電話網または一般公衆固定網（中継網を含む）が著しく混雑しているなど、通話利用もしくは通話時間が制限され、結果としてヘルプネットによる通信ができないとき
 - 本サービスに使用する通信事業者が大規模災害などにより通話が制限され、結果としてヘルプネットによる通話ができないとき
 - 本サービスに使用する携帯電話網または一般公衆固定網（中継網を含む）のサービスが事故、保守、工事などのため中断または休止されたとき
- 緊急通報事業者の都合によるサービス提供の中止または休止
- センターシステムの保守を、定期的にまたは緊急に行う必要があるとき
 - 大規模な事故や災害により、一時的に緊急通報がセンターに集中したとき
- その他の要因

手動通報で、ヘルプネットセンターからの問い合わせに対して、通報者から応答が無く、ヘルプネットセンターとして状況把握ができないとき（手動通報後に容体が悪化した、強盗や暴漢に襲われたなど）

故障とお考えになる前に

ヘルプネットが正常に作動しなくなったときは、以下の表にしたがって確認してください。表にしたがって対処しても作動しないときは、トヨタ販売店にご相談ください。また、万一異常が起きたら、必ずトヨタ販売店に修理をご依頼ください。

症状	考えられること	処置
緑の表示灯が点灯しない	手動保守点検 ⁽¹⁾ が正常に完了していない。	手動保守点検 ⁽¹⁾ をする。
緊急通報できない	エンジンスイッチを ACC または ON にした直後の点検中ではありませんか。	緑の表示灯が点灯するまで待ってから、ヘルプネットボタンを操作して通報してください。
	電波状態は良好ですか。 携帯電話のサービスエリア外で使用していませんか。	電波状態の良好な場所に移動して、手動保守点検を実施してください。
	携帯電話回線が混雑している。	しばらくしてから、または電波状態の良好な場所に移動して、手動保守点検を実施してください。
エンジンスイッチを OFF にしても赤または緑の表示灯が点滅し続けた	緊急通報中ではありませんか。	「緊急通報を終了しました」という音声案内が流れながら約 60 分経過するまで待って、緑の表示灯の点滅が終了することを確かめてください。
エンジン始動後、表示灯が両方共に点灯しない	T-Connect 契約がされていますか。	T-Connect 契約をする。

(1) 手動保守点検は必ず契約者本人が行うようにしてください。

▲ 警告

緊急事態発生時に緊急通報できないときは、最寄りの公衆電話などから通報してください。

リモートメンテナンスサービスについて

お車の状態に関する情報をトヨタスマートセンターで取得し、カーライフに役立つ情報を提供するサービスです。

サービスのご利用には、リモートメンテナンス店の登録が必要です。リモートメンテナンス店の新規登録・変更時は、トヨタ販売店にご連絡ください。

車両にOBD(On-Board Diagnostic)II通信を行う機器を接続している場合、正しくサービスが行えない場合があります。

リモートメンテナンスメール

走行距離や使用期間に応じて、定期点検やタイヤ交換などのメンテナンス内容を、お車にメールでご連絡します。

また、電話や本機の画面から、その場でトヨタ販売店への入庫予約をおこなうことができます。

また、リコール情報等、お車に関する大切なお知らせを、トヨタ自動車(株)またはトヨタ販売店から通信モジュール（DCM）を利用し、お車にメールでご連絡する場合があります。

e ケア

走行アドバイス

お車に警告灯が点灯した場合、ディスプレイよりe ケアセンターに接続が可能です。e ケアセンターは、車両情報をもとに24時間365日、適切な対処方法をアドバイスいたします。

また、あらかじめ登録しているトヨタ販売店^{*1}（リモートメンテナンス店）にも車両情報が連携され、点検や修理などをご案内させていただく場合があります。^{*2}

ヘルスチェックレポート

エンジンオイル量、電子キーのバッテリー等についてスマートフォンアプリ「My TOYOTA +」で確認できます。また、トヨタ販売店からは、おクルマから発信される情報をもとに最適なメンテナンスのアドバイスが受けられます。

——関連リンク——

[T-Connect を利用する \(P.299\)](#)

*1: 販売店での対応は、営業時間内に限ります。

*2: すべての警告灯点灯時に実施するものではありません。走行に支障が出る可能性が高いものに限ります。

Web ブラウザ機能（インターネット）について^{*1}

インターネットへ接続し、Web サイト（ニュースやブログ、ストリーミング音楽、動画など）をご覧になることができます。

□ 知識

- Web ブラウザ機能を使用するには、T-Connect の契約と車内 Wi-Fi オプションの契約が必要です。
- 安全上の配慮から車を完全に停止し、パーキングブレーキをかける、またはシフトレバーを P にいたれたときのみ Web サイトをご覧になることができます。（走行中は音声だけになります。）

*1: 車載ナビ装着車

Web ブラウザ画面を表示する

- 1 メインメニューの[]にタッチします。
- 2 [インターネット]にタッチします。

Web ブラウザ画面が表示されます。

知識

- 「HTTPS」（保護された接続）を使用しているウェブサイトのみアクセス可能です。
- Web サイトによっては正しく表示できない場合があります。
- Web サイトによっては、表示、または遷移できないページがあります。
- Web サイトによっては、表示できない文字があります。
- コンテンツによっては動画や音声を再生できない場合があります。
- 動画、画像の解像度や通信環境の状況によっては、表示に時間がかかる場合があります。
- 著作権で保護された動画コンテンツの再生はできません。
- クレジットカード情報、銀行口座情報などの情報は入力しないでください。
- ファイルのダウンロードや Web サイトへのログインなど一部使用できない機能があります。
- Web サイト内での音声入力には対応しておりません。（音声での文字入力など）

Web ブラウザ画面を操作する

Web ブラウザ画面の操作は表示されているページ項目へのタッチ操作、または Web ブラウザ画面の上部にあるツールバーで行います。



- A** 1つ前のページへ戻ります。
- B** 次のページへ進みます。
- C** ページの URL を表示します。
URL を入力すると、入力したページを表示します。
- D** 表示しているページを再読み込みします。
- E** ホームページを表示します。
- F** ブックマーク管理画面を表示します。
管理画面でブックマークの名称にタッチすると、タッチしたページを表示します。
- G** 閲覧履歴管理画面を表示します。
管理画面でページの名称にタッチすると、タッチしたページを表示します。
- H** タブ管理画面を表示します。
管理画面でタブ名称にタッチすると、タッチしたタブを表示します。
- I** 設定画面を表示します。

知識

- ページの読み込み状況は、ツールバー背景色の変化で確認することができます。

- ページ上のテキストを長押しするとコピー範囲を指定することができ、コピーボタンを押すとテキストがコピーされた状態になります。このときに URL 表示部などにタッチすると、コピーしたテキストを貼り付けることができます。
- 全画面表示に対応した動画コンテンツは、画面を全画面化して視聴することができます。全画面表示中に画面にタッチすると[X]と[>]が約3秒間表示されます。全画面表示中はコンテンツ内の全画面解除ボタン以外に、[X]をタッチすることで全画面を解除することもできます。また、[>]にタッチすると[X]の位置を移動できます。

ブックマークを管理する

ブックマーク管理画面ではブックマークの追加／編集／削除を行うことができます。

1 ツールバーの[★]にタッチします。

2 希望の項目にタッチします。



A ブックマーク管理画面を閉じます。

B 最後に表示されていたページの URL を表示します。

 タッチすると URL を編集することができます。

C 最後に表示されていたページのブックマーク名を表示します。

 タッチするとブックマーク名を編集することができます。

D [B]と[C]に入力されている内容でブックマークを追加します。

E ブックマークを編集します。

F ブックマークを削除します。

□ 知識

ブックマークは最大100件まで保存できます。

ブックマークを編集する

ブックマークの名称と URL の編集、ホームページへの設定をすることができます。



- A ブックマークの名称を編集します。
- B ブックマークの URL を編集します。
- C [設定する]にタッチすると、ブックマークに登録しているページをホームページに設定することができます。

ホームページとして設定されているブックマークには[]アイコンが表示されます。

編集完了後に[OK]にタッチすると、ブックマーク管理画面に戻ります。

閲覧履歴を管理する

閲覧履歴管理画面では閲覧履歴の削除を行うことができます。

- 1 ツールバーの[]にタッチします。
- 2 希望の項目にタッチします。



A 閲覧履歴管理画面を閉じます。

B 閲覧履歴を削除します。

□ 知識

閲覧履歴は最大 100 件まで保存できます。閲覧履歴が 100 件を超えたときは、古い履歴から自動的に削除されます。

タブを管理する

タブ管理画面ではタブの切り替え／追加／削除を行うことができます。

1 ツールバーの[□]にタッチします。

[□]に表示されている数字は、現在開いているタブの数です。

2 希望の項目にタッチします。



A タブ管理画面を閉じます。

- B** 新しいタブを追加します。追加したタブにタッチすると、ホームページが表示されます。
- C** タブを削除します。

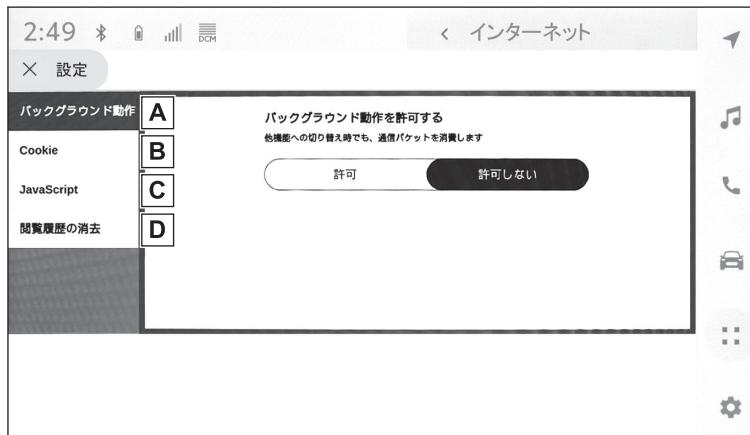
□ 知識

- タブは最大 10 件まで開くことができます。
- 新しいタブを開いた場合、再生している動画や音楽が停止する場合があります。

Web ブラウザ機能の設定をする

Web ブラウザ機能に関する設定を行うことができます。

- 1 ツールバーの[]にタッチします。
- 2 希望の項目にタッチします。



- A** 他の機能を使用しているときに、Web ブラウザのバックグラウンド動作を許可する／しないを設定します。
- B** Cookie のデータ保存と読み取りを許可する／しない、サードパーティーの Cookie をブロックする／しないを設定します。
- C** JavaScript の使用を許可する／しないを設定します。
- D** 閲覧履歴、Cookie と他のサイトのデータ、キャッシュされた画像とファイルを削除します。

□ 知識

[バックグラウンド動作]を[許可]に設定した場合、他の機能を使用しているときにデータ通信が行われます。

8-1. パノラミックビューモニター

パノラミックビューモニター の機能とはたらき	332
パノラミックビュー & フロン トビューについて	336
両サイドビューについて	338
パノラミックビュー & バック ビューについて	342
パノラミックビューモニター の注意点	349

パノラミックビューモニターの機能とはたらき

パノラミックビューモニターは、車両に取り付けたフロント、サイド、バックカメラの映像を合成して画面上につなぎ目のない車両上方からの映像を表示させることで、低速時の運転を補助する装置です。

□ 知識

本文中に使用している画面のイラストは例であり、イラストと実際に映し出される映像では車両の映り込みなどが異なることがあります。

△ 注意

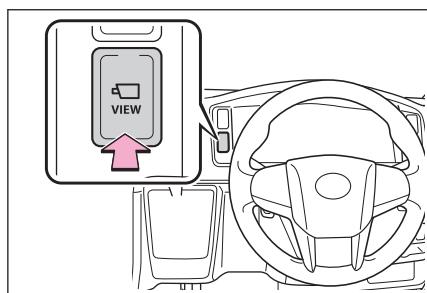
トヨタ救急車／トヨタ救急車“ハイメディック”は、例に示されているイラストに比べてリヤステップ部分がリヤバンパーより後ろに突き出ています。後退するときは、特に後方や周囲に注意してください。

▲ 警告

- パノラミックビューモニターは、車両周囲確認を補助する装置です。必ず周囲の安全を直接確認しながら運転してください。
- カメラのレンズの特性により、画面に映る人や障害物は、実際の位置や距離と異なります。

カメラスイッチについて

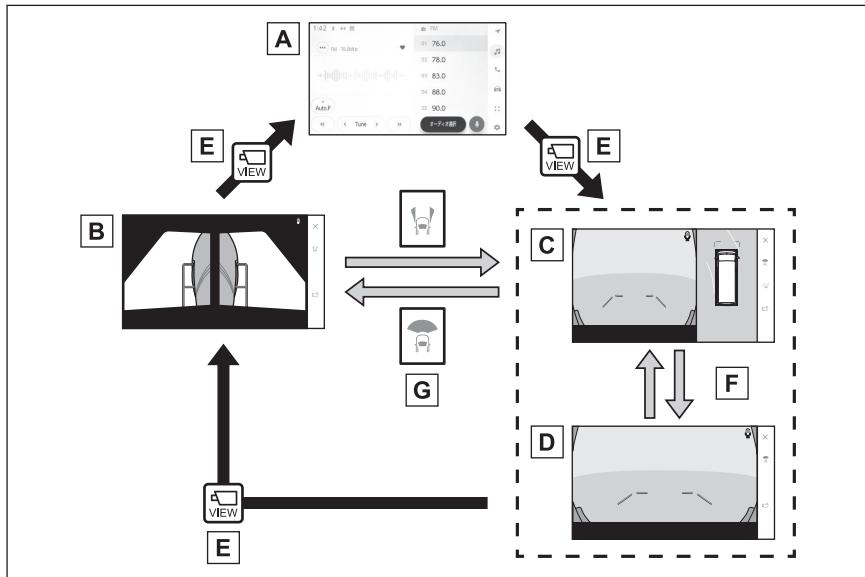
パノラミックビューモニターの表示や表示モードの切りかえをします。



パノラミックビューモニター画面を表示する

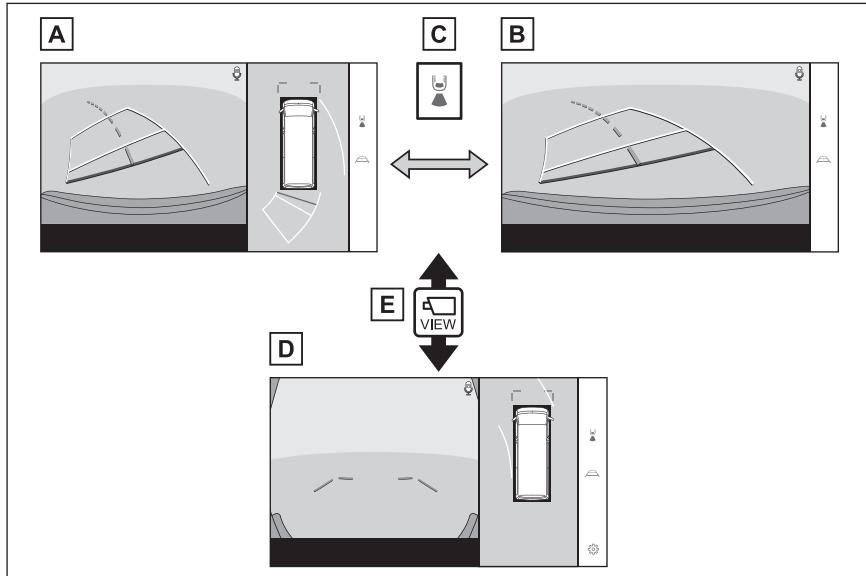
エンジンスイッチが ON の状態で、カメラスイッチを押すか、シフトレバーを R にすると、パノラミックビューモニターが表示されます。

■ シフトレバーが R 以外のときの表示モード



- [A] ナビゲーション画面、オーディオ画面など
- [B] 両サイドビュー
- [C] パノラミックビュー＆ワイドフロントビュー
- [D] ワイドフロントビュー
- [E] カメラスイッチを押す
- [F] ワイドフロントビュー部分をタッチ
- [G] 画面モード切り替えボタンをタッチ

■ シフトレバーが R のときの表示モード



- A** パノラミックビュー&バックビュー
- B** バックビュー
- C** 画面モード切りかえボタンをタッチ
- D** パノラミックビュー&ワイドフロントビュー
- E** カメラスイッチを押す

□ 知識

- 車速が約 12km/h 以下でカメラスイッチを押した場合、約 8 秒間パノラミックビューモニター画面を表示します。車速が約 12km/h 以上になると、パノラミックビューモニター画面が消えてもとの画面にもどります。
- 車速が約 12km/h 以上でカメラスイッチを押した場合、車速が約 12km/h 以下にならないかぎり、約 5 分間はパノラミックビューモニター画面が表示されます。ただし、車速が約 12km/h 以下になった場合は、約 8 秒間はパノラミックビューモニター画面が表示され、車速が約 12km/h 以上になると、パノラミックビューモニター画面が消えてもとの画面にもどります。
- 画面表示タイマー（8 秒または 5 分）が作動していないとき、車速が 12km/h 以上になると、パノラミックビューモニター画面が消えてもとの画面にもどります。
- ガイド線モードなどの表示設定は、ドライバー登録をすることでマイセッティングとして保存され、乗車時に呼び出すことができます。
- エージェント（音声対話サービス）を使用して、パノラミックビューモニター画面の表示、画面モードの切りかえなどの操作を行うことができます。

—— 関連リンク ——

[音声操作を開始する \(P.46\)](#)

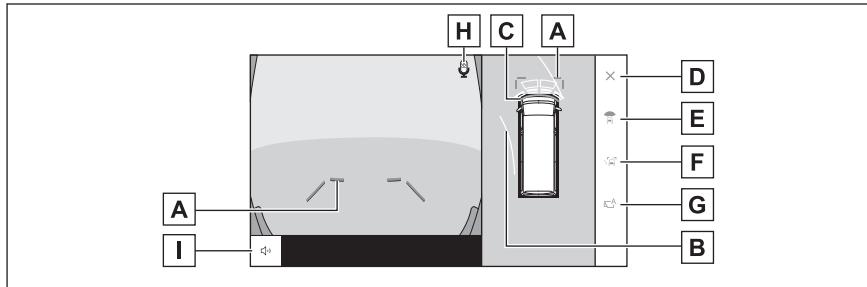
[ドライバーを登録する \(P.54\)](#)

パノラミックビュー＆フロントビューについて

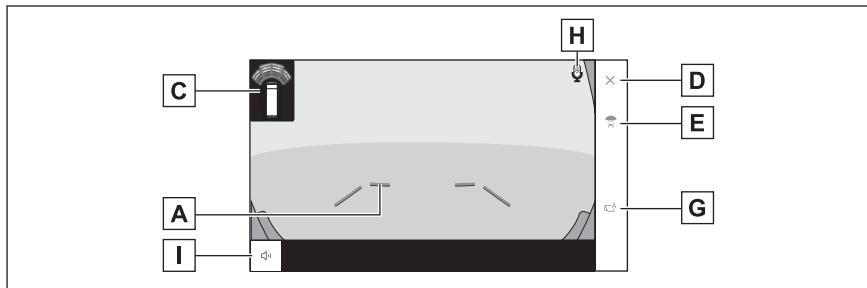
見通しの悪い交差点やT字路などで、車両の前方と左右方向の状況確認をするために、車両上方からの映像と前方カメラからの映像を同時に表示するモードです。

1. シフトレバーをR以外にします。
 2. カメラスイッチを押します。
- カメラスイッチを押すたびにモードが切りかわります。

▶ パノラミックビュー＆ワイドフロントビュー



▶ ワイドフロントビュー



A 前方距離目安線

車両前端から約1m先を示します。

B 前進予想進路線

ハンドル操作と連動して、進路の目安（黄色）を示します。

直進状態から90度以上ハンドル操作をした場合に表示します。

C クリアランスソナー★

センサーが障害物を検知すると、画面にインジケーターが表示され、ブザーが鳴ります。（クリアランスソナーについては、別冊「取扱説明書」をご覧ください。）

D 画面消去ボタン

カメラ映像を消して、ナビゲーション画面など以前表示していた画面にもどります。

E 画面モード切りかえボタン

★: グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

ボタンをタッチするたびに、画面モードが切りかわります。

F ガイド線切りかえボタン

ボタンをタッチするたびに、ガイド線表示モードが切りかわります。

G 自動表示モード切り替えボタン

自動表示モードの ON/OFF を切りかえます。シフトレバーが D または N のとき、車速に応じて自動でパノラミックビュー＆ワイドフロントビューが表示されます。

H 音声認識アイコン

エージェント（音声対話サービス）が作動しているときに表示されます。

I クリアランスソナーミュートボタン★

クリアランスソナーの作動音を一時的にミュートします。

□ 知識

- クリアランスソナーの表示位置とカメラ映像に映し出される障害物の位置は合わないことがあります。

▲ 警告

- 乗車人数、積載量、路面の勾配などにより、画面のガイド線の示す位置はかわります。必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら運転してください。
- クリアランスソナーの表示は、カメラ映像に重畠して表示しているため、周囲の明るさや色などによっては見えにくい場合があります。

——関連リンク——

[ガイド線表示モードの切りかえ \(P.339\)](#)

[自動表示モード \(P.339\)](#)

★: グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

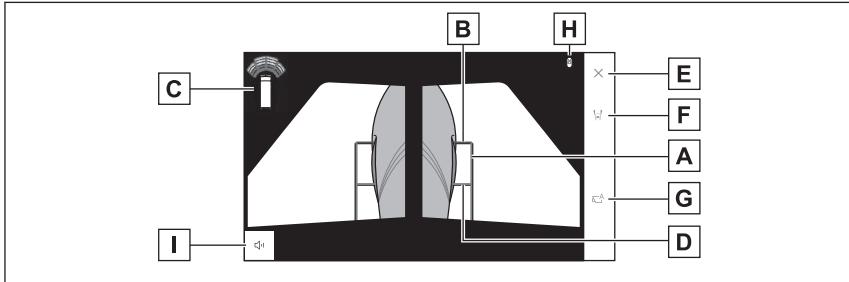
両サイドビューについて

左右両サイドに設置されたカメラからの映像を表示し、車両側方の安全確認や狭い小路での接触回避などの操作を補助するモードです。

- 1 シフトレバーを R 以外にします。
- 2 カメラスイッチを両サイドビューが表示されるまで押す。

● 両サイドビューが表示されます。

▶ 両サイドビュー



A 車幅平行線

ドアミラー1分を含んだ車幅の目安線（青色）を示します。

B 前方距離目安線

車両前端から約 0.5 m 先（赤色）を示します。

C クリアランスソナー★

センサーが障害物を検知すると、画面にインジケーターが表示され、ブザーが鳴ります。（クリアランスソナーについては、別冊「取扱説明書」をご覧ください。）

D 前輪接地線

前タイヤの位置（青色）を示します。

E 画面消去ボタン

カメラ映像を消して、ナビゲーション画面など以前表示していた画面にもどります。

F 画面モード切りかえボタン

ボタンをタッチするたびに、画面モードが切りかわります。

G 自動表示モード切り替えボタン

自動表示モードの ON/OFF を切り替えます。

H 音声認識アイコン

エージェント（音声対話サービス）が作動しているときに表示されます。

I クリアランスソナーミュートボタン★

クリアランスソナーの作動音を一時的にミュートします。

★: グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

□ 知識

- クリアランスソナーの表示位置とカメラ映像に映し出される障害物の位置は合わないことがあります。

▲ 警告

- 乗車人数、積載量、路面の勾配などにより、画面のガイド線の示す位置はかわります。必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら運転してください。
- クリアランスソナーの表示は、カメラ映像に重畳して表示しているため、周囲の明るさや色などによっては見えにくい場合があります。

— 関連リンク —

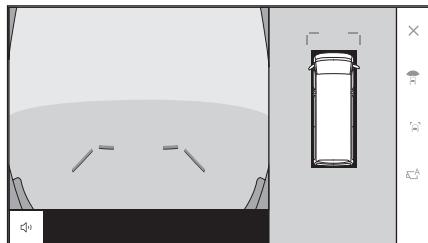
[自動表示モード \(P.339\)](#)

ガイド線表示モードの切りかえ

ガイド線切りかえボタンをタッチするたびに、ガイド線表示モードが切りかわります。

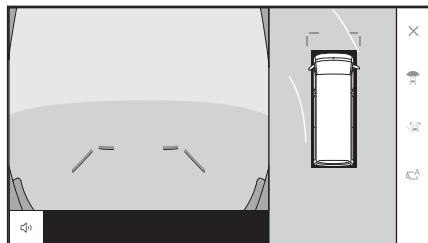
■ 距離目安線表示モード

車両前端から約 1m 先を示します。(青色)



■ 予想進路線表示モード

ハンドル操作と連動して、進路の目安を示します。(黄色) 直進状態から 90 度以上ハンドル操作をした場合に表示されます。



自動表示モード

カメラスイッチの操作による表示に加え、車速に応じて自動的にパノラミックビュー＆ワイドフロントビュー、両サイドビューが表示される自動表示モードを設定できます。

- 自動表示モード切り替えボタン[]にタッチすると、自動表示モードが ON にかかります。
- 自動表示モードを ON にすると、次の場合に自動で表示されます。
 - ・ シフトレバーを D または N にしたとき
 - ・ 車速が約 10km/h 以下に減速したとき（シフトレバーが R 以外）

クリアランスソナー★連動表示

クリアランスソナーの感知状態に応じて、パノラミックビュー＆ワイドフロントビューが自動的に表示されます。

- クリアランスソナーが障害物を感知したとき（シフトレバーが D または N のとき）に、自動で表示されます。
- クリアランスソナーの感知が終了したときに、自動でもとの画面へもどります。

□ 知識

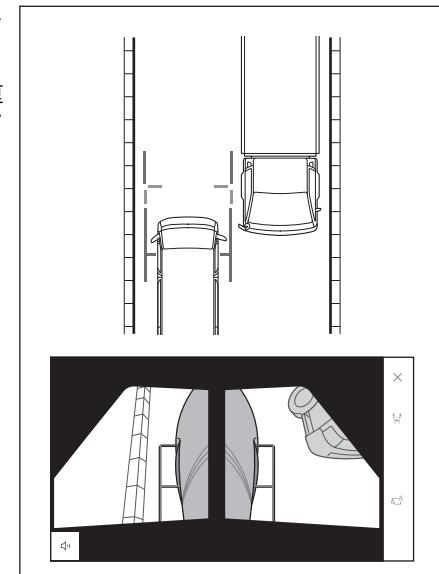
- 画面表示中にカメラスイッチを押すと、もとの画面にもどることができます。
- クリアランスソナー感知状態でパノラミックビューモニター画面を解除した場合、マルチメディアシステム画面に表示されるクリアランスソナーマークにタッチすると、再度パノラミックビューモニター画面が表示されます。

★: グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

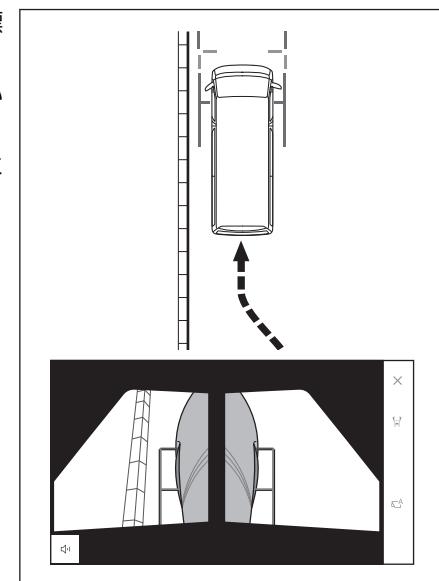
車幅平行線の使い方

■ 両サイドビュー

- 車幅平行線と障害物との位置関係を確認します。
- 車幅平行線が実際の障害物などに重ならないようにハンドル操作をして前進します。



- 車両平行線と路肩の縁石などの目標物との位置関係を確認します。
- 図のように車両平行線が重ならないように車両を幅寄せします。
- 同時に車両平行線と目標物が平行になるように運転操作することで、目標物に沿って駐車できます。



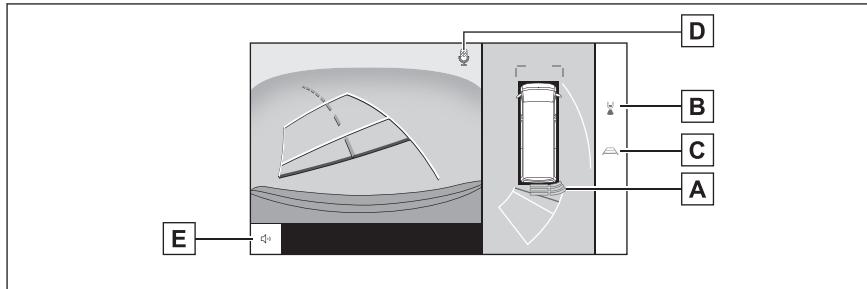
パノラミックビュー&バックビューについて

駐車時の安全確認を行うために、車両上方からの映像と後方カメラからの映像を表示します。

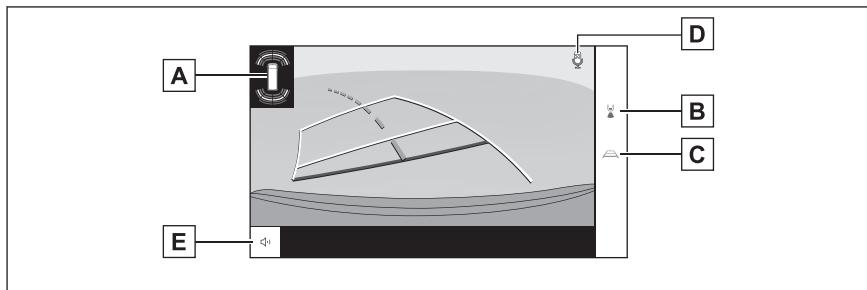
- シフトレバーを R にします。

- 画面モード切りかえボタンをタッチするたびに、モードが切りかわります。

▶ パノラミックビュー&バックビュー



▶ バックビュー



A クリアランスソナー★

センサーが静止物を検知すると、画面にインジケーターが表示され、ブザーが鳴ります。（クリアランスソナーについては、別冊「取扱説明書」をご覧ください。）

B 画面モード切りかえボタン

ボタンをタッチするたびに、パノラミックビュー&バックビュー / バックビューが切りかわります。

C ガイド線切りかえボタン

ボタンをタッチするたびに、ガイド線表示モードが切りかわります。

D 音声認識アイコン

エージェント（音声対話サービス）が作動しているときに表示されます。

E クリアランスソナーミュートボタン★

クリアランスソナーの作動音を一時的にミュートします。シフト操作を行うとミュートは自動的に解除されます。

★: グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

□ 知識

- シフトレバーがRのときにカメラスイッチを押すと、パノラミックビュー＆ワイドフロントビューに切りかえできます。
- バックビュー表示中、表示部にタッチすることで、バックビューに切り替えることができます。
- クリアランスソナーの表示位置とカメラ映像に映し出される障害物の位置は合わないことがあります。

▲ 警告

- 乗車人数、積載量、路面の勾配などにより、画面のガイド線の示す位置はかわります。必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら運転してください。
- クリアランスソナーの表示は、カメラ映像に重畳して表示しているため、周囲の明るさや色などによっては見えにくい場合があります。

—— 関連リンク ——

[自動表示モード \(P.339\)](#)

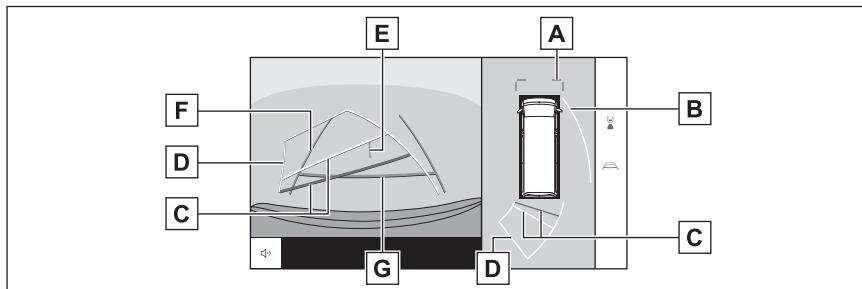
[ガイド線表示モードの切りかえ \(P.343\)](#)

ガイド線表示モードの切りかえ

ガイド線切りかえボタンをタッチするごとに、表示モードが切りわります。

■ 予想進路線モード

ハンドル操作に連動した予想進路線などが表示されます。



A 前方距離目安線

車両前端から約1m先（青色）を示します。

B 側方予想進路線

ハンドル操作と連動して、進路の目安（黄色）を示します。

C 後方距離目安線

車の後方の距離を示します。

- 予想進路線と連動します。

- リヤバンパー後端の中心位置から約 0.5m 先（赤色）／約 1m 先（黄色）を示します。

D 後方予想進路線

ハンドル操作と連動して、進路の目安（黄色）を示します。

E 車両中央線

後方車幅延長線の中心位置（青色）を示します。

F 後方車幅延長線

車をまっすぐ後退させたときの進路の目安を示します。

- 実際の車幅より広く表示します。

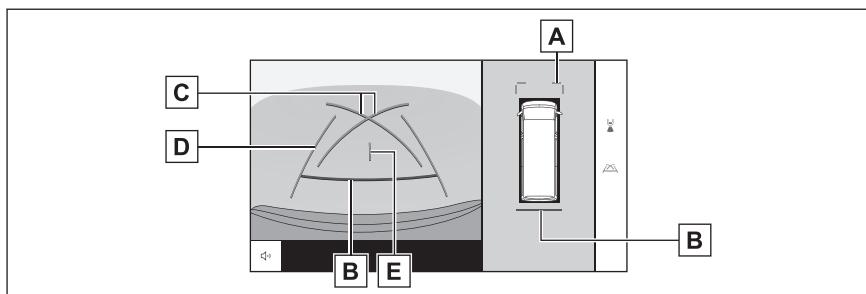
- 直進状態になっているときは、予想進路線と重なります。

G 後方距離目安線

リヤバンパー後端から約 0.5m 先（青色）を示します。

■ 駐車ガイド線モード

ハンドルの切り返し点（駐車ガイド線）が表示されます。予想進路線表示を必要とせずに駐車できる、車両感覚に慣れた方におすすめします。



A 前方距離目安線

車両前端から約 1m 先（青色）を示します。

B 後方距離目安線

車の後方の距離を示します。

- リヤバンパー後端の中心位置から約 0.5m 先（赤色）を示します。

C 駐車ガイド線

もっとも後方へ小まわりしたときの進路の目安を示します。

- 駐車時にハンドルを操作する位置の目安にしてください。

D 後方車幅延長線

車をまっすぐ後退させたときの進路の目安を示します。

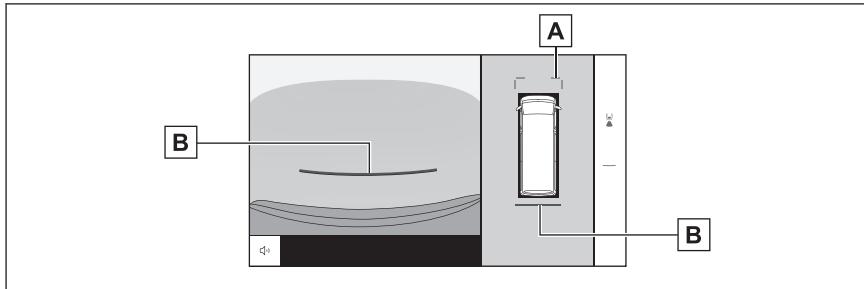
- 実際の車幅より広く表示されます。

E 車両中央線

後方車幅延長線の中心位置（青色）を示します。

■ 距離目安線モード

距離目安線のみ表示されるモードです。ガイド線を必要としない方におすすめします。



A 前方距離目安線

車両前端から約 1m 先（青色）を示します。

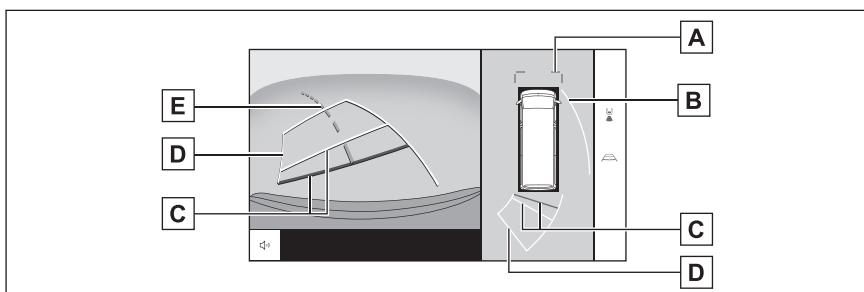
B 後方距離目安線

車の後方の距離を示します。

- リヤバンパー後端の中心位置から約 0.5m 先（赤色）を示します。

■ 車両中央予想進路線モード

ハンドル操作に連動して、予想進路線や車両中央線の目安などが表示されます。またリヤバンパーの中心を、看板やポールなどの目印に寄せる場合に使用します。



A 前方距離目安線

車両前端から約 1m 先（青色）を示します。

B 側方予想進路線

ハンドル操作と連動して、進路の目安（黄色）を示します。

C 後方距離目安線

車の後方の距離を示します。

- 予想進路線と連動します。
- リヤバンパー後端の中心位置から約 0.5m 先（赤色）／約 1m 先（黄色）を示します。

D 後方予想進路線

ハンドル操作と連動して、進路の目安（黄色）を示します。

E 車両中央予想進路線

ハンドル操作と連動して、車両中央線（緑色）の目安を示します。

□ 知識

バックドアが閉じていないとガイド線は表示されません。バックドアを閉じてもガイド線が表示されない場合は、トヨタ販売店で点検を受けてください。

▲ 警告

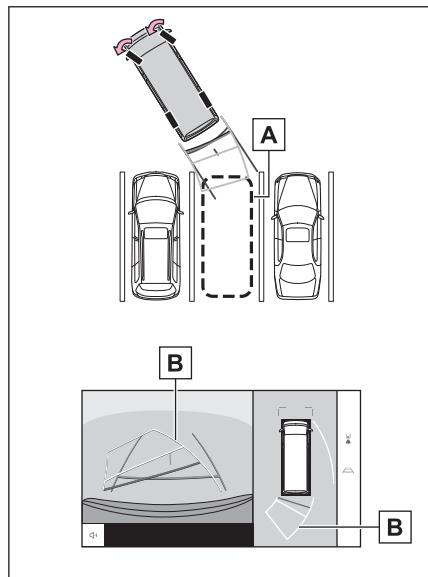
後方車幅延長線は、実際の車幅より広く表示されます。後退するときは、必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら運転してください。

予想進路線モードを使用して駐車する

次の手順と逆方向の駐車スペースに駐車するときは、ハンドル操作はすべて左右逆です。

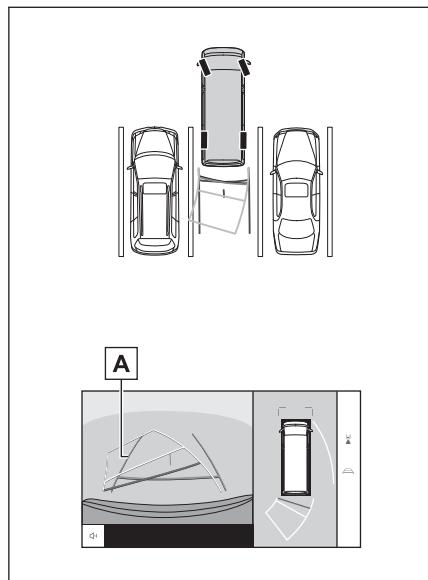
- 1 シフトレバーを R にします。
- 2 予想進路線が駐車スペースの中に入るようにハンドルを操作して、ゆっくり後退します。

- A 駐車スペース**
B 予想進路線



- 3 車の後部が駐車スペースの中に入ったら、車幅延長線が駐車スペース左右の区画線のあいだに入るようハンドルを操作します。

A 車幅延長線



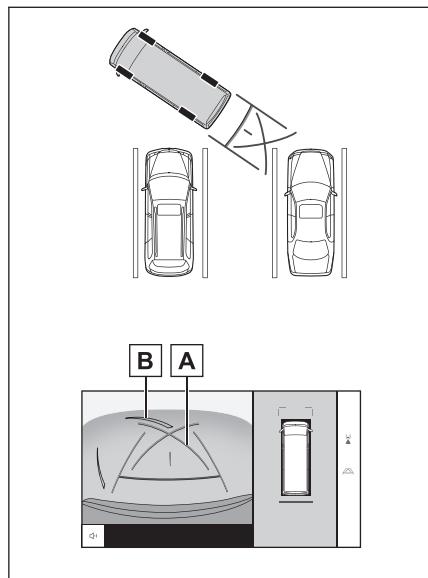
- 4 車幅延長線と駐車スペースの区画線が平行になったら、ハンドルをまっすぐにして、車が駐車スペースにすべて入るまで、ゆっくり後退します。
 5 適切な位置で停車し、駐車を終えます。

駐車ガイド線モードを使用して駐車する

- 1 シフトレバーを R にします。

- 2 駐車ガイド線が駐車スペースの右端の区画線に合うまで後退したら止まる。

- A 駐車ガイド線
B 駐車場の区画線



- 3 ハンドルを左いっぱいにまわして、ゆっくり後退します。
4 車が駐車スペースと平行になったら、ハンドルをまっすぐにして、車が駐車スペースにすべて入るまで、ゆっくり後退します。
5 適切な位置で停車し、駐車を終えます。

パノラミックビューモニターの注意点

運転操作時は、必ず後方や周囲の安全を直接確認してください。お守りいただかないで、車をぶつけるなど、思わぬ事故を引き起こすことがあります。パノラミックビューモニターを使用するときは次のことをお守りください。

▲ 警告

- パノラミックビューモニターを過信しないでください。一般の車と同様、必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら慎重に運転してください。特に周辺に駐車している車や障害物などに接触しないようにしてください。
- 運転操作時は、必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら運転してください。
- 画面だけを見ながら運転操作することは絶対にしないでください。画面に映し出されている映像と実際の状況は異なることがあります。また、カメラの映し出す範囲はかぎられています。画面だけを見て右左折、後退することは絶対にしないでください。車をぶつけたり、思わぬ事故を引き起こすことがあります。必ず目視やインナーミラー、ドアミラーなどで周囲の安全を確認し、十分注意した上で運転してください。
- 乗車人数、積載量、路面の勾配などにより、画面のガイド線の示す位置はかわります。必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら運転してください。
- 次のような状況では、使用しないでください。
 - 凍結、すべりやすい路面、または雪道
 - タイヤチェーンを使用しているとき
 - フロントドア、バックドアが完全に閉まっていないとき
 - 坂道など平坦でない道路
 - タイヤをメーカー指定のものから交換しているとき
 - サスペンションを改造しているとき
 - 画面に映るエリアに社外品を装着しているとき
- 外気温が低い場合、画面が暗くなったり、映像がうすれことがあります。特に動いているものの映像が歪む、または画面から見えなくなることがあるため、必ず周囲の安全を直接目で確認しながら運転してください。
- タイヤを交換すると、画面に表示されるガイド線の示す位置に誤差が生じことがあります。

△ 注意

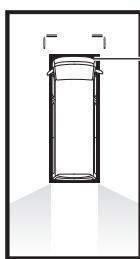
- パノラミックビューは、フロントカメラとバックカメラ、左右サイドカメラが撮影した映像を合成処理した映像です。表示可能な範囲や表示内容には限界があるため、パノラミックビューモニターの特性を十分理解した上で使用してください。
- パノラミックビューの四隅には、それぞれのカメラ映像境界位置を中心に映像合成処理領域が存在し、映像の鮮明度が低下することがあります。故障ではありません。

⚠ 注意

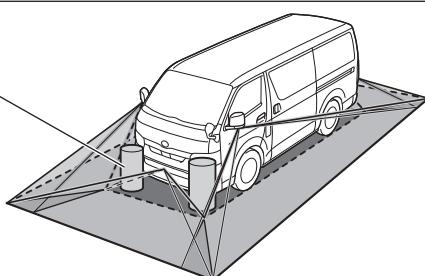
- それぞれのカメラ付近の照度条件により、パノラミックビューに明暗ができる場合があります。
- パノラミックビューでは、それぞれのカメラの取り付け位置や撮像範囲より上部は表示されません。
- 車両付近には死角があり、パノラミックビューモニターには表示されない領域があります。
- フロントビューまたはバックビュー、両サイドビューに表示されている立体物が、パノラミックビューでは表示されない場合があります。
- パノラミックビューモニターは、人物や障害物などの立体物が実際と異なって表示される場合があります。(倒れているように表示される場合や、映像合成処理領域付近で消えてしまう場合、映像合成処理領域付近から現れるように表示される場合、表示位置の距離感が実際と異なるなど)
- バックカメラが取り付けられたバックドア、サイドカメラを内蔵したドアミラーが取り付けられたフロントドアが開いている場合、パノラミックビューモニターは正しく表示されません。
- パノラミックビューに表示される車両アイコンは、コンピューターグラフィックによる画像を表示しているため、実際の車両とは色や形状、大きさなどが異なります。このため、車両付近の立体物が車両と接触しているように見える場合や、立体物との位置関係が実際の位置関係と異なる場合があります。
- カメラが故障したときは、画面が次のように表示されることがあります。
 - シフトレバーを R にしたときに、画面の一部、もしくはすべてが黒映像で表示される
 - シフトレバーを R にしたときに、カメラ映像に切りかわらない
 - シフトレバーを R 以外にしたときに、カメラ映像が表示されたままになる
 - カメラ映像にガイド線などが表示されず、着目マークや注意文が表示される

画面に映る範囲

車両付近には死角があり、表示されない領域があります。画面では車両の周辺に何も表示されていなくても、実際には障害物が進路上にあるため、接触することがあります。必ず周囲の安全を直接確認してください。

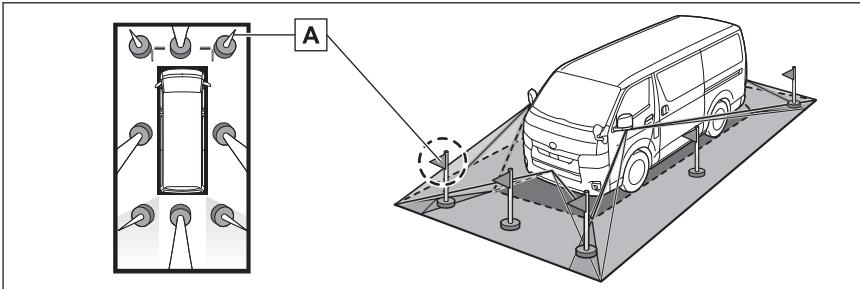


A



A 画面に映らない障害物

黒色部分内にある障害物は画面に表示されません。

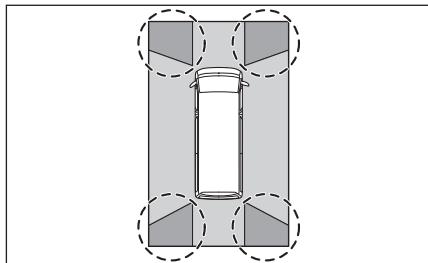


A 画面に映らない部分

路面より高い部分は画面に表示されません。

□ 知識

- 車両アイコンまわりの黒色部分はカメラに映らない部分です。直接確認してください。
- パノラミックビューは、4つのカメラから得られた画像を平らな路面を基準に加工して表示しているため、次のように表示されることがあります。
 - ・ 立体物が倒れて細長く、もしくは大きく見える。
 - ・ 路面より高い位置にある立体物が実際より遠くに見える、もしくは見えない。
 - ・ 高さのあるものが合成のつぎ目から現れてくるように見える場合がある。
- 照度条件により、カメラごとの映像の明るさにばらつきが出る場合があります。
- 乗員人数、積載状況、ガソリン残量による車体の傾きや車高の変化などにより、表示映像がずれる場合があります。
- ドアが完全に閉まっていないと、表示映像やガイド線が正しく表示されない場合があります。
- パノラミックビューに表示されている車両アイコンと、路面や障害物との位置関係は実際の位置とは異なる場合があります。
- 字光式ナンバープレートを装着していると、画面上に映り込むことがあります。
- 図の○部分は画像を合成しているため、映像が見えにくい場合があります。

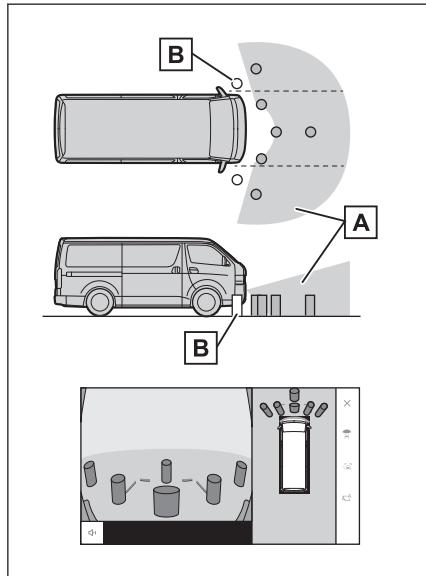


■ ワイドフロントビュー

A 画面に映るエリア

B 画面に映らない障害物

バンパーの両端付近は画面に映りません。

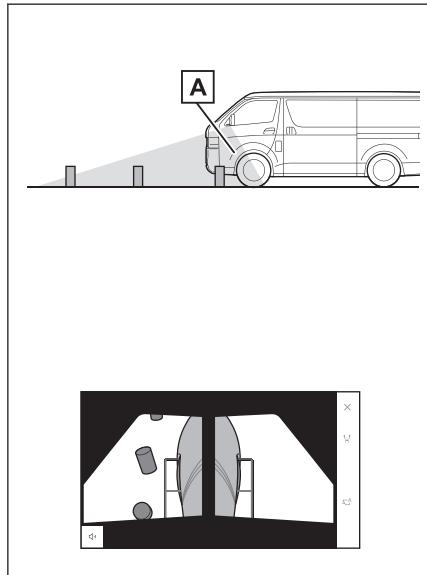


□ 知識

- カメラの映し出される範囲には限度があり、バンパーの両端付近やバンパーの真下付近にあるものは映し出されません。
- 画面に映る映像の距離感覚は実際の距離とは異なります。
- ワイドフロントビューのカメラは特殊なレンズを使用しているため、画面に映る映像の距離感は実際の距離とは異なります。

■ 両サイドビュー

A 画面に映るエリア



□ 知識

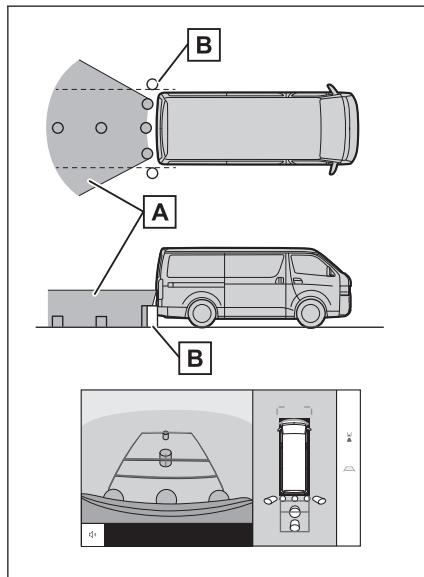
- 車や路面の状況により、映る範囲は異なることがあります。
- カメラの映し出される範囲には限度があり、助手席側のバンパー付近やバンパーの真下付近にあるものは映し出されません。
- 画面に映る映像の距離感覚は実際の距離とは異なります。
- 両サイドビューのカメラは特殊なレンズを使用しているため、画面に映る映像の距離感は実際の距離とは異なります。

■ バックビュー

A 画面に映るエリア

B 画面に映らない障害物

バンパーの両端付近は画面に映りません。



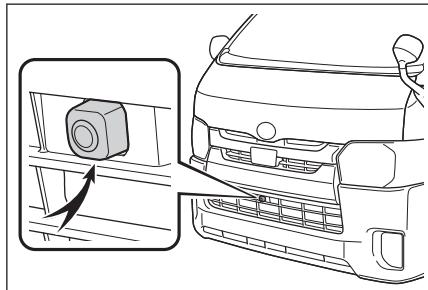
□ 知識

- 車や路面の状況により、映る範囲は異なることがあります。
- カメラの映し出される範囲には限度があり、バンパーの両端付近やバンパーの真下付近にあるものは映し出されません。
- 画面に映る映像の距離感覚は実際の距離とは異なります。
- バックビューのカメラは特殊なレンズを使用しているため、画面に映る映像の距離感は実際の距離とは異なります。
- バックカメラより高い位置にあるものについては、モニターに映らないことがあります。
- 字光式ナンバープレートを装着していると、画面上に映り込むことがあります。

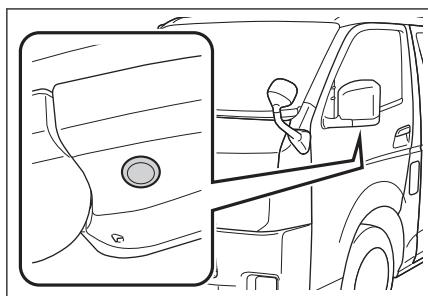
カメラの位置

パノラミックビューモニターの各カメラは図の位置にあります。

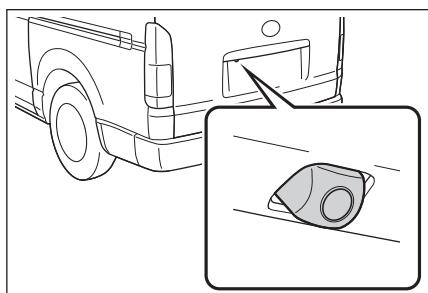
■ フロントカメラ



■ サイドカメラ



■ バックカメラ



カメラのお手入れ方法

カメラに水滴、雪、泥などの異物や汚れが付着していると、鮮明な画像を見ることができません。この場合、大量の水でカメラの汚れを流し、水で湿らせたやわらかい布でカメラレンズをふき取ってください。

△ 注意

- パノラミックビューモニターが正常に作動しなくなるおそれがあります。次のことご注意ください。

△ 注意

- カメラ部を強くたたいたり、ものをぶつけるなど、強い衝撃を与えないでください。カメラの位置、取り付け角度がずれるおそれがあります。
- カメラ部は防水構造となっています。取りはずし、分解、改造をしないでください。
- カメラレンズを洗うときは、大量の水でカメラの汚れを流したあと、水で湿らせたやわらかい布でカメラレンズをふき取ってください。カメラレンズを強くこするとカメラレンズが傷付いて、鮮明な画像を見ることができなくなるおそれがあります。
- カメラのカバーは樹脂です。有機溶剤・ボデーワックス、油膜取り剤、ガラスコート剤などを付着させないでください。付着したときは、すぐにふき取ってください。
- 寒いときにお湯をかけるなどして急激な温度変化を与えないでください。
- 洗車時に高圧洗浄機でカメラやカメラ周辺に直接水を当てないでください。強い水圧により衝撃が加わり、装置が正常に作動しなくなるおそれがあります。
- カメラ部をぶつけたときは、カメラの故障などのおそれがあります。早めにトヨタ販売店で点検を受けてください。

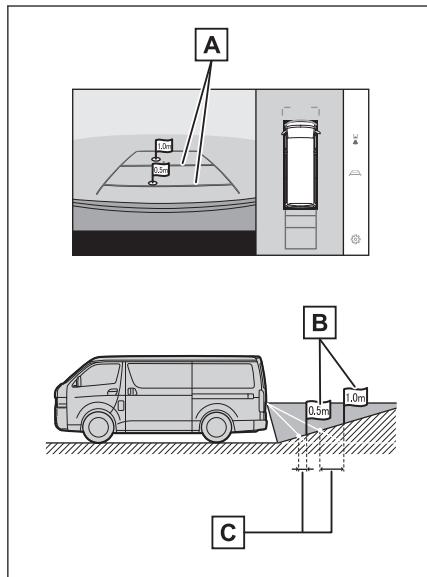
画面と実際の路面との誤差

パノラミックビューモニターの合成映像やガイド線は、平らな路面に対しての距離の目安を示しています。そのため、次の状態のときは、画面のガイドと実際の路面上の距離や進路に誤差が生じます。

■ 急な上り坂があるとき

実際の距離より手前に距離目安線が表示されます。そのため、上り坂にある障害物は実際より遠くに見えます。同様にガイド線と実際の路面上の進路にも誤差が生じます。

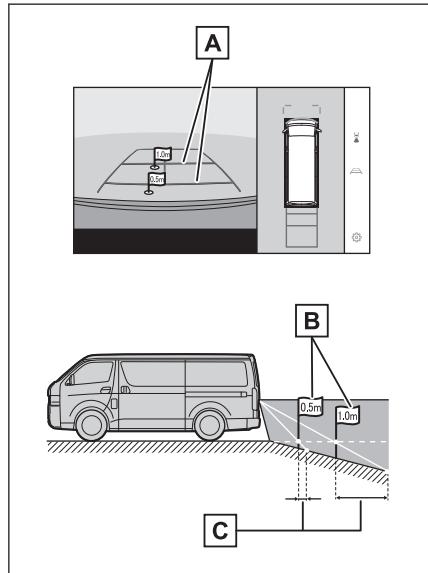
- A 距離目安線
- B 実際の距離
- C 誤差



■ 急な下り坂が後方にあるとき

実際の距離よりうしろに距離目安線が表示されます。そのため、下り坂にある障害物は、実際より近くに見えます。同様にガイド線と実際の路面上の進路にも誤差が生じます。

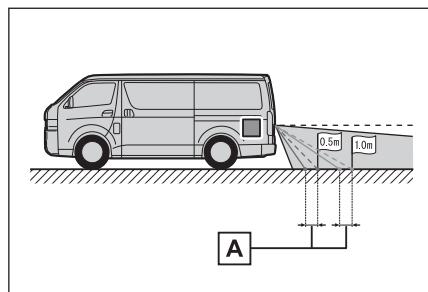
- A 距離目安線
- B 実際の距離
- C 誤差



■ 車が傾いているとき

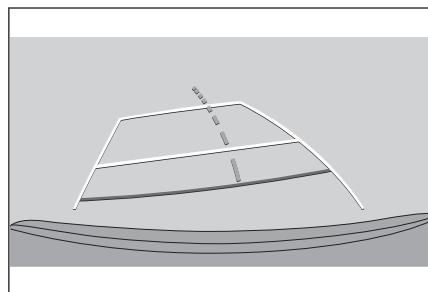
乗車人数、積載量などにより車が傾いているときは、実際の距離、進路と誤差が生じます。

- A 誤差



■ 車両中央予想進路線について

リヤバンパー付近の空中にガイド線が描かれているため、車両の中央からずれているように見えることがあります。



画面と実際の立体物との誤差

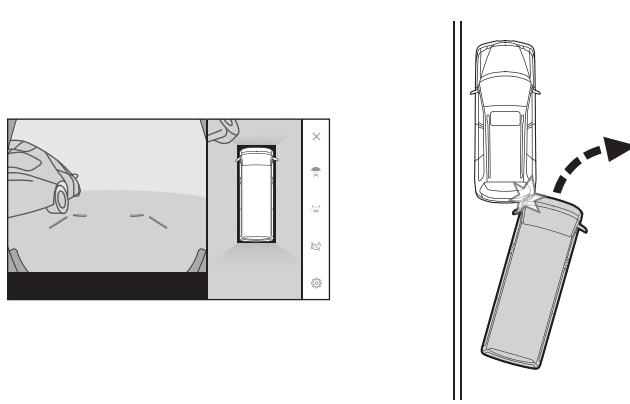
画面に表示されるガイド線は路面に対して表示されているため、立体物の位置を判断できません。張り出しのある立体物（トラックの荷台のような障害物）が近くにあるときは、次のことにご注意ください。

▲ 警告

クリアランスソナーの表示が赤色のときは、必ず直接確認して、それ以上進まないでください。車をぶつけるなど、思わぬ事故を引き起こすおそれがあります。

■ パノラミックビューの表示

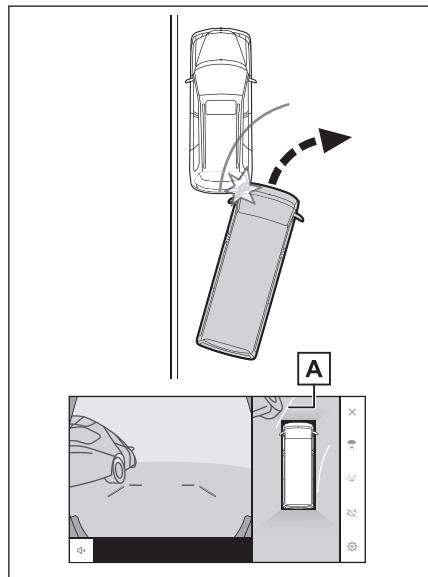
画面では車両のバンパーとのあいだに余裕があり、ぶつからないように見えても、実際には車両が進路上にあるためぶつかることがあります。周囲の安全を直接確認してください。



■ 予想進路線について

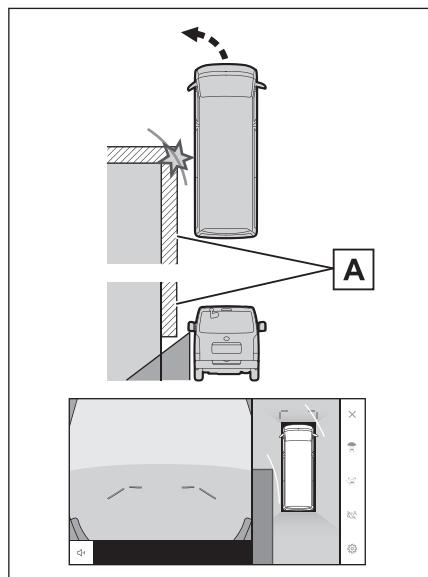
- 画面では車両のバンパーが予想進路線の外側にあり、ぶつからないように見えても、実際には車両が進路上にあるためぶつかることがあります。周囲の安全を直接確認してください。

A 予想進路線



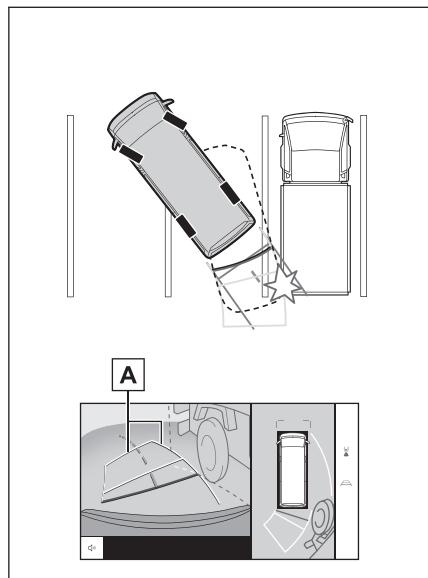
- 高い位置にある立体物（張り出しのある壁やトラックの荷台など）は、画面に映らない場合があります。周囲の安全を直接確認してください。

A 壁の張り出し部分



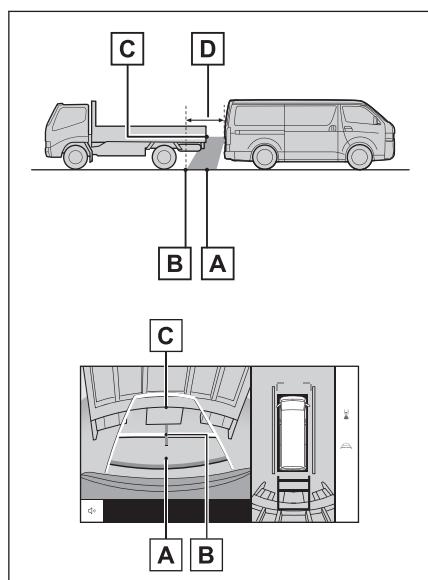
- 画面では、トラックの荷台が予想進路線の外側にあり、ぶつからないように見えても、実際は荷台が進路上に張り出しているためぶつかることがあります。周囲の安全を直接確認してください。

A 予想進路線



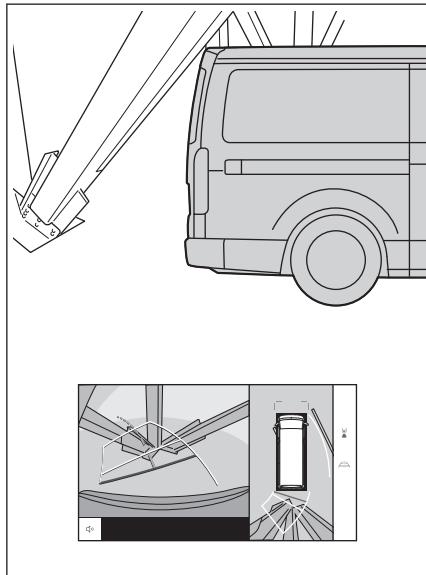
■ 距離目安線について

画面では、距離目安線により**B**の位置にトラックが駐車してあるように見えますが、実際には**A**の位置まで後退すると、ぶつかります。画面では**A**、**B**、**C**の順に近く見えますが、実際の距離は**A**と**C**は同じ距離で、**B**は**A**と**C**より遠い距離にあります。後方や周囲の安全を直接確認してください。**D**の距離は約1mです。



■ 斜めの柱の張り出し部について

パノラミックビューでは倒れた柱がまっすぐでぶつからないように見えても、実際は柱の上部が張り出しているため、ぶつかる可能性があります。後方や周囲の安全を直接確認してください。



故障とお考えになる前に

次のような症状で気になったりお困りになったときは、考えられる原因と処置を参考に、もう一度確認してください。

処置をしても直らないときは、トヨタ販売店で点検を受けてください。

症状	考えられる原因	処置
画面が見にくく	<ul style="list-style-type: none"> ● 夜間など暗いところで使用。 ● レンズ付近の温度が高い、または低い。 ● 外気温が低いとき。 ● カメラに水滴がついた。 ● 雨天時など湿度が高い。 ● カメラ付近に異物（泥など）がついた。 ● 太陽やヘッドライトの光が直接カメラのレンズにあたった。 ● 蛍光灯、ナトリウム灯、水銀灯などの照明下で使用した。 	<p>車両周囲の状況を直接確認しながら、運転してください。</p> <p>カメラおよびその周辺環境が改善されてから、再びパノラミックビューモニターをご使用ください。</p> <p>パノラミックビューモニターの画質調整の方法は、マルチメディア画面の調整と同じです。</p>

症状	考えられる原因	処置
画面が不鮮明	カメラのレンズに水滴、雪、泥など異物や汚れが付着している。	大量の水でカメラの汚れを流したあと、水で湿らせたやわらかい布でカメラレンズをふき取ってください。
画面がずれている	カメラ部に強い衝撃が与えられた。	トヨタ販売店で点検を受けてください。
ガイド線が大きくずれる	カメラの位置がずれている。	トヨタ販売店で点検を受けてください。
	<ul style="list-style-type: none"> ● 車が傾いているとき（重い荷物の積載やパンクしてタイヤ空気圧が低いときなど）。 ● 傾斜地で使用するとき。 	車両周囲の状況を直接確認しながら、運転してください。
ハンドルが直進状態であるにもかかわらず予想進路線が曲がっている（車幅延長線と予想進路線がずれる）	ステアリングセンサーの信号に異常が発生した。	トヨタ販売店で点検を受けてください。
ガイド線が表示されない	バックドアが開いている。	バックドアを閉める。 直らない場合は、トヨタ販売店で点検を受けてください。

— 関連リンク —

[画面表示の設定を変更する \(P.67\)](#)

フリー／オープンソースソフトウェア情報

Copyright (C) 2006-2015, ARM Limited, All Rights Reserved

SPDX-License-Identifier: Apache-2.0

Licensed under the Apache License, Version 2.0 (the "License"); you may not use this file except in compliance with the License.

You may obtain a copy of the License at

<http://www.apache.org/licenses/LICENSE-2.0>

Unless required by applicable law or agreed to in writing, software distributed under the License is distributed on an "AS IS" BASIS, WITHOUT WARRANTIES OR CONDITIONS OF ANY KIND, either express or implied.

See the License for the specific language governing permissions and limitations under the License.

9-1. 付録

メディア／データについての

情報 364

認証・商標についての情報..... 374

メディア／データについての情報

使用できるメディアについての情報

使用できるメディアなどの仕様は、次のとおりです。

■ USB メモリーのフォーマット、仕様

使用できる USB メモリーのフォーマット、規格ならびに制限事項は次のとおりです。

USB コミュニケーションフォーマット	USB2.0 HS (480MBPS)
ファイルフォーマット	FAT 16/32
通信クラス	Mass storage class
最大フォルダ数	3000 (ルート含む)
最大フォルダ階層数	8
最大ファイル数	9999 (1 フォルダにつき、最大 255 ファイル)
メモリ容量	～32GB
1 ファイルの最大サイズ	2GB

- 上記フォーマット以外のファイルは正常に再生できなかったり、ファイル名やフォルダ名などが正しく表示されない場合があります。
- ご利用の USB メモリーによっては、再生できない場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- パソコンを使用して USB メモリーにファイルを保存する場合、パソコンによっては再生ファイルに加えて不可視ファイルも保存される場合があります。再生時に不可視ファイルが悪影響をおよぼし、正常にファイルを切りかえられない場合がありますので、不可視ファイルは削除することを推奨します。

フォーマットについての情報

使用できる音楽データの仕様は、次のとおりです。

■ MP3

対応規格	MP3 (MPEG1 LAYER 3、MPEG2 LSF LAYER 3)
対応サンプリング周波数 (kHz)	MPEG1 LAYER 3 : 32、44.1、48 MPEG2 LSF LAYER 3 : 16、22.05、24
対応ビットレート (kbps) ⁽¹⁾	MPEG1 LAYER 3 : 32～320 MPEG2 LSF LAYER 3 : 8～160

対応チャンネルモード	ステレオ、ジョイントステレオ、デュアルチャンネル、モノラル
ID3 タグ	ID3 Ver.1.0、1.1、2.2、2.3（文字数は各Ver.に準拠）

(1) VBR (Variable Bit Rate) に対応しています。

■ WMA

対応規格	WMA Ver.7、8、9 (9.1、9.2)
対応サンプリング周波数 (kHz)	32、44.1、48
対応ビットレート (kbps) (1)(2)	Ver.7、8 : CBR (Constant Bit Rate) 48～192 Ver.9 (9.1/9.2) : CBR 48～320

(1) VBR (Variable Bit Rate) に対応しています。

(2) マルチチャンネルの音源は 2ch に変換されます。

■ AAC

対応規格(1)	MPEG4 AAC-LC
対応サンプリング周波数 (kHz)	11.025、12、16、22.05、24、32、44.1、48
対応ビットレート (kbps) (2)	8～320
対応チャンネルモード(3)	1ch (1/0)、2ch (2/0)

(1) ADIF には対応していません。

(2) VBR (Variable Bit Rate) に対応しています。

(3) デュアルチャンネルには対応していません。

■ WAV (LPCM)

対応サンプリング周波数 (kHz) (1)	8、11.025、12、16、22.05、24、32、44.1、48、88.2、96、176.4、192
対応量子化 bit 数 (bit) (2)	16/24
対応チャンネルモード	1ch (1/0)、2ch (2/0)

(1) 96kHz/24bit 以上の音源は 96kHz/24bit にダウンコンバートされます。

(2) マルチチャンネルの音源は 2ch に変換されます。

■ FLAC

対応サンプリング周波数 (kHz) (1)	8、11.025、12、16、22.05、24、32、44.1、48、88.2、96、176.4、192
-----------------------	------------------------------------------------------

対応量子化 bit 数 (bit) (2)	16/24
-----------------------	-------

(1) 96kHz/24bit 以上の音源は 96kHz/24bit にダウンコンバートされます。

(2) マルチチャンネルの音源は 2ch に変換されます。

■ ALAC

対応サンプリング周波数 (kHz) (1)	8、11.025、12、16、22.05、24、32、44.1、48、64、88.2、96
対応量子化 bit 数 (bit) (2)	16/24

(1) 96kHz/24bit 以上の音源は 96kHz/24bit にダウンコンバートされます。

(2) マルチチャンネルの音源は 2ch に変換されます。

■ Ogg Vorbis

対応サンプリング周波数 (kHz) (1)	8、11.025、16、22.05、32、44.1、48
対応ビットレート (kbps) (2)	32～500

(1) 96kHz/24bit 以上の音源は 96kHz/24bit にダウンコンバートされます。

(2) VBR (Variable Bit Rate) に対応しています。

■ ファイル名

MP3/WMA/AAC/WAV(LPCM)/FLAC/ALAC/Ogg Vorbis と認識し再生するファイルは MP3/WMA/AAC/WAV(LPCM)/FLAC/ALAC/Ogg Vorbis の拡張子「.mp3」/「.wma」/「.m4a」/「.3gp」/「.aac」/「.wav」/「.flac」/「.fla」/「.ogg」/「.ogx」/「.oga」がついたものだけです。MP3/WMA/AAC/WAV(LPCM)/FLAC/ALAC/Ogg Vorbis ファイルには、「.mp3」/「.wma」/「.m4a」/「.3gp」/「.aac」/「.wav」/「.flac」/「.fla」/「.ogg」/「.ogx」/「.oga」の拡張子をつけて保存してください。

■ ID3 タグ／WMA タグ／AAC タグ／タグ／Vorbis comment

- MP3 ファイルには、ID3 タグと呼ばれる付属文字情報があり、曲のアーティスト名、タイトル名、アルバム名などを保存できます。
- WMA ファイルには、WMA タグと呼ばれる付属文字情報があり、曲のアーティスト名、タイトル名、アルバム名などを保存できます。
- AAC ファイルには、AAC タグと呼ばれる付属文字情報があり、曲のアーティスト名、タイトル名、アルバム名などを保存できます。
- WAV (LPCM) ファイルには、タグと呼ばれる付属文字情報があり、曲のアーティスト名、タイトル名、アルバム名などを保存できます。
- FLAC ファイルには、タグと呼ばれる付属文字情報があり、曲のアーティスト名、タイトル名、アルバム名などを保存できます。
- ALAC ファイルには、タグと呼ばれる付属文字情報があり、曲のアーティスト名、タイトル名、アルバム名などを保存できます。

- Ogg Vorbis ファイルには、Vorbis comment と呼ばれる付属文字情報があり、曲のアーティスト名、タイトル名、アルバム名などを保存できます。

■ ハイレゾリューション（ハイレゾ）音源

マルチメディアシステムはハイレゾ音源に対応しています。ハイレゾ音源の定義は、一般社団法人電子技術産業協議会（JEITA）の定義に準拠しています。対応フォーマットと再生可能メディアについては、次のとおりです。

対応フォーマット

WAV、FLAC、ALAC、Ogg Vorbis

再生可能メディア

USB メモリー

USB メモリーから再生できる動画データについての情報

パソコンから USB メモリーに記録した動画ファイルについては、次のフォーマットに対応しています。

フォーマット	コーデック
MPEG4 拡張子：「.mp4」「.m4v」	<ul style="list-style-type: none"> ● 動画コーデック：H.264、MPEG-4 AVC、MPEG-4 ● オーディオコーデック：MP3、AAC
AVI コンテナ拡張子：「.avi」	<ul style="list-style-type: none"> ● 動画コーデック：H.264、MPEG-4、MPEG-4 AVC、WMV9、WMV9 Advanced Profile ● オーディオコーデック：MP3、AAC、WMA9.2 (7、8、9.1、9.2)
Windows Media Video 拡張子：「.wmv」	<ul style="list-style-type: none"> ● 動画コーデック：WMV9、WMV9 Advanced Profile ● オーディオコーデック：WMA9.2 (7、8、9.1、9.2)

- 対応画像サイズは、最大 1920×1080 ピクセルです。
- 対応フレームレートは最大 60i/30p です。
- 録画機器の種類や記録条件、使用する USB メモリーによっては、動画を再生できない場合があります。

iPhone/iPod についての情報

■ 商標・設計認証情報

Made for
iPhone | iPad | iPod

Use of the Made for Apple badge means that an accessory has been designed to connect specifically to the Apple product(s) identified in the badge, and has been certified by the developer to meet Apple performance standards. Apple is not responsible for the operation of this vehicle or its compliance with safety and regulatory standards. Please note that the use of this accessory with an Apple product may affect wireless performance.

iPhone, iPod, iPod touch, iPad, iPad mini, iPad Pro, and Lightning are trademarks of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries.

The trademark “iPhone” is used in Japan with a license from Aiphone K.K.

Made for

- iPhone 12 Pro Max
- iPhone 12 Pro
- iPhone 12
- iPhone 12 mini
- iPhone SE (2nd generation)
- iPhone 11 Pro Max
- iPhone 11 Pro
- iPhone 11
- iPhone XS Max
- iPhone XS
- iPhone XR
- iPhone X
- iPhone 8 Plus
- iPhone 8
- iPhone 7 Plus
- iPhone 7
- iPhone SE
- iPhone 6s Plus
- iPhone 6s
- iPhone 6 Plus
- iPhone 6
- iPhone 5s
- iPad Pro 10.5-inch
- iPad Pro 12.9-inch (5th generation)
- iPad Pro 12.9-inch (4th generation)

- iPad Pro 12.9-inch (3rd generation)
- iPad Pro 12.9-inch (2nd generation)
- iPad Pro 12.9-inch (1st generation)
- iPad Pro 11-inch (3rd generation)
- iPad Pro 11-inch (2nd generation)
- iPad Pro 11-inch (1st generation)
- iPad Pro 9.7-inch
- iPad Air (3rd generation)
- iPad Air 2
- iPad Air
- iPad mini (5th generation)
- iPad mini 4
- iPad mini 3
- iPad mini 2
- iPad (8th generation)
- iPad (7th generation)
- iPad (6th generation)
- iPad (5th generation)
- iPod touch (7th generation)
- iPod touch (6th generation)

Apple CarPlayについての情報

■ 商標・設計認証情報



Use of the Apple CarPlay logo means that a vehicle user interface meets Apple performance standards. Apple is not responsible for the operation of this vehicle or its compliance with safety and regulatory standards. Please note that the use of this product with iPhone, iPod, or iPad may affect wireless performance.

Apple CarPlay is a trademark of Apple Inc.

Android Auto についての情報

■ 商標・設計認証情報

Android Auto

Android and Android Auto are trademarks of Google LLC.

USB メモリーについての情報

■ パソコンで記録した音楽ファイル

次の音楽ファイルを再生できます。

- MP3
- WMA
- AAC
- FLAC
- WAV
- ALAC
- Ogg Vorbis

MP3/WMA/AAC の仕様

使用できる MP3/WMA/AAC ファイルの規格やそれを記憶したメディア、フォーマットには制限があります。Microsoft、Windows、Windows Media は、米国 Microsoft Corporation の米国及びその他の国における登録商標です。

使用できる音楽データの仕様は、次のとおりです。

MP3

MP3 (MPEG Audio LAYER 3) は音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。MP3 を使用すれば、もとのファイルを約 1/10 のサイズに圧縮できます。

WMA

WMA (Windows Media Audio) はマイクロソフト社の音声圧縮フォーマットです。MP3 よりも小さいサイズに圧縮できます。

This product is protected by certain intellectual property rights of Microsoft. Use or distribution of such technology outside of this product is prohibited without a license from Microsoft.

AAC

AAC (Advanced Audio Coding) は MPEG2、MPEG4 で使用される音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。

Bluetooth®についての情報

使用できる Bluetooth®の仕様およびプロファイルは次のとおりです。

項目	Bluetooth®オーディオ
対応 Bluetooth®仕様	Bluetooth® Core Specification Ver.5.0 以上
対応プロファイル	<ul style="list-style-type: none"> ● A2DP (Advanced Audio Distribution Profile) 音楽データを伝送するためのプロファイル : Ver.1.3.2 以上 ● AVRCP (Audio/Video Remote Control Profile) マルチメディアシステムからポータブルオーディオなどをコントロール（再生や停止など）するためのプロファイル : Ver.1.6.2 以上
対応コーデック	LDAC ^{*1} /AAC/SBC

□ 知識

- マルチメディアシステムに対して、すべての Bluetooth®機器との接続性を保証するものではありません。

■ 商標・設計認証情報



Bluetooth®のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG,inc が所有する登録商標であり、「株式会社デンソーソーン」はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。その他の商標およびトレードネームは、それぞれの所有者に帰属します。

*1: 車載ナビ装着車のみ

■ LDAC

LDAC

LDAC および LDAC ロゴは、ソニー株式会社の商標です。

Gracenote^{®*1}についての情報

音楽を再生した場合、マルチメディアシステムのデータベースの中からアルバム名やアーティスト名、ジャンル、トラック名を検索し、各情報がデータベースに収録されていると、各情報を自動で付与します。マルチメディアシステムに収録されているデータベース情報は、Gracenote[®]メディアデータベースを使用しています。

■ Gracenote[®]メディアデータベース

- 自動で付与されたタイトル情報は、実際のタイトル情報と異なる場合があります。
- 「Gracenote メディアデータベース」によって提供されたデータについては内容を 100% 保証するものではありません。

Gracenote, the Gracenote logo and logotype, “Powered by Gracenote” and Gracenote MusicID are either registered trademarks or trademarks of Gracenote, Inc. in the United States and/or other countries.



文字情報の表示についての情報

各種画面で情報として表示できる文字数には制限があるため、すべてを表示できないことがあります。また、記録されている内容によっては正しく表示されなかったり、表示ができないことがあります。

HDMIについての情報

使用できる HDMI 機器の映像および音声信号の規格は次の通りです。
映像が表示されない場合は、HDMI 機器の出力設定をご確認ください。

*1: Gracenote[®]はグレードにより装備の有無があります。

項目	規格
対応映像信号	480p、720p、1080i、VGA
対応音声信号	LPCM 2ch

HDMI、High-Definition Multimedia Interface、およびHDMIロゴは、米国およびその他の国におけるHDMI Licensing Administrator, Inc. の商標または、登録商標です。



ドルビーについての情報

■ ドルビーデジタル

ドルビー社が開発したデジタル音声の圧縮技術です。音楽信号を最大 6ch に分解して記録、再生する（ウーハー ch は通常 0.1ch で表現するため、5.1ch）完全ディスクリート（分割）方式です。

Dolby, Dolby Audio, Pro Logic, and the double-D symbol are trademarks of Dolby Laboratories Licensing Corporation.

Wi-Fi®についての情報

Wi-Fi®, Miracast®, Wi-Fi Direct® and WMM® are registered trademarks of Wi-Fi Alliance®.

Wi-Fi Protected Setup™, Wi-Fi CERTIFIED™, WPA™, WPA2™ and WPA3™ are trademarks of Wi-Fi Alliance®.

認証・商標についての情報

通信モジュール（DCM）についての情報

- ・通信モジュール(DCM)は、電波法および電気通信事業法の基準に適合しています。製品本体のネームプレートはその証明ですので、ネームプレートの記載を削除しないでください。
- ・通信モジュール(DCM)を分解・改造すると、法律により罰せられることがあります。

● フリー／オープンソースソフトウェア情報について

- ・本製品はフリー／オープンソースソフトウェアを含んでいます。このようなフリー／オープンソースソフトウェアのライセンス情報やソースコードの両方またはどちらか片方は以下の URL で入手することができます。

<https://www.denso.com/global/enopensource/dcm/toyota/>

QR コードについて

QR コードは(株)デンソーウェーブの登録商標です。

A		N	
AM ラジオ.....	210	NaviCon.....	162
Android Auto を再生する.....	242		
Android Auto を使用する.....	131	T	
Apple CarPlay を再生する.....	239	T-Connect.....	294
Apple CarPlay を使用する		TOYOTA アカウント	54
登録済みスマートフォン.....	128		
未登録のスマートフォン.....	125	U	
ASL.....	91	USB Type-C 端子の接続.....	41
		USB メモリーを再生する.....	229, 231
B		V	
Bluetooth® オーディオを再生する.....	245	VICS・交通情報を使う	181
Bluetooth® 機器		W	
削除する.....	111	Web ブラウザ	323
サブ機器に設定する.....	116	画面	324
接続する.....	112	操作	325
登録する.....	108	Wi-Fi Hotspot.....	119
メイン機器に設定する.....	115	Wi-Fi Hotspot の設定.....	98
E		あ	
EPG (電子番組表)	218	明るさを調整する.....	67
F		アンテナ	
FM ラジオ.....	210	地上デジタルテレビ用.....	226
G		ラジオ用.....	214
Gracenote®	372	い	
H		一時停止案内の ON/OFF.....	87
HDMI 機器を接続する.....	43	インターネットを指定する	171
HDMI を再生する.....	249	画面	324
I		操作	325
iPod/iPhone を再生する.....	235	う	
M		迂回する.....	78
Miracast® 対応機器を接続する.....	252		
Miracast® を再生する.....	253		

え	
エージェント（音声対話サービス）	44
お	
お気に入り地点.....	82,140,164
音質を調整する.....	97
音声コマンド.....	48
音声多重放送.....	220
音声で操作する.....	44
音量調整スイッチ	36
音量を調整する	
電話（着信／受話）	100
音量を調整する	
オーディオ	36
システム音声の音量.....	91
電話（着信／受話）	265
ナビゲーション音声案内の音量.....	91
オーディオ.....	210
オーディオシステムの ON/OFF	36
か	
画質調整.....	96
カメラのお手入れ方法.....	349
画面表示の ON/OFF.....	67
画面モードを切りかえる.....	95
き	
気象、災害情報のエリア表示（VICS）	190
共通設定.....	65
居住地域設定.....	91
緊急警報放送（EWS）	215
緊急時 110 番／119 番へ通報.....	272
緊急情報（VICS）	189
緊急通報をする	310
キーボード	
文字や数字の入力.....	28

く	
グループ通話をする	281
け	
携帯電話	
削除する	111
接続する	112
登録する	108
経由地の編集	174
経由地を追加する	160
言語を切り替える	65
現在地	
修正する	82
表示する	32
検索キーワード	52
こ	
更新する	
ソフトウェア情報	72
交通情報を聴く	213
交通ナビ関連情報	202
故障したとお考えになる前に	
Apple CarPlay/Android Auto	132
地上デジタルテレビ	216
パノラミックビューモニター	361
ハンズフリー（電話）	262
個人情報を初期化する	70
コネクティッドナビ	138
さ	
再起動する	16
再生する	
Android Auto	242
Apple CarPlay	239
Bluetooth®オーディオ	245
HDMI	249
iPod/iPhone	235
Miracast®	253

USB メモリー	229, 231	目的地を設定する (NaviCon)	162
削除する		3D 表示	34
Bluetooth®機器	111	せ	
Web ブラウザの閲覧履歴	327	セキュリティ設定	70
ドライバー設定	63	接続する	
ブックマーク	326	Bluetooth®機器	112
マイセッティング	63	HDMI 端子	43
目的地	175	iPod	41
連絡先データ (電話番号)	291	Miracast®対応機器	252
ワンタッチダイヤル	288	USB Type-C 端子	41
し			
市街図の表示	33	Wi-Fi Hotspot	119
時刻設定	65	設定	
施設記号を表示する	142	Bluetooth®機器の設定	100
自宅		VICS・交通情報を表示する種類の設定	187
登録する	154	Wi-Fi Hotspot の設定	98
目的地に設定する	154	案内設定	81
縮尺を切りかえる	33	音声操作の設定	69
消音	38	各種設定	59
消去する		画面表示の設定	67
目的地履歴	82	共通設定	65
初期化		サウンドやメディアの設定	91
個人情報	70	セキュリティ設定	70
す			
数字の入力	28	走行支援の設定	87
スケールを切りかえる	33	地図表示設定	76, 144
ステアリングスイッチ		テレビの設定	91, 225
音声操作	46	ドライバー設定	63
オーディオ	36	ナビゲーションの設定	75
ハンズフリー (電話)	265	プライバシー設定	70
ステータスアイコン	21	マイセッティング	63
スマート IC 利用の ON/OFF	169	ラジオの設定	91
スマートフォン		ルート設定	78
削除する	111	そ	
接続する	112	走行跡跡	144
登録する	108	ソフトウェア情報を更新する	72

た

- 対応プロファイル 107
 タッチスクリーンの操作 23,26

ち

- 地上デジタル TV を視聴する 218
 地図 203
 VICS 記号 193
 色を変更する 76
 動かす 35
 拡大／縮小 33
 記号 145
 データベースの情報 206
 向きを切りかえる 34
 文字サイズを変更する 76
 地図画面の表示 30
 着信拒否 276,279
 駐車場情報の表示の ON/OFF 76

調整する

- 明るさ 67
 音質 97
 画質 96
 コントラスト 67
 時計 65
 ナビゲーション音声案内の音量 91

つ

- 通過地点の設定 173
 通信モジュール (DCM) について 295

て

- ディスプレイと操作スイッチ**
 インストルメントパネル 13
手続きをする
 T-Connect の解約手続き 302
 T-Connect の継続手続き 299
 T-Connect の利用手続き 298
 テレビを視聴する 218

電子番組表 (EPG) を見る 223**転送する**

- 連絡先データ (電話番号) 284
 電話に出る／電話を受ける 274,279

電話をかける

- 110 番／119 番 272
 一括トーン送出 273
 キーパッド入力 270
 交通情報 271
 通話中 280
 登録している連絡先 269
 発信または着信の履歴 267
 ワンタッチダイヤル 268
 電話を切りかえる 283
 電話を切る 282
 データ通信に関する留意事項 295
 データの更新方法 203
 データ放送の情報を見る 221

と**到着予想時刻** 164**登録する**

- Bluetooth®機器 108
 ドライバー設定 54,61
 マイセッティング 61
 ワンタッチダイヤル 288
 時計を調整する 65

ドライバー設定

- 切りかえや登録をする 61
 登録する 54

な**ナビゲーション** 138**の****ノースアップ表示** 34

は	
ハイウェイモード	149
ハイレゾリューション(ハイレゾ)音源	364
パノラミックビューモニター	332
ハンズフリー（電話）	258
ひ	
日付設定	65
ふ	
フォーマット情報	364
ブラウザ	323
画面	324
操作	325
へ	
ヘディングアップ表示	34
ヘルプネット（エアバッグ連動タイプ）	304
ほ	
保守点検をする（ヘルプネット）	314
ま	
マイセッティング	54
切り替えや登録をする	61
め	
メインメニュー	19
も	
目的地	
検索する	152
削除する	175
詳細情報	172
追加する	160
履歴を消去する	82
目的地案内のデモを見る	167

目的地の検索	152,164,175
目的地を検索する	
お気に入り地点	154
自宅	154
住所	155
スマートフォン連携	156,161,162
電話番号	155
マップコード	155
文字入力	154
履歴	155
文字サイズを変更する（地図）	76
文字の入力	28
ら	
ラジオを聞く	210
り	
リモートメンテナンスサービス	
e ケア	322
リモートメンテナンスメール	322
る	
ルート案内	175
ルート情報の表示	168
ルートを再探索する	180
ルートを選択する	170
れ	
連絡先データ（電話番号）	
削除する	291
削除する（ワンタッチダイヤル）	288
修正する	290
追加する	290
転送する	284
登録する（ワンタッチダイヤル）	288
レーン表示画面	177
わ	
割込着信	279

ワンタッチダイヤルを登録する／削除する 288

お車の取り扱い方法、故障、修理に関するご相談については、お買い上げいただきましたトヨタ販売店、または最寄りのトヨタ販売店へお問合せください。
また、リコール情報については、右記の QR コードからご確認ください。

販売店検索

リコール等情報



トヨタ自動車株式会社 お客様相談センター

所在地 〒450-8711 名古屋市中村区名駅4丁目7番1号



お電話によるお問い合わせ



全国共通・フリーコール
0800-700-7700



WEBページからのお問い合わせ



インターネットフォーム
によるお問い合わせ



チャットによる
お問い合わせ



手話通訳サービス
によるお問い合わせ

各お問い合わせサービスのご利用・受付時間など詳細につきましては右記の QR コードからご確認ください。



「個人情報保護方針」については、https://toyota.jp/privacy_statement/ にて掲載しております。

●ご愛用車のお問い合わせは、自動車検査証（車検証）をご用意いただくと、スムーズな対応が可能です。

●QR コードは（株）デンソーウェーブの登録商標です。

トヨタ自動車株式会社
<https://toyota.jp>



Publication No. M26C32

Part No. 01999-26C32

Printed in Japan 01-2602 N

ハイエース／トヨタ救急車／トヨタ救急車“ハイメディック”
マルチメディア